



JAEA-Review

2016-037

DOI:10.11484/jaea-review-2016-037

「原子力機構 2016」環境報告関連データのまとめ

Environmental Performance Data in
“Japan Atomic Energy Agency Report 2016”

安全・環境課

Safety and Environmental Management Section

安全・核セキュリティ統括部

Safety and Nuclear Security Administration Department

March 2017

Japan Atomic Energy Agency

日本原子力研究開発機構

JAEA-Review

本レポートは国立研究開発法人日本原子力研究開発機構が不定期に発行する成果報告書です。
本レポートの入手並びに著作権利用に関するお問い合わせは、下記あてにお問い合わせ下さい。
なお、本レポートの全文は日本原子力研究開発機構ホームページ (<http://www.jaea.go.jp>)
より発信されています。

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 研究連携成果展開部 研究成果管理課
〒319-1195 茨城県那珂郡東海村大字白方2番地4
電話 029-282-6387, Fax 029-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

This report is issued irregularly by Japan Atomic Energy Agency.
Inquiries about availability and/or copyright of this report should be addressed to
Institutional Repository Section,
Intellectual Resources Management and R&D Collaboration Department,
Japan Atomic Energy Agency.
2-4 Shirakata, Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken 319-1195 Japan
Tel +81-29-282-6387, Fax +81-29-282-5920, E-mail:ird-support@jaea.go.jp

© Japan Atomic Energy Agency, 2017

「原子力機構 2016」環境報告関連データのまとめ

日本原子力研究開発機構
安全・核セキュリティ統括部
安全・環境課*

(2016年12月26日受理)

日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）は、2015年度の原子力機構の活動を総合的に報告するレポートである「原子力機構 2016」を作成した。その中で2015年度の環境配慮活動について取りまとめた結果を掲載しており、この環境配慮活動報告の部分は「環境情報の提供の促進等による特定事業者等の環境に配慮した事業活動の促進に関する法律」に基づき2016年9月に公表した。

本報告書は、環境報告の信頼性を高めるためにその情報の検証可能性を確保し、また、原子力機構における環境配慮活動の取組を推進する手段として、「原子力機構 2016」に掲載した環境報告の部分に記載した環境関連情報の根拠となる2015年度の環境報告関連データと、他のさまざまな環境配慮活動の関連情報を取りまとめたものである。

Environmental Performance Data in
“Japan Atomic Energy Agency Report 2016”

Safety and Environmental Management Section*

Safety and Nuclear Security Administration Department
Japan Atomic Energy Agency
Tokai-mura, Naka-gun, Ibaraki-ken

(Received December 26, 2016)

In September, 2016 Japan Atomic Energy Agency (JAEA) published results of environmental activity as a part of “Japan Atomic Energy Agency Report 2016” concerning the activities of FY 2015 under "Law Concerning the Promotion of Business Activities with Environmental Consideration by Specified Corporations, etc., by Facilitating Access to Environmental Information, and Other Measures".

This report has been edited to show detailed environmental performance data in FY 2015 as the base of the “Japan Atomic Energy Agency Report 2016”. This report would not only ensure traceability of the data in order to enhance the reliability of the environmental report, but also make useful measures for promoting activities of environmental considerations in JAEA.

Keywords : Environmental Report, Environmental Performance, Environmental Consideration

※ (Eds.) : (Environmental Management Team) Yurina SUZUKI, Katsuta KANAI,
Sadayuki SATO and Kazuaki TATEBE

目 次

1. 緒言	1
2. 省エネルギーへの取組	2
2. 1 エネルギー投入量	2
2. 2 エネルギー削減への取組	2
2. 3 電気需要平準化への取組	2
2. 4 温室効果ガス排出量	2
3. 資源投入	3
3. 1 コピー用紙	3
3. 2 グリーン購入	3
3. 3 グリーン調達	3
3. 4 グリーン契約	4
4. 原子力機構特有の環境影響とその取組	4
4. 1 放射性廃棄物の管理	4
4. 1.1 放射性固体廃棄物の管理	4
4. 1.2 放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の管理	4
5. 水資源と排水の管理／大気汚染防止	5
5. 1 水資源投入	5
5. 2 排水量	5
5. 3 水質汚濁物質の排出の管理	5
5. 4 大気汚染物質の定期的な測定	5
6. 化学物質等の管理	6
6. 1 環境へ放出される化学物質の管理（PRTR 法対象化学物質）	6
6. 2 PCB 廃棄物の処分の推進	6
6. 3 吹き付けアスベスト等の使用状況	6
7. 一般・産業廃棄物（放射性廃棄物以外）の削減とリサイクルの推進	7
7. 1 一般廃棄物・産業廃棄物	7
7. 2 再生利用	7
7. 3 建設リサイクル	7
8. その他の環境への配慮	7
8. 1 騒音・振動・悪臭に対する管理	7
9. まとめ	9
付録 A. 環境配慮活動の取組に関する詳細データ	19
付録 B. 環境報告の詳細データ	49
付録 C. 報告対象拠点等の名称とその略称	215
付録 D. 電気事業者別の CO ₂ 排出係数(2014 年度実績)	
(平成 27 年 11 月 30 日環境省公表、平成 28 年 7 月 12 日一部修正)	216

Contents

1. Introduction	1
2. Energy Conservation Efforts	2
2.1 Energy Input	2
2.2 Activities for Reducing Energy Quantity	2
2.3 Activities for Electricity Demand Leveling	2
2.4 Emissions of Green House Gases	2
3. Input Resources	3
3.1 Copying Papers	3
3.2 Promotion of Green Purchasing	3
3.3 Green Procurement for Construction Materials	3
3.4 Promotion of Green Contract	4
4. Peculiar Environmental Side View of JAEA and Activities	4
4.1 Management of Radioactive Waste	4
4.1.1 Management of Radioactive Solid Waste	4
4.1.2 Management of Radioactive Gaseous Waste and Radioactive Liquid Waste	4
5. Management of Water Resources and Draining/Air Pollution Control	5
5.1 Water Input	5
5.2 Water Output	5
5.3 Management of Water Pollution Substances	5
5.4 Periodical Measurement of Air Pollution Substances	5
6. Management of Chemical Substances	6
6.1 Management of Chemical Substances for Environment (under PRTR Law)	6
6.2 Disposal Promotion of PCB Waste	6
6.3 Asbestos-Sprayed Facilities	6
7. Reduction and Recycle Promotion of Municipal Solid Waste and Industrial Waste	7
7.1 Management of Municipal Solid Waste and Industrial Waste	7
7.2 Management of Recycling	7
7.3 Construction Material Recycling	7
8. Other Environmental Consideration	7
8.1 Management of Noise, Vibration and Offensive Odor	7
9. Conclusions	9
Appendix A : Detailed Data about Environmental Consideration Activities	19
Appendix B : Detailed Data about Environmental Report	49
Appendix C : Names of Project Promotion Sector and Research and Development Institutes/Centers, and Their Abbreviated Names	215
Appendix D : Carbon Dioxide Emission Coefficients for Each Power Companies (FY 2014 Data) (Released by Ministry of the Environment on July 12, 2016)	216

表 リ ス ト

表 1	2015 年度 環境基本方針	9
表 2	2015 年度 環境目標	10
表 3	主要物品のグリーン購入実績 (2015 年度)	11
表 4	主なグリーン調達の実績 (2015 年度)	11
表 5	放射性固体廃棄物の量 (2015 年度)	12
表 6	原子炉等規制法対象施設、RI 使用施設から放出された気体中及び排水中の放射性物質の量 (2015 年度)	12
表 7	PRTR 法対象化学物質の排出・移動量 (2015 年度)	13
表 8	PCB 廃棄物保管量 (2016 年 3 月末)	14
表 9	2015 年度 環境目標の結果及び評価について	15

注記)

表 5～表 8 中の原科研は、J-PARC を含む。

図 リ ス ト

図 1	総エネルギー投入量	16
図 2	総エネルギー投入量の種類別割合 (2015 年度)	16
図 3	総温室効果ガス排出量	16
図 4	総温室効果ガス排出量の種類別割合 (2015 年度)	16
図 5	コピー用紙使用量	16
図 6	水資源投入量	17
図 7	水資源投入量の種類別割合 (2015 年度)	17
図 8	排水量	17
図 9	排水量の種類別割合 (2015 年度)	17
図 10	廃棄物排出量 (再生利用を除く)	17
図 11	廃棄物の種類別割合 (2015 年度)	17
図 12	再生利用量	18
図 13	再生利用の種類別割合 (2015 年度)	18

This is a blank page.

1. 緒言

日本原子力研究開発機構（以下「原子力機構」という。）では、事業運営に当たり環境への配慮を優先事項と位置付け、組織全体で環境配慮活動に取り組むため「環境配慮管理規程」を制定し、これに基づき各拠点・事務所で環境配慮活動を展開している。環境配慮活動の推進・チェック等を目的に安全・核セキュリティ統括担当理事を委員長とする「環境委員会」を設置している。理事長は毎年度、環境基本方針（表 1）を定め、環境基本方針に基づき毎年度環境目標を設定し（表 2）、年度計画を立てている。各拠点等（付録 C. 報告対象拠点等の名称とその略称を参照）においても、これに基づく環境目標と年度計画を立案し、積極的に取り組んでいる。各拠点等に環境配慮活動の担当課長を定め、この環境配慮活動担当課長からなる「環境配慮活動に係る担当課長会議」等を活用して計画的・組織的な環境配慮活動に取り組んでいる。

また省エネルギーや温暖化対策等に関する事項については、各拠点等のエネルギー管理員等から構成する「省エネ法・温対法対応専門会議」にて専門的に確認・取りまとめを行っている。

環境報告については、その作成を環境配慮活動の一環と位置付け、各担当部署でのデータ及び原稿の入念な確認に加え、「環境配慮活動に係る担当課長会議」で原稿案を審議・検討し、「環境委員会」で総合的にチェックする体制とし、原子力機構を挙げて取り組んでいる。

2016 年度においては、原子力機構の 2015 年度の事業活動の総合的報告書として「原子力機構 2016」を作成し、この中でまとめた環境配慮活動に関する部分を 2016 年 9 月に公表した。

「環境報告ガイドライン（2012 年版）」（2012 年 4 月、環境省）によると、環境報告は、「記載事項の対象となる事項を忠実に表現しているかどうか客観的に検証できなければ、利用者によって環境報告を信頼できなくなるリスクが高まり、環境報告の有用性は著しく低下します。それを防ぐためには、記載事項について、前提条件、集団範囲、算定方法、原データ等の作成プロセスに関する情報を開示し、前提条件からの論理的な推論や再計算等によって、作成結果の妥当性を検証できるようにすることが必要です。」とされている。

この要求を含め、原子力機構における環境配慮活動の取組を推進する一助とするため、「原子力機構 2016」に掲載したデータの根拠となる詳細データと、他のさまざまな環境配慮活動の関連情報を取りまとめた。

なお、2016 年 4 月から一部の拠点等が国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構へ移管されたが、本報告は 2015 年度データとしてまとめる必要性から、移管前の組織に従い取りまとめた。

2. 省エネルギーへの取組

地球環境を守るためには、限りある資源を有効に活用する必要がある。原子力機構には多数の大型研究開発施設があるため、多くのエネルギーを使用している。そのため、エネルギーの使用量を正確に把握するとともに、省エネルギーに取り組んでいる。

2.1 エネルギー投入量

図1に総エネルギー投入量を、図2に総エネルギー投入量の種類別割合を示す。

2.2 エネルギー削減への取組

原子力機構では、設備を更新する際に省エネルギー効果の高い機器を採用したり、照明のLED化を進めるなどエネルギーの効率的な利用に努めている。また、昼休みの消灯や照明の間引きなど、各部署・施設で可能な方法を工夫して節電に努めている。

【自然エネルギーの利用】

原子力機構では、太陽光発電設備を一部の施設の屋上に設置している。2015年度の総発電量は約23万kWhであった。これは、電力全体の使用量の約0.04%に相当する。量としてはまだわずかであるが、省エネルギーに寄与している。

2.3 電気需要平準化への取組

東日本大震災後の電力需給のひっ迫を契機として、従来の省エネルギー（エネルギー効率の改善、化石燃料の使用の低減）の強化だけでなく、電力需給バランスを意識したエネルギー管理による電気需要の平準化（具体的には、夏期・冬期の昼間の電気需要の低減）を行うことが求められている。

原子力機構では、大量の電気を使用するJ-PARCの施設の保守点検を電気需要が増える夏期に行い、施設の運転を電気需要が減る時期に行うことで電力の使用をシフトさせたり、夏期のピーク時間帯に氷蓄熱式の空調設備や冷凍機を活用するなどして電気需要の平準化に取り組んでいる。

2.4 温室効果ガス排出量

図3に総温室効果ガス排出量を、図4に総温室効果ガス排出量の種類別割合を示す。

【フロン排出抑制法に基づく報告について】

2015年度にフロン回収・破壊法が改正された「フロン排出抑制法」が施行され、空調機器等からのフロン類算定漏えい量がCO₂換算で1,000tを超えた場合、特定漏えい者として漏えい量を国へ報告することが義務付けられた。原子力機構は、2015年度の原子力機構全体のフロン類算定漏えい量がCO₂換算で約2,800tとなり、特定漏えい者となった。

なお、これは、原子力機構全体の総温室効果ガス排出量の約0.7% に相当する。

3. 資源投入

研究開発や施設の運転に際しては、紙などの資源を使用することになるが、資源投入量をできるだけ抑制しつつ、省資源に取り組んでいる。商品購入やサービスを受ける際に、環境への負荷ができるだけ小さいものを優先的に購入する「グリーン購入」と、環境に配慮した資材・機器類を優先的に調達する「グリーン調達」を進めている。また、契約に際し、価格だけではなく環境への負荷を考慮した総合評価により契約先を決定する「グリーン契約」についても実施している。

3.1 コピー用紙

図5にコピー用紙使用量を示す。

原子力機構の2015年度のコピー用紙の使用量は、約230t [A4用紙相当 約5,500万枚] (2014年度：約250t [A4用紙相当 約6,000万枚]) であった。原子力機構では用紙の両面コピー、裏紙利用、電子決裁システム及び電子メールの活用等を推進するとともに、一部の拠点等ではタブレット端末を会議出席者全員で使用したり、画面共有システムで会議資料をTV会議等の画面に表示するなどによって紙資料を用いないペーパーレス会議を実施し、コピー用紙の使用量削減を図っている。

3.2 グリーン購入

表3に主要物品のグリーン購入実績を示す。

「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」(以下「グリーン購入法」という。)は、循環型社会の形成のためには、「再生品等の供給面の取組」に加え、「需要面からの取組が重要である」という観点から、循環型社会形成推進基本法の個別法の一つとして制定された。グリーン購入法は、国等の公的機関が率先して環境物品等(環境負荷低減に資する製品・サービス)の調達を推進するとともに、環境物品等に関する適切な情報提供を促進することにより、需要の転換を図り、持続的発展が可能な社会の構築を推進することを目指している。

2015年度は主要物品について目標達成のための意識の改善に継続して努め、機能・性能上の必要性から指定製品である必要があった物以外は100%の購入率を達成した。

3.3 グリーン調達

表4に主なグリーン調達の実績を示す。

原子力機構は、工事に際して建設資材のグリーン調達(市場に供給される製品・サービスの中から環境への負荷が少ないものを優先的に調達すること。)を進めている。また、排出ガス対策型建設機械、低騒音型建設機械の使用など、2014年度に引き続き環境配慮に努めている。再生加熱アスファルト混合物等の品目については調達率を100%にする

など、調達率の維持・向上に努めている。

3.4 グリーン契約

「国等における温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進に関する法律」（以下「環境配慮契約法（グリーン契約法）」という。）は、契約を結ぶ際に、価格に加えて環境性能を含めて総合的に評価し、最も優れた製品やサービス等を提供する者と契約する仕組みを作ることで、環境保全の努力が経済的にも報われる、新しい経済社会の構築を目指すものである。原子力機構では、温室効果ガス等の排出の削減に配慮した契約の推進を図るために必要な措置を講ずるよう努める他、電力入札における省CO₂化の要素を考慮した方式を取り入れた入札を実施する等、環境配慮契約法に基づく取組を継続して推進している。

4. 原子力機構特有の環境影響とその取組

原子力の研究開発の特徴として放射性廃棄物（固体・液体・気体）の発生がある。原子力機構では、これらについても可能な限り発生量を少なくするよう努めるとともに、クリアランス制度を活用した資源の有効利用を推進している。また、放射性廃棄物（液体・気体）の放出量については、連続して、又は定期的に測定・監視を行い、法令や条例を遵守し、適切に管理している。

4.1 放射性廃棄物の管理

4.1.1 放射性固体廃棄物の管理

表5に放射性固体廃棄物の量を示す。

原子力の研究開発に伴い発生する放射性固体廃棄物は、可能な限り発生量を少なくしており、管理区域から発生する放射性固体廃棄物の一部は、焼却施設等での減量化、物理的・化学的な安定化のための適切な処理を行った後に、廃棄物貯蔵庫等で適切に保管している。

原子力機構の2015年度末の保管総量は、2000ドラム缶換算で約35万本である。

4.1.2 放射性気体廃棄物及び放射性液体廃棄物の管理

表6に原子炉等規制法対象施設、RI使用施設から放出された気体中及び排水中の放射性物質の量を示す。

放射性気体廃棄物の大気への放出については、放出基準等を遵守するよう管理し、その放出量（濃度、量）等を関係行政機関等に報告している。2015年度は管理区域から放出される放射性気体廃棄物の放出量（濃度、量）が法令、保安規定、所在する自治体との安全協定等に定める値を下回っていることを確認した。

放射性液体廃棄物は、放射能濃度とそれぞれの特性に応じ、排水の濃度限度未満の物は直接、それ以上のものはろ過処理・希釈処理等を行った後、放射能濃度を確認して放出している。2015年度は管理区域から放出される放射性液体廃棄物の放出量（濃度、量）が法令、保安規定、所在する自治体との安全協定等に定める放出量（濃度、量）を下回っていることを確認した。なお、一部の拠点の排水中に含まれる放射性物質には、福島第一事故により放出された放射性セシウムが含まれている。

5. 水資源と排水の管理/大気汚染防止

水資源は、原子炉をはじめとする研究開発施設や機器の冷却用などに使用している。

一方、排水に関しては、水質汚濁物質の排出を適切に管理している。また、研究開発や施設の運転に伴い排出される大気汚染物質についても、法令等を遵守し、適切に管理している。

5.1 水資源投入

図6に水資源投入量を、図7に水資源投入量の種類別割合を示す。

原子力機構では、老朽化した水道管を交換して漏水を防ぐなど節水に努めた結果、近年の水資源投入量はほぼ横ばいとなっている。

5.2 排水量

図8に排水量を、図9に排水量の種類別割合を示す。

5.3 水質汚濁物質の排出の管理

研究開発や施設の運転に伴う排水は、定期的なサンプリングにより水質測定を実施し、規制基準を遵守するよう管理している。2015年度は規制基準を超えた事例はなかった。今後とも排水の適切な管理を継続するとともに、万一規制基準を超えた場合は早急かつ適切に対応するよう努める。

5.4 大気汚染物質の定期的な測定

原子力機構では、所有するボイラーや一般廃棄物処理施設（焼却施設）から発生する排気ガスについて、大気汚染防止法等に基づいて定期的な測定を行っており、測定の結果すべて規制基準値以下である。また、ダイオキシン類の排出結果もすべて規制濃度以下である。

原子力機構では、廃棄物の適正な分別や再資源化を推進し、焼却施設での焼却量の減量に努めている。

6. 化学物質等の管理

環境リスクの低減を図るために、環境へ排出される化学物質等を管理することは重要である。研究開発や施設の運転に伴い、様々な化学物質等を使用しており、「特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律」(以下「PRTR 法」という。)対象化学物質及びPCBを含有する廃棄物(PCB 廃棄物)について、適正な管理・保管等を行っている。

6.1 環境へ放出される化学物質の管理 (PRTR 法対象化学物質)

表7にPRTR 法対象化学物質の排出・移動量を示す。

原子力機構では、PRTR 法に基づき、対象化学物質の環境への排出量の削減に努めるとともに、機構内LAN を利用した化学物質の管理システム (PRTRシステム) 等を使用して、対象化学物質の購入・使用・貯蔵等の際の排出・移動量を把握し、安全かつ適正に管理している。

原子力機構は鉱山保安法の対象施設及びダイオキシン類対策特別措置法の特定施設も有している。

今後も化学物質による環境への負荷低減に努めていく。

6.2 PCB 廃棄物の処分の推進

表8にPCB 廃棄物保管量を示す。

原子力機構には古い施設も多いため、特別管理産業廃棄物であるPCB 廃棄物も多数存在している。

「ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法」(「PCB特別措置法」)に基づき、PCB廃棄物の量の把握と適正な保管・管理とともに法令で定められた処理期限までの完了を目指して処分を鋭意進めている。保管しているものは、PCB の漏えい防止処置等を施した保管場所において適正に管理している。

今後も計画的に処分を継続していく。

6.3 吹き付けアスベスト等の使用状況

原子力機構は古い施設も多いため、吹き付けアスベスト等(吹き付けアスベスト、吹き付けロックウール、吹き付けひる石等)を有する施設をはじめ、石綿等が使用されている保温材、耐火被覆材や煙突用断熱材等を有する施設設備も多数有している。これらのアスベストを含有する施設設備や保温材等は全て「損傷、劣化等による石綿等の粉じんの飛散により、ばく露のおそれのないもの」という現状問題のない状態にあり、適切に維持管理を行っている。

今後も、適切な管理に努めていく。

7. 一般・産業廃棄物（放射性廃棄物以外）の削減とリサイクルの推進

研究開発及び施設運転等に伴って発生する一般・産業廃棄物については、3R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に努めている。

7.1 一般廃棄物・産業廃棄物

図 10 に廃棄物排出量(再生利用を除く)を、図 11 に廃棄物の種類別割合を示す。

再生利用を除く廃棄物の排出量については、施設や設備の解体撤去の状況により産業廃棄物の発生量が年度によって大きく増減するなどの理由により、年度によってばらつきがある。原子力機構では今後も再生利用を推進し、廃棄物の排出量の抑制に努めていく。

7.2 再生利用

図 12 に再生利用量を、図 13 に再生利用の種類別割合を示す。

原子力機構では、分別回収の取組を進め、2015 年度は2,000t を有価物や再生資源として回収することができた。今後も、分別を徹底し、資源の循環的な利用に努めていく。

7.3 建設リサイクル

「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（「建設リサイクル法」）では、特定建設資材（コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材）を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、一定規模以上の建設工事について、その受注者等に対し分別解体等及び再資源化等を行うこと、発注者に対し分別解体等の計画等を都道府県知事へ届け出ることを義務付けている。

原子力機構における施設の建設・解体・改造に伴う 2015 年度の建設リサイクル量は、約 1,400 t であった。

8. その他の環境への配慮

施設の運転に伴う騒音や振動、悪臭についても法令や条例等に基づいて適切な測定と管理を行い、規制基準を守り環境を維持している。また敷地内の環境の整備・美化にも取り組んでいる。

8.1 騒音・振動・悪臭に対する管理

原子力機構では、施設を運転するために原動機等を使用するため、地域によって騒音、振動の規制を受ける。その原動機から発生する騒音について、6 拠点等（那珂、NEAT、もんじゅ、ふげん、関西木津、東濃）の敷地境界において測定した結果は、全て騒音規制法や各自治体の県条例の規制基準値以下であった。

また、振動と悪臭については関西木津のみが規制対象になっており、定期的に測定した結果いずれも規制基準値以下であった。

9. まとめ

2015年度の原子力機構における環境パフォーマンスデータを取りまとめた。

2015年度環境基本方針に基づき、2015年度環境目標では「省エネルギーの推進」、「省資源の推進」、「廃棄物の低減」の3項目について目標を掲げ、各拠点等ではこれらを反映した計画を策定して環境配慮活動を推進した。

表9に2015年度環境目標の結果及び評価を示す。

原子力機構は研究開発機関であるため、研究目的等に応じて施設の運転状況が変わり、特に電気エネルギーの使用状況が大きく変化する場合もあり、エネルギー消費原単位の改善は目標を達成できなかった。廃棄物の低減については古紙や産業廃棄物等の分別回収を推進し、特に金属類のリサイクル率は約9割であり、目標を満たしていると考えている。目標が達成できなかったエネルギー消費原単位については、今後は電気の使用の平準化と合わせて適切に検討していく。

原子力機構は事業推進のため必要な投入物資について、これまでも環境に配慮した契約や調達など様々な努力を続け、着実に成果を上げている。大気汚染物質、放射性気体廃棄物等の大気放出、排水、放射性液体廃棄物の排出、さらに騒音、振動、悪臭等についても規制基準を遵守して規制値等を超えた事例はなく、できる限り低減し、環境負荷低減に努めている。

これらのことから総合的にみて原子力機構の事業活動は環境面において効率的かつ適切であり、周辺環境にも配慮する努力を行った、と評価している。今後も環境に配慮した総合的な活動に継続して取り組んでいく。

表 1 2015 年度環境基本方針

平成 27 年度 環境基本方針

平成 27 年 4 月 1 日
日本原子力研究開発機構
理 事 長

機構は原子力の総合的研究開発を進める国立研究開発法人として、原子力科学技術分野における研究開発成果の最大化に取り組みつつ、安全を最優先とした上で、我が国の将来のエネルギーの安定供給、資源の有効利用及び環境負荷の低減・環境汚染の予防などの地球環境の保全を図りつつ、原子力の総合的研究開発を推進する。

平成 27 年度の環境配慮に係る活動に当たっては、以上を踏まえつつ継続的な改善に取り組むこととし、環境配慮管理規程等に基づき基本方針を以下のとおり定める。

- 事業運営に当たっては環境への配慮を優先事項と位置付け、環境保全に関する法令、自治体条例等の要求事項を遵守するとともに、安全確保を図りつつ、省エネルギー、省資源及び廃棄物の低減を図り、地球環境の保全に努める。
- 環境保全に関する情報発信を推進し、国民や地域社会との信頼関係を築くように努める。

以 上

表 2 2015 年度環境目標

平成 27 年度環境目標

平成 27 年 4 月 1 日
安全・核セキュリティ統括部長

日本原子力研究開発機構は、事業運営に当たっては環境への配慮を優先事項と位置付け、環境保全に関する法令、自治体条例等の要求事項を遵守するとともに、安全確保を図りつつ、省エネルギー、省資源及び廃棄物の低減を図り、地球環境の保全に努める。

拠点長等はそれぞれの拠点等における計画等に以下の各目標を含めることとする。

No.	項目	目標
1	省エネルギーの推進	<ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度を開始年度とし平成27年度末に、エネルギー消費原単位を年平均1%以上削減 ・季節及び1日における電気の使用の平準化に資する方策の検討と推進
2	省資源の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・節水の推進
3	廃棄物の低減	<ul style="list-style-type: none"> ・古紙リサイクルを推進 ・分別回収を徹底するとともに、有価物を回収 ・放射性廃棄物の低減を推進

表 3 主要物品のグリーン購入実績(2015 年度)

分野	品名	グリーン購入量	グリーン購入量合計	総購入量	購入率(前年度)(%)
紙類	コピー用紙	227,378 kg	253,548 kg	227,440 kg	100 (100)
	トイレトペーパー	22,035 kg		22,035 kg	100 (100)
	ティッシュペーパー	4,135 kg		4,135 kg	100 (100)
文具類	ファイル	55,728 冊		55,768 冊	100 (100)
	事務用封筒	88,218 枚		88,218 枚	100 (100)
	ノート	3,621 冊		3,621 冊	100 (100)
オフィス家具等	いす、机、棚、収納用什器類	1,302 件		1,303 件	100 (100)
OA機器類	コピー機・プリンター(含:リース・レンタル)	480 台	3,992 台	480 台	100 (100)
	電子計算機(含:リース・レンタル)	2,201 台		2,203 台	100 (100)
	ディスプレイ(含:リース・レンタル)	1,311 台		1,312 台	100 (99)
家電製品	電気冷蔵庫、冷凍庫、冷凍冷蔵庫、TV	53 台	82 台	53 台	100 (100)
	エアコン等	29 台		29 台	100 (91)
照明	LEDランプ及びLED照明器具	598 個		598 個	100 (100)

表 4 主なグリーン調達の実績(2015 年度)

品目名	特定調達物品等数量	類似品等*数量	特定調達物品等調達率(%)
再生加熱アスファルト混合物	1,899 t	0 t	100
再生骨材等	2,394 m ³	0 m ³	100
合板	13,428 m ²		
ビニル系床材	4,756 m ²	0 m ²	100
排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管	98 m	0 m	100
排出ガス対策型建設機械	61 工事	1 工事	98
低騒音型建設機械	63 工事	1 工事	98
透水性舗装	123 m ²		

* 特定調達品目のうち判断の基準を満足しない資機材及び使用目的において当該特定調達品目の代替品となり得る資機材のこと。

表 5 放射性固体廃棄物の量(2015年度)

拠 点 名	年間発生量 (合計)	年間減少量 (合計)	年度末保管量 (合計)
青 森	2	0	1,079
原 科 研	2,612	1,597	128,559
サイクル研	2,353	1,929	147,416
大 洗	286	0	31,857
那 珂	19	0	864
高 崎	17	0	547
もんじゅ	308	0	6,224
ふ げ ん	227	193	19,048
人 形	245	115	16,734
合 計	6,069	3,834	352,328

* 単位：本（200 ℓ ドラム缶換算）

表 6 原子炉等規制法対象施設、RI 使用施設から放出された
気体中及び排水中の放射性物質の量(2015 年度)

放射性気体廃棄物の年間放出量(G Bq/年)					放射性液体廃棄物の年間放出量(G Bq/年)		
拠点名	トリチウム(³ H)	放射性希ガス	ヨウ素(¹³¹ I)	全粒子状物質	拠点名	トリチウム	トリチウム以外の核種総量
青 森	0.0036	—	—	ND	青 森	放出実績なし	放出実績なし
原科研	340	510	ND	0.017	原科研	260	0.21
サイクル研	200	4.2	ND	ND	サイクル研	250	0.00013
大 洗	—	—	—	—	大 洗	5.7	—
もんじゅ	0.24	ND	ND	ND	那 珂	ND	—
ふげん	27	ND	ND	ND	もんじゅ	0.025	ND
人 形	/	/	/	—	ふげん	610	ND
					人 形	/	—

注) 各拠点の施設では上記以外の放射性物質の測定も行っているが、法令等に定める値を下回っていた。

ND は、対象核種が検出されなかったことを示す。

濃度管理での放出も行っており、これにより総量が不明なものは「—」で表記している。

表 7 PRTR 法対象化学物質の排出・移動量(2015 年度)

拠点名	物質名 ^{注1)}	取扱量 [t]	排出量 ^{注2)}		移動量 ^{注2)}
			大気	公共用水域	その他事業所外 への移動
原 科 研	トリクロロフルオロメタン	1.1	249kg	—	—
サイクル研	メチルナフタレン	71.2	360kg	—	—
大 洗	ダイオキシン類 ^{*2}	—	0.0024mg-TEQ	—	—
	メチルナフタレン	15.6	78kg	—	—
那 珂	メチルナフタレン	6.09	30.5g	—	—
高 崎	メチルナフタレン	2.3	12kg	—	—
東 濃	亜鉛の水溶性化合物 ^{*1}	—	—	0.07kg	—
	銅水溶性塩(錯塩を除く。)	—	—	0.004kg	—
	ふっ化水素及びその水溶性塩 ^{*1)}	—	—	1kg	—
	マンガン及びその化合物 ^{*1}	—	—	0.7kg	—
もんじゅ	ダイオキシン類 ^{*2}	—	0.087mg-TEQ	—	0.067mg-TEQ
ふ げ ん	キシレン	2.3	—	—	—
	1,2,4-トリメチルベンゼン	2.4	—	—	—
人 形 ^{注3)}	亜鉛の水溶性化合物 ^{*1}	—	—	0.2kg	—
	ふっ化水素及びその水溶性塩 ^{*1}	—	—	4.7kg	—
	マンガン及びその化合物 ^{*1}	—	—	48kg	—
	メチルナフタレン	9.471	47kg	—	—

注1) *1 : 鉱山保安法の対象施設の場合

*2 : ダイオキシン類対策特別措置法上の特定施設の場合

それ以外は第 1 種指定化学物質の年間取扱量 1t 以上の場合。ただし特定第 1 種指定化学物質の場合は年間取扱量 0.5t 以上の場合

注2) 単位: kg(ダイオキシンは mg-TEQ)

注3) 人形峠鉱山では、上記以外にも届出を行っているが、排出量、移動量は全て検出していないことを確認している。

表8 PCB廃棄物保管量(2016年3月末)

単位:台

拠点名	トランス	コンデンサ	安定器	その他	小 合 計
青 森	—	—	146(146)	—	146(146)
原 科 研	39(0)	664(17)	2,192(2,192)	29(2)	2,924(2,211)
サイクル研	12(0)	660(71)	202(162)	18(0)	892(233)
大 洗	67(0)	192(3)	2,236(2,236)	115(1)	2,610(2,240)
那 珂	7(0)	11(0)	—	—	18(0)
高 崎	3(0)	—	—	—	3(0)
関 西 研	3(0)	—	18(0)	3(0)	24(0)
人 形	—	7(0)	—	1(0)	8(0)
全 体	131(0)	1,534(91)	4,794(4,736)	166(3)	6,625(4,830)

注1) 上記以外に、PCB 廃液、PCB 付着物などのさまざまな形態・容器に入れられたものが含まれる。()内は内数として高濃度 PCB の台数を示す。

注2) 高濃度 PCB とは、1972 年に PCB の製造が中止される以前に、PCB を意図的に絶縁油として使用したもので、トランスで PCB 濃度が 50～60% (500,000～600,000mg/kg)、コンデンサで 100% (1,000,000mg/kg) となっている。

表 9 2015 年度環境目標の結果及び評価について

No	項目	2015 年度環境目標	結果	結果の分析	評価
1	省エネルギーの推進	2012 年度を開始年度とし 2015 年度末に、エネルギー消費原単位を年平均 1 % 以上削減	2012 年度を開始年度とした 2015 年度末までの前年度比の年平均は約 100.5 %。削減率は 1.5 % 目標に届かなかった。	2012 年度からの各年度の前年度比はほぼ前年度と同程度の結果のため、目標に届かなかった。2015 年度実績では六ヶ所、那珂などの前年度比の大きな拠点があつたため、原科研などが前年度比が向上したものの吸収しきれず、機構全体の前年度比が大きく改善しなかった。なお六ヶ所、那珂を除くと 2015 年度対前年度比は約 95.5% となり、4 年度間平均は 99.1% となる。	目標は未達成
		季節及び 1 日における電気の使用の平準化に資する方策の検討と推進	電気需要平準化評価原単位の 2015 年度の対前年度比は 99.8% であり、わずかだが前年度より向上した。	一部の拠点(六ヶ所、那珂)で対前年度比が大きく、他の前年度から改善できなかった拠点等の影響もあり全体としてはわずかな減少となったが、エネルギーの支配的な拠点(原科研、サイクル研、大洗)を中心に 1% 以上の対前年度比を達成した拠点も多く、平準化への検討と推進の成果と考えられる。	平準化推進の成果が現れている。
2	省資源の推進	節水の推進	水資源の総投入量の 2015 年度の 2014 年度との対前年度比は 95.3% で約 5% 減少	節水努力をこれまで継続し、可能な対応は既に行ってきた結果、水資源投入量は近年ほぼ横ばい	節水努力を継続中
3	廃棄物の低減	古紙リサイクルを推進	2015 年度古紙リサイクル量である「古紙再生利用量+古紙有価物払い出し量」は 2014 年度比で約 0.88 倍 (353t (2015) / 399t (2014) = 0.88) (399t (2014) / 369t (2013) = 1.08)	コピー用紙使用量の 2014 年度比は約 92% であり、紙資源の投入量の減少とも相関があると考えられる。(払い出す古紙には新聞雑誌その他紙類等が含まれるためコピー用紙の使用量の変化と一致しない。)	リサイクルは継続実施中
		分別回収を徹底するとともに、有価物を回収	分別回収の進展によりリサイクル率は 2015 年度で金属類については約 89% そのうち金属類を有価物として払い出ししている割合は約 99% 再生利用している古紙のうち、有価物としている割合は約 86% (302t / 353t = 0.86) 廃棄物全体では約 64% を再利用	廃棄物全体としては近年約 6 割の再利用を継続中 PCB 廃棄物の処分を進め、変圧器 18 台、コンデンサ 3 台を処分 金属や古紙については近年約 8 割以上のリサイクル率を維持しており、資源(有価物)であるとの意識が定着している。	資源として回収し、有価物への転用を継続推進中 PCB 廃棄物処理分を推進中
		放射性廃棄物の低減を推進	放射性固体廃棄物は発生量と減少量との関係から 2014 年度より保管量は 2,231 本増加(ドラム缶換算) トリチウムに関しては気体と液体の放出合計量では 2014 年度より減少 クリアランスの作業を推進	固体は昨年度に比して発生量が増えた割に減少量が減った。 参考として総保管量で 2013 年度→2014 年度: 812 本増 2012 年度→2013 年度: 2,511 本減 トリチウムは 2014 年度: 1,914GBq、 2015 年度: 1,702GBq 放射性希ガス排出量は 2014 年度比約 71% 人形峠にて 10.6t の金属の除染・測定等クリアランス作業を進め、2016 年 3 月に確認申請を実施	放射性廃棄物低減を総合的に推進

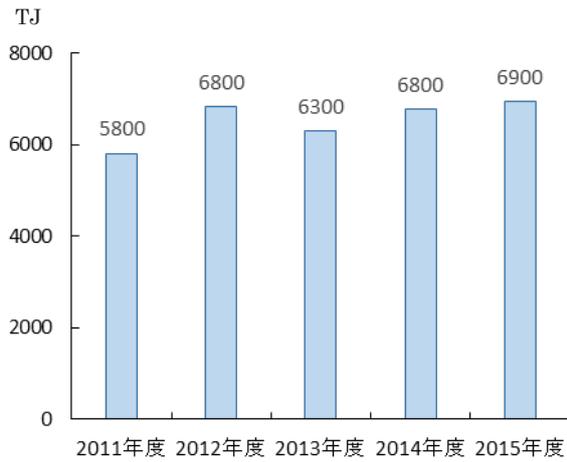


図1 総エネルギー投入量

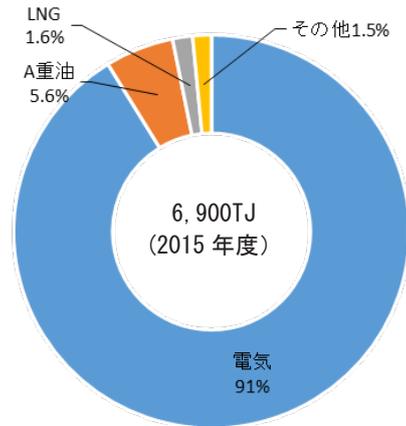


図2 総エネルギー投入量の種類別割合
(2015年度)

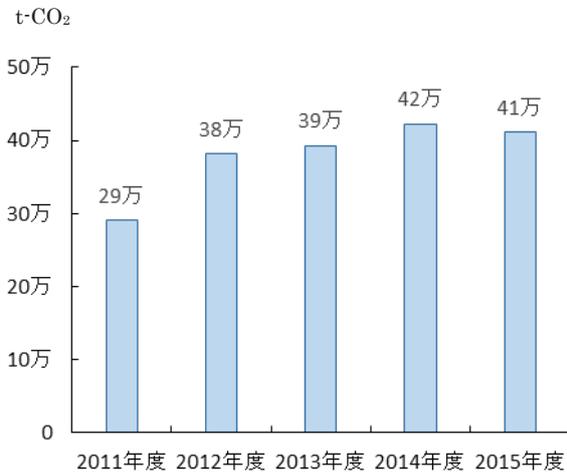


図3 総温室効果ガス排出量

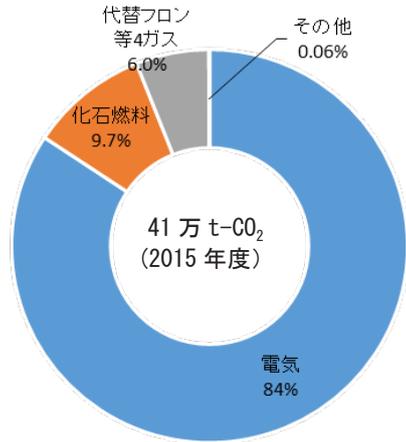


図4 総温室効果ガス排出量の種類別割合
(2015年度)

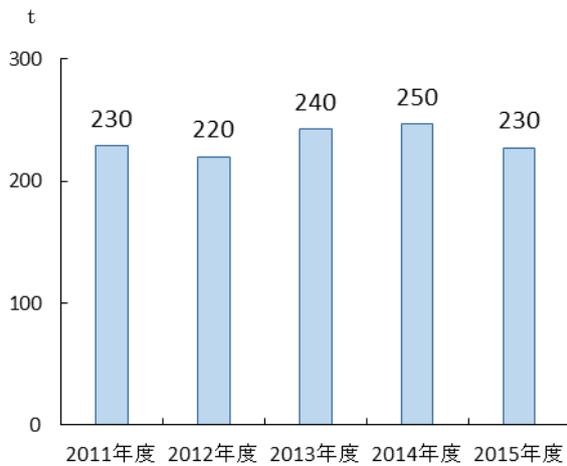


図5 コピー用紙使用量

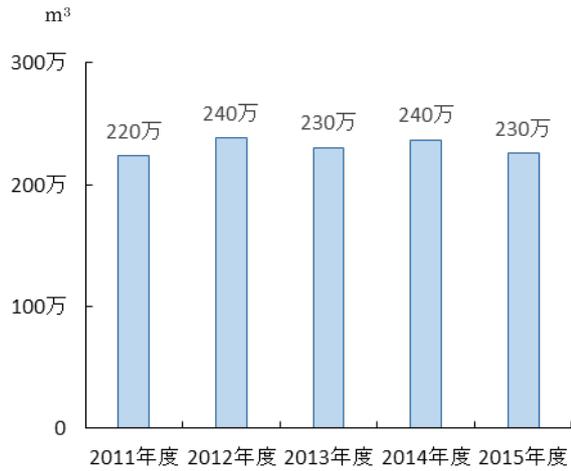


図 6 水資源投入量

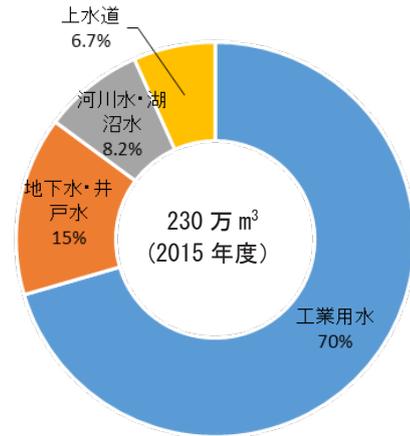


図 7 水資源投入量の種類別割合 (2015年度)

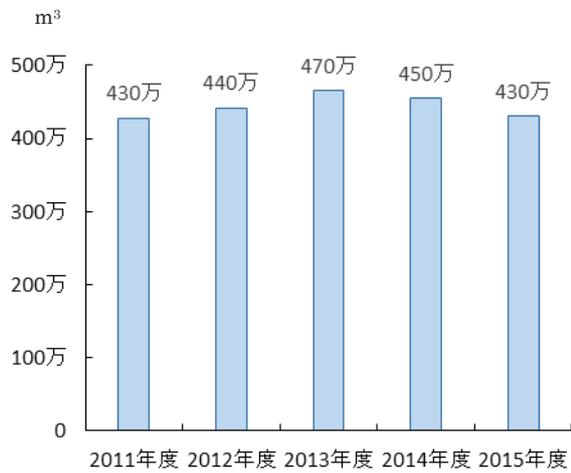


図 8 排水量

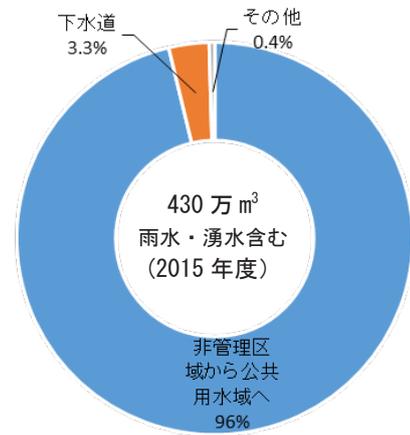


図 9 排水量の種類別割合 (2015年度)

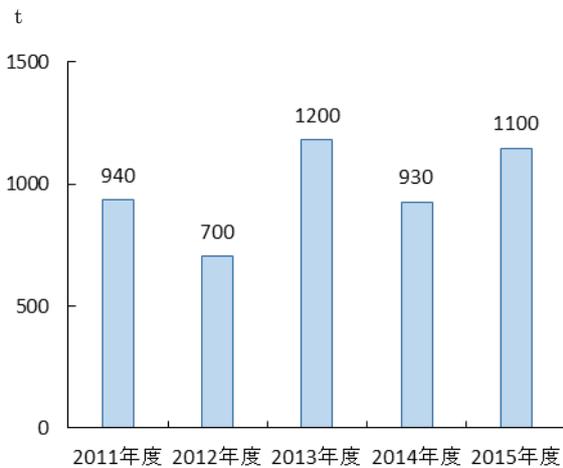


図 10 廃棄物排出量(再生利用を除く)

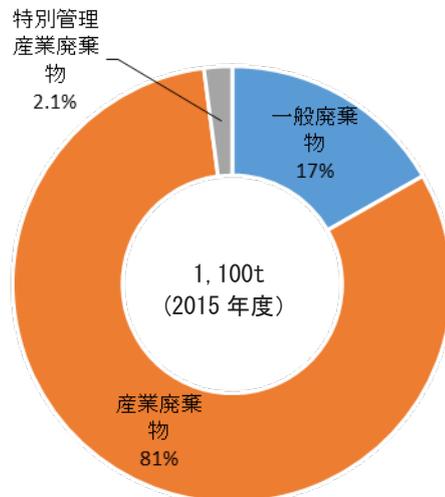


図 11 廃棄物の種類別割合 (2015年度)

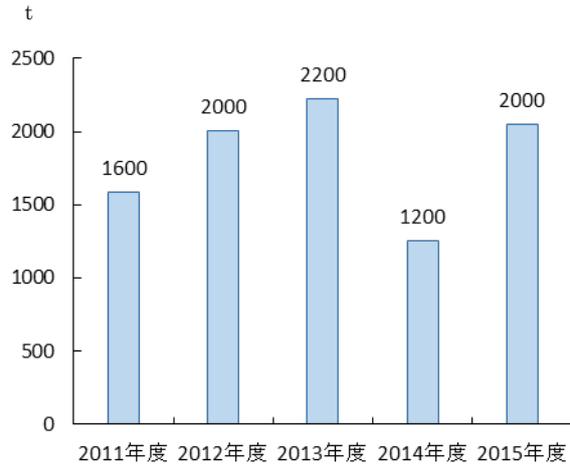


図 12 再生利用量

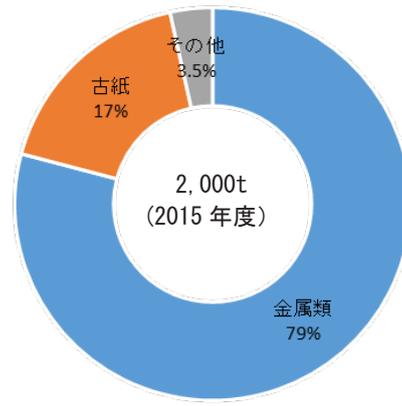


図 13 再生利用の種類別割合
(2015 年度)

付録 A.

環境配慮活動の取組に関する詳細データ

表 リ ス ト

(省エネルギーの推進)

表A-1-1	各拠点等でのエネルギー消費原単位算出の比較 (2015年度) ……………	22
表A-1-2	各拠点等での電気需要平準化評価原単位算出の比較 (2015年度) ……	23
表A-1-3	エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由と過去5年間の原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由 (2015年度) ……………	24
表A-1-4	電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由 (2015年度) ……………	25
表A-1-5	電気使用量拠点別割合と推移 (2015年度) ……………	26
表A-1-6	化石エネルギー投入量拠点別割合と推移 (2015年度) ……………	27
表A-1-7	省エネへの各拠点等の取組計画 (2015年度) ……………	28
表A-1-8	各拠点等のエネルギー消費原単位の年度推移……………	30

(省資源の推進)

表A-2-1	水資源投入量の拠点別割合と内訳 (2015年度) ……………	31
表A-2-2	水資源投入量の年度推移 ……………	32
表A-2-3	水資源増減の理由及び取組内容 (2015年度) ……………	33

(廃棄物の低減)

表A-3-1	廃棄物・再生利用物・有価物の排出量の年度推移と金属リサイクル率	34
表A-3-2	主要な PCB 廃棄物等 (微量な PCB で汚染された物を含む) の 2015 年度末時点保管量と 2015 年度までの処分済み累積実績量……………	35
表A-3-3	放射性廃棄物量 (固体、気体、液体) の年度推移……………	36

(地球温暖化対策の推進)

表A-4-1	総温室効果ガス排出量拠点別割合と推移 (フロン排出抑制法に基づき集計したフロン漏えい量を含む) (2015年度) ……………	37
表A-4-2	拠点別エネルギー起源 CO ₂ 排出量 (2015年度) ……………	38
表A-4-3	代替フロン等 4 ガスの拠点別割合と推移 (2015年) ……………	39
表A-4-4	代替フロン等 4 ガス増減の理由及び取組内容 (2015年) ……………	40
表A-4-5	総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移……………	41
表A-4-6	拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量と漏えい理由、削減取組み (2015年度) ……………	42

(その他)

表A-5	ISO14001 認証取得状況 (2016年3月末時点) ……………	43
表A-6	環境マネジメントシステム (EMS) の構築、運用状況 (2015年度) ……	44
表A-7	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況 (2015年度) ……	44
表A-8	清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況 (2015年度) ……	45

表A-9 緑化・植林・植樹・花壇の整備等の取組（2015年度）	46
表A-10 環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等（2015年度）	47

注記)

表中の数値は四捨五入による端数処理をして表記した。そのため、個々の数値を合算した数値と表記されている合計値とが一致しない場合がある。

表A-1-1 各拠点等でのエネルギー消費原単位算出の比較(2015年度)

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	エネルギーの使用量 (原油換算 kℓ) A=C	Cの構成 割合 % D	エネルギーの使用量と密 接な関係を持つ値 E	エネルギーの使用に係 る原単位 F=A/E	エネルギーの使用に係 る前年度の 原単位 G	エネルギーの使用に係る原 単位の対前年 度比 (%) H=F/G*100	エネルギーの使用に係る原 単位の対前年 度比の寄与度 (%) I=D*H/100	備考
1	福島環境安全センター	エネルギー使用量/床面積	56	0.03	1693	0.03308	0.03131	105.7	0.0	H27.10から移転のため、延床面積が1693㎡から2063㎡に変更になった。
	福島研究基盤創生センター	エネルギー使用量/床面積	69	0.04	1005	0.06866				
	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	37167	20.76	398,350	0.09330	0.09486	98.4	20.4	
	那珂研	エネルギー使用量/床面積	9966	5.57	99,111	0.1006	0.07848	128.1	7.1	
	人形	エネルギー使用量/床面積	4064	2.27	72,267	0.05624	0.05370	104.7	2.4	
	ふげん	エネルギー使用量/床面積	6271	3.50	42,820	0.1465	0.1526	96.0	3.4	
	高崎研	エネルギー使用量/床面積	3865	2.16	37,600	0.1028	0.09854	104.3	2.3	
	青森(むつ)	エネルギー使用量/床面積	486	0.27	11,155	0.04357	0.04608	94.6	0.3	
	東濃	エネルギー使用量/床面積	368	0.21	7,260	0.05069	0.05289	95.8	0.2	
	幌延	エネルギー使用量/床面積	161	0.09	6,446	0.02498	0.02280	109.6	0.1	
	NEAT	エネルギー使用量/床面積	175	0.10	5,245	0.03337	0.03260	102.3	0.1	
	関西研(木津)	エネルギー使用量/床面積	1712	0.96	21,592	0.07929	0.08387	94.5	0.9	
	も運研	エネルギー使用量/床面積	379	0.21	9,565	0.03962	0.03847	103.0	0.2	
	関西研(播磨)	エネルギー使用量/床面積	357	0.20	5,282	0.06759	0.07421	91.1	0.2	
小計	—	65,096	36.35	719,391	0.09049	0.08859	102.1	①	37.1	
2	原科研(J-P ARC含む)	エネルギー使用量/(床面積×係数) 基準原単位は、基準年度を平成21年度、建家名を「NUCEF」とし、その生産数量等の単位は延床面積(m ²)とする。NUCEFの換算係数は基準となるため「1」とする。 ①エネルギー使用量が施設の運転/停止による影響が大きく、運転状況によってエネルギー使用量が大きく変動する施設 → 生産数量等：運転時間(h) ②エネルギー使用量が施設の運転状況による影響が比較的少ない施設またはエネルギー使用量が少ない施設 → 生産数量等：延床面積(m ²) ③生産する処理水量がエネルギー使用量に直接影響する施設 → 生産数量等：処理水量(m ³) ④計算機設備容量及び運転日数の変化が大きい計算機設備 → 生産数量等：計算機設備容量×運転日数	69,552	38.84	445,700	0.1561	0.1752	89.1	②	34.6
3	青森(六ヶ所)	エネルギー使用量/(床面積×係数) 計算機・遠隔実験棟施設は、計算機の稼働及び利用の100%使用時を係数として1とした。また、その他施設は予想電力及び電力量の100%使用時を係数として1とした。 ①計算機・遠隔実験棟施設 → 生産数量等：床面積×稼働率×利用率(m ²) ②その他施設 → 生産数量等：床面積×負荷率×利用率(m ²)	5,508	3.08	9,012	0.6112	0.3027	201.9	③	6.2
4	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量 理論上のエネルギー使用量を、「あるべき電力量kℓ(18,816)」と「あるべき軽油使用量kℓ(1,897)」の合計として、「20,713」とする。	20,901	11.67	20,603	1.014	0.9881	102.7	④	12.0
5	大洗	エネルギー使用量/時間 基準年度(H16)の「常陽」の原単位を「1」として、他施設の原単位との比を求め、この比に当該年度の生産数量を掛けて基準年度の常陽の生産数量(単位は時間)に換算する。換算した生産数量の合計を分母とする。	17,433	9.74	15,986	1.091	1.108	98.5	⑤	9.6
6	福島事業管理部	エネルギー使用量/床面積	24	0.01	1,136	0.02113				
	本部	エネルギー使用量/床面積	190	0.11	9,394	0.02023				
	旧本部	エネルギー使用量/床面積	92	0.05	5,793	0.01588	0.03487	45.5	0.0	
	東京	エネルギー使用量/床面積	59	0.03	2,187	0.02698	0.03018	89.4	0.0	
	柏	エネルギー使用量/床面積	38	0.02	759	0.05007	0.04464	112.1	0.0	
	敦賀	エネルギー使用量/床面積	171	0.10	3,572	0.04787	0.05319	90.0	0.1	
小計	—	574	0.32	22,841	0.02513	0.03896	64.5	⑥	0.2	
合計	—	179,064	100.00	—	—	—	—	—	—	
事業者全体								Z=①+②+③+④+⑤+⑥	99.7	

表A-1-2 各拠点等での電気需要平準化評価原単位算出の比較(2015年度)

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	エネルギーの使用量(原油換算kℓ) A	電気需要平準化時間帯の買電量(原油換算kℓ) A'	$C' = A + A' * (1.3 - 1.0)$	Cの構成割合 % D	エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値 E	電気需要平準化評価原単位 $F=C/E$	前年度の電気需要平準化評価原単位 G'	電気需要平準化評価原単位の対前年度比(%) $H=F'/G*100$	エネルギーの使用に係る原単位の対前年度比の寄与度(%) $I=D*H/100$	
1	福島環境安全センター	エネルギー使用量/床面積	56	30	65	0.03	1693	0.03839	0.03627	105.9	0.03	
	福島研究基盤創生センター	エネルギー使用量/床面積	69	59	87	0.04	1,005	0.08627				
	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	37.167	9,053	39,883	20.76	398,350	0.1001	0.1018	98.3	20.4	
	那珂研	エネルギー使用量/床面積	9,966	3,037	10,877	5.57	99,111	0.1097	0.08728	125.7	7.0	
	人形	エネルギー使用量/床面積	4,064	990	4,361	2.27	72,267	0.06034	0.05769	104.6	2.4	
	ふげん	エネルギー使用量/床面積	6,271	2,395	6,990	3.50	42,820	0.1632	0.1697	96.2	3.4	
	高崎研	エネルギー使用量/床面積	3,865	1,324	4,262	2.16	37,600	0.1134	0.1082	104.8	2.3	
	青森(むつ)	エネルギー使用量/床面積	486	171	537	0.27	11,155	0.04817	0.05382	89.5	0.2	
	東濃	エネルギー使用量/床面積	368	217	433	0.21	7,260	0.05966	0.06219	95.9	0.2	
	幌延	エネルギー使用量/床面積	161	80	185	0.09	6,446	0.02870	0.02597	110.5	0.1	
	NEAT	エネルギー使用量/床面積	175	74	197	0.10	5,245	0.03760	0.03678	102.2	0.1	
	関西研(木津)	エネルギー使用量/床面積	1,712	578	1,885	0.96	21,592	0.08732	0.09227	94.6	0.9	
	も運研	エネルギー使用量/床面積	379	162	428	0.21	9,565	0.04470	0.04365	102.4	0.2	
	関西研(播磨)	エネルギー使用量/床面積	357	115	392	0.20	5,282	0.07412	0.08171	90.7	0.2	
小計	—	65,096	18,285	70,581	36.35	719,391	0.09811	0.09624	101.9	①	37.1	
2	原科研(J-PARC含む)	エネルギー使用量/(床面積×係数) 基準原単位は、基準年度を平成21年度、建家名を「NUCEF」とし、その生産数量等の単位は延床面積(m ²)とする。NUCEFの換算係数は基準となるため“1”とする。 ①エネルギー使用量が施設の運転/停止による影響が大で、運転状況によってエネルギー使用量が大きく変動する施設 → 生産数量等：運転時間(h) ②エネルギー使用量が施設の運転状況による影響が比較的少ない施設またはエネルギー使用量が少ない施設 → 生産数量等：延床面積(m ²) ③生産する処理水量がエネルギー使用量に直接影響する施設 → 生産数量等：処理水量(m ³) ④計算機設備容量及び運転日数の変化が大きい計算機設備 → 生産数量等：計算機設備容量×運転日数	69,552	20,452	75,688	38.84	445,700	0.1698	0.1898	89.5	②	34.8
3	青森(六ヶ所)	エネルギー使用量/(床面積×係数) 計算機・遠隔実験棟施設は、計算機の稼働及び利用の100%使用時を係数として1とした。また、その他施設は予想電力及び電力量の100%使用時を係数として1とした。 ①計算機・遠隔実験棟施設 → 生産数量等：床面積×稼働率×利用率(m ³) ②その他施設 → 生産数量等：床面積×負荷率×使用率(m ³)	5,508	1,935	6,089	3.08	9,012	0.6756	0.3361	201.0	③	6.2
4	もんじゅ	エネルギー使用量/理論上のエネルギー使用量 理論上のエネルギー使用量を、「あるべき電力量 kℓ(18,816)」と「あるべき軽油使用量 kℓ(1,897)」の合計として、「20,713」とする。	20,901	6,523	22,858	11.67	20,603	1.109	1.081	102.7	④	12.0
5	大洗	エネルギー使用量/時間 基準年度(H16)の「常陽」の原単位を「1」として、他施設の原単位との比を求め、この比に当該年度の生産数量を掛けて基準年度の常陽の生産数量(単位は時間)に換算する。換算した生産数量の合計を分母とする。	17,433	6,042	19,246	9.74	15,986	1.204	1.225	98.3	⑤	9.6
6	福島事業管理部	エネルギー使用量/床面積	24	15	29	0.01	1,136	0.02509				
	本部	エネルギー使用量/床面積	190	127	228	0.11	9,394	0.02428				
	旧本部	エネルギー使用量/床面積	92	47	106	0.05	5,793	0.01832	0.03979	46.0	0.0	
	東京	エネルギー使用量/床面積	59	32	69	0.03	2,187	0.03137	0.03484	90.0	0.0	
	柏	エネルギー使用量/床面積	38	23	45	0.02	759	0.05916	0.05301	111.6	0.0	
	敦賀	エネルギー使用量/床面積	171	95	200	0.10	3,572	0.05585	0.06151	90.8	0.1	
小計	—	574	339	676	0.32	22,841	0.02958	0.04493	65.8	⑥	0.2	
計	—	179,064	53,576	195,137	100.00	—	—	—	—	Z=(①+②+③+④+⑤+⑥) 99.8	—	

表A-1-3 エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由と過去5年間の原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由(2015年度)

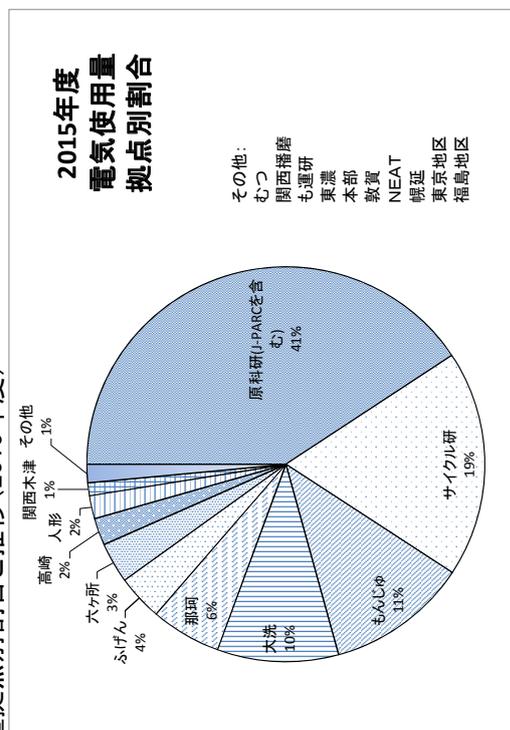
拠点名	エネルギーの使用に係る原単位				エネルギーの使用に係る原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由	過去5年間のエネルギー使用に係る原単位が年平均1%以上改善できなかった場合の理由
	H26年度	H27年度	対前年度比(%)	5年度間平均原単位変化		
福島環境安全センター	0.03131	0.03308	105.7			
福島研究基盤創生センター		0.06866				
サイクル研	0.09486	0.09330	98.4	100.2		平成27年度の原単位は、前年度に比べ1.6%の減少となったが、震災後の設備再稼働により平成24年度の原単位が大幅に増加したため、年平均1%以上の改善は達成できなかった。 なお、その他の理由として、過去5年度間に以下の運転等を行った。 ・溶融炉(KMOC)試験(H23,H24年度) ・給電停止を伴う特高点検(3年毎)時の非常用発電機運転が、対象となる5年間に2度実施された。(H24,H27年度) ・環境技術開発センターにおけるガス化燃焼処理試験(H25年度) ・再処理技術開発センター及びプルトニウム燃料技術開発センターの焼却炉運転日数の増加(H25年度)
那珂研	0.07848	0.1006	128.1		超伝導試験装置の稼働日数が増加したためである。	
人形	0.05370	0.05624	104.7	100.6	・ウラン濃縮原型プラントにおける滞留ウラン除去試験を実施したこと並びに設備の解体撤去作業において、作業環境管理のため、停止していた一部の設備(給排気設備等)を稼働させた。その結果、原単位を対前年度に比べ改善できなかった。	・ウラン濃縮原型プラントにおける滞留ウラン除去試験を実施したこと並びに設備の解体撤去作業において、作業環境管理のため、停止していた一部の設備(給排気設備等)を稼働させた。その結果、年平均1%以上改善できなかった。
ふげん	0.1526	0.1465	96.0	93.4		
高崎研	0.09854	0.1028	104.3			
青森(むつ)	0.04608	0.04357	94.6			
東濃	0.05289	0.05069	95.8			
幌延	0.02280	0.02498	109.6		前年度に比べて、1~2月の融雪電力が増えた。また、10月に大型計算機が設置され、それに合わせて、計算機室内の空調機も増設されたため。	
NEAT	0.03260	0.03337	102.3		平成27年4月、組織改正に伴い航空機モニタリング支援準備室ができ、人員の増加により新たに会議室を居室として使用することになったこと、新規受託案件の増加に伴い同様に会議室を間仕切りして居室として使用することになったことから、エネルギーの使用量が前年度より増加になり、節約は行ったがエネルギーの使用に係る原単位が増加した。	
関西研(木津)	0.08387	0.07929	94.5			
も運研	0.03847	0.03962	103.0		ナトリウム工学研究施設が竣工し、H27年末から年度末にかけて、ナトリウムを昇温させるなどの機能確認試験を実施し、電気使用量が増加したため。	
関西研(播磨)	0.07421	0.06759	91.1			
原科研(J-PARC含む)	0.1752	0.1561	89.1	105.1		一般施設などではエネルギーの使用削減努力を行い毎年度削減されているが、J-PARCを含めたエネルギー使用量が多い研究施設は、実験計画の進捗によりエネルギー使用量の影響が大きい。 平成23年度は震災の影響により施設の運転が計画通りできなかったため、エネルギー使用量が減少したが、平成24年度以降は、施設・設備の運転時間の増加、また平成26年度にはJ-PARC初段加速器の増強によりエネルギー使用量が増加した。そのため、過去5年度間では、必要な実験等の関係から原単位が増加した。
青森(六ヶ所)	0.3027	0.6112	201.9		六ヶ所地区の原単位は、消費エネルギー全体の98.4%を占めている電力量に左右される。 平成27年度における六ヶ所地区の電力使用量は、計算機・遠隔実験棟のスパコン利用増加(4%増)及びIFMIF/EVEDA開発試験棟に設置を進めている加速器等実験装置の調整運転を実施したこと、前年度と比較し六ヶ所地区の電力使用量が昨年度より約7%増となった。(加速器等実験装置の据付は完了していない) さらに、計算機・遠隔実験棟以外の施設の負荷率が昨年度より減少し、エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値が約4%減となったため、原単位が大幅に増加した。	
もんじゅ	0.9881	1.014	102.7	99.8	当事業所で使用するエネルギーは、原子炉施設及び運営管理で使われる。前者は、原子炉施設の安全を維持するために必須のエネルギーである。後者については、これまで通り削減努力を継続してきたが、全エネルギー使用量に対する割合は小さく、削減状況が頭打ちになってきている。	当事業所で使用するエネルギーは、原子炉施設及び運営管理で使われる。前者は、原子炉施設の安全を維持するために必須のエネルギーである。後者については、これまで通り削減努力を継続してきたが、全エネルギー使用量に対する割合は小さく、削減状況が頭打ちになってきている。
大洗	1.108	1.091	98.5	99.6		平成24年度は、東日本大震災からの復旧に伴い各施設(研究炉を除く)が通常運転となり、センター全体のエネルギー使用量が震災の影響を受けた平成23年度と比較し増加したため、原単位の対前年度比が①103.3%と大幅に上昇した。この①値が過去5年度間の原単位変化に影響し、5年度間平均原単位変化が99.6%となり、年平均1%以上改善できなかった。なお、施設の稼働が定常化した平成24年度以降、エネルギー消費原単位は、確実に低下傾向にあり改善が図られている。
福島事業管理部		0.02113				
本部		0.02023				
旧本部	0.03487	0.01588	45.5			
東京	0.03018	0.02698	89.4			
柏	0.04464	0.05007	112.1		業務量は平成26年度とほぼ同じだったが、柏キャンパスから駅前サテライトへの移転に伴い床面積が896㎡から759㎡に縮小されたため。	
敦賀	0.05319	0.04787	90.0			

表A-1-4 電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由(2015年度)

拠点名	電気需要平準化評価原単位				電気需要平準化評価原単位が前年度に比べ改善できなかった場合の理由
	H26年度	H27年度	対前年度比 (%)	5年度間平均原単位変化	
福島環境安全センター	0.03627	0.03839	105.9		
福島研究基盤創生センター		0.08627			
サイクル研	0.1018	0.1001	98.3		
那珂研	0.08728	0.1097	125.7		超伝導試験装置の稼働日数が増加したためである。
人形	0.05769	0.06034	104.6		・ウラン濃縮原型プラントにおける滞留ウラン除去試験を実施したこと並びに設備の解体撤去作業において、作業環境管理のため、停止していた一部の設備(給排気設備等)を稼働させた。その結果、原単位を対前年度に比べ改善できなかった。
ふげん	0.1697	0.1632	96.2		
高崎研	0.1082	0.1134	104.8		
青森(むつ)	0.05382	0.04817	89.5		
東濃	0.06219	0.05966	95.9		
幌延	0.02597	0.02870	110.5		前年度に比べて、1~2月の融雪電力が増えた。また、10月に大型計算機が設置され、それに合わせて、計算機室内の空調機も増設されたため。
NEAT	0.03678	0.03760	102.2		平成27年4月、組織改正に伴い航空機モニタリング支援準備室ができ、人員の増加により新たに会議室を居室として使用することになったことと、新規受託案件の増加に伴い同様に会議室を間仕切りして居室として使用することになったことから、電気の使用量が前年度より増加になり、節約は行ったが電気の使用に係る原単位が増加になった。
関西研(木津)	0.09227	0.08732	94.6		
も運研	0.04365	0.04470	102.4		ナトリウム工学研究施設が竣工し、ナトリウムを昇温させるなどの機能確認試験を平準化時間帯(午前8時~午後10時)に実施し、電気使用量が増加したため。
関西研(播磨)	0.08171	0.07412	90.7		
原科研(J-PARC含む)	0.1898	0.1698	89.5		
青森(六ヶ所)	0.3361	0.6756	201.0		六ヶ所地区の原単位は、消費エネルギー全体の98.4%を占めている電力量に左右される。平成27年度における六ヶ所地区の電力使用量は、計算機・遠隔実験棟のスパコン利用増加(4%増)及びIFMIF/EVEDA開発試験棟に設置を進めている加速器等実験装置の調整運転を実施したことで、前年度と比較し六ヶ所地区の電力使用量が昨年度より約7%増となった。(加速器等実験装置の据付は完了していない)さらに、計算機・遠隔実験棟以外の施設の負荷率が昨年度より減少し、エネルギーの使用量と密接な関係を持つ値が約47%減となったため、原単位が大幅に増加した。
もんじゅ	1.081	1.109	102.7		当事業所で使用するエネルギーは、原子炉施設及び運営管理で使われる。前者は、原子炉施設の安全を維持するために必須のエネルギーである。後者については、これまで通り削減努力を継続してきたが、全エネルギー使用量に対する割合は小さく、削減状況が頭打ちになってきている。
大洗	1.225	1.204	98.3		
福島事業管理部		0.02509			
本部		0.02428			
旧本部	0.03979	0.01832	46.0		
東京	0.03484	0.03137	90.0		
柏	0.05301	0.05916	111.6		業務量は平成26年度とほぼ同じだったが、柏キャンパスから駅前サテライトへの移転に伴い床面積が896㎡から759㎡に縮小されたため。
敦賀	0.06151	0.05585	90.8		

表A-1-5 電気使用量拠点別割合と推移(2015年度)

拠点名	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	全体に占める 割合(%)	電気事業者名
原科研 (J-PARCを含む)	254,810,343	266,322,567	104.5	40.7	東京電力
サイクル研	123,864,475	121,179,277	97.8	18.5	東京電力
もんじゅ	76,597,680	75,306,640	98.3	11.5	北陸電力
大洗	65,327,191	64,442,553	98.6	9.8	東京電力 F-Power 丸紅
那珂	28,765,703	37,407,447	130.0	5.7	東京電力
ふげん	25,298,640	24,391,800	96.4	3.7	北陸電力
六ヶ所	20,249,918	21,688,049	107.1	3.3	東北電力
高崎	13,720,681	14,498,848	105.7	2.2	F-Power
人形	12,146,709	12,358,932	101.7	1.9	中国電力
関西木津	7,249,260	6,849,850	94.5	1.0	関西電力
むつ	1,714,146	1,613,613	94.1	0.2	東北電力 エネット
も運研 (旧国際セ)	1,466,007	1,513,101	103.2	0.2	北陸電力 エネット
関西播磨	1,578,195	1,437,321	91.1	0.2	関西電力
東濃	1,435,981	1,377,525	95.9	0.2	中部電力
本部	801,950	1,104,475	137.7	0.2	東京電力 日本ロジテック
敦賀	748,676	674,315	90.1	0.1	北陸電力 エネット
NEAT	673,594	689,384	102.3	0.1	東京電力 北陸電力
幌延	461,239	514,210	111.5	0.1	北海道電力
東京地区	409,304	377,183	92.2	0.1	東京電力
福島地区	178,927	551,490	308.2	0.1	東北電力
合計(kWh)	637,498,619	654,298,780	102.6	100.0	

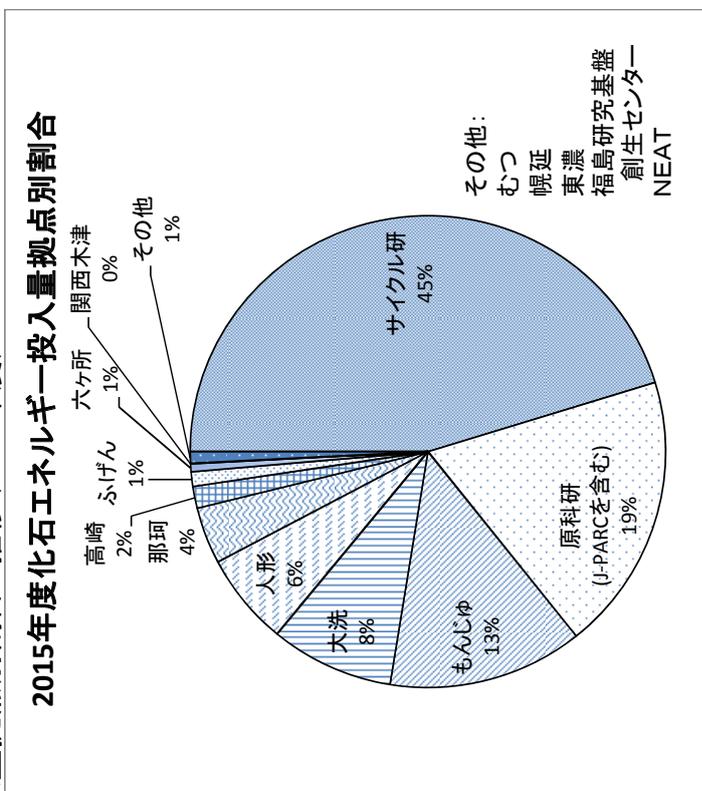


原科研(J-PARCを含む)

拠点名	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	全体に占める 割合(%)	電気事業者名
原科研	65,061,836	65,566,740	100.8	10.0	東京電力
J-PARC	189,748,507	200,755,827	105.8	30.7	東京電力
NEAT					
NEAT茨城	463,360	489,284	105.6	0.07	東京電力
NEAT福井	210,234	200,100	95.2	0.03	北陸電力
東京地区					
東京	254,815	229,239	90.0	0.04	東京電力
柏	154,489	147,944	95.8	0.02	東京電力
福島地区					
福島研究基盤 創生センター		268,231		0.04	東北電力
福島環境安全 センター		191,500		0.03	東北電力
福島事業管理部		91,759		0.01	東北電力

表A-1-6 化石エネルギー投入量拠点別割合と推移(2015年度)

拠点名	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	全体に占める 割合(%)
サイクル研	284,866	275,707	96.8	45.3
原科研 (J-PARCを含む)	126,506	115,915	91.6	19.0
もんじゅ	72,662	80,821	111.2	13.3
大洗	52,986	51,117	96.5	8.4
人形	33,406	38,443	115.1	6.3
那珂	22,499	23,620	105.0	3.9
高崎	10,493	9,179	87.5	1.5
ふげん	7,507	6,011	80.1	1.0
六ヶ所	2,830	3,372	119.1	0.6
関西木津	214	240	112.1	0.0
むつ	2,815	2,744	97.5	0.5
幌延	1,099	1,177	107.1	0.2
東濃	570	520	91.2	0.1
福島研究基盤 創生センター	259	270	104.2	0.0
NEAT	38	39	102.0	0.0
本部		3		0.0
合計(GJ)	618,751	609,179	98.5	100.0



原科研(J-PARCを含む)

拠点名	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	全体に占める 割合(%)
原科研	126,486	115,892	91.6	19.02
J-PARC	20	23	117.4	0.00
NEAT				
NEAT茨城	34	37	109.3	0.01
NEAT福井	5	2	49.9	0.00

※ 東京、柏、敦賀本部、も運研、関西播磨、福島環境安全センター、福島事業管理部については化石燃料使用なし。

表A-1-7 省エネへの各拠点等の取組計画(2015年度)(1/2)

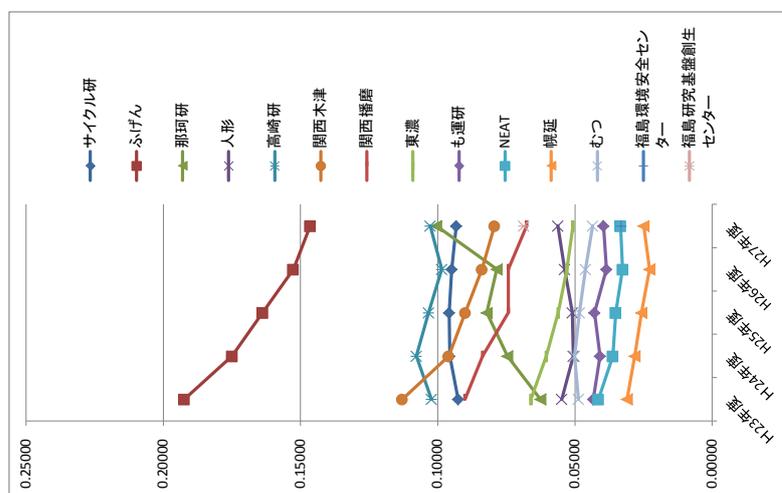
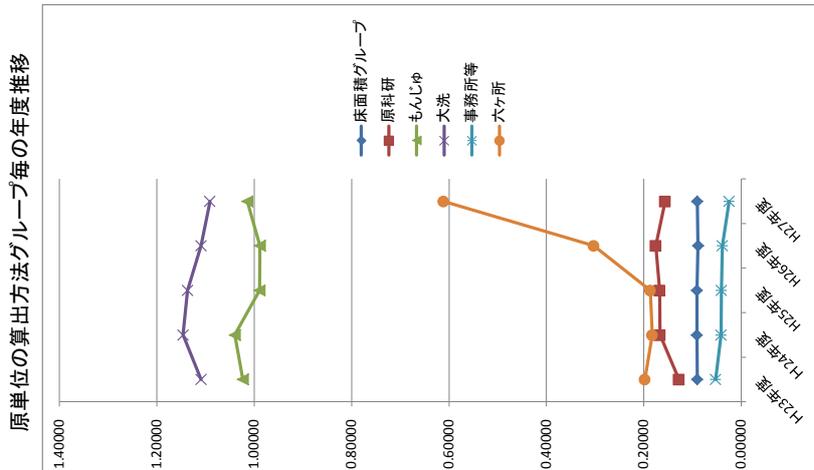
拠点	省エネへの取組計画(ハード面)	省エネへの取組計画(ソフト面)
幌延	該当なし	1.平成22年度に導入した最大需要電力を常時監視できる「電力エネルギー管理業務」により、適切な契約電力の維持管理を継続的にを行い、省エネに努める。(継続実施) 2.外灯設備の合理的な運転を行い、省エネに努める。(継続実施) 3.暖房設備、融雪設備の合理的な運転を行うことにより、エネルギー使用量を低減する。(継続実施)
青森	建家新設に伴う高効率照明器具の導入(LED化等) (六ヶ所地区)	1.クールビズ、ウォームビズの推進 2.空調温度を政府推奨温度に設定の徹底 3.事務用機器等の作業中断中の省電力設定及び帰宅時の電源遮断の徹底 4.昼休みにおける居室及び使用していない会議室等の照明の消灯の実施 5.階段利用の励行(エレベーター) 6.空調機の時間外利用時の電源自動遮断設定
福島	該当なし (買貨物件のため、個別の設備投資等は不可)	1.冷暖房設備の政府推奨温度設定の励行 2.居室等における休憩時間及び不在時の照明の消灯 3.事務用機器等の作業中断中の省電力化設定及び帰宅時の電源遮断の徹底 4.スーパークールビズ、ウォームビズの推進
本部	該当なし	【本部(総合管理棟)】 1.クールビズ、ウォームビズの推進 2.空調温度を政府推奨温度に設定の徹底 3.事務用機器等の作業中断中の省電力設定及び帰宅時の電源遮断の徹底 4.使用していない会議室等の照明の消灯の徹底 5.時間外空調利用時の帰宅時の電源切り忘れ防止の徹底 6.窓の開閉により冷房使用の抑制 7.扇風機・送風機の使用により冷房使用を抑制
原科研 (J-PARC 含む)	1.高効率モールド変圧器等への更新・統合 ・高圧変圧器の更新 ・高圧変圧器の統合 2.連続プロー熱回収設備の追加(ボイラー1台分) 3.最新型高効率照明器具への更新 ・水銀灯 高効率HID・LEDへ更新(屋内外) ・蛍光灯 LED照明等へ更新 4.蒸気配管系統の断熱強化 ・バルブ類簡易断熱ジャケット装備による省エネ ・蒸気配管更新・断熱強化による保守性改善省エネ	原子力科学研究所のエネルギー使用の合理化に関する事項 1.環境管理委員会の定期的開催 2.エネルギー管理実施計画の策定・実施・評価・改善 3.省エネルギーパトロールの実施 4.一斉夏期特別休暇取得奨励期間の設定 5.J-PARCの運転を夏季以外にシフト
サイクル研	1.照明の高効率器具への更新(LED化等) 2.省エネ蒸気トラップの導入	省エネルギー活動として、以下の維持を図っている。 1. 所内省エネルギー委員会設置による情報共有 2. 省エネ活動の啓発 3. 不在室の消灯及び昼休みの居室・廊下の消灯 4. エアコン設定温度の適正管理 5. パソコン及びVOA機器の省エネ設定 6. 所内イントラネットへの消費電力表示による見える化の実施 7. 省エネパトロールの実施
大洗	1.空調機更新(6台) 2.水銀灯のLED化(61台) 3.試験装置の更新(1台)	1.拠点としての省エネルギー推進のためエネルギー管理委員会を設置。 2.拠点としての省エネルギー推進のためエネルギー管理専門部会を設置。 3.省エネルギーを目的としてエネルギー管理実施計画を実施。 4.省エネルギー事例のポスター掲示(ハード対策事例、ソフト対策事例各1)により省エネルギーの啓蒙活動を実施。 5.省エネルギーパトロールの実施によりエネルギー管理実施計画の実施状況の確認をしている。 6.電気使用量の把握のために、施設別月別電気使用量を拠点内イントラネットへ掲載。

表A-1-7 省エネへの各拠点等の取組計画(2015年度)(2/2)

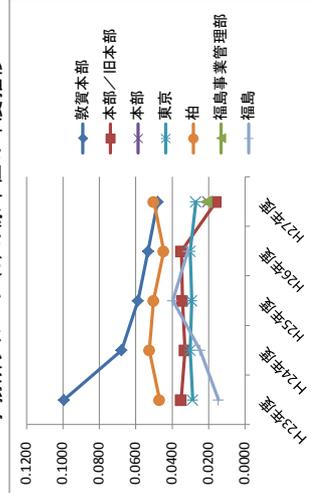
拠点	省エネへの取組計画(ハード面)	省エネへの取組計画(ソフト面)
那珂	高効率型照明器具への更新	1. エネルギー管理委員会の開催 2. 毎月1日「省エネルギーの日」看板の掲示 3. 省エネパトロールの実施 4. エネルギー管理実施計画による省エネ活動の推進
NEAT	該当なし	空調機、証明設備、受変電・配電設備、事務用機器の運転管理及び保守点検をエネルギー管理標準に基づき適切に行う。
高崎	1. 照明設備の見直し等による使用電力の削減 2. LED蛍光管に交換 台数 100本/年	高崎研では平成17年にISO14001を取得、環境マネジメント推進組織の省エネルギー専門部会において省エネルギーに関する調査・検討、年度計画の作成、及び四半期毎の年度計画の達成状況の確認、検討を行い省エネ活動を行っている。
東京	該当なし(テナントビルのため、個別の設備投資等は不可)	1. クールビズ、ウォームビズの推進 2. 空調温度を政府推奨温度に設定の徹底 3. 事務用機器等の作業中断中の省電力設定及び帰宅時の電源遮断の徹底 4. 使用していない会議室等の照明の消灯の徹底 5. 不要な照明の撤去 6. 時間外空調利用時の帰宅時の電源切り忘れの徹底 7. コピー機等のリース契約更新時に、より省エネ機能対応の機種を導入 8. 扇風機・送風機の使用により冷房使用を抑制
柏	該当なし(テナントビルのため、個別の設備投資等は不可)	1. 空調温度の政府推奨温度への設定の徹底 2. 昼休みにおける居室照明等の消灯の実施 3. 事務用機器等の作業中断中の省電力設定及び帰宅時の電源遮断の徹底
東濃	該当なし(ソフト面の記載内容があったがハードはない)	事務所のエアコン設定温度管理、照度管理、事務機器(パソコン等)の省エネ運転管理の実施
敦賀	該当なし	1. 使用していない居室の消灯徹底、昼休みの消灯徹底 2. 冷暖房温度の適正化 3. クールビズ・ウォームビズの推進 …等
もんじゅ	該当事項なし	全所員に対し省エネルギー意識の醸成を図り、確実に実行する。なお、以下の省エネルギーに係る活動を実施する。 1. 事務所部分の省エネ目標 平成27年度のエネルギー使用量及びCO ₂ 排出量について、それぞれ平成23年度比1%以上削減することを目標とし省エネ活動を行う。(プラント設備の運転等に必要部分は除く)
ふげん	補助ボイラーを貫流型ボイラー(省エネ型)への更新	原子炉廃止措置研究開発センターは、廃止措置業務の実施に当たり、必要最小限の機器を計画的に運用すること等により、所全体のエネルギー消費量の低減に向けて、総合的に取り組む。
も運研	該当なし	・昼休み時間等、不要な照明の消灯。 ・クールビズ及びウォームビズへの取組み。
関西研	1. 照明の高効率器具への更新(LED化等)【木津】 2. 照明・換気扇人感センサーの取り付け【木津】 3. 照明の高効率器具への更新(LED化等)【播磨】	特記事項なし。
人形	照明の高効率器具への更新(LED化等)	1. 設備機器を新設又は更新する場合は、グリーン購入法に基づく特定調達物品を使用する。 2. センター主要設備については、「センター主要設備のエネルギー管理標準」に基づき、適正な運転及び維持管理に努める。 3. エアコン運転時の対応として、居室中における夏季の室温が28℃を下回らないように、冬季の暖房中の室温が20℃を上回らないように、扇風機及びサーキュレーターを併用し、冬季は加温を行う等、基準温度計による適正な温度管理に努める。 4. 不在時及び退勤後等使用していない設備機器の電源は、安全を確保するものを除き、こまめな電源「切」を徹底する。

表A-1-8 各拠点等のエネルギー消費原単位の年度推移
床面積グループ(1)の原単位の年度推移

番号	拠点名	エネルギーの使用に係る原単位の算出方法	H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度
1	サイクル研	エネルギー使用量/床面積	0.09256	0.09565	0.09579	0.09486	0.09330
	ふげん		0.1924	0.1749	0.1638	0.1526	0.1465
	那珂研		0.06255	0.07458	0.08217	0.07848	0.1006
	人形		0.05481	0.05060	0.05090	0.05370	0.05624
	高崎研		0.1023	0.1078	0.1033	0.09854	0.1028
	関西木津		0.1130	0.09600	0.08994	0.08387	0.07929
	むつ		0.04870	0.05011	0.04832	0.04608	0.04357
	関西播磨		0.09012	0.08368	0.07421	0.07421	0.06759
	東濃		0.06606	0.06047	0.05606	0.05289	0.05069
	も運研		0.04330	0.04082	0.04284	0.03847	0.03962
	NEAT		0.04147	0.03622	0.03508	0.03260	0.03337
	幌延		0.03103	0.02823	0.02575	0.02280	0.02498
	福島環境安全センター						0.03308
	福島研究基盤創生センター						0.06866
小計		0.09034	0.09074	0.09067	0.08859	0.09049	
2	原料研	エネルギー使用量/(床面積×係数)	0.1280	0.1669	0.1672	0.1752	0.1561
	六ヶ所	エネルギー使用量/(床面積×係数)	0.1977	0.1825	0.1866	0.3027	0.6112
	もんじゅ	エネルギー使用量/建屋上のエネルギー使用量	1.023	1.040	0.9890	0.9881	1.014
	大洗	エネルギー使用量/時間	1.109	1.146	1.137	1.109	1.091
	敦賀		0.09940	0.06775	0.05879	0.05319	0.04787
6	本部/旧本部		0.03510	0.03301	0.03442	0.03487	0.01588
	本部	エネルギー使用量/床面積					0.02023
	東京		0.02870	0.03011	0.02926	0.03018	0.02698
	福島事業管理部		0.04688	0.05246	0.05022	0.04464	0.05007
	福島		0.01460	0.02472	0.03970	0.03131	
小計		0.05276	0.04141	0.04095	0.03896	0.02513	



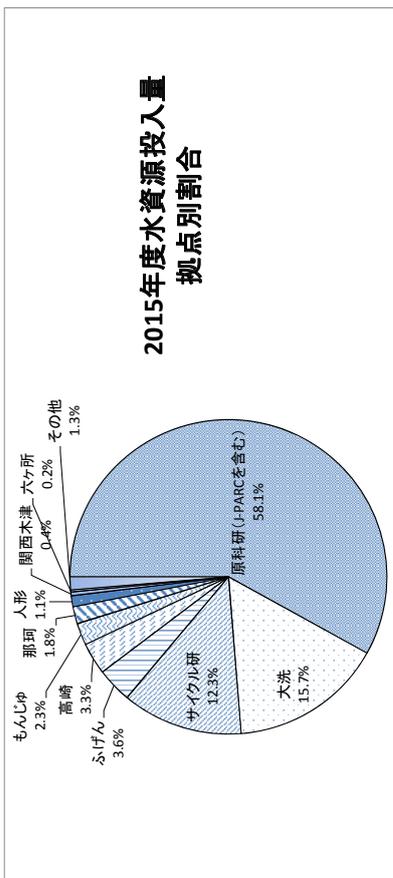
事務所グループ(6)の原単位の年度推移



原子力機構全体の原単位の対前年度比(%)	111.9	99.4	102.5	99.7
原子力機構の5年度間平均原単位変化=103.3				

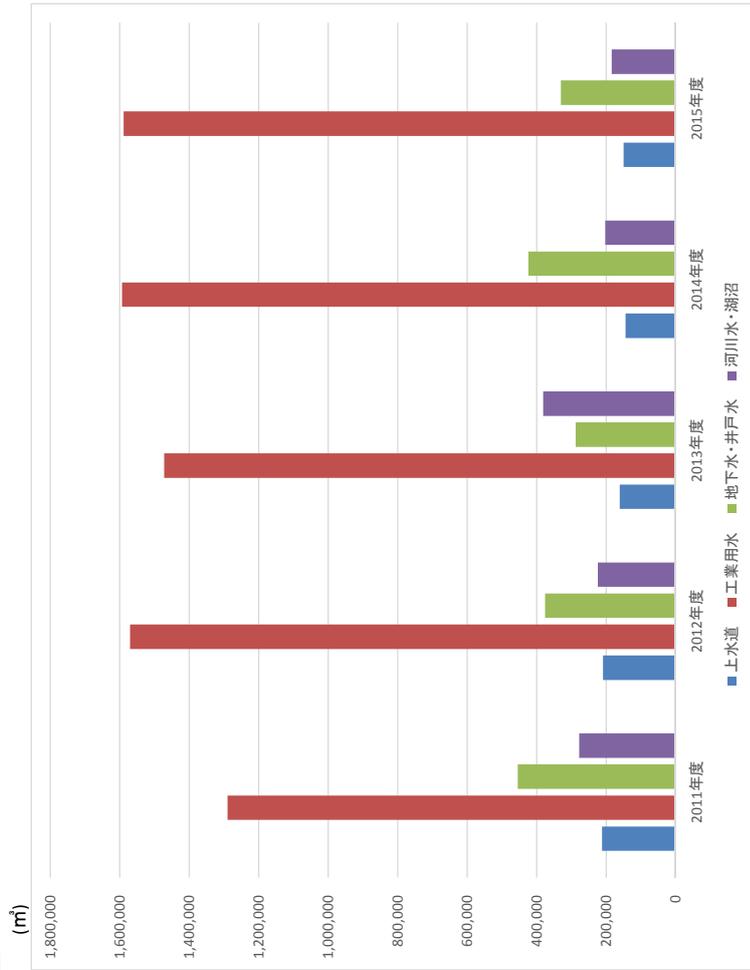
表A-2-1 水資源投入量の拠点別割合と内訳(2015年度)

拠点名/項目	投入量(m ³)		全体に占める割合(%)	上水道(m ³)		工業用水(m ³)		地下水・井戸水(m ³)		河川水・湖沼(m ³)			
	2014年度	2015年度		2015/2014 (%)	2014年度	2015年度	2015/2014 (%)	2014年度	2015年度	2015/2014 (%)	2014年度	2015年度	
原科研(J-PARCを含む)	1,373,856	1,375,248	100.1	64,582	72,884	112.9	1,309,274	1,302,364	99.5	0	0	0	0
大洗	370,781	274,994	74.2	0	0	0	0	0	0	309,221	223,154	72.2	61,560
サイケル研	292,055	279,153	95.6	40,588	37,482	92.3	251,467	241,671	96.1	0	0	0	0
ふげん	84,904	76,882	90.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	84,904
高崎	77,049	67,028	87.0	0	0	0	0	0	0	77,049	67,028	87.0	0
もんじゅ	53,793	52,985	98.5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	53,793
那珂	41,615	50,337	121.0	8,554	6,922	80.9	33,061	43,415	131.3	0	0	0	0
人形	26,647	31,799	119.3	0	0	0	0	0	0	26,647	31,799	119.3	0
関西木津	9,455	9,354	98.9	9,455	9,354	98.9	0	0	0	0	0	0	0
六ヶ所	4,934	6,094	123.5	4,934	5,197	105.3	0	897	0	0	0	0	0
むつ	11,900	9,282	78.0	1,384	1,359	98.2	0	0	0	10,516	7,923	75.3	0
東濃	4,428	3,833	86.6	4,428	3,833	86.6	0	0	0	0	0	0	0
も運研	3,119	2,826	90.6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3,119
敦賀	3,113	4,732	152.0	3,113	4,732	152.0	0	0	0	0	0	0	0
本部	2,815	3,747	133.1	2,815	3,747	133.1	0	0	0	0	0	0	0
NEAT	2,761	2,038	73.8	1,517	942	62.1	0	0	0	1,244	1,096	88.1	0
幌延	1,933	1,982	102.5	1,933	1,982	102.5	0	0	0	0	0	0	0
関西播磨	774	746	96.4	774	746	96.4	0	0	0	0	0	0	0
福島	272	1,568	576.4	272	897	329.7	0	671	0	0	0	0	0
合計	2,366,204	2,254,627	95.3	144,349	150,077	104.0	1,593,802	1,589,018	99.7	424,677	331,000	77.9	203,376
総量に対する種別の割合(%)	100	100		6.1	6.7		67.4	70.5		17.9	14.7		8.6

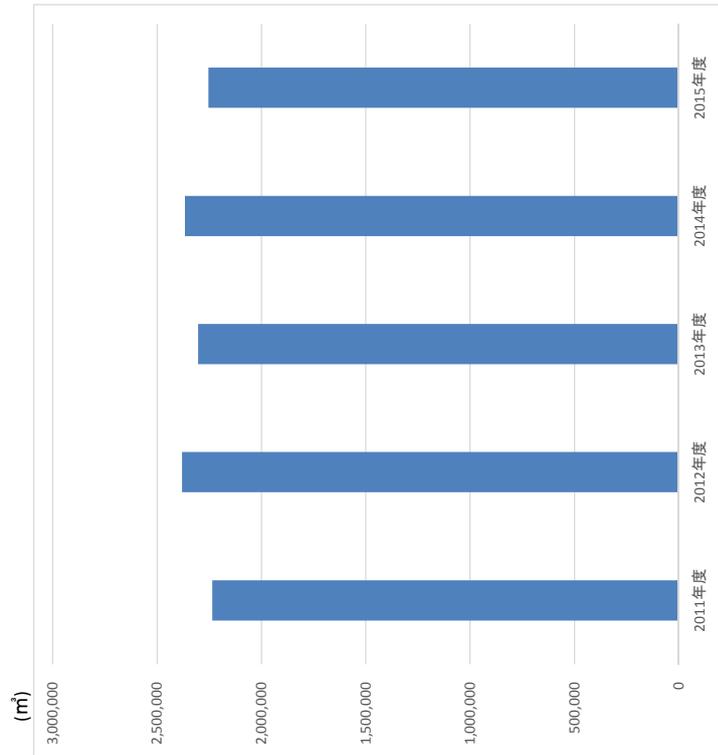


表A-2-2 水資源投入量の年度推移

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	増減率(%) 2015/2014
上水道	212,490	209,854	160,945	144,459	150,077	103.9
工業用水	1,290,416	1,570,399	1,472,448	1,593,802	1,589,018	99.7
地下水・井戸水	455,095	376,260	288,152	424,677	331,000	77.9
河川水・湖沼	278,196	224,496	381,385	203,376	184,533	90.7
水投入量合計	2,236,196	2,381,009	2,302,930	2,366,313	2,254,627	95.3
下水道	39,963	40,697	91,791	87,107	141,914	162.9
公共用水域	4,231,465	4,377,367	4,600,687	4,457,650	4,162,969	93.4
排水量合計	4,273,296	4,419,727	4,650,611	4,544,756	4,304,883	94.7



水投入量の内訳



合計水投入量の年度推移

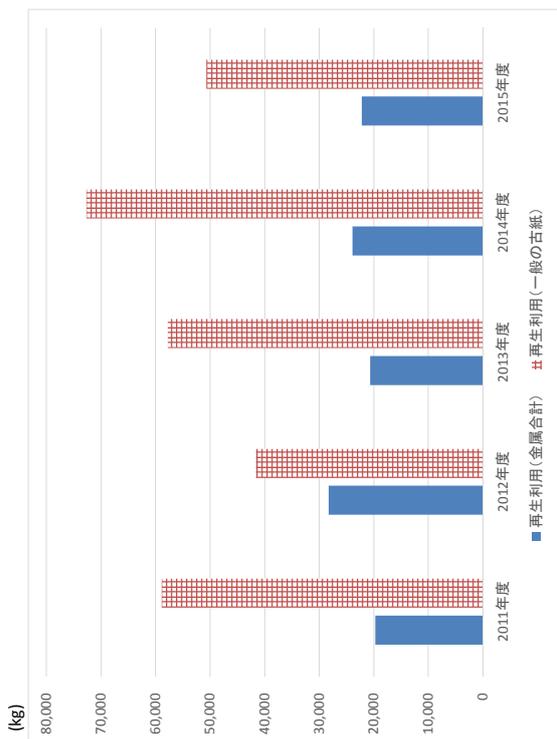
表A-2-3 水資源増減の理由及び取組内容(2015年度)

拠点名	投入量増加(前年比)の理由	投入量減少(前年比)の理由	排水量増加(前年比)の理由	排水量減少(前年比)の理由	投入量に対して排水量が少ない場合の理由	投入量に対して排水量が多い場合の理由	水の再利用量・方法	備考
幌延	-	-	-	-	-	地下海龍からの湧水、ズリ溜場からの浸出水があるため。	-	-
もつ	-	井戸水を融雪用に使用したため	-	-	-	-	-	-
六ヶ所	-	-	-	-	-	-	-	-
楢葉	施設の新築運営開始のため	-	施設の新築運営開始のため	-	-	-	-	-
福島	笹木野分析所における分析件数の増加。10月に福島大学から糞尿放射線センタへの移転。	-	-	-	-	-	-	-
本部	平成27年4月より新本部建屋として総合管理棟の運用を開始し、旧本部事務所は平成27年6月からB/E部門が運用(入居)している。このため、2つの建屋の使用により、投入量が増加したものである。	平成27年4月より新本部建屋として総合管理棟の運用を開始し、旧本部事務所は平成27年6月からB/E部門が運用(入居)している。このため、2つの建屋の使用により、排水量が増加したものである。	平成27年4月より新本部建屋として総合管理棟の運用を開始し、旧本部事務所は平成27年6月からB/E部門が運用(入居)している。このため、2つの建屋の使用により、排水量が減少したものである。	平成27年4月より新本部建屋として総合管理棟の運用を開始し、旧本部事務所は平成27年6月からB/E部門が運用(入居)している。このため、2つの建屋の使用により、排水量が減少したものである。	-	-	-	本部総合管理棟の稼働は東海村からの委託業者が2か月に1回実施しているため、毎月ごとの投入・排水量は算出されない。そのため、本部総合管理棟の2か月分投入・排水量が毎箇月に算出されるため、各箇月の投入・排水量が箇月と比べて多くなっている。
原料研(J-PRCを含む)	工業用水は、J-PRC運転時間の増加並びに希釈水の増加のため投入量が増加した。	-	-	-	-	雨水が排水に含まれたため。	-	第3排水溝の非管理区域排水は希釈排水分であり、施設からの手洗い水等の一般排水は含まれていない。
サイクル研	-	構内第1食堂の運用廃止に伴い減少した。	-	-	-	冷却塔からの蒸発分が考えられる。	-	公共上水道は日本館建屋の量を除いた値。
大洗	-	天候等により河川水投入量が減少した。	-	-	-	敷地内への降雨(雨水)を排水溝へ放出したため。	-	-
那珂	JT-60用二次冷却塔の取組を実施したため増加した。	-	-	-	-	冷却設備に使用している工水が欠気放出のため。	-	-
NEAT茨城	-	前年度まではひたちなか市からの供給される水道水の残留塩素の量が多いため定期的に水を配水することで、残留塩素の値を調整していたが原子力緊急時支援・研修センター近くに住宅が建ち始めたことからひたちなか市で配管の取替工事を行い水道水の残留塩素の量が減少したため配水を行う必要がなくなった。	-	-	-	-	-	-
NEAT福井	-	・散水量調整のため。 ・積雪が少なかつたため、融雪のための散水が減少した。	-	-	-	-	-	水資源については地下水汲み上げ方式のため、当初計量システムが考慮されていなかった。しかし、H18年度に地下水からの汲み上げ量について測定(計量)できるよう設備改善を行ったため、汲み上げ量をそのまま投入量とし、一般排水口に排水している。
高崎	-	節水による減少	一般雨水排水を含むため増加	-	-	一般雨水排水を含むため増加	-	-
東濃	-	-	敷設事業本部事務所、神楽事務所に増加したものを分析する。	敷設事業本部事務所、神楽事務所に増加したものを分析する。	-	-	-	2016年3月坑水処理施設廃止
敦賀	敷設事業本部事務所、神楽事務所に於ける雨水のため、投入量が増加したものと分析する。	-	平成27年度管理区域における総露水量が6月～9月にかけて多く発生した。また、非管理区域で発生した廃液量が1年を通して多かつた。	平成27年度管理区域における総露水量が6月～9月にかけて多く発生した。また、非管理区域で発生した廃液量が1年を通して多かつた。	-	閉閉所の電子洗浄は、敷地散布のため排水量に含まれない。	-	-
もんじゅ	-	冬季間は12月における凍結防止対策期間が短かつたため、投入量が減少した。	冬季間(12月及び1月)における凍結防止対策期間が短かつたため、排水量が減少した。	冬季間(12月及び1月)における凍結防止対策期間が短かつたため、排水量が減少した。	-	-	-	-
ふげん	-	-	-	-	-	-	-	-
も連研	-	-	-	-	-	投入量減少と同様。	-	-
関西木津	-	・節水に努めた。 ・食堂の食器洗い人感センサー設置による効率運転を回った。 ・ターボ冷凍機の省エネ運転を行い水量削減を図った。	-	-	-	-	-	-
関西播磨	-	・節水に努めた。 ・運転時間の低下防止のため運転ロータリーを行なったため増加。 ・掃却作業(2交代)に伴う増加。 ・新掃却作業による、濃縮ウラン回収作業(DP)ロータリー運転のため増加	-	-	-	-	-	-
人形	-	-	-	-	-	・梅雨時期、台風時期の降雨量の減少。 ・梅雨たい積場の流入防止対策のため	-	-

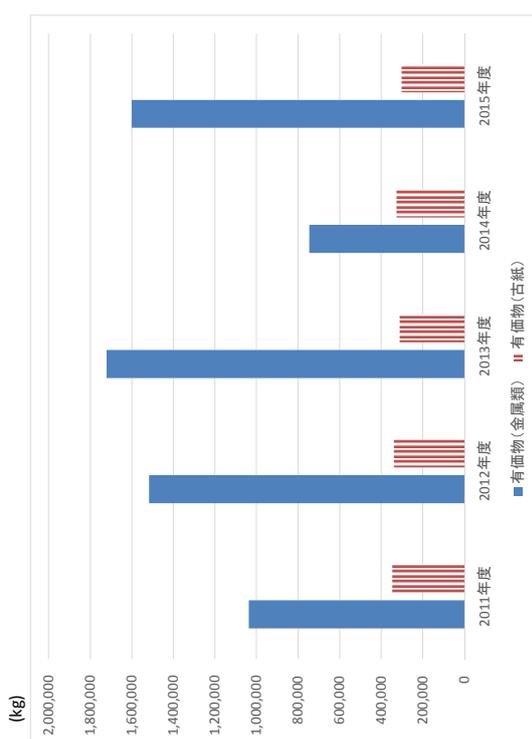
表A-3-1 廃棄物・再生利用物・有価物の排出量の年度推移と金属類リサイクル率

	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	増減率(%) 2015/2014
有価物(金属類)	1,036,961	1,516,573	1,720,519	746,450	1,600,025	214.4
有価物(古紙)	346,769	339,839	311,138	326,216	302,129	92.6
一般廃棄物総計(特別管理を含む)	429,312	311,661	355,794	353,875	313,284	88.5
産業廃棄物総計(特別管理を含む)	728,653	542,602	1,018,095	749,796	977,411	130.4
再生利用(一般の金属類)	397	501	792	1,499	1,320	88.1
再生利用(産廃の金属類)	19,340	27,780	19,870	22,386	20,890	93.3
再生利用(金属合計)	19,737	28,281	20,662	23,885	22,210	93.0
再生利用(一般の古紙)	58,851	41,619	57,775	72,703	50,661	69.7
金属類リサイクル量(再生利用量+金属有価物)(a)	1,056,698	1,544,854	1,741,181	770,335	1,622,235	
金属類発生総量(金属廃棄物量+金属有価物)(b)	1,146,911	1,568,566	1,901,935	876,899	1,828,878	
金属類リサイクル率(%) a/b*100	92.1	98.5	91.5	87.8	88.7	
有価物比(%) (金属有価物/金属類リサイクル量全体)	98.1	98.2	98.8	96.9	98.6	
廃棄物再生利用量+有価物総量=(d)	1,606,856	2,007,440	2,223,780	1,249,666	2,045,528	
総不要物発生量(総廃棄物量+有価物総量)=(e)	2,548,350	2,712,850	3,408,330	2,177,170	3,193,320	
再利用へ廻した割合(%) d/e*100	63.2	74.0	65.3	57.4	64.1	

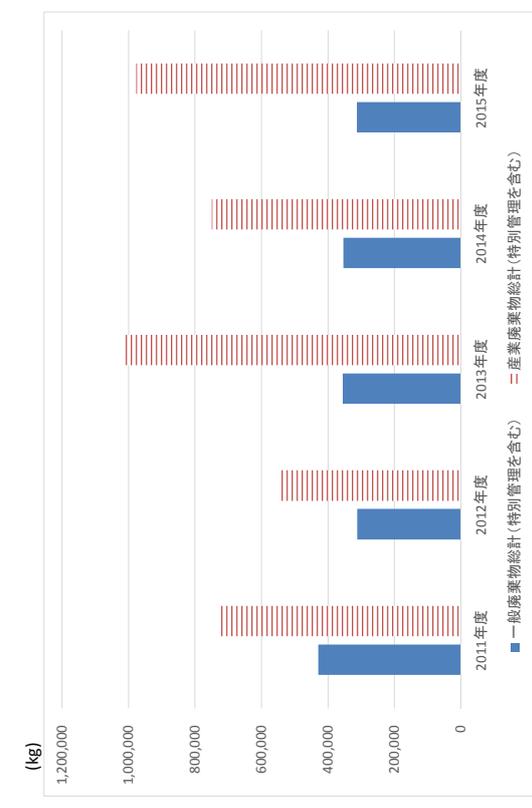
(再利用へ廻した割合は多種の廃棄物を重量で一律に計算した)



金属と古紙の再生利用の年度推移



有価物(金属類と古紙)の年度推移



一般廃棄物及び産業廃棄物の排出量の年度推移

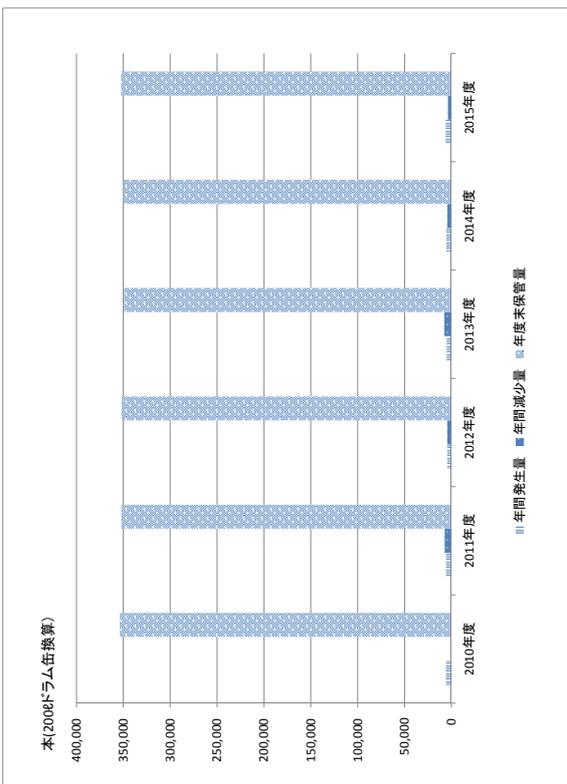
表A-3-2 主要なPCB廃棄物等(微量なPCBで汚染された物を含む)の2015年度末時点保管量と2015年度までの処分済み累積実績量

単位:台

拠点名	区分	トランス			コンデンサ			リアクトル			安定器			小計			その他*			合計			
		高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	高濃度	低濃度	濃度不明	
むつ	現在保管量	0	0	0	0	0	0	146	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	処分済み	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0
原科研 (J-PARC を含む)	現在保管量	0	39	0	17	647	0	2,192	0	0	0	2,209	0	0	0	0	0	0	0	2	3	24	2,211
	処分済み	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	28	0	0	0	0	0	0	0	0	0	65	0
サイクル 研	現在保管量	0	12	0	71	3	586	0	162	10	30	233	25	616	0	1	17	0	0	0	1	17	233
	処分済み	0	12	0	2	0	0	0	0	0	0	2	12	0	0	2	51	0	0	2	51	0	4
大洗	現在保管量	0	67	0	3	189	0	2,236	0	0	0	2,239	256	0	1	114	0	0	0	1	114	0	2,240
	処分済み	0	14	0	9	2	0	0	0	2	0	11	16	0	0	574	0	0	0	0	574	0	11
那珂	現在保管量	0	7	0	0	11	0	0	0	0	0	0	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	処分済み	0	0	0	0	106	0	0	0	0	0	0	106	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
高崎	現在保管量	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	処分済み	0	0	0	5	0	0	0	0	2	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
関西研	現在保管量	0	3	0	0	0	0	0	18	0	0	0	21	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0
	処分済み	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
人形	現在保管量	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	処分済み	3	7	0	1	2	0	0	0	0	0	4	9	0	1	1	0	0	0	1	1	0	5
保管量総計		0	131	0	91	857	586	0	4,736	28	30	4,827	1,017	616	3	121	41	0	0	3	691	0	4,830
累積処分済み合計		3	36	0	85	110	0	4	0	0	0	92	146	0	3	691	0	0	0	3	837	0	95

* PCB廃液、PCB付着物など、左記に属さないもの。
 注) 環境データ管理システムの入力に困難なもの(個数で表記していないもの等)はここでは除いている。
 「低濃度」にはPCBに微量に汚染されたものを含む。

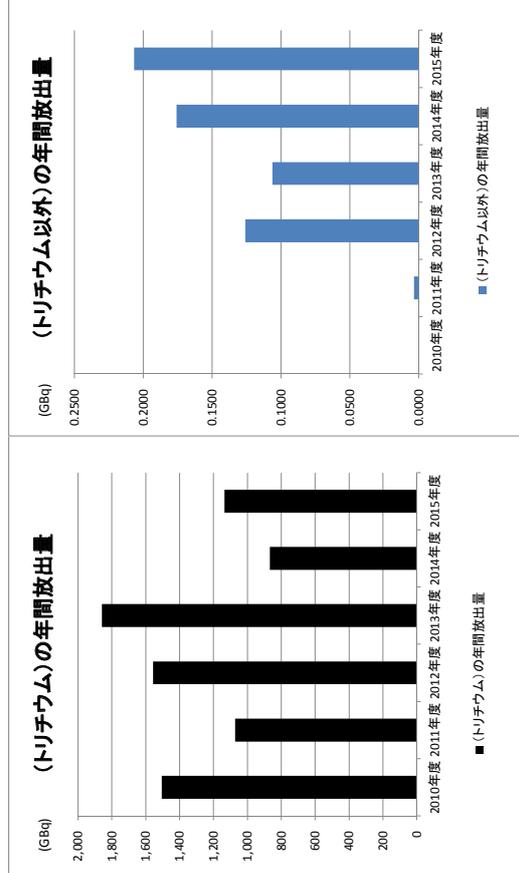
表A-3-3 放射性廃棄物量(固体、気体、液体)の年度推移



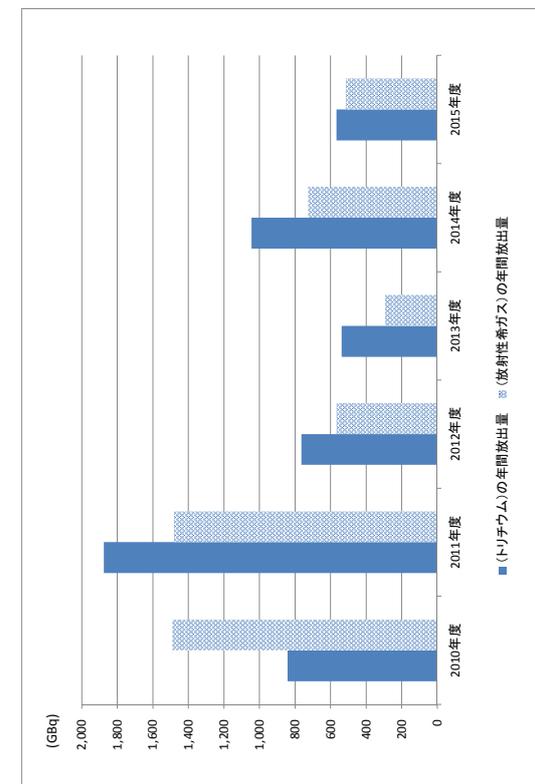
放射性固体廃棄物	単位:本(2006ドラム缶換算)					増減率(%) 2015/2014
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
年間発生量	5,819	5,709	4,461	5,183	6,069	114.0
年間減少量	—	7,327	4,578	7,688	4,504	85.1
年度末保管量	353,594	351,914	351,796	349,285	350,097	100.6

放射性気体廃棄物	単位:GBq					増減率(%) 2015/2014
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
(トリチウム)の年間放出量	843,147	1,875,729	763,897	537,650	1,045,704	54.2
(放射性希ガス)の年間放出量	1,480,010	1,480,739	567,881	294,739	726,897	70.7
全粒子状物質	—	—	0.130	0.088	0.019	89.5

放射性液体廃棄物	単位:GBq					増減率(%) 2015/2014
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	
(トリチウム)の年間放出量	1,505,960	1,072,151	1,556,787	1,859,088	867,922	130.9
(トリチウム以外)の年間放出量	—	0.003	0.126	0.106	0.1758	117.5



放射性液体廃棄物年度推移



放射性気体廃棄物年度推移

表A-4-1 総温室効果ガス排出量拠点別割合と推移(フロン排出抑制法に基づき集計したフロン漏えい量を含む)(2015年度)

拠点名	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	全体に占める割合(%)
原科研(J-PARCを含む)	164,292	164,020	99.8	39.6
サイクル研	85,430	80,443	94.2	19.4
もんじゅ	53,305	54,877	102.9	13.2
大洗	38,253	34,976	91.4	8.4
那珂	17,161	20,903	121.8	5.0
ふげん	16,469	16,447	99.9	4.0
六ヶ所	12,164	12,694	104.4	3.1
人形	11,033	11,468	103.9	2.8
高崎	14,923	9,122	61.1	2.2
関西木津	3,803	3,710	97.6	0.9
むつ	1,039	992	95.4	0.2
も運研	867	935	107.8	0.2
関西播磨	824	763	92.6	0.2
東濃	780	721	92.4	0.2
本部	425	470	110.6	0.1
教賀	456	434	95.3	0.1
幌延	389	433	111.3	0.1
NEAT	381	379	99.6	0.1
福島地区	119	331	278.5	0.1
東京地区	217	190	87.8	0.0
合計(t-CO ₂)	422,331	414,309	98.1	100.0

原科研(J-PARCを含む)

原科研	63,663	62,175	97.66	15.01
J-PARC	100,629	101,845	101.21	24.58

NEAT

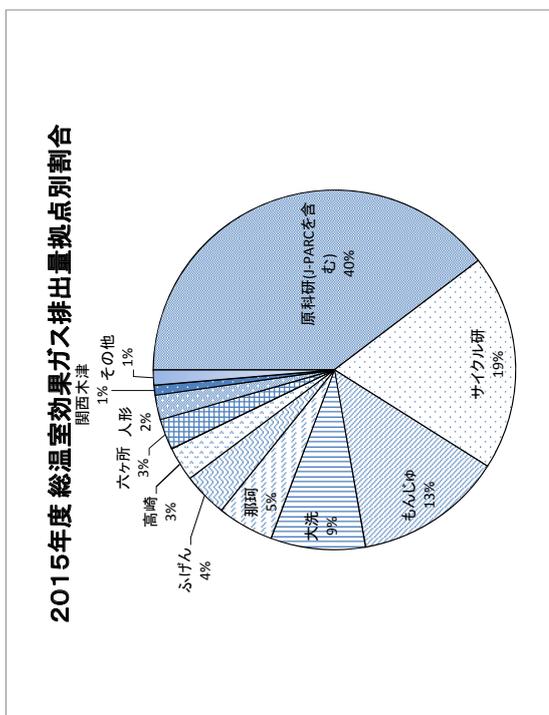
NEAT茨城	248	250	100.70	0.06
NEAT福井	133	130	97.63	0.03

東京地区

東京	135	116	85.72	0.03
柏	82	75	91.25	0.02

福島地区

福島研究基盤		155		0.04
創生センター				
福島環境安全センター	119	123	278.5	0.03
福島事業管理部		52		0.01



参考: 表 電気事業者別二酸化炭素実排出係数 (t-CO₂/kWh)

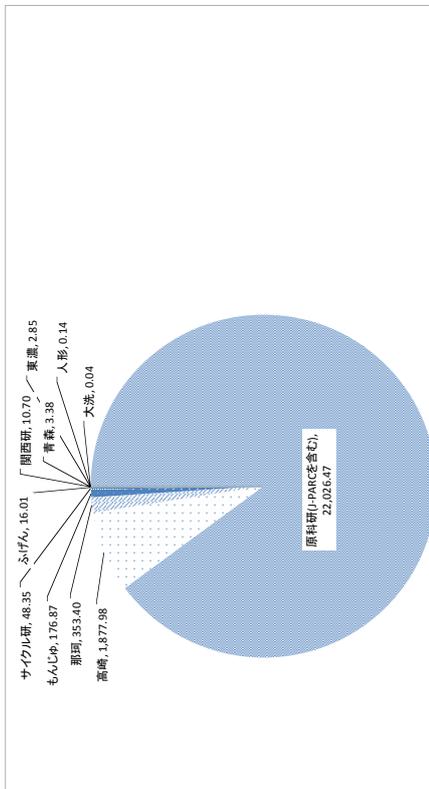
使用年度	2013年度実績	2014年度実績	2014/2013実績
北海道電力	0.000678	0.000683	1.01
東北電力	0.000591	0.000571	0.97
東京電力	0.000530	0.000505	0.95
中部電力	0.000513	0.000497	0.97
北陸電力	0.000630	0.000647	1.03
関西電力	0.000522	0.000531	1.02
中国電力	0.000719	0.000706	0.98
(株)エネット	0.000423	0.000454	1.07
(株)F-Power	0.000454	0.000454	
日本ロジテック	0.000386	0.000386	
丸紅(株)	0.000389	0.000482	1.24
平均	0.000555	0.000538	0.97

表A-4-2 拠点別エネルギー起源CO₂排出量(2015年度)

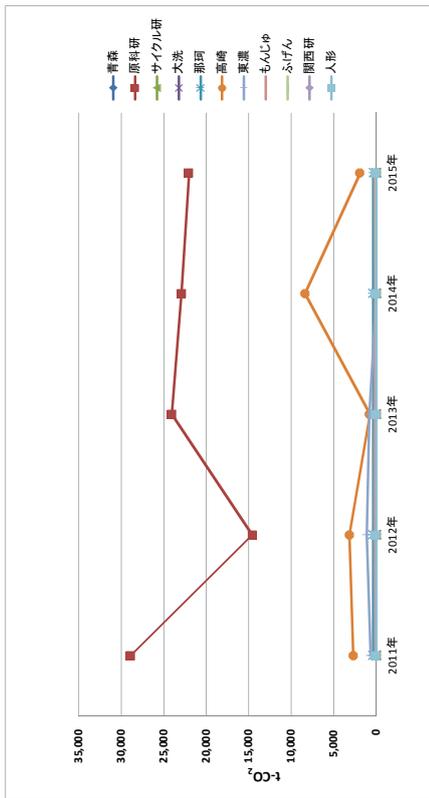
省エネ法における分類	拠点名	実CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	調整後CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	
工学研究所	原科研(J-PARC含む)	140,261	137,865	
	サイクル研	80,281	79,191	
	もんじゅ	54,263	53,735	
	大洗	34,750	32,970	
	那珂	20,508	20,172	
	ふげん	16,187	16,016	
	青森(むつ・六ヶ所含む)	13,600	13,652	
	人形	11,366	11,403	
	高崎	7,217	6,405	
	関西研(木津・播磨含む)	4,412	4,346	
	も運研	921	915	
	東濃	715	711	
	幌延	431	433	
	NEAT(茨城・福井含む)	379	373	
	福島研究基盤創生センター	153	154	
	福島環境安全センター	123	123	
	(小計)	385,567	378,465	
	主として管理事務を行う 本社等	本部	470	589
		敦賀	421	418
		東京	116	114
柏		75	73	
福島事業管理部		52	53	
(小計)		1,134	1,247	
合計		386,702	379,712	

表A-4-3 代替フロン等4ガスの拠別割合と推移(2015年)

拠点名	排出量(t-CO ₂ e)												対前年比(%)				
	2011年			2012年			2013年			2014年			2015年			2015/2014	
	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	代替フロン全体	SF6のみ	
青森	18.38		21.39		21.39		0.19		0.19		3.38		1,771				
むつ	17.90	17.90	18.09	17.90	18.09	17.90	17.90	18.09	17.90	17.90	0.00	0.23	122	0.00	0	0	
六ヶ所	0.48	0.48	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	3.30	0.00	3.15	0	3.15	0	0	
原料研(J-PARCを含む)	28,889.16		14,579.32		24,026.34		22,898.76		22,847.77		22,774.85		96	21,810.16	21,722.52	95	
原料研	28,838.50	28,798.50	14,528.66	14,459.93	23,975.06	23,901.00	22,847.77	22,774.85	22,847.77	22,774.85	21,810.16	21,722.52		21,810.16	21,722.52	95	
J-PARC	50.66		50.66		51.28		50.99		50.99		216.31		424	216.31	0.00	424	
サイクル研	33.49	0.00	33.49	0.00	33.49	0.00	34.20	0.00	34.20	0.00	48.35	0.00	141	48.35	0.00	141	
大洗	17.13	0.24	0.04	0.00	17.71	0.24	15.91	0.24	15.91	0.24	0.04	0.00	0	0.04	0.00	0	
那珂	372.08	372.08	367.32	367.32	366.20	366.20	366.20	366.20	366.20	366.20	370.45	370.45	95	370.45	353.40	95	
高崎	2,699.00	2,690.90	3,131.59	3,123.49	747.78	739.68	8,387.44	8,373.63	8,387.44	8,373.63	1,877.98	1,865.70	22	1,877.98	1,865.70	22	
東濃	623.50	623.50	1,075.50	1,075.50	841.28	841.28	7.17	7.17	7.17	7.17	2.85	2.85	40	2.85	2.85	40	
もんじゅ	151.85	103.49	167.19	103.49	170.70	103.49	160.69	103.49	160.69	103.49	176.87	98.72	110	176.87	98.72	110	
ふげん	16.78	16.78	16.78	16.78	16.78	16.78	16.78	16.78	16.78	16.78	16.01	16.01	95	16.01	16.01	95	
関西研	28.12	14.03	28.69	26.86	26.86	8.09	8.09	8.09	8.09	8.09	10.70	10.70	132	10.70	10.70	132	
関西木津			25.59	14.02	26.50	12.48	8.09	7.70	8.09	7.70	10.70	7.35	132	10.70	7.35	132	
関西播磨			3.10	0.35	0.35	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0	
人形	0.03	0.03	0.10	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.14	0.02	892	0.02	0.02	100	
合計	32,850.51	32,838.92	19,421.41	19,181.75	26,288.53	26,002.65	31,899.69	31,854.33	31,854.33	24,516.17	24,069.71	77	76	24,069.71	77	76	



代替フロン等4ガスによるCO₂換算温室効果ガス排出量の拠別割合(2015年)



代替フロン等4ガスによるCO₂換算温室効果ガス排出量拠別年度推移(5年間)

表A-4-4 代替フロン等4ガス増減の理由及び取組内容 (2015年)

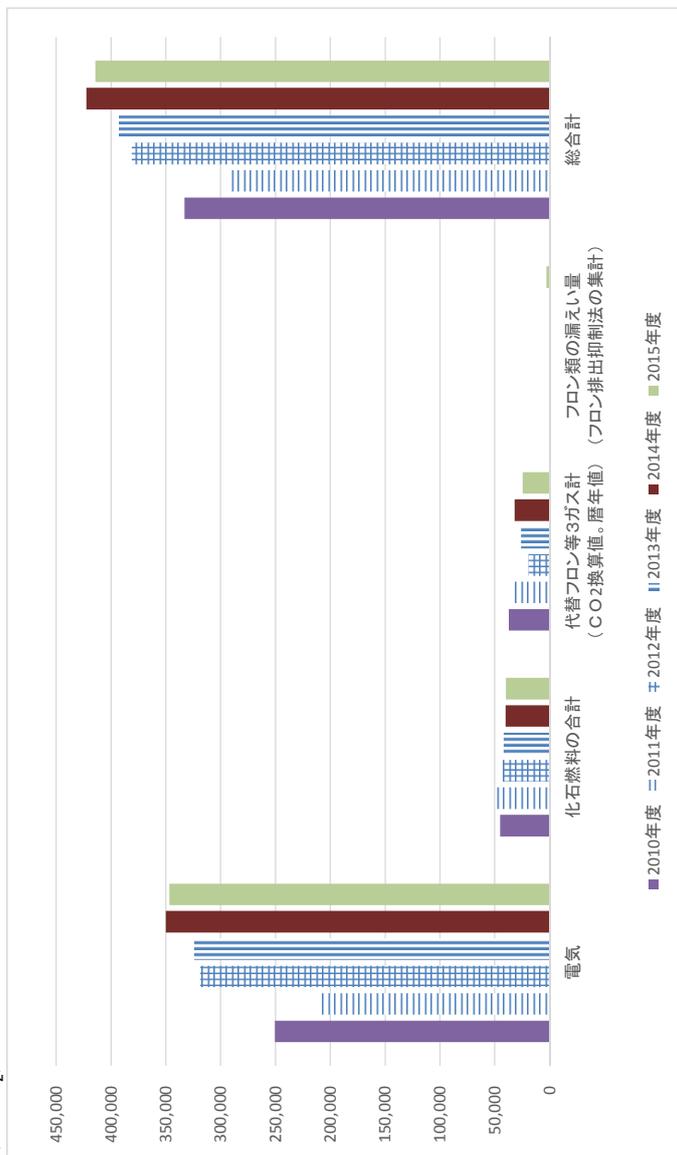
拠点名	増加の理由	減少の理由	削減のための取組み内容(ハード面)	削減のための取組み内容(ソフト面)	備考
むつ 六ヶ所 福島	— — —	— — —	— — —	— — —	— — — 冷蔵機器の簡易点検を四半期毎に実施
原科研	HFC134a: 廃棄物安全試験施設でターボ冷凍機を更新したので追加記載により増加。 —	SF6: タンデム加速器において、ガスの放出量は、施設の整備時に定期的に排出されるもののみである。平成27年は平成26年と比べて、整備回数が増え、放出量は同量であった。(放出量 平成26年: 0.9t 平成27年: 0.9t)	—	タンデム加速器において、継続的なリーク検査の実施。	—
J-PARC	・HFC-32、125: 空調機修理のため。(J-PARC加速器第4セクション) ・HFC-134a: ターボ冷凍機3台の内圧測定用サービスマルプ交換による冷媒放出と再充填を実施のため。(リニアック棟) ・HFC-134a: チラー 冷凍機6台のサーキット電動機交換に伴う冷媒回収のため。(物質・生命科学実験施設)	—	—	—	—
サイクル研	増加の理由: ユーティリティ棟の冷凍機更新のため。	—	—	—	—
大洗	—	業者により回収破壊を行ったため。	—	特になし	—
那珂	—	—	—	—	—
高崎	タンデム加速器の圧力タンクの配管継ぎ手から漏えいがあったため。	例年と比べ昨年度は、SF6貯蔵タンクの老朽化による漏洩により増大したため。	漏洩の早期発見のため、酸素濃度計の設置等を検討する。 SF6ガス回収装置のガス回収、真空引きのロータリーポンプは併用だったが、SF6ガスに不純ガス混入を防ぐために、ロータリーポンプを増設した。 漏洩箇所の早期発見と対策、及び定期的な部品の交換。	点検頻度についての見直しを行う。 日常点検・月次点検及び操作手順確認と慎重な操作によって故障・漏えい等の早期発見に努める SF6ガス圧力の日常点検。	—
東濃	—	加速器のメンテナンス回数の低下に伴い、充填作業時の排出量、漏洩量が低下したため。	—	加速器メンテナンスの効率化に努力している。	—
もんじゅ	—	HFC: 点検に伴い、補給したため。	—	—	SF6: 使用場所毎の保管量 特高開閉所: 275kV受電設備: 4100kg、特高開閉所 77kV受電設備: 230kg 平成20年度より増減なし
ふげん	—	—	—	—	その他 R410A
関西木津	—	—	—	—	—
人形	・HFCは、機器の洗浄用として、スプレー缶を使用したため増加	なし	なし	なし	・SF6は、増減なし

表A-4-5 総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移

	(t-CO ₂)						対前年度比 (%)
	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2015/2014
電気	250,620	208,101	318,897	324,402	350,058	346,907	99.10
化石燃料の合計	45,021	49,131	42,828	42,002	40,205	39,795	98.98
代替フロン等3ガス計 (CO ₂ 換算値。暦年値)	37,237	32,851	19,421	26,269	31,900	24,516	76.85
フロン類の漏えい量 (フロン排出抑制法の集計)						2,836	
総合計	333,104	290,320	381,401	392,905	422,392	414,309	98.09

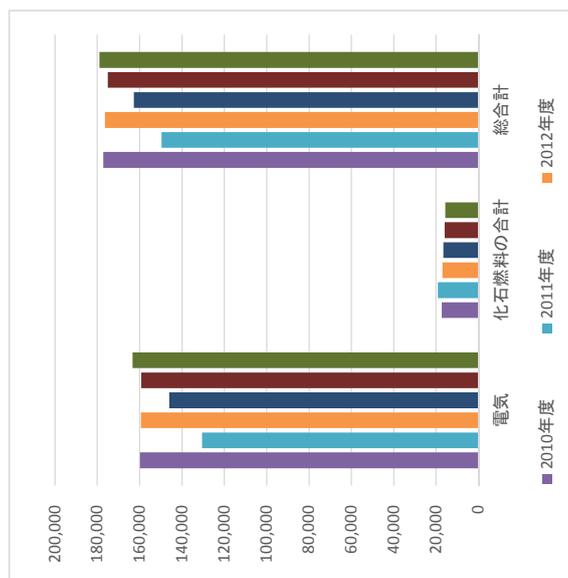
注記)この表に含まれない種類の温室効果ガスの排出も総合計に加算している。

(t-CO₂)



総温室効果ガス放出量の放出源別年度推移

(kø)



投入エネルギー量の年度推移
(原油換算値キロリットル)

表A-4-6 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量と漏えい理由、削減取り組み(2015年度)

算定漏えい量合計 (t-CO2)	2836.3764 算定漏えい量 (t-CO2)	漏えい理由	ハード面取り組み内容	ソフト面取り組み内容
北海道	0.00			
青森県	75.24	空調専用チャユニットのコンプレッサ不良のため。	空調専用チャユニットのコンプレッサ更新。	
福島県	0.00			
茨城県	43.09	・R-32、125:空調機修理(J-PARC加速器第4セクション) ・R-134a:ターボ冷凍機3台の内圧測定用サービスバルブ交換による冷媒放出と再充填を実施したため。(リニアクク機) ・R-134a:チャラー冷凍機6台のサーキット電動機交換に伴う冷媒回収のため。(物質・生命科学実験施設) ・R-407c:部品交換のため冷媒回収を行った。(3GeVシンクロトロン機、3NBT機、L3BT機) (箱ばく機)経年使用(約13年)により、室外機の冷却ファン内部の金属製配管に穿孔が生じたため。 (モックアップ試験機)フレアナットの緩み(機器据え付け工事の際のフレアナットの締め付け不足) (REF)経年劣化による。		
東京都	185.37	エアコンが故障したため。 高経年化により、冷媒配管接合部が劣化し、漏えいに至った。	修理を実施した。 劣化箇所をろう付けにより補集した。 劣化の著しい空調機は、計画的に更新を行う。	異常検知機能及び簡易点検により、冷媒漏えいを早期に検知する。
神奈川県	29.50	エアコン用冷媒配管の異常により漏えいした。		
東京都	0.00			
埼玉県	19.160			
群馬県	19.58	凍結乾燥機の冷却管において、製造段階で接合不良があったため、研究所に設置時より徐々に冷媒が漏えいした。		第1種特定製品を購入する際には、納期に余裕がある状態で契約して、製造業者側が急いで製作しなければならぬ状況にならないようにして、製造不良が発生しにくくする。
東京都	0.00			
岐阜県	0.00			
東京都	425.06	偶発的な故障(シール部からの漏えいと推定される)。		
東京都	236.01	R-22 漏えい機器:設備用バックゲージエアコン、空調用子リングユニット。漏えいの理由:シート部ゴミ噛み、冷媒の劣化 漏えい機器:事務本館エアコン、警備所エアコン。漏えいの理由:室外機の劣化により、配管等に穴があき、冷媒ガスが漏れた。 R-410A 漏えい機器:設備用バックゲージエアコン。漏えいの理由:経年劣化		
福井県	13.76	室外機ガス管フレア部及びボールバルブの経年劣化による漏えい		
東京都	0.00			
東京都	687.50	空調設備補修工事により発生した。(三菱電機製 PAH-50G 9W38T-3FK002)		
東京都	48.96	空調機器の老朽化による配管等から漏洩。		定期点検作業の実施。
東京都	0.00			空調機器の更新計画及び概算要求の立案。
東京都	90.50	冷凍機設備の修理のため充填		

表A-5 ISO14001認証取得状況(2016年3月末時点)

拠点名	業務内容	認証取得日及び更新日	審査年度	審査の種類	総合評価	登録組織の業種	審査登録機関	活動参加人数
大洗	高速増殖炉サイクル及び関連する核燃料サイクル技術の研究開発	2000年6月28日 2003年6月28日 2006年6月28日 2009年6月28日 2012年6月27日 2013年3月25日 2014年8月27日 2015年8月6日 2005年7月13日 2008年7月13日 2011年7月13日 2014年7月13日	2000	取得審査	判定結果「合格」	11.核燃料、 34.エンジニアリング、 研究開発	JACO(日本環境認証機構)	1,300
			2001	維持審査	判定結果「合格」			
			2002	維持審査	判定結果「合格」			
			2003	第1回更新審査	判定結果「合格」			
			2004	維持審査	判定結果「合格」			
			2005	維持審査	判定結果「合格」			
			2006	第2回更新審査	判定結果「合格」			
			2007	維持審査	判定結果「合格」			
			2008	維持審査	判定結果「合格」			
			2009	第3回更新審査	判定結果「合格」			
			2010	維持審査	判定結果「合格」			
			2011	維持審査	判定結果「合格」			
			2012	特別内部監査	適合			
			2012	内部監査	適合			
			2013	内部監査	適合			
2014	内部監査	適合						
2015	内部監査	適合						
東濃	地層科学研究及び関連施設の建設維持	2002年9月25日 2005年9月24日 2008年9月10日 2011年9月7日 2013年8月5日 2014年8月27日 2015年8月6日 2005年7月13日	2002	取得審査	判定結果「合格」	11.核燃料、 34.エンジニアリング、 研究開発	JACO(日本環境認証機構)	149
			2003	維持審査	判定結果「合格」			
			2004	維持審査	判定結果「合格」			
			2005	第1回更新審査	判定結果「合格」			
			2006	維持審査	判定結果「合格」			
			2007	維持審査	判定結果「合格」			
			2008	第2回更新審査	判定結果「合格」			
			2009	維持審査	判定結果「合格」			
			2010	維持審査	判定結果「合格」			
			2011	第3回更新審査	判定結果「合格」			
			2012	維持審査	判定結果「合格」			
			2013	維持審査	判定結果「合格」			
			2014	第4回更新審査	判定結果「合格」			
			2015	維持審査	判定結果「合格」			
			高崎	大型照射施設や各種加速器による放射線等を利用した環境保全技術、バイオ技術、極限材料・機能材料の研究開発	2003年6月28日 2006年6月28日 2009年6月28日 2012年6月27日 2013年3月25日 2014年8月27日 2015年8月6日 2005年7月13日			
2004	維持審査	判定結果「合格」						
2005	維持審査	判定結果「合格」						
2006	第1回更新審査	判定結果「合格」						
2007	維持審査	判定結果「合格」						
2008	維持審査	判定結果「合格」						
2009	第2回更新審査	判定結果「合格」						
2010	維持審査	判定結果「合格」						
2011	維持審査	判定結果「合格」						
2012	維持審査	判定結果「合格」						
2013	維持審査	判定結果「合格」						
2014	第3回更新審査	判定結果「合格」						
2015	維持審査	判定結果「合格」						

表A-6 環境マネジメントシステム(EMS)の構築、運用状況(2015年度)

拠点名	環境マネジメントシステム(EMS)の構築、運用状況及びその評価並びにそれをふまえた今後の方向性
大洗	<p>平成24年6月27日に「環境マネジメントシステム自己適合宣言書」に基づく活動へ移行した。</p> <p>平成25年3月11日～14日に実施した内部監査によって、自己宣言後の活動が規格の要求事項に適合していること及び適切に運用していること等を確認した。</p> <p>平成26年2月13日～19日に実施した内部監査によって、活動の運用管理及び維持管理が適切に実施されていること並びに確実に活動の順守評価が行われていること等を確認した。</p> <p>平成27年2月16日～17日に実施した内部監査によって、活動が規格の要求事項に適合し、有効に運用、維持されていることを確認した。</p> <p>平成28年2月22日～25日に実施した内部監査によって、活動が規格の要求事項に適合し、有効に運用、維持されていることを確認した。</p> <p>省エネ・省資源などの環境負荷低減に関する活動も定着したことから、平成28年度からはISO14001「自己宣言」を返上し、環境配慮管理規程に基づいた活動に移行する。</p>
東濃	<p>環境管理システム運用開始から12年が経過しシステム改善がさらに進むとともに、外・内部監査によって指摘のあった事項については、環境管理システム運用以外の業務に頭・潜在するリスクの推定にも活かされるなど、他業務への応用も図られている。</p> <p>品質保証(ルール)の策定と順守)は全ての業務に共通する重要事項であり、業務を確度高く進めるうえで有効な手段となるが、環境管理システムはその一モデルとしても有用と考える。また、同システム導入により取得しているISO14001認証については、東濃地科学センターが遂行する業務が第三者によるチェックを受けているという証左ともなるため、地域の方々からの信頼をより得るためにも維持していく。</p>
高崎	<p>平成26年度の更新審査及び内部監査の結果を踏まえISOマニュアル等の改訂を行う等により、平成27年6月に実施されたISO14001:2004の定期サーベイランス審査において、マネジメントシステムが規格要求事項に適合し有効に実施されていること及びシステムの継続的改善が図られていることが確認され、総合評価において「向上」の評価を得た。引き続き、量子ビームを利用した環境浄化・保全と資源の有効利用に貢献する研究の推進及びエネルギー資源の節約等に取り組んでいく。</p>

表A-7 環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況(2015年度)

拠点名	環境に配慮したサプライチェーンマネジメントの状況 (サプライチェーンマネジメントに関する方針、基準、計画、実績等)
大洗	<p>発注仕様書において、環境へ配慮する事項及びグリーン購入法の推進等を要求している。</p>
東濃	<p>発注仕様書において、グリーン購入法の推進等を要求している。</p>
高崎	<p>各取引先に対しては、発注仕様において、グリーン購入法の推進及び環境マネジメントシステム「ISO14001」規格に基づき制定した「環境方針」の理解と当研究所における環境活動への協力依頼を行っている。</p>

表A-8 清掃活動等のボランティア等への参加・貢献状況(2015年度)

拠点名	タイトル	実施時期	原子力機構からの参加者・貢献者の人数	場所	概要
幌延	北海道春のグリーン作戦	2015年5月25日	10	町内公道	町内公道の清掃
	天塩川クリーンアップ大作戦	2015年7月12日	12	天塩川周辺	天塩川の清掃
青森	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2015年5月28日	26	青森研究開発センター周辺	青森研究開発センター周辺の空き缶、ガラス片、ゴミくず等を清掃した。
	青森研究開発センター周辺環境配慮活動	2015年12月1日	19	青森研究開発センター構内	青森研究開発センター構内の落ち葉拾いを行った。
本部 原科研 サイクル研	平成27年度 東海村春の一斉グリーン作戦	2015年6月4日	820	原科研、サイクル研周辺	原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所周辺の清掃
	平成27年度 久慈川水系一斉グリーン作戦	2015年7月5日	160	久慈川流域	久慈川流域(石神外宿河川敷グラウンド、石神内宿河川敷グラウンド)の清掃
	平成27年度 東海村秋のグリーン作戦	2015年10月22日	830	原科研、サイクル研本部周辺	原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所、本部周辺の清掃
大洗	大洗町主催「クリーンアップ大洗」	2015年6月28日	100	大洗町	海岸清掃活動
	昼休みボランティア清掃活動	2015年5月～10月 (毎月1回程度)	101	銚田市、大洗町	大洗研究開発センター周辺の清掃活動
	昼休みボランティア清掃活動	2015年12月	104	銚田市、大洗町	大洗研究開発センター周辺の清掃活動
NEAT 福井	クリーンアップふくい	2015年6月4日	7	支所周辺	支所周辺の清掃
東濃	道の駅「志野・織部」付近の植栽帯における花植作業	2015年5月28日 2015年6月11日 2015年8月31日～ 9月11日 2015年11月5日 2015年11月12日	83	事務所周辺 (道の駅「志野・織部」付近)	植栽帯の土づくり、花植作業
	散策路及び植栽の整備	2015年6月8日～ 2015年10月30日	80	事務所周辺(瑞浪超深地層研究所付近)	散策路及び植栽の整備
	土岐川(狭間川)河川清掃への参加	2015年6月7日	33	事務所周辺 (サイエンスワールド付近)	事務所近隣の河川岸の草刈り及びゴミ回収
敦賀	クリーンアップふくい大作戦	2015年6月7日	18	敦賀市	清掃活動(松原海岸)
	笹の川クリーン作戦	2015年9月27日	12	敦賀市	清掃活動(笹の川周辺)
	スポーツGOMI拾い大会in敦賀市	2016年3月5日	5	敦賀市	清掃活動(鞠山・田結海水浴場)
	第4回 H27クリーンアップ大作戦	2015年6月18日	50	敦賀市 本部事務所周辺	清掃活動(本部事務所周辺清掃)
	本部事務所周辺清掃活動	2015年10月2日	50	敦賀市 本部事務所周辺	清掃活動(本部事務所周辺清掃)
もんじゅ	クリーン美浜	2015年4月28日	29	水晶浜交差点～馬背峠	県道の清掃(水晶浜交差点～馬背峠) 美浜町生涯学習課からの要請
	白木海岸清掃	2015年6月7日	14	白木浜	白木浜の清掃
	クリーンアップふくい大作戦in美浜	2015年6月7日	15	菅浜城ヶ崎～水晶浜臨時派出所、水晶浜臨時派出所～丹生トンネル前	菅浜城ヶ崎～水晶浜臨時派出所、水晶浜臨時派出所～丹生トンネル前の清掃 美浜町からの要請
	白木海岸清掃	2015年7月5日	19	白木浜	白木浜の清掃
	クリーン美浜	2015年9月9日	30	水晶浜交差点～馬背峠	県道の清掃(水晶浜交差点～馬背峠) 美浜町生涯学習課からの要請
	白木海岸清掃	2015年9月27日、 12月13日、2016年 3月27日	58	白木浜	白木浜の清掃
ふげん	クリーンアップふくい大作戦	2015年6月7日	17	敦賀市立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路及び海岸を清掃し環境美化に勤める。
	県道清掃	2015年6月11日	14	敦賀市立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路を清掃し環境美化に勤める。
	水島清掃	2015年6月23日	22	敦賀市 水島	観光名所である水島を清掃し地域環境の保全・美化に貢献するとともに、地域の方々との交流を深める。
	県道清掃	2015年9月29日	13	敦賀市立石区及び浦底区	職場の周辺公共道路を清掃し環境美化に勤める。
関西 木津	施設周辺美化運動	2015年6月10日	98	事業所周辺・歩道・公園	施設周辺の清掃
	施設周辺美化運動	2015年10月14日	94	事業所周辺・歩道・公園	施設周辺の清掃
人形	第1回ボランティア清掃活動	2015年5月16日	60	センター周辺及びセンターから国道までの町道	センター周辺及びセンターから国道までの町道(3方向)の清掃活動を実施した。
	第2回ボランティア清掃活動	2015年10月17日	70	センター周辺及びセンターから国道までの町道	センター周辺及びセンターから国道までの町道(3方向)の清掃活動を実施した。
原子力機構からの参加者・貢献者の人数 合計			3,073		

表A-9 緑化・植林・植樹・花壇の整備等の取組(2015年度)

拠点名	タイトル	実施時期(開始～終了)	概要
原科研	構内花壇整備	2015年4月～2016年3月	構内の花壇の植替え等を行った。(2,320本、322㎡)
	松枯れ対策	2016年1月～2016年3月	松くい虫による松枯れ対策として研究所構内の松枯れ調査を実施し、その結果を基に、枯れ松の伐採を行い被害の拡大を防止した。
サイクル研	核サ研正門前花壇の整備	2016年1月	核サ研正門前花壇の環境美化を図るため、改修整備を行った。
	構内枯れ松の伐採	2016年2月～3月	構内における枯れ松の倒木及び松くい虫の被害拡大を防ぐため、枯れ松の伐採及び薬剤散布を行った(対象樹木本数1,604本)。
大洗	松くい虫被害拡大防止のための枯松等伐採作業ほか	2015年10月～2016年3月	松くい虫被害拡大を防止するため伐採等を行った。 (伐採数量:510本)
	松くい虫防除薬剤の散布作業	2015年6月～7月	松くい虫被害拡大を防止するため松くい虫防除薬剤の散布を行った。
	樹木の植樹等作業	2015年7月～2016年1月	過年度までに行なった枯松伐採作業により木々が隙らに存在している箇所について、森林部再生のため植樹作業を行った。(植樹本数:1000本)
NEAT	構内樹木樹幹注入作業	2016年2月1日	構内の松の木の維持管理の一環として、薬剤の樹幹注入作業を実施した。 (樹幹注入本数:279本)
	支援・研修センター敷地内の植栽・緑化・花壇整備	2015年5月～2016年3月	・樹木、芝の定期的な剪定、刈りこみの実施 ・敷地内の環境美化の一環として花壇を整備 ・夏にはグリーンインイノベーションとしてゴーヤのカーテンによる遮熱
高崎	総合管理棟及び材料科学研究棟完成記念植樹	2015年4月	総合管理棟、材料科学研究棟の完成記念としてハクモクレンの植樹を行った。
関西木津	研究棟の中庭整備作業	2015年6月19日	関西研の構内美観維持のため、研究棟の中庭整備作業を実施した。
人形	第6回「とっとり共生の森事業」の森林保全活動	2015年5月16日	2012年7月12日、鳥取県からの要請によりレンガ加工場跡地を含む山林(3ヶ所)を「とっとり共生の森事業」として参画することとなった。センターの安全等連絡協議会が主催し、レンガ加工場跡地に植樹された樹木について、積雪により倒れた木を起す作業及び施肥と水やり作業を実施した。
	第7回「とっとり共生の森事業」の森林保全活動	2015年10月17日	2012年7月12日、鳥取県からの要請によりレンガ加工場跡地を含む山林(3ヶ所)を「とっとり共生の森事業」として参画することとなった。センターの安全等連絡協議会が主催し、森林の環境保全のための下草刈り作業を実施した。

表A-10 環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等(2015年度)(1/2)

拠点名	タイトル	概要
いわき	ペーパーレス会議の導入	管理部の会議(朝会・管理部会)を中心にタブレットを用いたペーパーレス会議を実施し、コピー用紙使用量の削減に努めた。
サイクル研	居室等作業環境における年間を通じた電力使用量の削減への取り組み(案)(環境技術開発センター)	環境センター全体として電力使用量の削減に取り組んだ。 【具体例】 ・必要な照度が確保できる範囲での照明の消灯、昼休み時の全消灯、間欠使用室(会議室、トイレ等)照明の使用時以外の消灯により節電に努めた。
	蛍光灯からLED照明への切替(再処理技術開発センター)	居室の照明器具(24灯)のうち、2灯のLED化(全体で約54%、13灯)を実施し、省エネに貢献している。
	蛍光灯からLED照明への切替(総務・共生課)	事務管理棟照明器具のLED化を実施し、約3割の電気使用量を削減しており、省エネに貢献している。
那珂	ノーマイカーデーの実施	温室効果ガスの削減、地球温暖化防止や省エネルギーに対する意識の高揚を図ることを目的とし、通勤時における自家用車の使用を控える「ノーマイカーデー」を原則週に1度設定している。
	照明器具を環境配慮型に更新	連続運転の部屋の照明及び外灯を優先に、環境配慮型に順次更新している。
NEAT	窓側照明の消灯	日中のお昼休み時間帯で窓側の照明を消灯して節電に努めている。(支援棟1階のみ)
	グリーンカーテンを育成	日差しが強い支援棟1F居室窓側等にゴーヤのグリーンカーテンを栽培し、遮熱して夏の節電対策の一つとした。
東京	ペーパーレス会議の導入	定例会議を中心にiPadを用いたペーパーレス会議を実施し、コピー用紙使用量や印刷の手間を大幅に削減した。
もんじゅ	昼休み消灯の励行	昼休み(12:00~13:00)の間、もんじゅ事務所内で消灯を実施している。
	可燃・不燃ごみの分別励行	もんじゅ事務所内で可燃・不燃ごみのごみ箱を分けて設置し、分別の励行を実施。
	プラスチック・ペットボトル等の分別励行	もんじゅ事務所内でプラスチック・ペットボトル等のごみ箱を設置し、分別の励行を実施。
関西研	大実験室空調機の低速運転	レーザー装置の大実験室空調機では、休日・夜間や年末年始などの長期連休時に空調機の運転を高速運転から回転速度が1/4の低速運転に切り替えることによって電力の削減を図った。 関西研の電力使用量の6割を占める実験室空調機の電力を昨年に引き続き削減し平成27年度は9月の連休についても低速運転を実施し、更なる節電対策を進めた。
	蛍光灯、ダウンライトのLED化	研究棟、実験棟、計算・先端情報センター棟、多目的ホール棟、科学館、食堂の照明(ダウンライト314台、LED電球8個、ブラケット7台、スタンドランプ14個、蛍光灯101本、ペンダント灯)をLED照明に交換した。建家照明の電力使用量を削減し節電効果をあげた。
	廊下照明の人感センサー取付	計算・先端情報センター棟、研究棟の1階、2階廊下照明に人感センサー照明の取り付けを行った。廊下照明は、夜間に消し忘れによる不要な点灯を防止でき、人感センサーにより点灯することで、従来の電力使用量を削減し節電効果を上げた。

表A-10 環境に関する拠点等の独自の活動、地道な取組等(2015年度)(2/2)

拠点名	タイトル	概要
関西研	実験棟、研究棟のブラインド設置による節電	実験棟2階廊下と研究棟2階打合スペースの窓には、ブラインドがなく朝方に太陽光や西日が入っていた。そのため、遮光用ブラインドを設置し空調負荷を軽減できるようにした。
	実験室の空調停止	実験棟小実験室(C112)の空調機(AC-E08)は、24時間連続運転となっている。実験の使用状況を研究者と確認を行い平成27年度の実験予定ないことで停止することができた。そのため、約3,200千円/年間の電気料金を削減できた。
	契約電力の低減化	空調機、照明など省エネ対策の実績から関西電力(株)との電力需給契約の契約電力を低下させ電気料金の削減を図った。 木津地区: 100kWの低減(平成27年度: 1,800kW⇒1,700kW) 約2,000千円/年間
人形峠	「業務目標(省資源・省エネ)」による管理	<ul style="list-style-type: none"> 平成25年度から「業務目標(省資源・省エネ)」の管理に移行し、「省エネ法に基づく定期報告書の過去5年間のエネルギー消費原単位の変化状況」により年平均1%削減の管理を実施している。 平成23年度を基準年度とし、平成24年度から平成27年度の4年間では、年平均0.6%の増加となっている。 平成26年度から開始した新規事業(施設の解体作業、滞留ウラン回収作業)に伴い、年平均のエネルギー消費原単位が増加した。
	「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画」による管理	<ul style="list-style-type: none"> 「温室効果ガス排出の抑制等の実施計画」は平成25年度から平成29年度の5年間に平成24年度の温室効果ガス排出実績に対して5%の削減管理を実施している。 5ヶ年計画の3年目の活動を実施し、昨年度(13.1%増加)に引き続き、16.4%の増加となり年平均1%の削減までは至らなかった。今年度の電気使用量は濃縮工学施設の解体作業及び滞留ウラン回収作業(新規)により4.4%増加、重油使用量は給排気設備の連続運転による熱水暖房の増加で39.6%増加した結果となった。 要因は、濃縮工学施設の解体作業及び滞留ウラン回収作業(新規)による電気使用量の増加や給排気設備の連続運転の増加、電気事業者排出係数の増加に伴い、温室効果ガス排出量が増加した。なお、基準年度の電気事業者排出係数とした場合の電気による温室効果ガスは、昨年度は2.7%の増加で今年度は4.4%の増加となり、新規事業の電気使用量を差し引くと1.3%の削減(全体の温室効果ガスは0.3%の増加)となる。今後も濃縮工学施設等における休祭日の給排気停止の継続、適正な温度による熱水暖房を行うことによつて、5年間に5%の削減は達成可能である。

付録 B.

環境報告の詳細データ

表 リ ス ト

(エネルギー投入量)

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ
(2015年度) 54

表B-2 電気使用量増減の理由及び取組内容 (2015年度) 86

表B-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容 (2015年度) 88

表B-4 総エネルギー投入量種類別割合 (2015年度) 90

表B-5 総エネルギー投入量拠点別割合 (2015年度) 91

表B-6 総エネルギー投入量種類別推移 (2015年度) 92

表B-7 総エネルギー投入量拠点別推移 (2015年度) 93

表B-8 電気使用量拠点別推移 (2015年度) 94

表B-9 化石エネルギー投入量拠点別推移 (2015年度) 95

(温室効果ガス排出量)

表B-10-1 総温室効果ガス拠点別排出量 (2015年度) 96

表B-10-2 調整後総温室効果ガス拠点別排出量 (2015年度) 97

表B-11-1 総温室効果ガス排出量拠点別推移 (2015年度) 98

表B-11-2 調整後総温室効果ガス排出量拠点別推移 (2015年度) 99

表B-12-1 電気使用に伴うCO₂排出量拠点別推移 (2015年度) 100

表B-12-2 電気使用に伴う調整後CO₂排出量拠点別推移 (2015年度) 101

表B-13-1 エネルギー起源CO₂排出量種類別推移 (2015年度) 102

表B-13-2 調整後エネルギー起源CO₂排出量種類別推移 (2015年度) 103

表B-14 一般・産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量 (2015年度) 104

表B-15 代替フロン等4ガス集計表 (2015年) 105

表B-16 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の種類別推移
(2015年) 113

表B-17 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の拠点別推移
(2015年) 114

表B-18 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量 (2015年度) 115

(輸送に係る環境負荷の状況)

表B-19 輸送量 (トンキロ) 総計表 (2015年度) 117

表B-20 輸送量 (トンキロ) (核燃料物質等) と (その他) (2015年度) 118

(紙資源投入)

表B-21 コピー用紙投入 (2015年度) 123

(グリーン購入)

表B-22 特定調達品目 (物品・役務) 調達実績集計表 (2015年度) 126

(グリーン調達)

表B-23 特定調達品目（公共工事）調達実績集計表（2015年度）	139
（大気汚染物質の定期的な測定）	
表B-24 大気汚染物質の測定結果（2015年度）	140
（廃棄物焼却量の減量とダイオキシン類の定期的な測定）	
表B-25 ダイオキシン類の測定結果（2015年度）	142
（水資源投入及び排水）	
表B-26 水資源投入量及び排水量（2015年度）	143
（水質汚濁物質等の測定）	
表B-27 水質測定結果（カドミウム等）（2015年度）	144
表B-28 水質測定結果（水素イオン濃度等）（2015年度）	149
（PRTR 法対象化学物質の管理）	
表B-29 PRTR 法対象化学物質の排出・移動量（2015年度）	155
（PCB 廃棄物）	
表B-30 PCB 廃棄物保管量増減の理由及び取組内容（2015年度）	156
（一般廃棄物の管理及び産業廃棄物の管理）	
表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（2015年度）	157
表B-32 拠点別廃棄物分類別集計表（2015年度）	183
表B-33 拠点別一般廃棄物集計表（2015年度）	184
表B-34 拠点別特別管理一般廃棄物集計表（2015年度）	185
表B-35 拠点別産業廃棄物集計表（2015年度）	186
表B-36 拠点別特別管理産業廃棄物集計表（2015年度）	187
表B-37 産業廃棄物区分別割合（2015年度）	188
表B-38 産業廃棄物管理票（マニフェスト）の状況（2015年度）	189
表B-39 廃棄物増減の理由及び取組内容（2015年度）	190
（有価物）	
表B-40 有価物の払い出し量（2015年度）	192
（建設リサイクル）	
表B-41 建設リサイクル集計表（2015年度）	193
（放射性廃棄物の処理）	
表B-42 放射性固体廃棄物（2015年度）	194
表B-43 放射性気体廃棄物の放出量（再処理施設以外）（2015年度）	196
表B-44 放射性気体廃棄物の放出量（再処理施設）（2015年度）	198
表B-45 放射性液体廃棄物の放出量（再処理施設以外）（2015年度）	199
表B-46 放射性液体廃棄物の放出量（再処理施設）（2015年度）	200

(騒音・振動の定期的な測定)

表B-47	騒音規制法に基づく測定 (2015年度)	201
表B-48	振動規制法に基づく測定 (2015年度)	203
表B-49	悪臭防止法に基づく測定 (2015年度)	204

(拠点等の概要)

表B-50	環境データ拠点別比較	205
-------	------------	-----

注記)

表中の数値は四捨五入による端数処理をして表記した。そのため、個々の数値を合算した数値と表記されている合計値とが一致しない場合がある。

図 リ ス ト

(拠点等の概要)

図B-1	総エネルギー投入量の拠点別比較（2015年度）	210
図B-2	水資源投入量の拠点別比較（2015年度）	211
図B-3	コピー用紙投入量の拠点別比較（2015年度）	212
図B-4	総温室効果ガス排出量の拠点別比較（2015年度）	213
図B-5	一般・産業廃棄物発生量の拠点別比較（2015年度）	214

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量地点別集計データ（概算）（2015年度）（1/32）

地点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/名単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出換算係数	温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
	一般電気事業者	その他の電気事業者												
電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	(kWh)	105,226	304,748	409,974	0.00997	4,087	105	0.000683	280	282	北海道電力	
		夜間買電		35,048	69,188	104,236	0.00928	967	25	0.000688	71	72	北海道電力	
		その他の電気事業者1		0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		その他の電気事業者2		0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計		52,114	258,191	310,305	0.00997	3,094	80	0.000000	0	0		
		自家発電		0	0	0	0.00976	5,055	130	0.000000	351	354		
	化石	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			0.11	0.07	0.17	34,6000	6	0	0.0671	0		
		ガソリン			5.94	25.21	31.15	36,7000	1,143	29	0.0678	78		
		灯油			0.00	0.00	0.00	37,7000	0	0	0.0686	0		
		A重油			0.00	0.00	0.00	39,1000	0	0	0.0683	0		
		LPG			0.00	0.00	0.00	50,8000	0	0	0.0590	0		
		LNG			0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0	0.0485	0		
		天然ガス			193.82	428.57	622.39	0.0435	0	0	0.0510	0		
		都市ガス			0.00	0.00	0.00	0.0448	28	1	0.0489	1		
		その他			0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0		
暖房	小計(2)			1,177	1,177	30	1,177	30	431	433	433			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						6,232	161						
	代替フロン等4ガス	HFC	排出量	(kg)										
		PFC	排出量	(kg)										
		SF6	排出量	(kg)										
		NF3	排出量	(kg)										
		小計(3)												
	廃棄物焼却	焼却量	CO2	(t)										
			CH4	(t)										
			N2O	(t)										
			排出係数CH4/t											
			排出係数N2O/t											
	浄化槽	人数	CO2	(人)										
			CH4	(人)										
			N2O	(人)										
排出係数CH4/人														
排出係数N2O/人														
小計(4)														
小計(5)														
直接温室効果ガス排出量														
総合計(総温室効果ガス排出量)														
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量														
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量														
温室効果ガス排出量を加えた総合計														

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量地点別集計データ（青森）（2015年度）（2/32）

地点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後 温室効果ガス排出量 (t)	備考	
青森	電気	一般電気事業者	6,562,489	6,807,339	13,369,828	0.00997	133,297	3,439	-	7,661	7,661		
		夜間買電	4,362,345	4,525,304	8,887,649	0.00928	82,477	2,128	-	5,083	5,083		
		その他の電気事業者1	431,900	612,285	1,044,185	0.00997	10,411	269	-	482	482		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	3,464,983	5,088,560	8,553,523	0.00997	85,279	2,200	-	-	-	-	
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	-	-	-	-	
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量		23,301,862		23,301,862		226,185	5,936		13,183	13,236	
		化石	ガソリン	(kL)	0.27	0.41	0.68	34,600	24	1	0.0671	2	
	灯油	(kL)	9.59	86.56	96.16	36,700	3,529	91	0.0678	239			
	軽油	(kL)	1.22	0.56	1.79	37,700	67	2	0.0686	5			
	A重油	(kL)	4.20	54.63	58.82	39,100	2,300	59	0.0693	159			
	LPG	(t)	1.76	2.11	3.87	50,800	196	5	0.0590	12			
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0			
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
	都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
	その他	-	0.00	0.00	0.00		0	0		0			
	小計(2)			6,116		6,116	158			416			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量			232,301		232,301	5,993			13,600	13,652		
廃棄物焼却	代替フロン等4ガス	HFC			0.086					0.232			
		PF6			0.000					0.000			
		SF6			0.138					22,800	3,146		
		NF3			0.000					17,200	0.000		
		小計(3)			0.000					3.38	0.000		
	焼却物	CO2								CO2換算	0.000		
		CH4			0					CO2換算	0.000		
		N2O								CO2換算	0.000		
		小計(4)								298	0.000		
		小計(5)								0.000	0.000		
浄化槽	CH4	(人)			224				CO2換算	6,160			
	N2O								CO2換算	1,736			
	小計(5)								7,896	428			
直接温室効果ガス排出量									13,611	13,664			
総合計(総温室効果ガス排出量)									75	13,686			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計											13,739		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量地点別集計データ (むつ) (2015年度) (3/32)

地点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
むつ	電気	一般電気事業者	261,089	308,339	569,428	0.00997	5,677	146	0.000571	325	326	東北電力		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	東北電力	
		その他の電気事業者1	431,900	612,285	1,044,185	0.00997	10,411	269	0.000454	474	482	エネネット		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0			
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0			
		電気需要平準化時間帯のみの合計	341,863	688,660	1,030,523	0.00997	10,274	265						
		自家発電	0	0	0	0.00976								
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			1,613,613		16,088	415			799	809		
		化石	ガソリン	(kℓ)	0.05	0.12	0.17	34,6000	6	0.0671	0	0		
			灯油	(kℓ)	1.55	8.87	10.42	36,7000	382	0.0678	0	26		
			軽油	(kℓ)	0.81	0.55	1.37	37,7000	51	0.0686	4	4		
			A重油	(kℓ)	4.20	54.63	58.82	39,1000	2,300	0.0683	159	159		
			LPG	(t)	0.05	0.05	0.10	50,8000	5	0.0590	0	0		
			LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0.0495	0	0		
天然ガス	(Nm³)		0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0				
都市ガス	(Nm³)		0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0	0				
その他	-		0.00	0.00	0.00		0			0				
小計(2)					2,744		71			190				
むつ	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量	HFC			0.086					989	988			
		PFC			0.000					0.000	0.000			
		SF ₆			0.000					22,800	0.000			
		NF ₃			0.000					17,200	0.000			
		排出量			0.000					0.23	0.000			
		小計(3)								0.000	0.000			
		廃棄物焼却	CO ₂											
			CH ₄											
			N ₂ O											
		浄化槽	小計(4)											
焼却量														
排出係数CH ₄ /t														
CH ₄ 排出量							0.000							
排出係数N ₂ O/t							0.000							
小計(5)	人数													
	排出係数CH ₄ /人													
	CH ₄ 排出量						0.08			2.118				
	排出係数N ₂ O/人						0.000			0.597				
	N ₂ O排出量						0.00026			2.714				
直接温室効果ガス排出量									192					
総合計(総温室効果ガス排出量)									992	1,001				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									0					
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									992	1,001				

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (六ヶ所) (2015年度) (4/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kkl)	実排出換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
														調整後温室効果ガス排出量 (t)	
六ヶ所	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	6,301,400	6,499,000	12,800,400	0.00997	127,620	3,293	0.000571	7,309	7,335	東北電力		
			夜間買電	4,362,345	4,525,304	8,887,649	0.00928	82,477	2,128	0.000571	5,075	5,093		東北電力	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0		
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0		
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0		
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計			3,123,100	4,399,900	7,523,000	0.00997	75,004	1,935	0.000000	0	0		
		自家発電			0	0	0	0.00976	0	0					
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					21,688,049		210,097	5,421		12,384		12,427	
		化石	ガソリン	灯油	0.22	0.29	0.52	34,600	18	0	0.0671	1			
	軽油			8.04	77.69	85.74	36,700	3,146	81	0.0678	213				
	A重油			0.41	0.01	0.42	37,700	16	0	0.0686	1				
	LPG			0.00	0.00	0.00	39,100	0	0	0.0693	0				
	LNG			1.71	2.06	3.77	50,800	192	5	0.0590	11				
	天然ガス			0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0				
	都市ガス			0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0				
	その他			0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0				
	小計(2)				0.00	0.00	0.00	0	0	0		227			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						213,469		5,508			12,611		12,654	
	廃棄物焼却	代替フロン第4ガス	HFC			0.000					0.000				
PFC					0.000					0.000					
SF ₆					0.138					22,800					
小計(3)					0.000				17,200						
浄化槽	廃棄物焼却	CO ₂	焼却量							0.000					
		CH ₄			0	排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算	0.000					
		N ₂ O				排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量	0.000	CO ₂ 換算	25					
小計(4)									298						
フロン排出抑制法による温室効果ガス排出量	浄化槽	CH ₄	人数		147	排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量	0.16	CO ₂ 換算	4,043					
		N ₂ O				排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量	0.0011	CO ₂ 換算	25					
		小計(5)				0.000026	0.00	0.00	298						
直接温室効果ガス排出量										5,181					
総合計(総温室効果ガス排出量)										235					
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										12,619		12,663			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										75					
小計(6)										12,694		12,738			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（福島拠点）（2015年度）（5/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kt)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考
福島拠点	電気	一般電気 事業者	164,180	387,310	551,490	0.00997	5,498	142	-	315	316	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0	
		その他の 電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0	
		その他の 電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0	
		電気需要平準化時間帯のみの合計	99,990	305,348	405,338	0.00997	4,041	104	-	0	0	
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	-	0	0	
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0.00	0.00	551,490	0.00	5,498	142	-	315	316	
		化石	ガソリン	(kl)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0	0
	灯油	(kl)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0		
	軽油	(kl)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0		
	A重油	(kl)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0683	0	0		
	LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0		
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0		
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0		
	都市ガス	(Nm ³)	2,912.00	3,113.00	6,025.00	0.0448	270	7	0.0499	13	13	
	その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	-	0	0	
	小計(2)						270	7		13	13	
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						5,768	149		328	329	
廃棄物焼却 浄化槽	排出量	HFC	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	0.000	0.000	
		PFC	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	0.000	0.000	
		SF ₆	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	22,800	0.000	
		NF ₃	0.00	0.00	0.00	-	-	-	-	17,200	0.000	
		小計(3)								0.000	0.000	
	焼却量	CO ₂				排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量			CO ₂ 換算	0.000	
		CH ₄				排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量	25		CO ₂ 換算	0.000	
		N ₂ O				排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量			CO ₂ 換算	1.705	
		小計(4)				排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量	62		CO ₂ 換算	0.480	
		小計(5)				0.000026	0.00			2.185	16	
直接温室効果ガス排出量									331	332		
総合計(総温室効果ガス排出量)									0	0		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									331	332		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									331	332		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (2015年度) (6/32)

拠点	項目		単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
	一般電気事業者	その他の電気事業者													
電気	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	46,080	45,679	91,759	0.00997	915	24	0.000571	52	0.000573	53	東北電力	
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	東北電力	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
	夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
	電気需要平準化時間帯のみの合計	25,705	32,876	58,581	584	15									
	自家発電	0	0	0	0.00976	0									
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0	0	0	915	24								53	
	化石	化石	ガソリン	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0	0.0671	0			
			灯油	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0	0.0678	0			
			軽油	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0	0.0686	0			
			A重油	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0	0.0683	0			
			LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0	0.0590	0			
			LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0			
天然ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0				
都市ガス			(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0				
その他			(-)	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0				
小計(2)			0	0	0	0	0								
いわき	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)					915	24		52		53		
		PFC	(kg)								0.000		0.000		
		SF ₆	(kg)								22,800		0.000		
		NF ₃	(kg)								17,200		0.000		
		小計(3)									0.000		0.000		
		廃棄物焼却										0.000		0.000	
	浄化槽	CO ₂	(t)												
		CH ₄	(t)												
		N ₂ O	(t)												
	小計(4)														
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量	CH ₄	(人)												
		N ₂ O	(人)												
		小計(5)													
	直接温室効果ガス排出量														
	総合計(総温室効果ガス排出量)														
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量															
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計															

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（摘要）（2015年度）（7/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考			
電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	26,890	241,341	268,231	0.00997	2,674	69	0.000571	153	0.000573	154	東北電力			
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	東北電力			
	その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0			
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	0			
	その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0			
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	0			
		電気需要平準化時間帯のみの合計		26,890	204,181	231,071	0.00997	2,304	59							
		自家発電		0	0	0	0.00976	0	0							
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量				268,231		2,674	69		153		154			
	化石	ガソリン	灯油	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0					
			軽油	0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0					
			A重油	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0					
			LPG	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0683	0					
			LNG	0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0					
			天然ガス	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0					
			都市ガス	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0					
			その他	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0					
			小計(2)		0.00	0.00	0.00		0	0						
				総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量				0.000	2,674	69			153		154	
			廃棄物焼却	HFC	排出量			0.000					0.000			
					PFC			0.000					0.000			
	SF ₆					0.000					22,800					
	NF ₃					0.000					17,200					
	小計(3)					0.000						0.000				
	浄化槽	CO ₂			焼却量			0				排出係数CH ₄ /t				
CH ₄											CH ₄ 排出量					
N ₂ O											N ₂ O排出量					
小計(4)	人数						62			排出係数CH ₄ /人						
	CH ₄									CH ₄ 排出量						
	N ₂ O							N ₂ O排出量								
小計(5)	直接温室効果ガス排出量															
	総合計(総温室効果ガス排出量)				155							156				
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量				0											
備考	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量				155							156				
	温室効果ガス排出量を加えた総合計															

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量地点別集計データ (福島) (2015年度) (8/32)

地点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
福島	電気	一般電気事業者	91,210	100,290	191,500	0.00997	1,909	49	0.000571	109	0.000573	110	東北電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	東北電力
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0	0.000000	0	
		その他の電気事業者2	47,395	68,291	115,686	0.00997	1,153	30	0.000000	0	0.000000	0	0	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	
		電気需要平準化時間帯のみの合計	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0	
	自家発電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0		
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	0		
	化石	ガソリン	(kl)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0	0	0	0	
		灯油	(kl)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0	0	0	
		軽油	(kl)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0	0	0	
		A重油	(kl)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0683	0	0	0	0	
		LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0	0	0	
		LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0	0	0	
		天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0	0	0	
		都市ガス	(Nm ³)	2,912.00	3,113.00	6,025.00	0.0448	270	7	0.0499	13	0.0499	13	
		その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	
		小計(2)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0	0	0	
	廃棄物焼却	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量		2,179	2,179	4,358	56	123	123	0.000	0.000	0.000	0.000	
代替フロン等4ガス		排出量	0.000	0.000	0.000	-	0.000	0.000	-	0.000	0.000	0.000		
HFC		(kg)	0.000	0.000	0.000	-	0.000	0.000	-	0.000	0.000	0.000		
PFC		(kg)	0.000	0.000	0.000	-	0.000	0.000	-	0.000	0.000	0.000		
SF ₆		(kg)	0.000	0.000	0.000	-	0.000	0.000	-	0.000	0.000	0.000		
NF ₃		(kg)	0.000	0.000	0.000	-	0.000	0.000	-	0.000	0.000	0.000		
小計(3)		0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
CO ₂		排出係数CH ₄ /t	焼却量	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
CH ₄		排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
N ₂ O		排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000		
小計(4)	298	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			
浄化槽	CH ₄	排出係数CH ₄ /人	人数	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	N ₂ O	排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		
	小計(5)	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000			
直接温室効果ガス排出量		13	13	26	13	13	13	13	0.000	0.000	0.000			
総合計(総温室効果ガス排出量)		123	123	246	123	123	123	123	0.000	0.000	0.000			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量		0	0	0	0	0	0	0	0.000	0.000	0.000			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量		123	123	246	123	123	123	123	0.000	0.000	0.000			
温室効果ガス排出量を加えた総合計		123	123	246	123	123	123	123	0.000	0.000	0.000			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量地点別集計データ (本部) (2015年度) (9/32)

地点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
本部	電気	一般電気事業者	112,478	149,656	262,134	0.00997	2,613	67	0.000505	132	130	東京電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	51,804	52,184	103,988	0.00928	965	25		53	52	東京電力	
		その他の電気事業者1	309,901	428,452	738,353	0.00997	7,361	190	0.000386	285	408	日本ロジテック	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0					
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0					
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計	243,533	434,298	677,831	0.00997	6,758	174					
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0					
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0.00	0.00	1,104,475		10,940	282			470	589	
		化石	ガソリン	(kl)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0		
	灯油	(kl)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0				
	軽油	(kl)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0				
	A重油	(kl)	0.05	0.05	0.10	39,100	3	0.0683	0				
	LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0				
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0				
	天然ガス	(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0				
	都市ガス	(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0				
	その他	-	0.00	0.00	0.00		0						
	小計(2)						3	0					
		総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					10,943	282			470	589	
本部	代替フロン等4ガス	HFC								0.000			
		PFC								0.000			
		SF ₆								22,800			
		NF ₃								17,200			
		小計(3)								0.000			
	廃棄物焼却	CO ₂									0.000		
		CH ₄									0.000		
		N ₂ O									0.000		
		小計(4)									0.000		
		浄化槽	CH ₄								0.000		
	N ₂ O								0.000				
小計(5)									0.000				
	直接温室効果ガス排出量									0			
	総合計(総温室効果ガス排出量)									470	589		
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									0			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									470	589		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（原研研(J-PARCを含む)）(2015年度) (10/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量換算値 (kG)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
原研研(J-PARCを含む)	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	66,308,213	90,999,509	157,307,722	0.00997	1,588,358	40,464	-	79,440	78,025	
		夜間買電	44,947,308	64,054,913	109,002,221	0.00928	1,011,541	26,098	-	55,046	54,085		
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0	
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0	
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	19,675,300	59,834,713	79,510,013	0.00997	792,715	20,452	-	0	0		
		自家発電	8,628	3,996	12,624	0.00976	0	0	-	0	0		
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	86,282	266,322,567	266,322,567	0.00976	2,579,899	66,561	-	134,487	132,090		
		化石	ガソリン	(kG)	1.91	1.79	3.70	34,600	128	3	0.0671	9	
	灯油		(kG)	2.17	1.20	3.37	36,700	124	3	0.0678	8		
	軽油		(kG)	2.12	1.95	4.07	37,700	153	4	0.0686	11		
	A重油		(kG)	18.60	8.78	27.38	39,100	1,070	28	0.0693	74		
	LPG		(t)	7.58	9.85	17.44	50,800	886	23	0.0590	52		
	LNG		(t)	388.34	1,691.40	2,079.74	54,600	113,554	2,930	0.0495	5,621		
	天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0		
	都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0		
	その他		-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0		
	小計(2)			1.91	1.79	3.70	115,915	2,991	69,552	-	5,775	137,865	
	原研研(J-PARCを含む)	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)			201,015				303,945		
PFC			(kg)			0,000				0,000			
SF ₆			(kg)			952,742				22,800	21,722,522		
NF ₃			(kg)			0,000				17,200	0,000		
小計(3)						0,000				22,026.47	0,000		
廃棄物焼却		CO ₂	(t)										
		CH ₄	(t)			0				CO ₂ 換算			
		N ₂ O	(t)							CO ₂ 換算			
浄化槽		CH ₄	(人)			2,159				CO ₂ 換算	59,373		
		N ₂ O	(人)							CO ₂ 換算	16,728		
	小計(4)								CO ₂ 換算	76,100			
直接温室効果ガス排出量										27,877			
総合計(総温室効果ガス排出量)										162,364			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										1,656			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										164,020			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (原料研) (2015年度) (11/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
電気	一般電気 事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む) 夜間買電	20,338,996 13,067,970	18,917,443 13,229,712	39,256,439 26,297,682	0.00997 0.00928	391,387 244,042	10,098 6,296	0.000505	19,825 13,280	19,471 13,044	東京電力 東京電力	
	その他の 電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む) 夜間買電	0 0	0 0	0 0	0.00997 0.00928	0 0	0 0	0.000000	0 0	0 0	0	
		その他の 電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む) 夜間買電	0 0	0 0	0 0	0.00997 0.00928	0 0	0 0	0.000000	0 0	0	
			電気需要平準化時間帯のみの合計	11,579,685 8,623	12,729,730 3,996	24,309,415 12,619	0.00997 0.00976	242,365 635,429	6,253 16,394				
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			65,566,740						33,105	32,515	
	化石	ガソリン	(kℓ)	1.91	1.79	3.70	34,600	128	3	0.0671	9		
		灯油	(kℓ)	2.17	1.20	3.37	36,700	124	3	0.0678	8		
		軽油	(kℓ)	2.12	1.95	4.07	37,700	153	4	0.0686	11		
		A重油	(kℓ)	18.25	8.53	26.78	39,100	1,047	27	0.0683	73		
		LPG	(t)	7.58	9.85	17.44	50,800	886	23	0.0590	52		
		LNG	(t)	388.34	1,691.40	2,079.74	54,600	113,554	2,930	0.0495	5,621		
		天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0		
		都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0		
		その他	-	0.00	0.00	0.00		0	0		0		
		小計(2)				61,290		751,321	19,384		38,878	38,288	
原料研	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量				61,290		751,321	19,384		38,878	38,288		
	代替フロン 等4ガス	HFC	(kg)			0.00					87,645		
		PFC	(kg)			0.00					0.00		
		SF ₆	(kg)			952,742				22,800	21,722,518		
		NF ₃	(kg)			0.00				17,200	0.00		
小計(3)				0.00					21,810.16				
廃棄物焼却	CO ₂	(t)		焼却量		排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算	0.00			
	CH ₄	(t)			0		0.00		CO ₂ 換算	0.00			
	N ₂ O	(t)				排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量		CO ₂ 換算	0.00			
小計(4)						0.00			298				
浄化槽	CH ₄	(人)		人数	1,883	排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算	51,783			
	N ₂ O	(人)				0.0011	2.07	25	CO ₂ 換算	14,589			
	小計(5)					0.000026	0.05	298		66,372			
直接温室効果ガス排出量													
総合計(総温室効果ガス排出量)													
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													
温室効果ガス排出量を加えた総合計													
										60,755	60,165		
										62,175	61,585		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (J-PARC) (2015年度) (12/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kg)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
J-PARC	電気	一般電気事業者	45,969,217	72,082,066	118,051,283	0.00997	1,176,971	30,366	0.000505	59,616	58,553	東京電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	31,879,338	50,825,201	82,704,539	0.00928	767,498	19,801	0.000000	41,766	41,021	東京電力	
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0		
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	8,095,615	47,104,983	55,200,598	0.00997	550,350	14,199	0.000000	0	0		
		自家発電	5	0	5	0.00976	0	0	0.000000	0	0		
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			200,755,827			1,944,469	50,167		101,383	99,575	
		化石	ガソリン	(kg)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0	0	
		灯油	(kg)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0		
		軽油	(kg)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0		
		A重油	(kg)	0.35	0.25	0.60	39,100	23	0.0693	2	2		
		LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0		
		LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0		
		天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0		
		都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0	0		
		その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0000	0	0		
		小計(2)					23	1		2	2		
		総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					1,944,493	50,168		101,383	99,577		
廃棄物焼却	代替フロン第4ガス	HFC			139,725					216,300			
		PFC			0.000					0.000			
		SF ₆			0.000					22,800			
		NF ₃			0.000					17,200			
		小計(3)			0.000					216,31			
	焼却量	CO ₂								0.000			
		CH ₄							排出係数CH ₄ /t	CO ₂ 換算	0.000		
		N ₂ O							排出係数N ₂ O/t	CO ₂ 換算	25		
		小計(4)								298			
		小計(5)								0.000			
浄化槽	直接温室効果ガス排出量	CH ₄						排出係数CH ₄ /人	CO ₂ 換算	7,590			
		N ₂ O						排出係数N ₂ O/人	CO ₂ 換算	25			
		小計(6)							298				
		人数			276					9,728			
		小計(7)								228			
	総合計(総温室効果ガス排出量)								101,609	99,803			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量								236				
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計								101,845	100,038			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (サイクル研) (2015年度) (13/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー-換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー-原油換算値 (kkl)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
サイクル研	電気	一般電気	29,617,295	28,806,960	58,424,255	0.00997	582,490	15,028	0.000505	29,504	28,978	東京電力		
		事業用	31,721,785	31,033,237	62,755,022	0.00928	582,367	15,025	0.000505	31,691	31,126	東京電力		
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0			
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0			
		電気が必要平準化時間帯を含む	15,887,101	19,306,940	35,194,041	0.00997	350,885	9,053	0.000000	0	0			
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	0.000000	0	0			
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0.70	0.83	1.53	34,600	53	30,053	0.0671	0	61,196	60,105		
		化石	ガソリン	(kℓ)	32.81	38.55	71.36	36,700	68	0.0678	0	178		
			灯油	(kℓ)	55.44	23.30	78.75	37,700	77	0.0686	0	204		
			軽油	(kℓ)	2,866.83	3,983.88	6,850.71	39,100	268,645	6,931	0.0693	18,617		
	LPG		(t)	13.42	14.57	27.99	50,800	1,422	37	0.0590	84			
	LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0			
	その他	天然ガス	(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
		都市ガス	(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
		その他	(-)	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0			
		小計(2)		0.00	0.00	0.00	275,707	7,113	19,086	0	19,086			
		総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					1,440,564	37,167	80,281	0	80,281	79,191		
	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)	33,810	0.000	33,810	0.00076	0.000	0	0.000	0.000	0.000		
		PFC	(kg)	0.000	0.000	0.000	0.00076	0.000	0	0.000	0.000	0.000		
		SF ₆	(kg)	0.000	0.000	0.000	0.00076	0.000	0	0.000	0.000	0.000		
廃棄物焼却	NF ₃	(kg)	0.000	0.000	0.000	0.000724	0.000	0	0.000	0.000	0.000			
	CO ₂	(t)	0	0	0	排出係数CH ₄ /t	0.000	0	CO ₂ 換算	0.000	0.000			
	CH ₄	(t)	0	0	0	排出係数N ₂ O/t	0.000	0	CO ₂ 換算	0.000	0.000			
浄化槽	小計(3)		0	0	0	0.0000724	0.000	0	0.000	0.000	0.000			
	小計(4)		0	0	0	0.0000724	0.000	0	0.000	0.000	0.000			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量	CH ₄	(人)	1,999	0	1,999	排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量	25	CO ₂ 換算	54,973				
	N ₂ O	(人)	0.05	0	0.05	排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量	25	CO ₂ 換算	15,488				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計	小計(5)		70,461	0	70,461	0.000026	0.05	298	0.000	70,461				
	直接温室効果ガス排出量		19,205	0	19,205	0.000026	0.05	298	0.000	19,205				
総合計(総温室効果ガス排出量)	小計(6)		80,400	0	80,400	0.000026	0.05	298	0.000	80,400	79,309			
	総合計(総温室効果ガス排出量)		43	0	43	0.000026	0.05	298	0.000	43	43			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計	小計(7)		80,443	0	80,443	0.000026	0.05	298	0.000	80,443	79,353			
	総合計(総温室効果ガス排出量)		80,443	0	80,443	0.000026	0.05	298	0.000	80,443	79,353			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計シート（大洗）（2015年度）（14/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー 量 (GJ)	エネルギー 量 換算値 (kG)	実排出 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考		
大洗	電気	一般電気	11,978,440	11,385,419	23,363,859	0.00997	232,938	6,010	0.000505	11,799	11,588	東京電力		
		夜間買電	7,882,943	7,528,040	15,410,983	0.00928	143,014	3,690	0.000496	7,783	7,644	東京電力		
		その他の 電気事業者1	8,022,884	7,438,668	15,461,552	0.00997	154,152	3,977	0.000454	11,601	10,170	F-Power		
		その他の 電気事業者2	5,199,941	4,891,038	10,090,979	0.00928	93,644	2,416	0.000482	42	42	F-Power		
		夜間買電	37,313	21,002	58,315	0.00997	581	15				丸紅		
		夜間買電	14,311	14,594	28,905	0.00928	268	7				丸紅		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	10,557,242	12,923,916	23,481,158	0.00997	234,107	6,040						
		自家発電	12,438	15,522	27,960	0.00976	624,597	16,115				29,445		
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			64,442,553									
		化石	ガソリン	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0			
		灯油	(kℓ)	1.25	1.93	3.18	36,700	117	0.0678	8				
		軽油	(kℓ)	0.68	0.83	1.51	37,700	57	0.0686	4				
		A重油	(kℓ)	219.06	1,042.40	1,261.46	39,100	49,323	1,273	0.0693	3,418			
		LPG	(t)	19.62	12.29	31.92	50,800	1,621	0.0590	96				
		LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0				
		天然ガス	(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0				
		都市ガス	(Nm³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0				
		その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0				
		小計(2)				64,442,553	51,117	1,319			3,526			
		総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量				64,442,553	675,715	17,433			34,750	32,970		
大洗	代替フロン 等4ガス	HFC			0.025					0.036				
		PFC			0.000					0.000				
		SF ₆			0.000					22,800	0.000			
		NF ₃			0.000					17,200	0.000			
		小計(3)			0.025					0.04	0.000			
	廃棄物焼却	CO ₂								0	0.000			
		CH ₄				0.542			排出係数CH ₄ /t	CO ₂ 換算	0.001			
		N ₂ O							排出係数N ₂ O/t	CO ₂ 換算	0.012			
		小計(4)				0.542			0.000724	298				
	浄化槽	CH ₄							排出係数CH ₄ /人	CO ₂ 換算	32.120			
N ₂ O					1.168			排出係数N ₂ O/人	CO ₂ 換算	9.050				
小計(5)					1.168			0.000026	298					
	直接温室効果ガス排出量								41.170					
	総合計(総温室効果ガス排出量)								3.567					
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量								34,791	33,011				
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量								185					
	温室効果ガス排出量を加えた総合計								34,976	33,197				

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計シート（郡河）（2015年度）（15/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
郡河	電気	一般電気 事業者	12,872,965	10,081,182	22,954,147	0.00997	228,853	5,904	0.000505	11,592	11,385	東京電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	8,111,000	6,308,500	14,419,500	0.00928	133,813	3,452	0.000496	7,282	7,152	東京電力	
		その他の 電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0		
		その他の 電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	5,680,402	6,126,289	11,806,691	0.00997	117,713	3,037	0.000000	0	0		
		自家発電	16,400	17,400	33,800	0.00976	362,666	9,357	0.000000	0	0		
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			37,407,447						18,874	18,537	
		化石	ガソリン	(kℓ)	0.33	0.28	0.61	34,600	21	0.0671	1	1	
	灯油	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0			
	軽油	(kℓ)	0.39	0.33	0.71	37,700	27	0.0686	2	2			
	A重油	(kℓ)	60.45	536.30	596.75	39,100	23,333	602	0.0693	1,617			
	LPG	(t)	2.28	2.44	4.71	50,800	239	6	0.0590	14			
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0			
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
	都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
	その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0			
	小計(2)						23,620	609	9,966	1,634	20,172		
	郡河	代替フロン 第4ガス	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					386,286			20,508		
HFC			(kg)			0.000					0.000		
PFC			(kg)			0.000					0.000		
SF ₆			(kg)			15.500					22,800		
NF ₃			(kg)			0.000					353.400		
廃棄物焼却		排出量											
		排出係数CH ₄ /t											
		CH ₄ 排出量	(t)			0					0.000		
		排出係数N ₂ O/t											
		N ₂ O排出量	(t)			0.000					0.000		
浄化槽	小計(3)												
	小計(4)												
	CH ₄	(人)			345					9.488			
	N ₂ O	(人)			0.0011					0.38			
	小計(5)									2.673			
直接温室効果ガス排出量									12.161				
総合計(総温室効果ガス排出量)									20,000				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									20,874				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									30				
										20,903			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (NEAT) (2015年度) (16/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
NEAT	電気	一般電気事業者	278,138	242,798	520,936	0.00997	5,194	134	-	291	-	287		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	86,495	81,953	168,448	0.00997	1,563	40	-	85	-	84		
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	-	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	-	0		
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	-	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	-	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	134,749	151,682	286,431	0.00997	2,856	74	-	0	-	0		
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	-	0	-	0		
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	689,384	605	689,384	0.00976	6,757	174	-	377	-	371		
		化石	ガソリン	(kL)	0.06	0.05	0.10	34,600	0	0.0671	0	-	0	
		灯油	(kL)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	-	0		
		軽油	(kL)	0.16	0.73	0.89	37,700	33	1	0.0686	2	-	2	
		A重油	(kL)	0.01	0.05	0.06	39,100	2	0	0.0683	0	-	0	
		LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0	0.0590	0	-	0	
		LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0	-	0	
天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0	-	0			
都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0	-	0			
その他	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.00	0	-	0			
小計(2)			0.00	0.00	0.00	39	1	-	3	-	3			
NEAT	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					6,796	175	-	379	-	373			
NEAT	廃棄物焼却	HFC	(kg)							0.000				
		PFC	(kg)							0.000				
		SF ₆	(kg)							22,800				
		NF ₃	(kg)							17,200				
		小計(3)								0.000				
		CO ₂	(t)							排出係数CH ₄ /t	0.000			
		CH ₄	(t)							排出係数N ₂ O/t	0.000			
		N ₂ O	(t)							排出係数CO ₂ 換算	25			
		小計(4)								排出係数CO ₂ 換算	298			
		浄化槽	CH ₄	(人)						排出係数CH ₄ /人	0.000			
	N ₂ O	(人)						排出係数N ₂ O/人	0.00					
小計(5)								排出係数CO ₂ 換算	0.000					
直接温室効果ガス排出量									3					
総合計(総温室効果ガス排出量)									379		373			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									0					
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									379		373			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (NEAT茨城) (2015年度) (17/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
NEAT茨城	電気	一般電気事業者	164,084	156,752	320,836	0.00997	3,199	83	0.000505	162	159	東京電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	86,495	81,953	168,448	0.00928	1,563	40		85	84	東京電力	
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0		0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0		0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	94,083	113,558	207,621	0.00997	2,070	53		0	0		
		自家発電	0	0	0	0.00976	0						
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	489,284	0.05	0.10	34,600	3	123		247	243		
		化石	灯油	(kg)	0.06	0.00	0.00	36,700	0	0.0671	0		
	軽油	(kg)	0.16	0.73	0.89	37,700	1	0.0686	2				
	A重油	(kg)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0693	0				
	LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0				
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0				
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0				
	都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0				
	その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0						
	小計(2)			0.00	0.00	0.00	37	1		3			
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						4,799	124		250	245		
	廃棄物焼却	代替フロン等4ガス	HFC								0.000		
PFC										0.000			
SF ₆										22,800	0.000		
NF ₃										17,200	0.000		
排出量													
小計(3)		CO ₂									0.000		
		CH ₄									0.000		
		N ₂ O									25		
		焼却量									0.000		
		小計(3)									298		
浄化槽	小計(4)	CH ₄								0.000			
		N ₂ O								0.000			
		人数									0.000		
		小計(4)									0.000		
		小計(5)									3		
直接温室効果ガス排出量									250	245			
総合計(総温室効果ガス排出量)									0				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									250	245			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計													

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (NEAT福井) (2015年度) (18/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考
NEAT福井	電気	一般電気 事業者	114,054	86,046	200,100	0.00997	1,995	51	0.000647	129	128	北陸電力
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000647	0	0	北陸電力
		その他の 電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0	
		その他の 電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0	
		電気需要平準化時間帯のみの合計	40,686	38,124	78,810	0.00997	786	20	0.000000	0	0	
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	0.000000	0	0	
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0	0	0	0.00976	0	0	0.000000	0	0	
		化石	ガソリン	(kL)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	129	128
	灯油	(kL)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0.0678	0		
	軽油	(kL)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0.0686	0		
	A重油	(kL)	0.01	0.05	0.06	39,100	2	0.0683	0.0683	0		
	LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0.0590	0		
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0.0495	0		
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0.0510	0		
	都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0.0499	0		
	その他	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0.00	0		
	小計(2)			0.00	0.00	0.00	2	0	0.00	0		
	NEAT福井	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					1,997	52		130	128	
廃棄物焼却	代替フロン 等4ガス	HFC							-	0.000		
		PFC							-	0.000		
		SF ₆								22,800	0.000	
		NF ₃								17,200	0.000	
		排出量									0.000	
	小計(3)	CO ₂									0.000	
		CH ₄									0.000	
		N ₂ O									0.000	
		焼却量									0.000	
		小計(4)									0.000	
浄化槽	小計(5)	CH ₄								0.000		
		N ₂ O								0.000		
		人数								0.000		
		直接温室効果ガス排出量								0.000		
		総合計(総温室効果ガス排出量)								130	128	
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量								0	0			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量								130	128			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (高崎) (2015年度) (19/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
													調整後排出係数	
高崎	電気	一般電気事業者	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0			
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0			
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0			
		その他の電気事業者1	4,492,172	4,291,604	8,783,776	0.00997	87,574	2,259	0.000454	6,582	5,771	F-Power		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	3,005,520	2,708,552	5,715,072	0.00997	53,036	1,368				F-Power		
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0						
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0						
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	2,338,171	2,808,883	5,147,054	0.00997	51,316	1,324						
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0						
		電気需要平準化時間帯のみの合計	0	0	0	0.00976	140,610	3,628						
		自家発電	0	0	0									
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0.32	0.15	0.47	34,600	16	0.0671				5,771		
		化石	ガソリン	(kℓ)	7.32	2.94	10.25	36,700	376	10	0.0678	26		
			灯油	(kℓ)	0.09	0.00	0.09	37,700	3	0	0.0686	0		
			軽油	(kℓ)	0.33	220.95	221.28	39,100	8,652	223	0.0693	600		
A重油	(t)		1.07	1.52	2.59	50,800	131	3	0.0590	8				
LPG	(t)		0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0				
LNG	(Nm ³)		0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0				
天然ガス	(Nm ³)		0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0				
都市ガス	(Nm ³)		0.00	0.00	0.00		0	0						
その他	(-)		0.00	0.00	0.00		0	0						
小計(2)	9.179		0.00	9.179	9,179	237	634							
高崎	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量	HFC	(kg)	8,585			149,789	3,865		7,217	6,405			
		PFC	(kg)	0.000						12,277				
		SF ₆	(kg)	81,829						22,800				
		NF ₃	(kg)	0.000						17,200				
		排出量												
		小計(3)												
		廃棄物焼却	CO ₂	(t)										
			CH ₄	(t)										
			N ₂ O	(t)										
		浄化槽	小計(4)											
CH ₄	(人)													
N ₂ O	(人)													
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量	小計(5)													
	CH ₄	(人)												
	N ₂ O	(人)												
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量	直接温室効果ガス排出量													
	総合計(総温室効果ガス排出量)													
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計	小計(6)													
	CH ₄	(人)												
	N ₂ O	(人)												
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計	小計(7)													
	CH ₄	(人)												
	N ₂ O	(人)												

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ（東京地区）（2015年度）（20/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
東京地区	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	181,297	195,686	377,183	0.00997	3,761	97	-	190	-	187		
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0	0	0	0	
			その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0	-	0	-	0	
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	-	0	-	0	
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	-	0	-	0	
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	-	0	-	0	
		電気需要平準化時間帯のみの合計			85,736	130,183	215,919	0.00997	2,153	56	-	190	-	187	
		自家発電			0	0	0	0.00976	3,761	97	-	190	-	187	
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0	0	0	
		化石	ガソリン		0.00	0.00	0.00	36.7000	0	0	0.0678	0	0	0	
	灯油		0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0	0	0			
	軽油		0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0693	0	0	0			
	A重油		0.00	0.00	0.00	50.8000	0	0	0.0590	0	0	0			
	LPG		0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0	0	0			
	LNG		0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0	0	0			
	天然ガス		0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0	0	0			
	都市ガス		0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0			
	その他		-	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0		
	小計(2)			0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.00	0	0	0		
	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量														
東京地区	代替フロン等4ガス	HFC													
		PFC													
		SF ₆													
		NF ₃													
		排出量													
	小計(3)														
	廃棄物焼却	CO ₂													
		CH ₄													
		N ₂ O													
	小計(4)														
浄化槽	CH ₄														
	N ₂ O														
	人数														
小計(5)															
直接温室効果ガス排出量															
総合計(総温室効果ガス排出量)															
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量															
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計															

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計一覧（東京）（2015年度）（21/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
														調整後温室効果ガス排出量 (t)	
東京	電気	一般電気事業者	105,329	123,910	229,239	0.00997	2,286	59	0.000505	116	0.000496	114	東京電力		
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0	東京電力		
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0			
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0			
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0			
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	0			
		電気需要平準化時間帯のみの合計	45,316	80,882	125,898	0.00997	1,256	32							
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0							
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			229,239		2,286	59			116		114		
		化石	ガソリン	(kl)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0	0			
	灯油		(kl)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0				
	軽油		(kl)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0				
	A重油		(kl)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0693	0	0				
	LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0				
	LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0				
	天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0				
	都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0	0				
	その他		-	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0				
	小計(2)						0	0	0		0				
	東京	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					2,286	59			116		114		
		代替フロン等4ガス	HFC	(kg)								0.000			
			PFC	(kg)								0.000			
			SF ₆	(kg)								22,800			
NF ₃			(kg)								17,200				
排出量											0.000				
廃棄物焼却		小計(3)									0.000				
		CO ₂	(t)								0.000				
		CH ₄	(t)								0.000				
		N ₂ O	(t)								0.000				
	焼却量									0.000					
浄化槽	小計(4)									0.000					
	CH ₄	(人)								0.000					
	N ₂ O	(人)								0.000					
	人数									0.000					
	小計(5)									0.000					
直接温室効果ガス排出量									0						
総合計(総温室効果ガス排出量)									116		114				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									0						
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									116		114				

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (柏) (2015年度) (22/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
柏	電気	一般電氣事業者	75,988	71,976	147,944	0.00997	1,475	38	0.000505	75	0.000486	73	東京電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0		0		0	東京電力	
		その他の電氣事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0		0		0		
		その他の電氣事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0		0		0		
		電氣需要平準化時間帯のみの合計	40,420	49,801	89,821	0.00997	897	23						
		自家発電	0	0	0	0.00976								
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			147,944			1,475	38		75		73	
		化石	ガソリン	(kl)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671				
	灯油		(kl)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678					
	軽油		(kl)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686					
	A重油		(kl)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0693					
	LPG		(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590					
	LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495					
	天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510					
	都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499					
	その他		-	0.00	0.00	0.00		0						
	小計(2)							0	0					
	代替フロン等4ガス	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						1,475	38		75		73	
		HFC	(kg)								0.000			
		PFC	(kg)								0.000			
		SF ₆	(kg)								22,800			
NF ₃		(kg)								17,200				
排出量														
小計(3)										0.000				
廃棄物焼却		CO ₂	(t)								0.000			
		CH ₄	(t)								0.000			
		N ₂ O	(t)								0.000			
浄化槽	小計(4)									0.000				
	CH ₄	(人)								0.000				
	N ₂ O	(人)								0.000				
小計(5)										0.000				
直接温室効果ガス排出量										0				
総合計(総温室効果ガス排出量)										75		73		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										0				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										75		73		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計シート（東濃）（2015年度）（23/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー 換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kL)	実排出・ 換算係数	実温室 効果ガス 排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考	
東濃	電気	一般電気 事業者	687,538	689,987	1,377,525	0.00997	13,734	354	0.000497	685	680	中部電力	
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0	中部電力	
		その他の 電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0		
		その他の 電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0	0	0	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	363,136	481,915	845,051	0.00997	8,425	217					
		自家発電	0	0	0	0.00976							
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			1,377,525			354			685	680	
		化石	ガソリン	(kL)	0.00	0.00	0.00	34.6000	0	0	0.0671	0	
	灯油		(kL)	0.00	0.26	0.26	36.7000	9	0	0.0678	1		
	軽油		(kL)	0.00	0.00	0.00	37.7000	0	0	0.0686	0		
	A重油		(kL)	0.00	0.00	0.00	39.1000	0	0	0.0683	0		
	LPG		(t)	4.53	5.52	10.05	50.8000	510	13	0.0590	30		
	LNG		(t)	0.00	0.00	0.00	54.6000	0	0	0.0495	0		
	天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0		
	都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0		
	その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0		
	小計(2)							520	13		31		
	廃棄物焼却	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						14,254	368		715	711	
		HFC	(kg)			0.000				-	0.000		
		PFC	(kg)			0.000				-	0.000		
		SF ₆	(kg)			0.125				22,800	2,850		
NF ₃		(kg)			0.000				17,200	0.000			
小計(3)										2.85			
CO ₂		(t)								0.000			
CH ₄		(t)			0					0.000			
N ₂ O		(t)								0.000			
小計(4)										0.000			
浄化槽	小計(5)									0.000			
	CH ₄	(人)			69					1.898			
	N ₂ O	(人)								0.535			
	小計(5)									2.432			
	直接温室効果ガス排出量									36			
総合計(総温室効果ガス排出量)										721	717		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										0			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										721	717		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計シート（数値）（2015年度）（24/32）

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考			
電気	電気	(kWh)	一般電気事業者	231,002	228,680	459,682	0.00997	4,583	118	0.000647	297	294	北陸電力		
			夜間買電(平準化時間帯を含む)	70,272	67,638	137,910	0.00928	1,280	33	0.000640	89	88	北陸電力		
			その他の電気事業者1	53,957	22,766	76,723	0.00997	765	20	0.000454	35	35	エネネット		
			夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0			
			その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0			
			夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0			
			電気需要平準化時間帯のみの合計	178,605	190,245	368,850	0.00997	3,677	95	0.000000	0	0			
			自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	0.000000	0	0			
			小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	674,315	674,315	1,348,630	0.00976	6,628	171	0.000000	421	418			
			化石	化石	(kL)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0	0		
			灯油	(kL)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0			
			軽油	(kL)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0			
			A重油	(kL)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0683	0	0			
			LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0			
			LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0			
天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0						
都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0	0						
その他	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0	0						
小計(2)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0.00	0	0						
数値	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量	(kg)	HFC	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			PFC	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			SF ₆	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			NF ₃	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			排出量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			小計(3)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			廃棄物焼却	焼却量	(t)	CO ₂	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						CH ₄	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						N ₂ O	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			小計(4)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			浄化槽	人数	(人)	CH ₄	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
						N ₂ O	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
			小計(5)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00			
			直接温室効果ガス排出量												
			総合計(総温室効果ガス排出量)												
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量															
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量															
温室効果ガス排出量を加えた総合計															
			421	421	842	0.000000	0.00	0.00	0.000000	418	418				
			13	13	26	0.000000	0.00	0.00	0.000000	13	13				
			434	434	868	0.000000	0.00	0.00	0.000000	431	431				

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量観測地点別集計データ (もんじゅ) (2015年度) (25/32)

地点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kt)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
もんじゅ	電気	一般電気事業者	22,752,600	21,377,040	44,129,640	0.00997	439,973	11,351	0.000647	28,552	28,243	北陸電力	
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	16,042,200	15,135,000	31,177,200	0.00928	289,324	7,465		20,172	19,963	北陸電力	
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0		0	0		
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0		0	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0		0	0		
		その他の電気事業者2	11,296,440	14,061,720	25,358,160	0.00997	252,821	6,523		0	0		
		夜間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00976	0	0					
		夜間買電	0	0	0	0.00997	0	0					
		電気需要平準化時間帯のみの合計	0	0	0	0.00976	0	0					
	自家発電	0	0	0	0.00976	0	0						
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量		75,306,840	729,297	76,036,137		729,297	18,816		48,724	48,196		
	化石	ガソリン	(kℓ)	0.51	0.41	0.91	34,600	32	1	0.0671	2		
		灯油	(kℓ)	3.15	3.41	6.56	36,700	241	6	0.0678	16		
		軽油	(kℓ)	1,010.50	1,112.40	2,122.90	37,700	80,033	2,065	0.0686	5,490		
		A重油	(kℓ)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0	0.0683	0		
		LPG	(t)	4.94	5.20	10.14	50,800	515	13	0.0590	30		
		LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0		
		天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0		
		都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0		
その他		-	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.00	0			
小計(2)			0.51	0.41	0.91		80,821	2,085		5,539			
もんじゅ	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量		49,700	810,118	859,818		810,118	20,901		54,263	53,735		
	代替フロン等4ガス	HFC	(kg)	0.00	0.00	0.00					78,148		
		PFC	(kg)	0.00	0.00	0.00					0.000		
		SF ₆	(kg)	4.330	0.00	4.330					22,800		
		NF ₃	(kg)	0.00	0.00	0.00					98,724		
		排出量		4.330	0.00	4.330					17,200		
	廃棄物焼却	小計(3)		0.00	0.00	0.00					176.87		
		CO ₂	(t)	0.00	0.00	0.00					0.000		
		CH ₄	(t)	0.00	0.00	0.00					0.088		
		N ₂ O	(t)	0.00	0.00	0.00					1.003		
小計(4)			0.00	0.00	0.00					1.092			
浄化槽	CH ₄	(人)	0.00	0.00	0.00					8.965			
	N ₂ O	(人)	0.00	0.00	0.00					2.526			
	小計(5)		0.00	0.00	0.00					11.491			
	直接温室効果ガス排出量		0.00	0.00	0.00					5.729			
	総合計(総温室効果ガス排出量)		0.00	0.00	0.00					54.452	53.925		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量		0.00	0.00	0.00					425				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量		0.00	0.00	0.00					54.877	54.350			
温室効果ガス排出量を加えた総合計		0.00	0.00	0.00					109.329	108.275			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (ふげん) (2015年度) (26/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kGJ)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	備考		
													調整後 温室効果ガス 排出量 (t)	
ふげん	電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	8,043,120	7,437,960	15,481,080	0.00997	154,346	3,982	0.000647	10,016	北陸電力		
			夜間買電	4,629,980	4,280,760	8,910,720	0.00928	82,691	2,133	0.000640	5,703		北陸電力	
		その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0		
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0.000000	0		
		その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	0	0.000000	0		
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0	0.000000	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計			4,261,680	5,050,440	9,312,120	0.00997	92,842	2,395				
		自家発電			0	0	0	0.00976						
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量					24,391,800		237,038	6,116		15,781	15,611	
		化石	ガソリン	(kℓ)	1.43	1.45	2.88	34,6000	100	3	0.0671	7		
	灯油			88.13	60.40	148.53	36,7000	5,451	141	0.0678	370			
	軽油			1.99	3.37	5.36	37,7000	202	5	0.0686	14			
	A重油			0.00	0.00	0.00	39,1000	0	0	0.0693	0			
	LPG			2.66	2.43	5.09	50,8000	258	7	0.0590	15			
	LNG			0.00	0.00	0.00	54,6000	0	0	0.0495	0			
	天然ガス			0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0			
	都市ガス			0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0			
	その他			0.00	0.00	0.00		0	0					
	小計(2)						6,011	155				405		
	代替フロン等4ガス	排出量	HFC			0.000			6,271			16,187	16,016	
			PFC			0.000						0.000	0.000	
			SF ₆			0.702						22,800	16,006	
NF ₃					0.000						17,200	0.000		
小計(3)						0.000					16,016	16,016		
廃棄物焼却			焼却量	CO ₂										
				CH ₄			0	排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算			
	N ₂ O					排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量	0.000	25	CO ₂ 換算				
浄化槽	人数	小計(4)												
		CH ₄			232	排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算					
		N ₂ O				排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量	0.26	25	CO ₂ 換算				
		小計(5)					0.000026	0.01	298					
直接温室効果ガス排出量										8,178				
総合計(総温室効果ガス排出量)										430				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量										16,211	16,040			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計										16,447	16,276			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (も運研) (2015年度) (27/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量 原油換算値 (kJ)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
も運研	電気	一般電氣	371,070	377,568	748,638	0.00997	7,464	193	0.000647	484	479	北陸電力	
		事業用	241,784	222,744	464,538	0.00928	4,311	111		301	287	北陸電力	
		その他の電氣事業者1	84,768	122,520	207,288	0.00997	2,067	53	0.000454	136	139	エネット	
		その他の電氣事業者2	38,909	53,728	92,637	0.00928	860	22		0	0	エネット	
		電氣需要平準化時間帯のみの合計	0	0	0	0	0	0		0	0		
		自家発電	260,664	368,142	628,806	0.00997	6,269	162		0	0		
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0	0	0	0.00976	14,701	379		0	0	915	
		化石	ガソリン	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0	0		
		灯油	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0	0.0678	0	0		
		軽油	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0	0.0686	0	0		
		A重油	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0	0.0683	0	0		
		LPG	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0	0.0590	0	0		
		LNG	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0	0		
		天然ガス	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0	0		
		都市ガス	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0	0		
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0				
小計(2)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	915			
も運研	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量	HFC					14,701	379		921	915		
		PF6								0.000	0.000		
		SF6								0.000	0.000		
		NF3								22,800	0.000		
		排出量								17,200	0.000		
		小計(3)								0.000	0.000		
		廃棄物焼却	CO2									0.000	
			CH4	焼却量							排出係数CH4/t	CO2換算	
			N2O								排出係数N2O/t	CO2換算	
		小計(4)									0.000		
		浄化槽	CH4	人数							排出係数CH4/人	CO2換算	
			N2O								排出係数N2O/人	CO2換算	
		小計(5)									0.000		
		直接温室効果ガス排出量											
		総合計(総温室効果ガス排出量)											
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量													
温室効果ガス排出量を加えた総合計													
										921	915		
										14	14		
										935	929		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (関西研) (2015年度) (28/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kJ)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
関西研	電気	一般電気 事業者 その他の 電気事業者1 その他の 電気事業者2 電気需要平準化時間帯のみの合計 自家発電	昼間買電(平準化時間帯を含む)	2,359,419	2,086,829	4,446,248	0.00997	44,329	1,144	-	2,361	2,325	
			夜間買電	2,046,143	1,794,780	3,840,923	0.00928	35,644	920	-	2,040	2,009	
			昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0	
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0	
			昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0	-	0	0	
			夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	-	0	0	
			電気需要平準化時間帯のみの合計	1,285,663	1,408,263	2,693,926	0.00997	26,858	693	-	0	0	
			自家発電	0	0	0	0.00976	0	0	-	0	0	
			小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0.00	0.00	8,287,171	0.00	79,973	2,063	-	4,400	4,334	
			ガソリン	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0671	0	0	
			灯油	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0678	0	0	
			軽油	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0686	0	0	
			A重油	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0683	0	0	
			LPG	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0590	0	0	
			LNG	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0495	0	0	
天然ガス	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0.0510	0	0				
都市ガス	2,444.00	2,907.00	5,351.00	0.0448	240	6	0.0499	12	0				
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0				
小計(2)	0.00	0.00	0.00	0.00	0	0	0	0	0				
総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					80,213	2,069			4,412	4,346			
代替フロン等4ガス	排出量	HFC			2,925					3,351			
		PFC			0.000					0.000			
		SF ₆			0.322					22,800			
		NF ₃			0.000					17,200			
		小計(3)			0.000					0.000	10.70		
廃棄物焼却	焼却量	CO ₂								0.000			
		CH ₄				排出係数CH ₄ /t	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算	0.000			
		N ₂ O				排出係数N ₂ O/t	N ₂ O排出量	25	CO ₂ 換算	0.000			
浄化槽	人数	小計(4)					0.000		298	0.000			
		CH ₄				排出係数CH ₄ /人	CH ₄ 排出量		CO ₂ 換算	0.000			
		N ₂ O				排出係数N ₂ O/人	N ₂ O排出量	0.00	CO ₂ 換算	0.000			
		小計(5)					0.000			0.000			
		直接温室効果ガス排出量								23			
総合計(総温室効果ガス排出量)									4,423	4,357			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									50				
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									4,473	4,407			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (関西木津) (2015年度) (29/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kg)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
関西木津	電気	一般電気事業者	1,954,880	1,764,210	3,719,090	0.00997	37,078	957	0.000531	1,975	0.000523	1,945	関西電力	
		夜間買電	1,656,480	1,474,280	3,130,760	0.00928	29,053	750	0.000000	1,662	0.000000	1,637		
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0	0.000000	0	0.000000	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	1,059,880	1,188,600	2,248,480	0.00997	22,417	578						
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0						
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	66,133	0	6,849,850	0.00976	66,133	1,706			3,637			3,582
		化石	ガソリン	(kg)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0			
	灯油	(kg)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0				
	軽油	(kg)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0				
	A重油	(kg)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0693	0	0				
	LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0				
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0				
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0				
	都市ガス	(Nm ³)	2,444.00	2,907.00	5,351.00	0.0448	240	6	0.0499	12				
	その他	-	0.00	0.00	0.00	0	0	0		0				
	小計(2)						240	6		12				
	関西木津	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量	HFC			2,925		66,373	1,712		3,649		3,594	
PF6					0.000					0.000				
SF6					0.322					22,800				
NF3					0.000					17,200				
排出量														
廃棄物焼却		小計(3)									10.70		0.000	
		CO2									0.000		0.000	
		CH4									0.000		0.000	
		N2O									0.000		0.000	
		小計(4)									0.000		0.000	
浄化槽	CH4									0.000		0.000		
	N2O									0.000		0.000		
	小計(5)									0.000		0.000		
	直接温室効果ガス排出量									23		3,660		
	総合計(総温室効果ガス排出量)									3,660		3,605		
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									50		3,655		
	フロン排出抑制法に基づきフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									3,710		3,655		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (関西権限) (2015年度) (30/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kg)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
関西権限	電気	一般電気事業者	404,539	322,619	727,158	0.00997	7,250	187	0.000531	386	0.000523	380	関西電力	
		夜間買電	389,663	320,500	710,163	0.00928	6,590	170		377		371	関西電力	
		その他の電気事業者1	0	0	0	0.00997	0	0		0	0.000000	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0		0	0.000000	0		
		その他の電気事業者2	0	0	0	0.00997	0	0		0	0.000000	0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0		0	0.000000	0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	225,783	219,663	445,446	0.00997	4,441	115						
		自家発電	0	0	0	0.00976								
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量	0.00	0.00	1,437,321		13,840	357			763		752	
		化石	ガソリン	(kg)	0.00	0.00	0.00	34,600	0	0.0671	0			
	灯油	(kg)	0.00	0.00	0.00	36,700	0	0.0678	0	0				
	軽油	(kg)	0.00	0.00	0.00	37,700	0	0.0686	0	0				
	A重油	(kg)	0.00	0.00	0.00	39,100	0	0.0693	0	0				
	LPG	(t)	0.00	0.00	0.00	50,800	0	0.0590	0	0				
	LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0.0495	0	0				
	天然ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0.0510	0	0				
	都市ガス	(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0.0499	0	0				
	その他	-	0.00	0.00	0.00		0	0		0				
	小計(2)						0	0		0				
	関西権限	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量					13,840	357			763		752	
代替フロン第4ガス		HFC	(kg)							-	0.000			
		PFC	(kg)							-	0.000			
		SF ₆	(kg)							22,800	0.000			
		NF ₃	(kg)							17,200	0.000			
		排出量												
廃棄物焼却		小計(3)									0.00			
		CO ₂	(t)							排出係数CH ₄ /t	CO ₂ 換算			
		CH ₄	(t)							排出係数N ₂ O/t	CO ₂ 換算	25		
浄化槽		小計(4)	(人)							排出係数CH ₄ /人	CO ₂ 換算	298		
	CH ₄	(人)							排出係数N ₂ O/人	CO ₂ 換算				
	N ₂ O	(人)							排出係数N ₂ O/人	CO ₂ 換算				
小計(5)									0.000					
直接温室効果ガス排出量									0					
総合計(総温室効果ガス排出量)									763		752			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									0					
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計									763		752			

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量拠点別集計データ (人形) (2015年度) (31/32)

拠点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kg)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後排出係数	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考	
電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む)	3,108,531	3,235,281	6,343,812	0.00997	63,248	1,632	0.000706	4,479	0.000709	4,488	中国電力	
		夜間買電	2,877,960	3,137,160	6,015,120	0.00928	55,820	1,440		4,247		4,265	中国電力	
	その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0		0		0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0		0		0		
	その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む)	0	0	0	0.00997	0	0		0		0		
		夜間買電	0	0	0	0.00928	0	0		0		0		
		電気需要平準化時間帯のみの合計	1,571,513	2,275,745	3,847,258	0.00997	38,357	990						
		自家発電	0	0	0	0.00976	0	0						
		小計(1)及び間接温室効果ガス排出量			12,358,932		119,068	3,072			8,725		8,762	
	化石	ガソリン	(kg)	0.88	1.26	2.14	34,600	74	2	0.0671	5			
		灯油	(kg)	3.06	3.14	6.19	36,700	227	6	0.0678	15			
		軽油	(kg)	0.29	1.31	1.59	37,700	60	2	0.0686	4			
		A重油	(kg)	296.80	620.90	917.70	39,100	35,882	926	0.0693	2,487			
		LPG	(t)	14.40	28.90	43.30	50,800	2,200	57	0.0590	130			
		LNG	(t)	0.00	0.00	0.00	54,600	0	0	0.0495	0			
天然ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0435	0	0	0.0510	0				
都市ガス		(Nm ³)	0.00	0.00	0.00	0.0448	0	0	0.0499	0				
その他		-	0.00	0.00	0.00		0	0		0				
		小計(2)					38,443	992						
人形	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						157,511	4,064		11,366		11,403		
	代替フロン第4ガス	HFC	(kg)			0.990					0.123			
		PFC	(kg)			0.000					0.000			
		SF ₆	(kg)			0.001					22,800			
		NF ₃	(kg)			0.000					17,200			
		小計(3)				0.000					0.14			
	廃棄物焼却	CO ₂	(t)								0.000			
		CH ₄	(t)			0					0.000			
		N ₂ O	(t)								0.000			
		小計(4)								0.000				
浄化槽	CH ₄	(人)			316					8,690				
	N ₂ O	(人)								25				
	小計(5)									298				
	直接温室効果ガス排出量								11,138					
	総合計(総温室効果ガス排出量)								2,652					
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量								11,378			11,415		
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計								91					
												11,468		

表B-1 エネルギー投入量及び温室効果ガス排出量観測点別集計データ (全体) (2015年度) (32/32)

地点	項目	単位	上期合計	下期合計	合計	エネルギー換算係数 (GJ/各単位)	エネルギー量 (GJ)	エネルギー量原油換算値 (kL)	実排出・換算係数	実温室効果ガス排出量 (t)	調整後温室効果ガス排出量 (t)	備考		
電気	一般電気事業者	昼間買電(平準化時間帯を含む) 夜間買電			350,528,153		3,494,766	90,165	-	188,053	185,288			
	その他の電気事業者1	昼間買電(平準化時間帯を含む) 夜間買電			261,398,458		2,425,778	62,585	-	139,698	137,602			
	その他の電気事業者2	昼間買電(平準化時間帯を含む) 夜間買電			15,898,888		147,540	3,807	-	19,113	17,004			
	電気需要平準化時間帯のみの合計				583,15		581	15	-	42	42			
	自家発電				28,905		268	7	-	-	-			
	小計(1)及び間接温室効果ガス排出量				208,642,475		2,080,165	53,668	-	-	-			
					74,384		6,331,262	163,347	-	-	346,907	339,917		
	化石	ガソリン	(kL)			13,20		457	12	-	31	-		
		灯油	(kL)			377,00		13,836	357	-	938	-		
		軽油	(kL)			2,217,65		83,605	2,157	-	5,735	-		
		A重油	(kL)			9,954,25		389,211	10,042	-	26,972	-		
		LPG	(t)			157,08		7,980	206	-	471	-		
		LNG	(t)			2,079,74		113,554	2,930	-	5,621	-		
		天然ガス	(Nm ³)			0.00		0	0	-	0	-		
		都市ガス	(Nm ³)			11,998.39		538	14	-	27	-		
		その他	-			0.00		0	0	-	0	-		
		小計(2)						609,179	15,717	-	39,795	-		
	全体	総エネルギー投入量・エネルギー起源CO2排出量						6,940,442	179,063	-	386,702	379,712		
		代替フロン等4ガス	HFC	(kg)			297.136				-	446,459	-	
			PFC	(kg)			0.000				-	0.000	-	
SF ₆			(kg)			1,055.689				-	22,800	-		
NF ₃			(kg)			0.000				-	0.000	-		
排出量										-	24,089.713	-		
廃棄物焼却		小計(3)								17,200	0.000	-		
		CO ₂									24,516.17	-		
		CH ₄									0.000	-		
浄化槽		焼却量	(t)			47,042					0.089	-		
	排出係数CH ₄ /t									25	-			
	排出係数N ₂ O/t									298	-			
小計(4)	人数	(人)			7,203					1.104	-			
	CH ₄									198.083	-			
	N ₂ O									55.809	-			
小計(5)	直接温室効果ガス排出量									253.891	-			
	総合計(総温室効果ガス排出量)									64.566	-			
	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									411.473	-			
フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量を加えた総合計	フロン排出抑制法に基づくフロン排出による温室効果ガス排出量									2.836	-			
	温室効果ガス排出量を加えた総合計									414.309	-			

表B-2 電気使用量増減の理由及び取組内容(2015年度) (1/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
幡延	・前年度に比べて、1～2月の融雪電力が増えた。 ・10月に本型計算機が設置され、それにあわせて、計算機室内の空調も増設された。	—	—	(昨年度からの継続事項) ・ゆめ地創館産学階のハルビヒーターの運転時間の短縮 ・駐車場の外灯の夜間停止 ・昼休みの居室の照明の消灯	昼間と夜間の電気使用量は、融雪電力、研究、試験用、札幌事務所については区別ができます。すべてを昼間の電気使用量としている。研究管理棟及びゆめ地創館のみ、昼間と夜間の区別をしている。(昼間:8時～22時、夜間:22時～翌8時)
むつ	—	研究施設の運転が停止していたため	—	—	—
六ヶ所	IFMP/EVEDA開発試験棟の設備が増え一部運転しているため増加	—	—	—	—
いわき	—	—	—	昼休みの消灯を実施している。冷暖房の設定を夏は28度、冬は20度でおこなっている。	—
橋本	施設の新規運営開始のため	—	人感センサー照明の設置	クールビズ、ウォームビズ励行	—
福島	笹木野分折所における分析件数の増加。10月に福島大学から環境放射線センターへの移転に伴う増加	—	クールビズの導入	夏季及び冬期における空調設定温度の周知	—
本部	2015年4月より新本部建屋として総合管理棟の運用を開始し、日本館事務所は2015年6月からBE部門が運用(入居)している。このため、2つの建屋の使用により、電気使用量が増加したものである。	—	—	—	東京電力:日本館事務所分 日本ロジテック:本部総合管理棟分
原科研	2015年度は情報交流棟にあるスハコンが更新のため、10月から本格的に再稼働したため、2014年度比で約0.3%増加した。	—	建物付属設備(照明、空調機等)の更新、新設時には高効率機器を採用した。	1.各都、センター、部門毎に省エネハットロールを実施し省エネ活動状況を確認した。 2.2015年度省エネエネルギー管理実施計画に基づいて省エネ活動を推進した。 ・適切な温度管理並びに不使用機器の電源「断」を徹底した。 ・昼休みの冷房、暖房停止を実施した。	—
J-PARC	2015年度は当初予定していた利用運転を行ったため、J-PARCの電気使用量が増加した。	—	J-PARCに設置されている電磁石、加速空洞等は、世界最先端の機器であり、納入時点で最も省エネルギー効果の高いものを使用している。また、建屋、ビームダクト等は極めて機密性の高く、空調や真空引きの際に無駄な電力を発生しない構造となっている。さらに制御システムも省エネルギー効果が最大限となるよう、熱慮して製作している。	J-PARCでは、共用運転時以外は、加速器の電磁石、加速空洞等を極力停止し、電力を節約している。また、加速器及び物質・生命科学研究施設の運転停止時は、空調、照明等も必要最低限のものだけを運転し、省エネに協力した。	—
サイクル研	2系統ある商用電源のうち片系統を停止して行う特高変電所の年次点検を、電気使用量の多い夏期に実施した。(停電する施設があるため、電気使用量が減少する。) 3年に一度実施する特高変電所共通系の点検を実施した。(商用電源を停止し、発電機給電の状態で行うため、電気使用量が減少する。)	—	—	—	研究所外に設置されているモニタリングステーション、ダストサンブラー等の東京電力からの請求電力使用量として計上している。季節の温度条件や湿度により電力使用量が変動する。モニタリング機(せいはい)用の給電設備は、震災以降、まだ御旧されておらず、本年夏の使用実績はない。モニタリング機(せいはい)用の給電設備が御旧されれば、年間4000kWh程度増加する見込みである。
大洗	—	—	省エネ型機器への交換等	消灯の徹底、空調・OAI機器の省エネ運転、冷暖房温度設定の適正化、クールビズ、ウォームビズの推進、休日における換気設備や冷凍機の停止、試験時間の調整による電力消費等	—
那珂	前年度比で増加した理由は、超伝導試験装置の稼働日数が増加したためである。	—	照明機器を環境配慮型に更新した。	1. 昼休みを含む不要な照明消灯を実施した。 2. 夏季及び冬季に省エネ啓蒙ポスターを掲示した。 3. 空調機、ボイラ、冷暖房の運転管理を行った。 4. 長期休暇に合わせて連続運転機器の停止を行った。	—

表B-2 電気使用量増減の理由及び取組内容(2015年度) (2/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
NEAT茨城	受託案件の増加に伴う人員増に対応するために新たに居室を整備したため。	—	日差しの強い居室窓側にグリーンカーテンを裁断し、遮断して節電対策の一つとした。居室にサーキュレーターを設置し、適温管理に努めた。 JAEAタイエットの環境としてトイレのジェットタオルのコンセントを抜き省エネに努めた。(→省エネの端と張り紙を掲示した。)	エアコンの設定温度を適正な室内温度管理を実施した。 JAEAタイエットの環境として昼休みの居室照明を消すとともに浴室内の浴室暖房乾燥機を促すポスター等を掲示し職員等に注意喚起を促した。 夏の軽装を励行した。 ・使用していない居室の照明や空調等の電源を落として、節電に努めた。 ・空調の温度管理を徹底した。	—
NEAT福井	—	・照明不要時の消灯や空調の温度管理による節電効果	—	—	—
高崎	—	—	—	—	—
東京	—	・福島研究開発部門の移転による居室減少に伴う電気使用量の減少	・空調の風向の調整、ブラインドの有効活用	・蛍光灯の閉りき、業務時間外の消灯、PCの機器等の省電力モードの設定推奨	・電気使用量：東京事務所が入居する高国生命ビルは一括し管理を行っているため、ビル管理から提供されたデータ(財団法人省エネルギーセンターの空調エネルギー推計ツールを用いて算出)に基づくもの。 ・電気が省エネ推進の責務スペースの面積案分となる。 ・電気需要平準化時間帯使用量：東京事務所が入居する高国生命ビルは一括し管理を行っているため、東京事務所分のみの使用量を算出することは不可能。※財団法人省エネルギーセンターの空調エネルギー推計ツールを利用して算出すること不可。
柏	—	2014年10月に東京大学柏キャンパスから柏の葉駅前サテライト転居した。新しい施設の電気設備で省エネが出来たことから使用量が減少した。	—	—	—
東濃	—	—	—	—	—
敦賀	—	節電努力によるものと分析する。	—	昼休みの消灯、冷暖房温度の適正化、クールビズ、ウォームビズの推進等	—
もんじゅ	—	—	—	—	—
ふげん	—	節電のため、大型機器の停止を積極的に実施	—	停止しても業務上問題無い機器の停止を積極的に実施	—
も運研	—	—	—	—	—
関西本津	—	東日本大震災以降の電力不足に伴う節電対策、省エネ法及び京都府地球温暖化対策条例等の環境に配慮した省エネルギー活動推進並びに経費の節減を目的として、省エネ対策を重点的に実施したため	・実験棟大実験室系の空調設備の休日・夜間の低速運転時間の拡大(秋の連休の実施) ・実験棟小実験室の空調機の停止 ・計算・先端情報センター棟、実験棟、研究棟のLED蛍光灯への交換 ・計算・先端情報センター棟廊下の照明への人感センサーを取付け	・省エネポスターの掲示及び消費電力状況(グラフ)をこまめに周知し職員等の省エネ意識の向上などの啓発活動。 ・契約電力の低減化による電気料金の削減を図った。	—
関西播磨	—	空調調和機(AC-1、2)の故障停止による電力使用量の削減	・サラ-冷凍機の運転台数を季節に応じた制御運転とした。	省エネポスターなどの啓発表示を行った。	—
人形	・DP滞留ウラン除去作業及び廃棄物焼却運転作業(2交替実施)実施のため増加	—	—	・昼休憩時間の居室等の消灯、退勤時におけるパソコン、電気ポット・プリンター等の機器の電源OFFの徹底 ・各部屋に基準温度計を設置し、室温を夏は28度以上、冬は20度以下でエアコンの省エネ運転の徹底、啓蒙を継続	—

表B-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容(2015年度) (1/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
幌延	—	—	—	—	—
むつ	—	—	—	—	—
六ヶ所	IFMIF/EVEDA開券試験棟暖房設備の正常運転による運転時間増加のため、それに伴い灯油使用量も増加	—	—	—	—
楡葉	—	—	—	—	定期点検のみで使用、使用量はミリ単位で読み取れない。
福島	毎木野分析所における分析件数の増加 10月に福島大学から環境放射線センターへの移転	—	—	—	—
本部	2015年4月より新本部建屋として総合管理棟の運用を開始し、安全管理棟1階の非常用発電機を運転するための燃料として、A重油をサービスタンクへ貯蔵している。電気従事者による電気工作物目視点検時に非常用発電機の定期起動試験を毎日実施している為、発電機起動における燃料を消費している。	—	—	—	—
原料研	2015年度はフォークリフト等の使用が増加したためガソリンの使用量が増加した。	2015年度は蒸気供給の連続運転期間を短縮したためLNG使用量が減少した。	2015年度は省エネ計画に基づき省エネ活動を実施した。 ・適切な温度管理を徹底した。 ・昼休みの暖房停止を実施した。 また、実験棟に影響を与えない不燃区域の暖房を停止した。	—	—
J-PARC	—	2015年度は非常用発電機の運転時間が増加したことにより、A重油の使用量が2014年度より増加した。	—	—	—
サイクル研	・工務指揮において、3年に一度実施する特高変電所共通系の点検を実施したため、発電機の燃料である軽油の使用量が増加した(点検中は商用電源を停止し、発電機給電の状態となる)。 ・再処理センターにおいて、移動式発電機(2台)の燃料がA重油から軽油に変更になったため、軽油の使用量が増加した。 ・プルセンター 【灯油】放射性固体廃棄物の焼却車証運転試験を計画に基づき試験条件を変えて焼却物の効率な焼却減容を行っていることから、昨年と比較して使用量が増加した。 【灯油】J-PARC 管理棟事務室系空調用制御盤内の溶断の事象発生(2月)に伴い、空調が停止したため石油ストーブにより居室の暖房を行った。 【軽油】放射性廃棄物の運搬量が増加、非常用機材(非常用発電機、高所作業車)の使用増加 ・保安管理課において、停電時の発電機の使用により、ガソリン及び軽油の使用量が増加した。 ・放射線管理部 自家用発電機の増設及びWBC車内蔵の発電機使用より、軽油使用量が増加した。 ・濃縮系キョーエコーバルの計画停電期間の延長に伴い、ポーターバル発電機の燃料であるガソリンの使用量が増加した。	2015年度は非常用発電機の運転時間が増加したことにより、A重油の使用量が2014年度より増加した。 2015年度は必要最小限の利用による燃料の消費削減	—	—	・再処理センター 【施設保全課】ガソリン・軽油：構内における放射線廃棄物、キヤスク、テストユニット等の運搬に用いる車両で使用(台数:7台) 【環境管理課】ガソリン:小型発電機3基(事故対応機材)の月例点検(給油なし)／軽油:カスクトラックの月例点検(給油なし) 【施設管理課】軽油:移動式発電機の燃料(台数:2台)、【処理第2課】灯油:焼却施設の焼却炉用の燃料として使用 ・フルセンター 【灯油】産業廃棄物処理施設(焼却炉)の燃料、第2燃焼炉焼却炉の燃料、石油ストーブ(今年度のみ)に使用している。 【軽油】ドライバ種補トランク及びエンジン式フォークリフト(7)、非常用機材(非常用発電機、高所作業車)、部材輸送用トラック(ナンバー取り外し)に使用している。 【LPG】:産業廃棄物処理施設(焼却炉)の着火に使用する。 ・放射線管理部 自家用発電機等の燃料使用量は、研究所の停電計画や訓練回数により変動する。 また、福島支援関係で関東、近郊に避難された福島県民の内部被ばく測定が継続している間は、アトムワールトにWBC車内蔵の発電機を使用する。

表B-3 化石燃料使用量増減の理由及び取組内容(2015年度)(2/2)

拠点名	増加の理由	減少の理由	省エネの取組内容(ハード面)	省エネの取組内容(ソフト面)	備考
大洗	—	—	—	—	—
那珂	—	—	—	高温水製造において、ボイラー燃焼度を適宜調整している。	—
NEAT茨城	—	—	—	—	—
NEAT福井	—	非常用発電機の運転時間(試運転含む)によるもの	—	—	—
高崎	—	—	—	—	—
真淵	—	—	—	空調機使用時の室温の適切な設定などの取り組み	—
もんじゅ	—	—	—	—	—
ふげん	—	—	—	—	ガソリン及び軽油の使用量は前年度と同程度であった。 ・ガソリン: 本年度2.88kl、前年度2.89kl 対前年度比99.7% ・軽油: 本年度5.36kl、前年度5.34kl 対前年度比100.4%
関西木津	・食堂利用者数の増加 ・交流棟長期宿泊者数の増加	—	—	—	—
人形	重油: 滞留ウラン除去運転開始及び室温調整に伴い増加 灯油: 2交代制による排却作業を実施したため増加	ガソリン・軽油: 除雪車の稼働が減少 LPG: 冬季の暖房使用が減少	—	各部屋に基準温度計を設置し、室温を夏は28度以上、冬は20度以下でエアコンの省エネ運転の徹底、啓発を継続	—

表B-4 総エネルギー投入量種別割合(2015年度)

種類別投入量(GJ)		割合(%)	用途	
電気	6,331,262	91.22		
化石	ガソリン	457	公用車、船舶、除雪	
	灯油	13,836	ボイラー、焼却施設	
	軽油	83,605	公用車、通勤バス、船舶、除雪、非常用発電機	
	A重油	389,211	ボイラー、非常用発電機	
	LPG	7,980	食堂、焼却炉、高減容処理施設	
	LNG	113,554	ボイラー	
	天然ガス	0		
	都市ガス	538	食堂、給湯	
	その他	0		
	小計	609,179	8.78	
	合計(GJ)	6,940,442	100.00	

表B-5 総エネルギー投入量拠点別割合(2015年度)

拠点名	電気(GJ)	割合 (%)	化石(GJ)	割合 (%)	総エネルギー投入量(GJ)	割合 (%)
喉延	5,055	0.08	1,177	0.19	6,232	0.09
青森	226,185	3.57	6,116	1.00	232,301	3.35
むつ	16,088	0.25	2,744	0.45	18,832	0.27
六ヶ所	210,097	3.32	3,372	0.55	213,469	3.08
福島拠点	5,498	0.09	270	0.04	5,768	0.08
いわき	915	0.01	0	0.00	915	0.01
楢葉	2,674	0.04	0	0.00	2,674	0.04
福島	1,909	0.03	270	0.04	2,179	0.03
本部	10,940	0.17	3	0.00	10,943	0.16
原科研(J-PARCを含む)	2,579,899	40.75	115,915	19.03	2,695,814	38.84
原科研	635,429	10.04	115,892	19.02	751,321	10.83
J-PARC	1,944,469	30.71	23	0.00	1,944,493	28.02
サイクル研	1,164,856	18.40	275,707	45.26	1,440,564	20.76
大洗	624,597	9.87	51,117	8.39	675,715	9.74
那珂	362,666	5.73	23,620	3.88	386,286	5.57
NEAT	6,757	0.11	39	0.01	6,796	0.10
NEAT茨城	4,762	0.08	37	0.01	4,799	0.07
NEAT福井	1,995	0.03	2	0.00	1,997	0.03
高崎	140,610	2.22	9,179	1.51	149,789	2.16
東京地区	3,761	0.06	0	0.00	3,761	0.05
東京	2,286	0.04	0	0.00	2,286	0.03
柏	1,475	0.02	0	0.00	1,475	0.02
東海	13,734	0.22	520	0.09	14,254	0.21
敦賀	6,628	0.10	0	0.00	6,628	0.10
もんじゅ	729,297	11.52	80,821	13.27	810,118	11.67
ふげん	237,038	3.74	6,011	0.99	243,049	3.50
も連研	14,701	0.23	0	0.00	14,701	0.21
関西研	79,973	1.26	240	0.04	80,213	1.16
関西本津	66,133	1.04	240	0.04	66,373	0.96
関西播磨	13,840	0.22	0	0.00	13,840	0.20
人形	119,068	1.88	38,443	6.31	157,511	2.27
合計(GJ)	6,331,262	100.00	609,179	100.00	6,940,442	100.00

表B-6 総エネルギー投入量種類別推移(2015年度)

種類	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	
電気	5,070,267	6,178,907	5,661,530	6,169,641	6,331,262	102.62	
化石	ガソリン	740	670	472	457	96.79	
	灯油	20,841	19,481	15,364	13,836	90.05	
	軽油	188,785	76,772	77,940	74,222	112.64	
	A重油	417,633	423,123	408,580	395,158	98.49	
	LPG	8,275	9,964	15,624	8,094	7,980	98.59
	LNG	106,586	126,594	121,509	124,301	113,554	91.35
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	227	375	557	498	538	107.91
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	743,087	656,979	644,512	618,110	609,179	98.56
合計(GJ)	5,813,353	6,835,885	6,306,042	6,787,751	6,940,442	102.25	

表B-7 総エネルギー投入量拠点別推移(2015年度)

拠点名	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		対前年度比(%) 2015/2014	
横延	7,736		7,031		6,432		5,698		6,232		109.37	
青森	94,103		195,009		207,464		218,998		232,301		106.12	
むつ	21,062		21,680		20,960		19,905		18,832		94.61	
六ヶ所	73,040		173,329		186,504		188,993		213,469		107.27	
福島拠点	351		1,294		2,054		2,043		5,768		282.34	
いわき										915		0.00
楢葉										2,674		0.00
福島										2,179		0.00
本部	7,683		8,951		9,152		7,835		10,943		139.67	
原料研(J-PARCを含む)	1,442,436		2,568,683		2,051,941		2,595,547		2,695,814		103.86	
原料研	754,478		824,619		826,120					751,321		99.23
J-PARC	687,958		1,744,064		1,225,821					1,944,493		105.77
サイクル研	1,450,445		1,494,441		1,490,224		1,475,751		1,440,564		97.62	
大洗	683,398		699,861		705,151		686,040		675,715		98.49	
那珂	239,745		286,524		315,641		301,490		386,286		128.13	
NEAT	8,431		7,386		7,166		6,647		6,796		102.24	
NEAT 茨城	5,841		5,099		4,969		4,547		4,799		105.55	
NEAT 福井	2,590		2,288		2,197		2,101		1,997		95.08	
高崎	151,219		157,127		150,541		143,993		148,789		104.32	
東京地区	4,321		4,210		4,210		4,081		3,761		92.15	
東京	2,685		2,378		2,485				2,541		2.86	
上野	301											
埋設センター	28											
柏	1,308		1,822		1,725		1,540		1,475		95.76	
東濃	17,155		17,009		15,768		14,886		14,254		95.75	
敦賀	13,757		9,380		8,151		7,359		6,628		90.07	
もんじゅ	1,089,796		835,159		813,357		814,484		810,118		99.46	
ふげん	319,291		290,292		271,813		253,242		243,049		95.94	
も連研(旧国研セ)	14,104		13,294		13,891		14,261		14,701		103.09	
関西研	113,006		97,424		90,452		85,388		80,213		93.94	
関西本津	94,555		80,299		75,257		70,191		66,373		94.56	
関西播磨	18,450		17,124		15,195		15,197		13,840		91.07	
人形	156,376		142,811		142,634		150,409		157,511		104.72	
合計(GJ)	5,813,353		6,835,885		6,306,042		6,787,751		6,840,442		102.25	

表B-8 電気使用量拠点別推移(2015年度)

拠点名	(kWh)					対前年度比(%) 2015/2014	電気事業者別の排出係数*1 (kg-CO ₂ /kWh)	
	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度			
幌延	607,244	558,936	521,793	461,239	514,210	111.48	北海道電力	0.683
むつ	1,803,916	1,836,547	1,823,271	1,714,146	1,613,613	94.14	東北電力 エネット	0.571 0.454
六ヶ所	7,402,553	17,703,352	18,988,613	20,249,918	21,688,049	107.10	東北電力	0.571
福島*2	35,219	116,676	177,115	178,927	191,500	107.03	東北電力	0.571
いわき					91,759		東北電力	0.571
楢葉					268,231		東北電力	0.571
本部	784,779	910,927	933,307	801,950	1,104,475	137.72	東京電力 日本ロジテック	0.505 0.386
原科研	66,509,135	71,702,526	72,322,646	65,061,836	65,566,740	100.78	東京電力	0.505
J-PARC	70,953,515	180,028,456	126,462,585	189,748,507	200,755,827	105.80	東京電力	0.505
サイクル研	120,320,106	123,572,846	122,281,374	123,864,475	121,179,277	97.83	東京電力	0.505
大洗	64,381,540	66,429,957	66,181,794	65,327,191	64,442,553	98.65	東京電力 F-Power 丸紅	0.505 0.454 0.482
那珂	22,543,913	26,509,095	30,248,838	28,765,703	37,407,447	130.04	東京電力	0.505
NEAT茨城	594,492	507,949	494,388	463,360	489,284	105.59	東京電力	0.505
NEAT福井	255,816	229,056	219,576	210,234	200,100	95.18	北陸電力	0.647
高崎	14,054,283	14,894,227	14,548,058	13,720,681	14,498,848	105.67	F-Power	0.454
東京	269,289	238,504	249,244	254,815	229,239	89.96	東京電力	0.505
上野	30,190							
埋設センター	2,759							
柏	131,169	183,748	173,045	154,489	147,944	95.76	東京電力	0.505
東濃	1,658,429	1,640,757	1,517,553	1,435,981	1,377,525	95.93	中部電力	0.497
敦賀	1,399,545	957,662	831,775	748,676	674,315	90.07	北陸電力 エネット	0.647 0.454
もんじゅ	93,201,360	78,559,920	76,086,000	76,597,680	75,306,840	98.31	北陸電力	0.647
ふげん	31,387,320	28,638,360	26,824,320	25,298,640	24,391,800	96.42	北陸電力	0.647
も運研 (旧国際セ)	1,457,022	1,366,626	1,429,449	1,466,007	1,513,101	103.21	北陸電力 エネット	0.647 0.454
関西木津	9,797,039	8,292,480	7,771,550	7,249,260	6,849,850	94.49	関西電力	0.531
関西播磨	1,915,082	1,777,951	1,578,329	1,578,195	1,437,321	91.07	関西電力	0.531
人形	12,498,286	11,835,796	11,538,030	12,146,709	12,358,932	101.75	中国電力	0.706
合計(kWh)	523,994,001	638,492,354	583,202,653	637,498,619	654,298,780	102.64		

*1 「温室効果ガス排出量算定・報告マニュアルVer. 3. 2」(平成23年4月、環境省、経済産業省) P. II-29 参照

*2 2014年度以前は、いわき、楢葉を含む。

表B-9 化石エネルギー投入量拠点別推移(2015年度)

拠点名	2011年度					2012年度					2013年度					2014年度					2015年度					対前年度比(%) 2015/2014
梶延	1,682				1,458					1,230					1,099					1,177				107.07		
青森	4,085				5,452					5,574					5,645					6,116				108.35		
むつ		3,302				3,593					3,004					2,815					2,744			97.50		
六ヶ所		783				1,859					2,570					2,830					3,372			119.14		
福島拠点				131						288					259					270				104.16		
檜葉																						0		0.00		
福島																					270			0.00		
本部	5				25					27										3				0.00		
原科研(J-PARCを含む)	108,933				129,584					124,793					126,506					115,915				91.63		
原科研		108,900				129,564				124,690					126,486						115,892			91.62		
J-PARC		33				20				103					20						23			117.36		
サイクル研	293,496				306,277					296,687					284,866					275,707				96.79		
大洗	61,197				55,748					63,426					52,346					51,117				97.65		
那珂	21,253				29,755					22,347					22,499					23,620				104.98		
NEAT	78				38					47					38					39				102.01		
NEAT茨城		39				34				40					34						37			109.27		
NEAT福井		40				4				8					5						2			49.89		
高崎	14,049				12,527					10,164					10,493					9,179				87.48		
東濃	620				650					638					570					520				91.23		
もんじゅ	187,231				74,335					76,439					72,662					80,821				111.23		
ふげん	14,323				12,034					11,168					7,507					6,011				80.07		
も運研(旧国際セ)	0				0					0																
関西研	201				217					241					214					240				112.13		
関西木津		201				217				241					214					240		240		112.13		
人形	35,932				28,747					31,441					33,406					38,443				115.08		
合計(GJ)	743,087				656,979					644,512					618,110					609,179				98.56		

表B-10-1 総温室効果ガス拠点別排出量(2015年度)

拠点名	間接排出量(t-CO ₂ e)										直接排出量(t-CO ₂ e)										エネルギー一起源	
	電気					割合(%)					化石					割合(%)					CO ₂ 排出量(t-CO ₂ e)	割合(%)
	電気	割合(%)	化石	割合(%)	代燃フロン等4ガス	焼却	浄化槽	合計	割合(%)	総排出量(t-CO ₂ e)	割合(%)	フロン排出抑制法による温室効果ガス排出量(t-CO ₂ e)	割合(%)	フロン排出抑制法に基づくフロン排出量削減による削減量(t-CO ₂ e)	割合(%)	削減量(t-CO ₂ e)	割合(%)					
横浜	351	0.10	79	0.10	0	0.000	3	82.12	0.13	433	0.11	0	0.11	433	0.10	431	0.11					
青森	13,183	3.80	416	0.66	3	0.000	8	427.74	0.66	13,811	3.31	75	0.24	13,886	3.30	13,800	3.52					
むつ	799	0.23	190	0.23	0	0.000	3	192.45	0.30	992	0.24	0	0.24	992	0.24	989	0.26					
六ヶ所	12,384	3.57	227	0.36	3	0.000	5	235.30	0.36	12,619	3.07	75	3.07	12,694	3.06	12,611	3.26					
福島拠点	315	0.09	13	0.02	0	0.000	2	15.65	0.02	331	0.08	0	0.08	331	0.08	328	0.08					
いわき	52	0.02	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	52	0.01	0	0.01	52	0.01	52	0.01					
楡葉	153	0.04	0	0.00	0	0.000	2	2.19	0.00	155	0.04	0	0.04	155	0.04	153	0.04					
福島	109	0.03	13	0.02	0	0.000	0	13.46	0.02	123	0.03	0	0.03	123	0.03	123	0.03					
本郷	470	0.14	0	0.00	0	0.000	0	0.24	0.00	470	0.11	0	0.11	470	0.11	470	0.12					
原料研(J-PARCを含む)	134,487	38.77	5,775	43.18	22,026	0.000	76	27,877.44	43.18	162,384	39.46	1,656	1.656	164,020	39.59	140,261	36.27					
原料研	33,105	9.54	5,773	42.82	21,810	0.000	66	27,640.71	42.82	60,795	14.77	1,420	1.420	62,175	15.01	38,878	10.05					
J-PARC	101,382	29.22	2	0.03	216	0.000	10	227.66	0.35	101,609	24.69	236	236	101,845	24.58	101,383	26.22					
サイクル研	61,186	17.64	19,086	29.74	48	0.000	70	19,204.57	29.74	80,400	19.54	43	43	80,443	19.42	80,281	20.76					
大洗	31,224	9.00	3,926	5.52	0	0.013	41	3,866.77	5.52	34,791	8.46	185	185	34,976	8.44	34,750	8.99					
那珂	18,874	5.44	1,634	3.0	353	0.000	12	1,999.92	3.0	20,874	5.07	30	30	20,903	5.05	20,508	5.30					
NEAT	377	0.11	3	0.00	0	0.000	0	2.72	0.00	379	0.09	0	0.09	379	0.09	379	0.10					
NEAT茨城	247	0.07	0	0.00	0	0.000	0	2.58	0.00	250	0.06	0	0.06	250	0.06	250	0.06					
NEAT福井	129	0.04	0	0.00	0	0.000	0	0.16	0.00	130	0.03	0	0.03	130	0.03	130	0.03					
高崎	6,582	1.90	634	3.90	1,878	0.000	8	2,519.99	3.90	9,102	2.21	20	20	9,122	2.20	7,217	1.87					
東京地区	190	0.05	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	190	0.05	0	0.05	190	0.05	190	0.05					
東京	116	0.03	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	116	0.03	0	0.03	116	0.03	116	0.03					
柏	75	0.02	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	75	0.02	0	0.02	75	0.02	75	0.02					
東濃	685	0.20	31	0.06	3	0.000	2	36.02	0.06	721	0.18	0	0.18	721	0.17	715	0.18					
敦賀	421	0.12	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	421	0.10	13	13	434	0.10	421	0.11					
もんじゅ	46,724	14.05	5,539	8.87	177	1.092	11	5,729.56	8.87	54,452	13.23	425	425	54,877	13.25	54,263	14.03					
ふげん	15,781	4.55	405	0.67	16	0.000	8	429.56	0.67	16,211	3.94	236	236	16,447	3.97	16,187	4.19					
も連研	921	0.27	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	921	0.22	14	14	935	0.23	921	0.24					
関西研	4,400	1.27	12	0.04	11	0.000	0	22.66	0.04	4,423	1.07	50	50	4,473	1.08	4,412	1.14					
関西水津	3,637	1.05	12	0.00	11	0.000	0	22.66	0.04	3,660	0.89	50	50	3,710	0.90	3,649	0.94					
関西播磨	763	0.22	0	0.00	0	0.000	0	0.00	0.00	763	0.19	0	0.19	763	0.18	763	0.20					
人形	6,725	2.52	2,641	4.11	0	0.000	11	2,652.20	4.11	11,378	2.77	91	91	11,468	2.77	11,366	2.94					
合計	346,907	100.00	39,795	100.00	24,516	1.04	254	64,666.16	100.00	411,473	100.00	2,836	2,836	414,309	100.00	386,702	100.00					
種類別割合(%)	68.73		9.61		5.92	0.00	0.06	15.58		99.32		0.68		100.00		93.34						

表B-10-2 調整後総温室効果ガス拠点別排出量(2015年度)

拠点名	調整後間接排出量(t-CO ₂)				調整後直接排出量(t-CO ₂)				調整後総排出量(t-CO ₂)				調整後総排出量(t-CO ₂)				エネルギー起源	
	電気	割合(%)	化石	代替フロン等 4ガス	焼却	浄化槽	合計		調整後 総排出量 (t-CO ₂)	割合(%)	フロン排出削減法に 基づくフロン排出による 温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	割合(%)	フロン排出削減法に 基づくフロン排出を加えた 調整後総排出量 (t-CO ₂)	割合(%)	調整後CO ₂ 排出量 (t-CO ₂)	割合(%)		
							焼却	浄化槽									調整後 総排出量 (t-CO ₂)	割合(%)
横浜	354	0.10	79	0	0.000	3	82.12	436	0.11	0	0.11	436	0.11	433	0.11			
青森	13,236	3.89	416	3	0.000	8	427.74	13,664	3.38	75	0.25	13,739	3.37	13,652	3.60			
むつ		0.24	190	0	0.000	3	192.45	1,001	0.25	0	0.00	1,001	0.25		998	0.26		
六ヶ所	12,427	3.66	227	3	0.000	5	235.30	12,663	3.13	75	0.25	12,738	3.13		12,654	3.33		
福島拠点	316	0.09	13	0	0.000	2	15.65	332	0.08	0	0.00	332	0.08	329	0.09			
いわき	53	0.02	0	0	0.000	0	0.00	53	0.01	0	0.00	53	0.01		53	0.01		
楡葉	154	0.05	0	0	0.000	2	2.19	156	0.04	0	0.00	156	0.04		154	0.04		
福島	110	0.03	13	0	0.000	0	13.46	123	0.03	0	0.00	123	0.03		123	0.03		
本郷	589	0.17	0	0	0.000	0	0.24	589	0.15	0	0.00	589	0.15	589	0.16			
原料研(・PARCを含む)	132,090	38.86	5,775	22,026	0.000	76	27,877.44	159,967	39.55	1,656	0.46	161,623	39.68	137,965	36.31			
原料研	32,515	9.57	5,775	21,810	0.000	66	27,640.77	42,898	14.87	1,420	0.40	44,318	15.12		39,288	10.08		
J-PARC	99,575	29.29	2	216	0.000	10	227.66	99,803	24.67	236	0.06	100,039	24.56		99,577	26.22		
サイクル研	60,105	17.68	19,086	48	0.000	70	19,204.57	79,309	19.61	43	0.11	79,353	19.48	79,191	20.86			
大洗	29,445	8.66	3,526	0	0.013	41	3,866.77	33,011	8.16	185	0.05	33,197	8.15	32,970	8.66			
那珂	19,537	5.45	1,634	353	0.000	12	1,999.92	20,537	5.08	30	0.07	20,567	5.05	20,172	5.31			
NEAT	371	0.11	3	0	0.000	0	2.72	373	0.09	0	0.00	373	0.09	373	0.10			
NEAT茨城	243	0.07	0	0	0.000	0	2.56	245	0.06	0	0.00	245	0.06		245	0.06		
NEAT福井	128	0.04	0	0	0.000	0	0.16	128	0.03	0	0.00	128	0.03		128	0.03		
高崎	5,771	1.70	634	1,878	0.000	8	25,199.99	8,281	2.05	20	0.05	8,301	2.04	6,405	1.69			
東京地区	187	0.06	0	0	0.000	0	0.00	187	0.05	0	0.00	187	0.05	187	0.05			
東京	114	0.03	0	0	0.000	0	0.00	114	0.03	0	0.00	114	0.03		114	0.03		
柏	73	0.02	0	0	0.000	0	0.00	73	0.02	0	0.00	73	0.02		73	0.02		
東濃	680	0.20	31	3	0.000	2	36.02	717	0.18	0	0.00	717	0.18	711	0.19			
敦賀	418	0.12	0	0	0.000	0	0.00	418	0.10	13	0.03	431	0.11	418	0.11			
もんじゅ	48,196	14.18	5,539	177	1,092	11	57,295.6	53,925	13.33	425	0.11	54,350	13.34	53,735	14.15			
ふげん	15,611	4.59	405	16	0.000	8	4,295.6	16,040	3.97	236	0.06	16,276	4.00	16,016	4.22			
七海研	915	0.27	0	0	0.000	0	0.00	915	0.23	14	0.00	929	0.23	915	0.24			
関西研	4,334	1.28	12	11	0.000	0	22.66	4,357	1.08	50	0.01	4,407	1.08	4,346	1.14			
関西水津	3,592	1.05	12	11	0.000	0	22.66	3,605	0.89	50	0.01	3,655	0.90		3,594	0.95		
関西播磨		0.22	0	0	0.000	0	0.00		0.19	0	0.00		0.18		752	0.20		
人形	6,782	2.56	2,641	0	0.000	11	2,652.20	11,415	2.82	91	0.02	11,506	2.82	11,463	3.00			
合計	339,917	100.00	39,795	24,516	1,104	254	64,479.98	404,483	100.00	2,836	0.70	407,320	100.00	379,712	100.00			
種別別割合(%)	83.45		9.77	6.02	0.00	0.06	15.53	99.30		0.70		100.00		93.22				

表B-11-1 総温室効果ガス排出量拠点別推移(2015年度)

拠点名	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度*		対前年度比(%) 2015/2014
	(t-CO ₂)										
幌延	330	372	445	389	433	111.28	433	111.28	433	111.28	111.28
青森	4,086	10,948	12,716	13,203	13,686	103.86	13,203	103.86	13,686	103.86	103.86
むつ	998	1,127	1,141	1,039	982	95.40	1,039	95.40	982	95.40	95.40
六ヶ所	3,081	9,821	11,575	12,164	12,684	104.36	12,164	104.36	12,684	104.36	104.36
福島拠点	15	70	121	119	331	55.86	119	55.86	331	55.86	55.86
いわき											
楢葉											
福島											
本部	295	424	492	425	470	110.61	425	110.61	470	110.61	110.61
原科研(J-PARCを含む)	85,941	137,904	134,678	164,292	164,020	99.83	164,292	99.83	164,020	99.83	99.83
原科研	59,211	54,308	68,217	63,863	62,175	97.66	63,863	97.66	62,175	97.66	97.66
J-PARC	26,661	83,595	66,461	100,629	101,845	101.21	100,629	101.21	101,845	101.21	101.21
サイクル研	65,548	78,623	84,765	85,430	80,443	94.16	85,430	94.16	80,443	94.16	94.16
大洗	29,266	34,678	39,129	38,209	34,976	91.54	38,209	91.54	34,976	91.54	91.54
那珂	10,299	14,722	17,785	17,161	20,903	121.80	17,161	121.80	20,903	121.80	121.80
NEAT	357	385	408	381	379	99.63	381	99.63	379	99.63	99.63
NEAT茨城	246	238	262	248	250	100.70	248	100.70	250	100.70	100.70
NEAT福井	111	147	146	133	130	97.63	133	97.63	130	97.63	97.63
高崎	9,424	10,484	9,094	14,923	9,122	61.13	14,923	61.13	9,122	61.13	61.13
東京地区	163	196	222	217	190	87.81	217	87.81	190	87.81	87.81
東京	101	111	131	135	116	85.72	135	85.72	116	85.72	85.72
上野	11										
埋設センター	1										
柏	49	85	91	82	75	91.25	82	91.25	75	91.25	91.25
東濃	1,447	1,966	1,664	780	721	92.43	780	92.43	721	92.43	92.43
敦賀	592	614	529	456	434	95.29	456	95.29	434	95.29	95.29
もんじゅ	52,424	55,626	55,664	53,409	54,877	102.75	53,409	102.75	54,877	102.75	102.75
ふげん	14,269	19,194	18,564	16,469	16,447	99.86	16,469	99.86	16,447	99.86	99.86
も運研(旧国際セ)	616	876	909	867	835	107.79	867	107.79	835	107.79	107.79
関西研	3,682	4,571	4,845	4,627	4,473	96.68	4,627	96.68	4,473	96.68	96.68
関西木津	3,057	3,768	4,033	3,803	3,710	97.56	3,803	97.56	3,710	97.56	97.56
関西播磨	596	803	812	824	763	92.64	824	92.64	763	92.64	92.64
人形	11,568	9,748	10,677	11,033	11,468	103.94	11,033	103.94	11,468	103.94	103.94
合計	290,320	381,401	392,905	422,392	414,309	97.98	422,392	97.98	414,309	97.98	97.98

* 2015年度より、フロン排出抑制法に基づき算出したフロン漏えいによる温室効果ガス排出量を含む

表B-11-2 調整後温室効果ガス排出量拠点を別推移(2015年度)

拠点名	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度*		対前年度比(%) 2015/2014
幌延	325	372	440	391	436	111.54	436	111.54	436	111.54	
青森	4,006	10,929	11,924	13,181	13,739	104.23	13,739	104.23	13,739	104.23	
むつ	922	1,125	1,109	1,058	1,001	94.59	1,058	1,001	1,001	94.59	
六ヶ所	3,077	9,803	10,815	12,123	12,738	105.07	12,123	12,738	12,738	105.07	
福島拠点	11	70	114	118	332	55.90	118	332	332	55.90	
いわき											
楢葉											
福島											
本部	294	423	414	418	589	141.07	418	589	589	141.07	
原研研(J-PARCを含む)	85,803	137,652	111,026	162,004	161,623	99.76	162,004	161,623	161,623	99.76	
原研研	59,145	54,237	59,613	63,082	61,585	97.63	63,082	61,585	61,585	97.63	
J-PARC	26,590	83,415	51,412	98,921	100,038	101.13	98,921	100,038	100,038	101.13	
サイクル研	65,428	78,499	74,961	84,325	79,353	94.10	84,325	79,353	79,353	94.10	
大洗	29,228	34,612	31,274	37,637	33,197	88.20	37,637	33,197	33,197	88.20	
那珂	10,276	14,696	14,190	16,903	20,567	121.68	16,903	20,567	20,567	121.68	
NEAT	306	363	312	376	373	99.30	376	373	373	99.30	
NEAT茨城	246	238	203	244	245	100.61	244	245	245	100.61	
NEAT福井	60	125	109	132	128	96.88	132	128	128	96.88	
高崎	9,424	10,469	7,363	15,198	8,310	54.68	15,198	8,310	8,310	54.68	
東京地区	162	196	171	213	187	87.73	213	187	187	87.73	
東京	101	110	101	133	114	85.65	133	114	114	85.65	
上野	11										
埋設センター	1										
柏	49	85	70	80	73	91.17	80	73	73	91.17	
東濃	1,228	1,885	1,447	774	717	92.59	1,447	717	717	92.59	
敦賀	313	523	404	456	431	94.46	456	431	431	94.46	
もんじゅ	33,877	48,162	43,005	53,256	54,350	102.05	53,256	54,350	54,350	102.05	
ふげん	8,023	16,474	14,030	16,419	16,276	99.13	16,419	16,276	16,276	99.13	
も運研(田国際セ)	326	746	695	870	929	106.72	870	929	929	106.72	
関西研	3,330	4,209	4,480	4,574	4,407	96.35	4,574	4,407	4,407	96.35	
関西木津	2,763	3,470	3,730	3,759	3,655	97.23	3,759	3,655	3,655	97.23	
関西播磨	538	739	750	814	752	92.31	814	752	752	92.31	
人形	8,606	7,913	9,915	11,009	11,505	104.51	11,009	11,505	11,505	104.51	
合計	260,966	368,192	328,167	418,122	407,320	97.31	418,122	407,320	407,320	97.31	

* 2015年度より、フロン排出抑制法に基づき算出したフロン漏えいによる温室効果ガス排出量を含む

表B-12-1 電気使用に伴うCO₂排出量拠点別推移(2015年度)

拠点名	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		対前年度比(%) 2015/2014
	(t-CO ₂)										
幌延	214	271		359	313		351		112.31		
青森	3,781	10,542		12,306	12,810		13,183		102.91		
むつ	753	858	913		843			799		94.85	
六ヶ所	3,028	9,684	11,383		11,968			12,384		103.48	
福島拠点	15	64	106		106			315		297.79	
いわき										52	
楢葉										153	
福島										109	
本部	294	423		490	425		470		110.55		
原料研(J-PARCを含む)	51,547	116,797		104,351	135,027		134,487		99.60		
原料研	24,939	33,264	37,958		34,461			33,105		96.07	
J-PARC	26,608	83,533	66,393		100,567			101,382		100.81	
サイクル研	45,131	57,322	64,198		65,815		61,196		93.26		
大洗	24,979	30,787	34,695		34,544		31,224		90.39		
那珂	6,443	12,271	15,862		15,223		18,874		123.96		
NEAT	351	383	405		378		377		99.61		
NEAT茨城	243	236	260		246			247		100.61	
NEAT福井	108	147	146		132			129		87.75	
高崎	5,748	6,480	7,638		5,804		6,582		113.42		
東京地区	163	196	222		217		190		87.81		
東京	101	111	131		135			116		85.72	
上野	11										
埋設センター	1										
柏	49	85	91		82			75		91.25	
東濃	784	850	783		737		685		92.94		
敦賀	592	614	529		456		421		92.51		
もんじゅ	39,424	50,357	50,445		48,257		48,724		100.87		
ふげん	13,277	18,357	17,785		15,938		15,781		99.02		
も運研(旧国際七)	616	876	909		867		921		106.21		
関西研	3,642	4,532	4,806		4,608		4,400		95.50		
関西木津	3,047	3,732	3,995		3,784			3,637		96.12	
関西播磨	596	800	811		824			763		92.64	
人形	9,099	7,776	8,515		8,733		8,725		99.91		
合計	208,101	318,897	324,402		350,058		346,907		99.10		

表B-12-2 電気使用に伴う調整後CO₂排出量拠点別推移(2015年度)

拠点名	2011年度		2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		対前年度比(%) 2015/2014
	(t-CO ₂)										
横浜	209	271	355	314	354						112.63
青森	3,701	10,522	11,514	12,789	13,236						103.50
むつ		677	856		809						93.87
六ヶ所		3,024	9,666		11,927						104.19
福島拠点	11	64	99	105	316						299.85
いわき											53
楢葉											154
福島											110
本部	294	422	412	418	589						141.01
原料研(J-PARCを含む)	51,409	116,545	80,698	132,739	132,090						99.51
原料研					29,354						32.515
J-PARC					51,344						99.575
サイクル研	45,011	57,199	54,394	64,509	60,105						93.17
大洗	24,940	30,721	26,840	33,972	29,445						86.67
那珂	8,421	12,245	12,266	14,965	18,537						123.67
NEAT	300	360	309	373	371						99.28
NEAT茨城		243	235	201	241						100.53
NEAT福井		57	125	108	132						128
高崎	5,748	6,465	5,907	6,078	5,771						94.94
東京地区	182	196	171	213	187						87.73
東京		101	110	101	114						85.65
上野		11									
埋設センター		1									
柏		49	85	70	80						73
東濃	566	770	566	731	680						93.10
敦賀	313	523	404	456	418						91.68
もんじゅ	20,877	42,894	37,586	48,103	48,196						100.19
ふげん	7,031	15,637	13,251	15,888	15,611						98.26
も運研(旧国際七)	326	746	695	870	915						105.13
関西研	3,291	4,169	4,441	4,555	4,334						95.15
関西木津		2,753	3,433	3,691	3,741						3,562
関西播磨		538	736	750	814						752
人形	6,137	5,942	7,754	8,709	8,762						100.61
合計	178,748	305,689	257,664	345,788	339,917						98.30

表B-13-1 エネルギー起源CO₂排出量種類別推移(2015年度)

(t-CO₂)

種類	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	
電気	208,101	318,897	324,402	350,058	346,907	99.10	
化石	ガソリン	50	45	34	32	31	96.75
	灯油	1,413	1,321	1,342	1,042	938	90.06
	軽油	12,951	5,267	5,347	5,092	5,735	112.64
	A重油	28,942	29,322	28,315	27,384	26,972	98.50
	LPG	488	588	922	478	471	98.58
	LNG	5,276	6,266	6,015	6,153	5,621	91.35
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	11	19	28	25	27	107.80
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	49,131	42,828	42,002	40,205	39,795	98.98
合計	257,232	361,725	366,404	390,263	386,702	99.09	

表B-13-2 調整後エネルギー起源CO₂排出量種類別推移(2015年度)

(t-CO₂)

種類	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	対前年度比(%) 2015/2014	
電気(調整後排出量)	178,748	305,689	257,664	345,788	339,917	98.30	
化石	ガソリン	50	45	34	32	31	96.75
	灯油	1,413	1,321	1,342	1,042	938	90.06
	軽油	12,951	5,267	5,347	5,092	5,735	112.64
	A重油	28,942	29,322	28,315	27,384	26,972	98.50
	LPG	488	588	922	478	471	98.58
	LNG	5,276	6,266	6,015	6,153	5,621	91.35
	天然ガス	0	0	0	0	0	0.00
	都市ガス	11	19	28	25	27	107.80
	その他	0	0	0	0	0	0.00
	小計	49,131	42,828	42,002	40,205	39,795	98.98
合計	227,878	348,516	299,666	385,993	379,712	98.37	

表B-14 一般・産業廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出量(2015年度)

拠点名	設備名等	①施設の種類	②主な焼却物	焼却量(t)	CO ₂		CH ₄		N ₂ O		総CO ₂ 排出量(t)
					③排出係数 tCO ₂ /t	CO ₂ 排出量 (t)	④排出係数 tCH ₄ /t	CH ₄ 排出量 (t)	⑤排出係数 tN ₂ O/t	N ₂ O 排出量	
サイクル研	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	0.000		0.000	0.000076		0.000	0.0000724	0.000
	産業廃棄物処理施設(焼却炉)	—	焼却物が紙くずの場合	0.000						0.00001	0.000
大洗	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	0.542		0.000	0.000076	0.000	0.001	0.0000724	0.012
	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	バッチ燃焼式	主な焼却物が紙くずの場合	46.500		0.000	0.000076	0.004	0.088	0.0000724	1.003
もんじゅ				47.042				0.004	0.089	0.003	1.015
合 計											1.104

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (1/8)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 換算係数	青森		むつ						
		使用場所	使用目的	使用場所	使用目的					
トリフルオロメタン	HFC-23	14,800	0.485	研究棟ホール室	超低温フリーザー	124,542	0.485	研究棟ホール室	超低温フリーザー	124,542
ジフルオロメタン	HFC-32	675	3.400	研究棟ホール室	冷却水循環装置, 空圧圧機	38,015	3.400	研究棟ホール室	冷却水循環装置, 空圧圧機	38,015
フルオロメタン	HFC-41	92				0.000				0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	HFC-125	3,500	1.150	研究棟ホール室, 研究棟化学実験室3	ディープレフリーザー, メチカルフリーザー	68,425	1.150	研究棟ホール室, 研究棟化学実験室3	ディープレフリーザー, メチカルフリーザー	68,425
1,1,1,2,2-ヘキサフルオロエタン	HFC-134	1,100				0.000				0.000
1,1,1,1,2-トリフルオロエタン	HFC-143	353				0.000				0.000
1,1,1,1-トリフルオロエタン	HFC-143a	4,470				0.000				0.000
1,1,2-ジフルオロエタン	HFC-152	53				0.000				0.000
1,1,2-ジフルオロエタン	HFC-152a	124				0.000				0.000
フルオロエタン	HFC-161	12				0.000				0.000
1,1,1,2,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	HFC-227ea	3,220				0.000				0.000
1,1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236eb	1,340				0.000				0.000
1,1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236ea	1,370				0.000				0.000
1,1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-236fa	8,810				0.000				0.000
1,1,2,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-245aa	693				0.000				0.000
1,1,1,1,3,3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-245fa	1,030				0.000				0.000
1,1,1,1,3,3-ヘキサフルオロプロパン	HFC-365emf	794				0.000				0.000
1,1,1,2,3,4,4,4,5,5,5-デカフルオロペンタン	HFC-43-10mee	1,640				0.000				0.000
パーフルオロメタン	PF6-14	7,390				0.000				0.000
パーフルオロエタン	PF6-18	12,200				0.000				0.000
パーフルオロプロパン	PF6-218	8,830				0.000				0.000
パーフルオロブタン	PF6-31-10	8,860				0.000				0.000
パーフルオロシクロブタン	PF6-318	10,300				0.000				0.000
パーフルオロペンタン	PF6-41-12	9,160				0.000				0.000
パーフルオロヘキサン	PF6-51-14	9,300				0.000				0.000
パーフルオロヘプタン	PF6-61-18	7,500				0.000				0.000
パーフルオロシクロロヘプタン	PF6-71-18	17,340				0.000				0.000
六フッ化硫黄	SF ₆	22,800	887,000	研究棟ホール室, 加速器質量分析装置室, 中央受電所	SF ₆ 回収缶, SF ₆ 貯蔵缶, 加温等タンク(絶縁ガス), キュービクガス(絶縁ガス)で使用	3,146,400	887,000	研究棟ホール室, 加速器質量分析装置室, 中央受電所	SF ₆ 回収缶, SF ₆ 貯蔵缶, 加温等タンク(絶縁ガス)	3,146,400
三フッ化窒素	NF ₃	17,200				0.000				0.000
合計						3,378,392				3,378,392

(1) 質量量 = 中心値、機器等に許容差が示されている量。
 (2) 質量量 = 中心値、機器等に許容差が示されている量。
 (3) 放出量 = 充填作業時等の排出量と、測定した量から算出した場合。
 ※1: 自然減量を計算値と測定値の相違値の両方から算出した場合。
 ※2: 質量量 = 中心値、機器等に許容差が示されている量。
 ※3: 放出量 = 充填作業時等の排出量と、測定した量から算出した場合。

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (2/8)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	六ヶ所		福島		CO ₂ 量 (t-CO ₂ e)
		使用場所	使用目的	使用場所	使用目的	
トリフルオロメタン	14,800					0.000
ジフルオロメタン	675					0.000
フルオロメタン	92					0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,500					0.000
1,1,2,2,2-テトラフルオロエタン	1,100					0.000
1,1,1,1,2-テトラフルオロエタン	1,430					0.000
1,1,1,2-トリフルオロエタン	353					0.000
1,1,1,1-トリフルオロエタン	4,470					0.000
1,1,2-ジフルオロエタン	53					0.000
1,1,2-ジフルオロエタン	124					0.000
フルオロエタン	12					0.000
1,1,1,2,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	3,220					0.000
1,1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,340					0.000
1,1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,370					0.000
1,1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,810					0.000
1,1,2,2,2,3-ヘプタフルオロプロパン	693					0.000
1,1,1,1,3,3-ヘプタフルオロプロパン	1,030					0.000
1,1,1,1,3,3-ヘプタフルオロプロパン	794					0.000
1,1,1,1,2,3,4,4,5,5,5-デカフルオロペンタン	1,640					0.000
パーフルオロメタン	7,390					0.000
パーフルオロエタン	12,200					0.000
パーフルオロプロパン	8,830					0.000
パーフルオロブタン	8,860					0.000
パーフルオロシクロブタン	10,300					0.000
パーフルオロペンタン	9,160					0.000
パーフルオロヘキサン	9,300					0.000
パーフルオロヘプタン	7,500					0.000
パーフルオロシクロブタン	17,340					0.000
六フッ化硫黄	22,800	中央発電所	コンピューリ型ガス燃料装置で使用			3,146.400
三フッ化窒素	17,200					0.000
合計						3,146.400

(1) 実質量 = 六ヶ所、福島等に計入(消費)されている量。
 (2) 計算値 = 六ヶ所、福島等に計入(消費)されているメーター等が無く、実測により実質量が把握できない場合、実質量をもとに計算により算出した値。(計算値 = 初期実質量 × 排出係数)
 (3) 排出量 = 六ヶ所、福島等に計入(消費)されているメーター等の戻取量、実測により算出した量。
 ※1: 自然減量を計算値と実測値の相違値の方向から算出した場合。

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (3/8)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	原料原(1)PARCを含む)				原料原							
		使用場所	使用目的	(1)消費量 (kg)	(2)自然消費量 (kg)	(3)実消費量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)	使用場所	使用目的	(1)消費量 (kg)	(2)自然消費量 (kg)	(3)実消費量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)
トリフルオロメタン	14,800						0.000						0.000
ジフルオロメタン	675												0.000
フルオロメタン	92												0.000
1,1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,500												0.000
1,1,1,2,2-テトラフルオロエタン	1,100												0.000
1,1,1,1,2,2-ヘキサフルオロエタン	1,400												0.000
1,1,1,1,2,2,3-ヘプタフルオロエタン	320												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3-オクタフルオロエタン	4,470												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ノナフルオロエタン	53												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3-デカフルオロエタン	124												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	3,220												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	1,340												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3-オクタフルオロプロパン	1,370												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3-ノナフルオロプロパン	8,810												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3-デカフルオロプロパン	693												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-ヘキサフルオロシクロプロパン	1,000												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-ヘプタフルオロシクロプロパン	794												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-オクタフルオロシクロプロパン	1,640												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-ノナフルオロシクロプロパン	7,300												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-デカフルオロシクロプロパン	8,800												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-ヘキサフルオロシクロブタン	10,200												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-ヘプタフルオロシクロブタン	9,160												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-オクタフルオロシクロブタン	8,300												0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3,3-ノナフルオロシクロブタン	17,340												0.000
SF ₆	22,800												0.000
NF ₃	17,200												0.000
合計													0.000

(1)実消費量 = 消費量 - 貯入貯蔵されている量。
 (2)自然消費量 = 消費量 - (1)の差額。
 (3)排出量 = 実消費量 - 貯入貯蔵されている量。
 ※1: 自然消費量と計算値とを比較し、計算値の方が大きい場合は、計算値を排出量として算出している。

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (4/8)

代替フロン等4ガス		J-PARC		サイクル時	
CO ₂ 係数	使用箇所	使用目的	CO ₂ 量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)
			(1) 保管量 (kg)	(2) 自然漏洩量 (kg)	(3) 実量 放出量 (kg)
14,800	HFC-23				0.000
675	HFC-32	30aVシフトロロン種、旧リニアック種、陽子加速器開発			0.000
92	HFC-41	リニアック種			0.000
3,500	HFC-125	30aVシフトロロン種、旧リニアック種、リニアック種			0.000
1,100	HFC-134	1・1・1・2・2、ネトラルフロロン種			0.000
1,430	HFC-134a	リニアック種、30aVシフトロロン種、SNG種、物質・生体科			0.000
353	HFC-143	1・1・1・2・トリフルオロエタン			0.000
4,470	HFC-143a	1・1・1・トリフルオロエタン			0.000
53	HFC-152	1・2・2・2・2・2・2			0.000
124	HFC-152a	1・1・2・2・2・2・2			0.000
12	HFC-161	フルオロエタン			0.000
3,220	HFC-227na	1・1・1・2・3・3・3			0.000
1,340	HFC-236eb	1・1・1・2・2・3			0.000
1,370	HFC-236ea	1・1・1・2・2・3			0.000
9,810	HFC-236fa	1・1・1・2・3・3			0.000
693	HFC-245aa	1・1・2・2・3			0.000
1,000	HFC-245fa	1・1・1・3・3			0.000
794	HFC-365mfc	1・1・1・3・3			0.000
1,640	HFC-43-10mee	1・1・1・2・3・4・4・5・5・5			0.000
7,390	PF6-14	ヘキサフルオロメタン			0.000
12,200	PF6-18	ヘキサフルオロエタン			0.000
8,830	PF6-218	ヘキサフルオロプロパン			0.000
8,860	PF6-310	ヘキサフルオロブタン			0.000
10,300	PF6-318	ヘキサフルオロシクロブタン			0.000
9,160	PF6-412	ヘキサフルオロペンタン			0.000
9,300	PF6-514	ヘキサフルオロヘキサン			0.000
7,500	PF6-518	ヘキサフルオロヘプタン			0.000
17,340	PF6-618	ヘキサフルオロオクタノール			0.000
22,800	SF ₆	スフ化硫黄			0.000
17,200	NF ₃	三フ化窒素			0.000
合計			4,560	0.000	4,560
			216,300.00		46,348.300

(1) 保管量 = ボタン、機器等に封入・貯蔵されている量。
 (2) 自然漏洩量 = ボタン、機器等に封入・貯蔵されているメーター等が漏れ、薬剤に自然漏洩が把握できない場合、保管量をもとに計算により算出した値。(計算値 = 初期実量 × 非出係数)
 (3) 放出量 = 実量放出量 + 自然漏洩量 + 把握できないメーター等の戻取量。薬剤により算出した量。
 ※1: 自然漏洩量と計算値とを算出した量から算出した場合。

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (5/8)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	大気		水		地下		その他		CO ₂ 量 (t-CO ₂ e)
		使用場所	使用目的	(1)燃費量 (kg)	(2)自然漏洩量 (kg)	(3)深淵放出量 (kg)	(1)燃費量 (kg)	(2)自然漏洩量 (kg)	(3)深淵放出量 (kg)	
トリフルオロメタン	14,820									0.000
ジフルオロメタン	675	安全管理棟 図書室	空調	1,100	0.000	0.000				0.000
フルオロメタン	92									0.000
1,1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,540	安全管理棟 図書室	空調	1,200	0.000	0.000				0.000
1,1,1,2,2-テトラフルオロエタン	1,100									0.000
1,1,1,1,2-テトラフルオロエタン	1,430	安全管理棟 図書室	空調	2,500	0.025	0.000	35,750			0.000
1,1,1,2,2,3,3,3-ヘptaフルオロプロパン	320									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	4,470									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	53									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	124									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	12									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	3,220									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,340									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,370									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,810									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	693									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,020									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	794									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,640									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	7,380									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	12,200									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,830									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,860									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	10,300									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,160									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	8,300									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	7,500									0.000
1,1,1,1,2,2,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	17,340									0.000
ハフッ化硫黄	22,800									0.000
SF ₆										15,500
合計	17,200						35,750			0.000
三フッ化窒素										35,750
合計										35,750

(1)燃費量 = ボルト、機器等に封入貯蔵されている量。
 (2)自然漏洩 = ボルト、機器等に封入貯蔵されている量。
 (3)深淵放出 = ボルト、機器等に封入貯蔵されている量。
 ※1: 自然漏洩量と計算値とを比較し、計算値の方が大きい場合は、計算値を排出量として算出した。 (計算値 = 初期燃費量 × 排出係数)

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (6/8)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	高崎		東郷		CO ₂ 量 (kg)	CO ₂ 量 (kg)
		使用場所	使用目的	使用場所	使用目的		
トリフルオロメタン	14,800					0.000	0.000
ジフルオロメタン	675					0.000	0.000
フルオロメタン	92					0.000	0.000
1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,500					0.000	0.000
1,1,1,2,2-テトラフルオロエタン	1,100					0.000	0.000
1,1,1,1,2,2-ヘキサフルオロエタン	1,430	ペナチーナ機、コバルト機、1号加速機	空調用			12276.50	0.000
1,1,1,2,2-トリフルオロエタン	353					0.000	0.000
1,1,1,1,2,2-トリフルオロエタン	4,470					0.000	0.000
1,1,2-フルオロエタン	53					0.000	0.000
1,1-ジフルオロエタン	124					0.000	0.000
フルオロエタン	12					0.000	0.000
1,1,1,2,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	3,220					0.000	0.000
1,1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,340					0.000	0.000
1,1,1,1,2,3,3-ヘキサフルオロプロパン	1,370					0.000	0.000
1,1,1,1,3,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,810					0.000	0.000
1,1,1,1,2,2,3,3-ヘプタフルオロプロパン	693					0.000	0.000
1,1,1,1,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	1,030					0.000	0.000
1,1,1,1,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	794					0.000	0.000
1,1,1,1,2,3,3,4,4,5,5,5-デカフルオロペンタン	1,640					0.000	0.000
パーフルオロメタン	7,390					0.000	0.000
パーフルオロエタン	12,200					0.000	0.000
パーフルオロプロパン	8,830					0.000	0.000
パーフルオロブタン	8,860					0.000	0.000
パーフルオロシクロブタン	10,300					0.000	0.000
パーフルオロペンタン	9,160					0.000	0.000
パーフルオロヘキサン	9,300					0.000	0.000
パーフルオロシクロペンタン	7,500					0.000	0.000
パーフルオロシクロヘキサン	17,340					0.000	0.000
SF ₆	22,800	イオンビーム線装置 複合ビル棟、中央電源所、1号加速機棟、TARA施設	電子線照射の運転、変電用、加速器の運転			78,940	1,310
						1,887,000	0.025
						0.000	0.000
合計	17,200					18,719,610	2,850,000

(1) 実質量 = ボンベ、機器等に封入・貯蔵されている量。
 (2) 計算値 = ボンベ、機器等に封入・貯蔵されているメーター等が無く、薬剤により実質量が把握できない場合、実質量をもとに計算により算出した値。(計算値 = 初期実質量 × 排出係数)
 (3) 排出量 = 実作業時等の排出量と明らかになった量とを差し引いた量。
 ※1: 自然減量を計算値と実測値の相違の両方から算出した場合。
 ※2: 自然減量を計算値と実測値の両方から算出した場合。

表B-15 代替フロン等4ガス集計表(2015年) (7/8)

代替フロン等4ガス	CO ₂ 係数	もろUp		もろDown		CO ₂ 量 (kg)	使用目的	使用場所	CO ₂ 量 (kg)	使用目的	使用場所	CO ₂ 量 (kg)	③減量 放出量 (t-CO ₂ e)	②自然 削減量 (t-CO ₂ e)	①削減 量 (t-CO ₂ e)	CO ₂ 量 (kg)
		使用目的	使用場所	使用目的	使用場所											
トリフルオロメタン	14,800					0.000			0.000			0.000				0.000
ジフルオロメタン	675					0.000			0.000			0.000				0.000
フルオロメタン	92					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,2,2-ペンタフルオロエタン	3,500					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,2,2-テトラフルオロエタン	1,100					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,2-テトラフルオロエタン	1,430	A-101	空調用冷凍装置(機内冷却)			22,800.000		空調系多一相冷凍機(停止時)	22,800.000			0.000		0.000	3,000.000	0.000
1,1,1,2-トリフルオロエタン	353					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1-トリフルオロエタン	4,470					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,2-ジフルオロエタン	53					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,2-ジフルオロエタン	124					0.000			0.000			0.000				0.000
フルオロエタン	12					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,2,3,3,3-ヘプタフルオロプロパン	3,220					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,2,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,340					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,2,3-ヘキサフルオロプロパン	1,370					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,3,3-ヘキサフルオロプロパン	9,810					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,2,2,3-ヘプタフルオロプロパン	693					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,3,3-ヘプタフルオロプロパン	1,030					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,3,3-ヘプタフルオロプロパン	794					0.000			0.000			0.000				0.000
1,1,1,1,2,3,4,4,5,5,5-デカフルオロプロパン	1,640	A-101, A-224, R-110	空調用冷凍装置(系統冷却)			552,680.000			33,700.000			3,370.000				0.000
パーフルオロメタン	7,390					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロエタン	12,200					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロプロパン	8,830					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロブタン	8,860					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロシクロブタン	10,300					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロペンタン	9,160					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロヘキサン	9,300					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロヘプタン	7,500					0.000			0.000			0.000				0.000
パーフルオロオクタノール	17,340					0.000			0.000			0.000				0.000
SF ₆	22,800	検査用開閉所	開閉装置等の絶縁ガスとして使用			887,240.000			4,330.000			4,330.000				0.000
合計	17,200					17,687,920.000			0.000			0.000				0.000

① 実質量 = ホルン、機器等に封入・貯蔵されている量。
 ② 計算値 = ホルン、機器等に封入・貯蔵されているメーター等が無く、薬剤に計測装置が搭載されていない場合、実質量をもとに計算により算出した値。(計算値 = 初期実質量 × 抽出係数)
 ③ 放出量 = 充気作業時等の排出量と明らかに測定した量が把握できる場合。
 ※1: 自然削減量と計算値と差額値の両方から算出した場合。

表B-16 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の種類別推移(2015年)

種類	排出量 (t-CO ₂)						対前年比 (%) 2015/2014
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年		
HFC	212	240	266	245	446	181.96	
PFC	0	0	0	0	0	0.00	
SF ₆	32,639	19,182	26,003	31,654	24,070	76.04	
NF ₃	0	0	0	0	0	0.00	
合計	32,851	19,421	26,269	31,900	24,516	76.85	

表B-17 代替フロン等4ガスによる温室効果ガス排出量の拠点別推移(2015年)

拠点名	排出量(t-CO ₂)					対前年比(%) 2015/2014
	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	
青森	18	21	21	0	3	1,770.96
むつ	18	18	18	0	0	121.61
六ヶ所	0	3	3	0	3	0.00
福島拠点					0	0.00
楢葉					0	0.00
福島					0	0.00
原科研(J-PARCを含む)	28,889	14,579	24,026	22,899	22,026	96.19
原科研	28,839	14,529	23,975	22,848	21,810	95.46
J-PARC	51	51	51	51	216	424.18
サイクル研	33	33	33	34	48	141.36
大洗	17	0	18	16	0	0.22
那珂	372	367	366	370	353	95.40
高崎	2,699	3,132	748	8,387	1,878	22.39
東濃	624	1,076	841	7	3	39.75
もんじゅ	152	167	171	161	177	110.07
ふげん	17	17	17	17	16	95.40
関西研	29	29	27	8	11	132.35
関西木津			26			
関西播磨			3			
人形	0	0	0	0	0	891.74
合計	32,851	19,421	26,269	31,900	24,516	76.85

表B-18 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量(2015年度) (1/2)

漏えい年度：2015年度

特定漏えい者 全体	R-11		R-12		R-22		R-32		R-125		R-134a	
	算定漏えい量 (t-CO ₂)	実漏えい量 (kg)										
北海道	1182.750	249.000	116.630	10.700	762.752	421.410	8.319	12.324	43.411	12.403	253.053	176.960
青森県												
福島県												
茨城県												
群馬県												
千葉県												
東京都												
岐阜県												
福井県												
京都府												
兵庫県												
岡山県												
特定漏えい者 全体	1182.750	249.000	116.630	10.700	762.752	421.410	8.319	12.324	43.411	12.403	253.053	176.960
北海道												
青森県												
福島県												
茨城県												
群馬県												
千葉県												
東京都												
岐阜県												
福井県												
京都府												
兵庫県												
岡山県												

表B-18 拠点別フロン排出抑制法に基づくフロン漏えい量(2015年度) (2/2)

漏えい年度：2015年度

特定漏えい者 全体	フロン類の種類		R-143a		R-404A		R-407C		R-410A		合計	
	算定漏えい量 (t-CO ₂)	実漏えい量 (kg)										
北海道府県	308.430	69.000	1.529	0.390	31.152	17.600	115.682	55.350	2836.376			
北海道												
青森県												
福島県												
茨城県												
群馬県												
千葉県												
東京都												
岐阜県												
福井県												
京都府												
兵庫県												
岡山県												
特定漏えい者 全体	308.430	69.000	1.529	0.390	31.152	17.600	115.682	55.350	2836.376			
北海道府県												
北海道												
青森県												
福島県												
茨城県												
群馬県												
千葉県												
東京都												
岐阜県												
福井県												
京都府												
兵庫県												
岡山県												
特定漏えい者 全体	308.430	69.000	1.529	0.390	31.152	17.600	115.682	55.350	2836.376			
北海道府県												
北海道												
青森県												
福島県												
茨城県												
群馬県												
千葉県												
東京都												
岐阜県												
福井県												
京都府												
兵庫県												
岡山県												
特定漏えい者 全体	308.430	69.000	1.529	0.390	31.152	17.600	115.682	55.350	2836.376			

表B-19 輸送量(トンキロ)総計表(2015年度)

項目	(単位:トンキロ)														
	横浜	青森	むつ	六ヶ所	福島拠点	楡葉	福島	本部	原研(中心- PAROを含む)	サイクル研	大洗	那珂	NEAT	NEAT茨城	高崎
核燃料物質等		0	0		0				2,929	0	473				5
一般・産業廃棄物	1,208	627			381			2,401	12,552	29,836	11,683	8,715	0		4,623
その他		0			0				0	0	0				0
合計	1,208	627			381			2,401	15,482	29,836	12,156	8,715	0		4,623

項目	(単位:トンキロ)											合計				
	東京地区	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	関西研	関西本津	人形	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
核燃料物質等						0	42				0	5.08	0.13	2.09	2.06	0.34
一般・産業廃棄物	145			543	0	10,144	894	620	1,238		2,335	2952	11,93	19,57	13,01	8,80
その他		145				0	0			1,238	69	8.81	0.01	0.01	0.17	0.01
合計	145			543	0	10,144	936	620	1,238		2,404	43,41	12,06	21,67	15,23	9,15

表B-20 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)(2015年度) (1/5)

1.核燃料物質等						
拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	輸送量 kg・km (a)×(b)×(c)
原科研(J- PARCを含む)	核燃料物質	L型輸送物	1	760	1	760
	核燃料物質	L型輸送物	1	600	1	600
	核燃料物質	L型輸送物	1	760	3	2,280
	核燃料物質	L型輸送物	1	30	1	30
	核燃料物質	L型輸送物	1	740	2	1,480
	核燃料物質	L型輸送物	1	80	2	160
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	1	270
	核燃料物質	L型輸送物	1	740	1	740
	核燃料物質	L型輸送物	1	760	1	760
	核燃料物質	L型輸送物	1	100	1	100
	核燃料物質	L型輸送物	1	100	1	100
	核燃料物質	L型輸送物	1	30	1	30
	核燃料物質	L型輸送物	1	270	2	540
	核燃料物質	L型輸送物	1	80	2	160
	核燃料物質	L型輸送物	1	30	1	30
	核燃料物質	L型輸送物	3	1	1	3
	核燃料物質	L型輸送物	3	1	1	3
	核燃料物質	A型輸送物	8	137	2	2,192
	RI	L型輸送物1	1	130	1	130
	RI	L型輸送物	1	600	2	1,200
RI	L型輸送物	1	133	1	133	
RI	L型輸送物	1	130	1	130	
RI	L型輸送物	1	100	1	100	
RI	L型輸送物	1	100	1	100	
RI	L型輸送物	1	2	2	4	
RI	L型輸送物	1	180	3	540	

表B-20 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)(2015年度) (2/5)

1.核燃料物質等	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	輸送量 kg·km (a)×(b)×(c)
原科研(J- PARCを含む)	RI	L型輸送物	1	170	1	170
	RI	L型輸送物	1	120	2	240
	RI	L型輸送物	1	560	2	1,120
	RI	L型輸送物	2	130	1	260
	RI	L型輸送物	2	140	3	840
	RI	L型輸送物	3	130	1	390
	RI	L型輸送物	3	120	2	720
	RI	L型輸送物	4	140	1	560
	RI	L型輸送物	4	130	1	520
	RI	L型輸送物	6	130	1	780
	RI	L型輸送物	10	170	2	3,400
	RI	L型輸送物	20	100	1	2,000
	RI	L型輸送物	22	155	1	3,410
	RI	L型輸送物	22	155	1	3,410
	RI	L型輸送物	25	600	1	15,000
	RI	A型輸送物	1	700	1	700
	RI	A型輸送物	1	700	1	700
	RI	A型輸送物	1	560	2	1,120
	RI	A型輸送物	16	120	2	3,840
	RI	A型輸送物	24	100	1	2,400
RI	A型輸送物	32	100	3	9,600	
RI	A型輸送物	35	100	9	31,500	
RI	A型輸送物	48	130	1	6,240	
RI	A型輸送物	74	130	1	9,620	
RI	A型輸送物	96	100	1	9,600	
RI	A型輸送物	96	130	1	12,480	

表B-20 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)(2015年度) (3/5)

1.核燃料物質等	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	輸送量 kg*km (a)×(b)×(c)
原科研(J- PARCを含む)	RI	A型輸送物	120	100	3	36,000
	RI	A型輸送物	120	130	3	46,800
	RI	A型輸送物	144	100	2	28,800
	RI	A型輸送物	144	130	2	37,440
	RI	A型輸送物	168	100	4	67,200
	RI	A型輸送物	168	130	4	87,360
	RI	A型輸送物	175	100	1	17,500
	RI	A型輸送物	192	100	1	19,200
	RI	A型輸送物	192	130	1	24,960
	RI	A型輸送物	216	100	7	151,200
	RI	A型輸送物	216	130	7	196,560
	RI	A型輸送物	240	100	6	144,000
	RI	A型輸送物	240	130	4	124,800
	RI	A型輸送物	264	100	2	52,800
	RI	A型輸送物	264	130	1	34,320
	RI	A型輸送物	266	130	1	34,580
	RI	A型輸送物	288	100	6	172,800
	RI	A型輸送物	288	130	3	112,320
	RI	A型輸送物	290	130	2	75,400
	RI	A型輸送物	312	100	4	124,800
RI	A型輸送物	312	130	2	81,120	
RI	A型輸送物	336	100	3	100,800	
RI	A型輸送物	336	130	1	43,680	
RI	A型輸送物	338	130	2	87,880	
RI	A型輸送物	360	100	3	108,000	
RI	A型輸送物	360	130	2	93,600	

表B-20 輸送量(トンキ口)(核燃料物質等)(2015年度) (4/5)

1.核燃料物質等						
拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	輸送量 kg・km (a)×(b)×(c)
原科研(J- PARCを含む)	RI	A型輸送物	362	130	2	94,120
	RI	A型輸送物	386	130	3	150,540
	RI	A型輸送物	400	130	1	52,000
	RI	A型輸送物	1,522	130	1	197,860
	空輸送容器	A型輸送容器(空容器)	1,522	130	1	197,860
	総計					2,929,495
大洗	RI	HTTR起動用中性子源	1,916	124	1	236,626
	RI	L型	0	120	1	1
	空輸送容器	HTTR起動用中性子源用 輸送容器	1,913	124	1	236,256
	総計					472,882
高崎	RI	放射性同位元素	50	12	4	2,400
	RI	放射性同位元素	30	12	2	720
	RI	放射性同位元素	5	174	2	1,740
	総計					4,860
ふげん	RI	金属材料試験片	1	628	4	2,512
	RI	金属材料試験片	80	495	1	39,600
	総計					42,112

表B-20 輸送量(トンキロ)(その他)(2015年度) (5/5)

拠点名	種類	輸送項目	重量(kg) (a)	距離(km) (b)	回数 (c)	輸送量 kg・km (a)×(b)×(c)
2.その他	その他	無し			0	0
	総計					0
大洗	その他	L型	0	9,100	1	46
	その他	金属分析試料(SUS)	1	27	1	27
	その他	金属分析試料(SUS)	1	27	1	27
	総計					100
人形	その他	ウランガラス原料	721	6	1	4,398
	その他	圧力計校正	16	690	1	11,040
	その他	計測器(リーダー)校正	40	270	2	21,600
	その他	放射線測定器校正	10	859	3	25,770
	その他	放射線測定器校正	5	859	1	4,295
	その他	放射線測定器校正	2	859	1	1,718
	総計					68,821

表B-21 コピー用紙投入(2015年度)(1/3)

拠点名	A4 1箱の重さ(kg)		A4用紙(枚)		A3用紙(枚)		B5用紙(枚)		B4用紙(枚)		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	
幌延	10.00		170,500		8,500		1,000		0		188,200		752.00	
青森	0.00		865,500		42,500		0		500		951,200		3,805.00	
むつ		10.00		490,500		24,500		0		500		540,200		2,161.00
六ヶ所		10.00		375,000		18,000		0		0		411,000		1,644.00
福島拠点	0.00		770,000		36,000		0		0		842,000		3,368.00	
いわき		10.00		572,500		34,500		0		0		641,500		2,566.00
楢葉		10.00		0		0		0		0		0		0.00
福島		10.00		197,500		1,500		0		0		200,500		802.00
本部	11.00		1,838,500		68,500		1,000		500		1,976,900		8,698.00	
原科研(J-PARCを含む)	10.00		5,582,000		0		0		0		5,582,000		22,328.00	
サイクル研	10.00		4,392,500		195,000		5,000		15,000		4,807,000		19,228.00	
大洗	10.00		3,658,000		98,500		3,500		15,000		3,878,450		15,514.00	
那珂	11.00		884,500		58,000		0		2,000		1,003,300		4,414.00	
NEAT	0.00		130,000		6,000		0		0		142,000		568.00	
NEAT茨城		10.00		115,000		4,500		0		0		124,000		496.00
NEAT福井		10.00		15,000		1,500		0		0		18,000		72.00
高崎	10.40		337,500		12,000		2,000		6,500		372,000		1,547.00	
東京地区	0.00		827,000		26,000		0		0		879,000		3,867.00	
東京		11.00		775,000		25,000		0		0		825,000		3,629.00
柏		11.00		52,000		1,000		0		0		54,000		238.00
東濃	11.00		245,500		11,000		0		0		267,500		1,177.00	
敦賀	11.00		539,500		38,500		500		0		616,850		2,714.00	
もんじゅ	10.70		3,362,500		328,500		0		0		4,019,500		17,205.00	
ふげん	10.70		540,000		18,000		0		0		576,000		2,465.00	
も運研	10.00		450,000		18,000		0		0		486,000		1,944.00	
関西研	0.00		175,000		1,500		2,500		0		179,750		719.00	
関西木津		10.00		100,000		0		0		0		100,000		400.00
関西播磨		10.00		75,000		1,500		2,500		0		79,750		319.00
人形	11.00		825,500		28,500		0		1,000		883,900		3,889.00	
合計			25,594,000		995,000		15,500		40,500		27,651,550		114,202.00	

表B-21 コピー用紙投入(2015年度)(2/3)

2015年度下期 拠点名	A4 1箱の重さ(kg)		A4用紙(枚)		A3用紙(枚)		B5用紙(枚)		B4用紙(枚)		A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	
幌延	10.00		114,000		12,000		0		500		138,700		555.00	
青森	0.00		588,500		27,500		0		500		614,200		2,457.00	
むつ		10.00		191,000		12,500		0		500		216,700		867.00
六ヶ所		10.00		367,500		15,000		0		0		397,500		1,590.00
福島拠点	0.00		976,000		51,000		0		0		1,078,000		4,312.00	
いわき		10.00		500,000		27,000		0		0		554,000		2,216.00
楢葉		10.00		256,000		22,500		0		0		301,000		1,204.00
福島		10.00		220,000		1,500		0		0		223,000		892.00
本部	11.00		1,647,500		68,000		500		1,500		1,785,950		7,858.00	
原料研(J-PARCを含む)	10.00		5,717,000		0		0		0		5,717,000		22,868.00	
サイクル研	10.00		4,477,500		157,500		20,000		15,000		4,827,500		19,310.00	
大洗	10.00		3,390,500		93,000		12,000		5,500		3,592,600		14,371.00	
那珂	11.00		936,500		31,000		0		1,500		1,000,600		4,403.00	
NEAT	0.00		90,000		3,000		0		0		96,000		384.00	
NEAT茨城		10.00		80,000		3,000		0		0		86,000		344.00
NEAT福井		10.00		10,000		0		0		0		10,000		40.00
高崎	10.40		353,500		8,500		2,000		1,500		374,000		1,555.00	
東京地区	0.00		751,000		44,000		0		0		839,000		3,690.00	
東京		11.00		702,900		43,500		0		0		789,500		3,473.00
柏		11.00		48,500		500		0		0		49,500		217.00
東濃	11.00		231,000		9,500		0		0		250,000		1,100.00	
敦賀	11.00		545,000		43,500		0		0		632,000		2,781.00	
もんじゅ	10.70		3,287,500		297,000		0		0		3,881,500		16,613.00	
ふげん	10.70		600,000		16,500		0		0		633,000		2,709.00	
も運研	10.00		500,000		25,500		0		0		551,000		2,204.00	
関西研	0.00		667,500		9,000		10,000		0		692,500		2,770.00	
関西木津		10.00		400,000		0		0		0		400,000		1,600.00
関西播磨		10.00		267,500		9,000		10,000		0		292,500		1,170.00
人形	11.00		667,500		29,500		0		500		727,200		3,200.00	
合計			25,510,500		926,000		44,500		26,500		27,430,750		113,140.00	

表B-21 コピー用紙投入(2015年度)(3/3)

2015年度合計	拠点名	A4換算値(枚)		A4換算値(kg)	各拠点の占める割合(%)	
	喉延	326,900		1,307	0.57	
	青森	1,565,400		6,262	2.75	
	むつ		756,900			1.33
	六ヶ所		808,500			1.42
	福島拠点	1,920,000		7,680	3.38	
	いわき		1,195,500			2.10
	楢葉		301,000			0.53
	福島		423,500			0.75
	本部	3,762,850		16,556	7.28	
	原料研(J-PARCを含む)	11,299,000		45,196	19.88	
	サイクル研	9,634,500		38,538	16.95	
	大洗	7,471,050		29,885	13.15	
	那珂	2,003,900		8,817	3.88	
	NEAT	238,000		952	0.42	
	NEAT茨城		210,000			0.37
	NEAT福井		28,000			0.05
	高崎	746,000		3,102	1.36	
	東京地区	1,718,000		7,557	3.32	
	東京		1,614,500			3.12
	柏		103,500			0.20
	東濃	517,500		2,277	1.00	
	敦賀	1,248,850		5,495	2.42	
	もんじゅ	7,901,000		33,818	14.88	
	ふげん	1,209,000		5,174	2.28	
	も連研	1,037,000		4,148	1.82	
	関西研	872,250		3,489	1.53	
	関西木津		500,000			0.88
	関西播磨		372,250			0.65
	人形	1,611,100		7,089	3.12	
	合計	55,082,300		227,342	100.00	

用紙投入量推移

年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
投入用紙(枚)	55,520,500	53,365,450	58,694,900	59,864,100	55,082,300
投入用紙(kg)	228,987.00	220,186.00	242,471.00	246,921.00	227,342.00

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(1/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容			⑪主な理由
											⑩環境への配慮の内容	⑩環境への配慮の内容		
紙類(7)	コピー用紙	100%	227,440.4 kg	227,377.6 kg	100%	100%	5,913 kg	基準の高い物品を優先的に選択した	62.8 kg	富士ゼロックス C27	機能・性能上の必要性			
	フォーム用紙	100%	3 kg	3 kg	100%	100%	0 kg		0 kg					
	インクジェットカラープリンター用紙	100%	50.2 kg	50.2 kg	100%	100%	10 kg	基準の高い物品を優先的に選択した	0 kg					
	縫工されていない印刷用紙	100%	5.92 kg	5.92 kg	100%	100%	0 kg		0 kg					
	縫工されている印刷用紙	100%	289.8 kg	289.8 kg	100%	100%	78.7 kg	基準の高い物品を優先的に選択した	0 kg					
	トレッドペーパー	100%	22,034.63 kg	22,034.63 kg	100%	100%	0 kg		0 kg					
	ティンユベーパー	100%	4,135.06 kg	4,135.06 kg	100%	100%	0 kg		0 kg					
	シャープペンシル	100%	1,332 本	1,332 本	100%	100%	2 本	基準の高い物品を優先的に選択した	0 本					
	シャープペンシル替芯	100%	980 個	980 個	100%	100%	110 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	ボールペン	100%	9,549 本	9,549 本	100%	100%	439 本	基準の高い物品を優先的に選択した	0 本					
文具類(83)	マーカーペン	100%	13,836 本	13,836 本	100%	100%	26 本	基準の高い物品を優先的に選択した	0 本					
	鉛筆	100%	394 本	394 本	100%	100%	24 本	基準の高い物品を優先的に選択した	0 本					
	スタンプ台	100%	31 個	31 個	100%	100%	5 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	朱肉	100%	118 個	118 個	100%	100%	0 個		0 個					
	印章セット	100%	13 個	13 個	100%	100%	13 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	印箱	100%	3 個	3 個	100%	100%	2 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	公印	100%	24 個	24 個	100%	100%	0 個		0 個					
	ゴム印	100%	104 個	104 個	100%	100%	37 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	回転ゴム印	100%	19 個	19 個	100%	100%	6 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	定規	100%	185 個	185 個	100%	100%	1 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	トレー	100%	115 個	115 個	100%	100%	3 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	消しゴム	100%	1,095 個	1,095 個	100%	100%	0 個		0 個					
	ステープラー(汎用型)	100%	176 個	176 個	100%	100%	11 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	ステープラー(汎用型以外)	100%	43 個	43 個	100%	100%	0 個		0 個					
	ステープラー針リムーバー	100%	64 個	64 個	100%	100%	15 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	運針式クリップ(本体)	100%	0 個	0 個	%	%	0 個		0 個					
	事務用修正具(テープ)	100%	521 個	521 個	100%	100%	3 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	事務用修正具(液状)	100%	92 個	92 個	100%	100%	0 個		0 個					
	クラフトテープ	100%	296 個	296 個	100%	100%	0 個		0 個					

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(2/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満たさない物品等を調達した場合			⑫備考				
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧の内数	⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量		⑨具体的仕様の主な例		⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由
														⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由		
文具類(83)	粘着テープ(粘着)	100%	1,621個	1,581個	98%	98%	32個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個	機能・性能上の必要性	対応品なし			
	片面粘着紙テープ	100%	695個	695個	100%	100%	1個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個					
	製本テープ	100%	56個	56個	100%	100%	20個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個					
	ブックスタンド	100%	201個	201個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個					
	ペンスタンド	100%	42個	42個	100%	100%	1個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個					
	クリップケース	100%	10個	10個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個					
	はさみ	100%	355個	355個	100%	100%	10個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個					
	マグネット(玉)	100%	1,478個	1,478個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個					
	マグネット(バー)	100%	462個	455個	98%	98%	0個		0個	7個	MSLB-22D-3P-W	0個	0個	環境基準に近いものを選択	機能・性能上の必要性		
	テープカッター	100%	46個	46個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	ハンチ(手動)	100%	111個	111個	100%	100%	14個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個	0個				
	モルトケース(紙めぐり用スポンジケース)	100%	2個	2個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	紙めぐりクリウム	100%	2個	2個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	鉛筆削(手動)	100%	4個	3個	75%	75%	0個		0個	1個	CP-100A-D	0個	0個	環境基準に近いものを選択	廉価な物を選択		
	OAクリヤーナー(ウエットタイプ)	100%	190個	190個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	OAクリヤーナー(液タイプ)	100%	5個	5個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	ダストブロー	100%	492個	492個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	レターケース	100%	87個	87個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	メチアケース	100%	995個	995個	100%	100%	2個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個	0個				
	マウスパッド	100%	59個	59個	100%	100%	3個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個	0個				
	OAフィルタ(特あり)	100%	0個	0個	%	%	0個		0個	0個	0個	0個	0個				
	丸刃式紙裁断機	100%	3台	3台	100%	100%	0台		0台	0台	0台	0台	0台				
	カッターナイフ	100%	246個	246個	100%	100%	1個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個	0個				
カッティングマット	100%	24個	24個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個					
デスクマット	100%	30個	30個	100%	100%	4個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個	0個	0個	0個	0個					
OHPフィルム	100%	12個	12個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個					
線筆	100%	0個	0個	%	%	0個		0個	0個	0個	0個	0個					
線の具	100%	0個	0個	%	%	0個		0個	0個	0個	0個	0個					
墨汁	100%	1個	1個	100%	100%	0個		0個	0個	0個	0個	0個					

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達受集計表(2015年度)(3/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達率	⑨具体的仕様の主な例		⑪主な理由		
										③の内数	環境への配慮の内容			⑩環境への配慮の内容
	のり(液体)(補充用を含む。)	100%	226個	226個	100%	100%	0個							
	のり(膠粉のり)(補充用を含む。)	100%	0個	0個	%	%	0個							
	のり(固形)	100%	2,129個	2,129個	100%	100%	100個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	のり(テープ)	100%	373個	373個	100%	100%	34個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	ファイル	100%	55,768冊	55,728冊	100%	100%	324冊	基準の高い物品を優先的に選択した		G1820-6-G1820-14	機能・性能上の必要性			
	ハインダー	100%	615冊	615冊	100%	100%	0冊							
	ファイリング用品	100%	26,320個	26,320個	100%	100%	410個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	アルラム	100%	0個	0個	%	%	0個							
	つづりひも	100%	1,920個	1,920個	100%	100%	0個							
	カードケース	100%	1,111個	1,111個	100%	100%	162個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	事務用封筒(複製)	100%	88,218枚	88,218枚	100%	100%	3,709枚	基準の高い物品を優先的に選択した						
	窓付き封筒(複製)	100%	3,410枚	3,410枚	100%	100%	0枚							
	けい紙・起票用紙	100%	35個	35個	100%	100%	5個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	ノート	100%	3,621冊	3,621冊	100%	100%	49冊	基準の高い物品を優先的に選択した						
	ハンチラベル	100%	497個	497個	100%	100%	1個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	タックラベル	100%	6,198個	6,198個	100%	100%	6個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	インデックス	100%	3,174個	3,174個	100%	100%	5個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	付箋紙	100%	13,393個	13,393個	100%	100%	100個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	付箋フィルム	100%	574個	574個	100%	100%	0個							
	黒板拭き	100%	0個	0個	%	%	0個							
	ホワイトボード用レーザー	100%	64個	64個	100%	100%	0個							
	線線	100%	44個	44個	100%	100%	5個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	ごみ箱	100%	266個	266個	100%	100%	0個							
	リサイクルボックス	100%	20個	20個	100%	100%	20個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	缶・ボトルつぶし機(手動)	100%	0個	0個	%	%	0個							
	名札(机上用)	100%	40個	40個	100%	100%	0個							
	名札(衣服取付型・首下げ型)	100%	2,670個	2,670個	100%	100%	1,582個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	鍵かけフック(含む。)	100%	26個	26個	100%	100%	1個	基準の高い物品を優先的に選択した						
	チヨーク	100%	32本	32本	100%	100%	32本	基準の高い物品を優先的に選択した						

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(4/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧の内数	⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧の内数	
							⑩調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑩調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	
文具類(83)	グラウンド用白線	100%	0 kg	0 kg	100%	0 kg	0 kg	0 kg					
	梱包用バンド	100%	1 個	1 個	100%	0 個	0 個	0 個					
オフィス家具等(10)	いす	100%	681 脚	681 脚	100%	135 脚	基準の高い物品を優先的に選択した	0 脚					
	机	100%	202 台	202 台	100%	31 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台					
	棚	100%	209 連	209 連	100%	92 連	基準の高い物品を優先的に選択した	0 連					
	収納用仕櫃(棚以外)	100%	127 台	126 台	99%	34 台	基準の高い物品を優先的に選択した	1 台	W15×D8×H40	環境基準に近いものをを選択			仕様を満たす製品が適合品ではなかったため
	ローバーティジョン	100%	9 台	9 台	100%	7 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台					
	コートハンガー	100%	2 台	2 台	100%	1 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台					
	傘立て	100%	6 台	6 台	100%	0 台		0 台					
	掲示板	100%	26 個	26 個	100%	5 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
	黒板	100%	0 個	0 個	%	0 個		0 個					
	ホワイトボード	100%	41 個	41 個	100%	26 個	基準の高い物品を優先的に選択した	0 個					
画像装置等(10)	購入	コピー機等合計	100%	14 台	14 台	100%	7 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台				
		リース・レンタル(新規)	197 台	197 台	100%	44 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台					
	リース・レンタル(継続)	リース・レンタル	51 台	51 台									
		リース・レンタル	1 台	1 台									
	購入	コピー機	4 台	4 台				4 台	基準の高い物品を優先的に選択した				
		複合機	2 台	2 台									
	リース・レンタル(新規)	リース・レンタル	13 台	13 台				7 台	基準の高い物品を優先的に選択した				
		リース・レンタル	193 台	193 台				40 台	基準の高い物品を優先的に選択した				
	リース・レンタル(継続)	リース・レンタル	49 台	49 台									
		リース・レンタル	0 台	0 台				0 台					
購入	拡張性デジタルコピー機	0 台	0 台				0 台						
	リース・レンタル(新規)	0 台	0 台				0 台						
リース・レンタル(継続)	リース・レンタル	0 台	0 台				0 台						
	リース・レンタル	74 台	74 台	100%	30 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台						
プリンター等	プリンター等合計	100%	27 台	27 台	100%	23 台	基準の高い物品を優先的に選択した	0 台					
	リース・レンタル(新規)	117 台	117 台										
リース・レンタル(継続)	リース・レンタル												
	リース・レンタル												

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(5/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等 の調達量	④特定調達品等 の調達率 =③/②	⑤目標 達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を 満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満たさない物品等を調達した場合			⑫備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由		
														③の内数
画像装置等(10)	プリンタ		69台	69台				29台	29台	0台				
	リース・レンタル(新規)		22台	22台				20台	20台	0台				
	リース・レンタル(継続)		101台	101台						0台				
	購入		5台	5台				1台	1台	0台				
	リース・レンタル(新規)		5台	5台				3台	3台	0台				
	リース・レンタル(継続)		16台	16台						0台				
	購入		7台	7台				0台	0台	0台				
	リース・レンタル(新規)		1台	1台		100%	100%	0台	0台	0台				
	リース・レンタル(継続)		11台	11台						0台				
	リース・レンタル(新規)		13台	13台		100%	100%	5台	5台	0台				
スキャナ	リース・レンタル(新規)		5台	5台				5台	5台	0台				
	リース・レンタル(継続)		2台	2台						0台				
プロジェクタ	購入		28台	27台		97%		14台	14台	1台	KM-HD20-100F	機能・性能上の優越性		
	リース・レンタル(新規)		1台	1台				1台	1台	0台				
トナーカートリッジ	リース・レンタル(新規)		4台	4台						0台				
	リース・レンタル(継続)		1,518個	1,515個		100%	100%	612個	612個	3個	TNR-MAE1	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため		
インクカートリッジ	リース・レンタル(新規)		934個	934個		100%	100%	324個	324個	0個				
	リース・レンタル(継続)		606台	604台		100%	100%	240台	240台	2台	Lenovo 80J80063JP-ASUS TransBook	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため		
電子計算機等(4)	電子計算機 合計		321台	321台		100%	100%	267台	267台	0台				
	リース・レンタル(新規)		1,276台	1,276台						0台				
	リース・レンタル(継続)		16台	16台						0台				
	購入		48台	48台				9台	9台	0台				
	リース・レンタル(新規)		134台	134台				42台	42台	0台				
	リース・レンタル(継続)		369台	369台						0台				
	購入		249台	249台				163台	163台	0台				
	リース・レンタル(新規)		978台	978台				203台	203台	0台				
	リース・レンタル(継続)		203台	201台				63台	63台	2台	Lenovo 80J80063JP-ASUS TransBook	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため		
	リース・レンタル(新規)		17台	17台				15台	15台	0台				
リース・レンタル(継続)		135台	135台						0台					

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(6/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満たさない物品等を調達した場合			⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	
電子計算機等(4)	電子計算機 (電子計算機)	100%	18台	18台	/	/	5台	5台	0台				
			7台	7台	/	/	7台	7台	0台				
			29台	29台	/	/			0台				
	磁気ディスク装置	100%	225台	225台	100%	100%	99台	99台	0台				
			1台	1台	/	/	1台	1台	0台				
			81台	81台	/	/			0台				
	ディスプレイ	100%	439台	438台	100%	100%	143台	143台	1台	MIPO2AMABJ	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため	
			204台	204台	/	/	177台	177台	0台				
			669台	669台	/	/			0台				
	記録用メディア	100%	6,785個	6,785個	100%	100%	976個	976個	0個				
		13台	13台	/	/	7台	7台	0台					
		0台	0台	/	/	0台	0台	0台					
オフィス機器等(5)	シュレッダー	100%	0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
	デジタル印刷機	100%	0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
	掛時計	100%	10個	9個	90%	90%	4個	4個	1個	KX378S	環境基準に近いものを選択	廉価な物を選択	
			104個	104個	100%	100%	3個	3個	0個				
			55,931個	55,931個	100%	100%	79個	79個	0個				
	電子式桌上計算機	一次電池又は小形充電式電池	100%	350個	350個	100%	100%	0個	0個	0個			
			52台	50台	96%	96%	0台	0台	0台	シャープ製 SH07T、パナソニック製 P-01G	環境基準に近いものを選択	仕様を満たす製品が適合品ではなかったため	
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
携帯電話		100%	0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			199台	199台	100%	100%	199台	199台	0台				
PHS		100%	0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
			0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
スマートフォン		100%	0台	0台	/	/	0台	0台	0台				
		0台	0台	/	/	0台	0台	0台					
		0台	0台	/	/	0台	0台	0台					

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(7/13)

分野	品目	①目標値		②総調達量		③特定調達物品等の調達量		④特定調達物品等の調達率		⑤目標達成率		判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合		⑰備考	
		100%	/	30台	0台	30台	0台	100%	=③/②	④/①	⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容		⑪主な理由
家電製品(6)	電気冷蔵庫 冷凍庫 冷凍冷蔵庫	購入	100%	30台	0台	30台	0台	100%	100%	16台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台					
		リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台				
		リース・レンタル(継続)	/	1台	1台	1台	0台	/	/	18台	基準の高い物品を優先的に選択した		0台				
	テレビジョン受像機	購入	100%	23台	23台	0台	100%	100%	100%	0台			0台				
		リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台				
		リース・レンタル(継続)	/	2台	2台	2台	0台	/	/	1台	基準の高い物品を優先的に選択した		0台				
	電気便座	購入	100%	3台	3台	0台	100%	100%	100%	0台			0台				
		リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台				
		リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	1台	基準の高い物品を優先的に選択した		0台				
	電子レンジ	購入	100%	6台	5台	5台	83%	83%	83%	0台			0台				
		リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台				
		リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台				
エアコンディショナー	購入	100%	20台	20台	0台	100%	100%	100%	17台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台						
	リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
	リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
エアコンディショナー等(5)	購入	100%	7台	7台	7台	100%	100%	100%	7台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台						
	リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
	リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
ストーブ	購入	100%	2台	2台	2台	100%	100%	100%	2台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台						
	リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
	リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
ヒートポンプ式電気給湯器	購入	100%	0台	0台	0台	%	%	%	0台			0台					
	リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
	リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
温水器等(4)	購入	100%	0台	0台	0台	%	%	%	0台			0台					
	リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
	リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
石油温水機器	購入	100%	0台	0台	0台	%	%	%	0台			0台					
	リース・レンタル(新規)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					
	リース・レンタル(継続)	/	0台	0台	0台	0台	/	/	0台			0台					

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(8/13)

分野	品目	①目標値		②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合			判断の基準を満たさない物品等を調達した場合			⑫備考
		100%	100%					⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	
温水器等(4)	購入	100%	2台	2台	2台	100%	100%	2台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台				
	リース・レンタル(新規)		0台	0台	0台			0台		0台				
	リース・レンタル(継続)		0台	0台	0台						0台			
蛍光灯照明器具	施設用		224台	224台	224台			186台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台				
	客席用	100%	0台	0台	0台	100%		0台		0台				
	卓上スタンド用		13台	13台	13台			13台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台				
LED照明器具	LEDを光源とした内照式表示灯	100%	454台	454台	454台	100%		130台	基準の高い物品を優先的に選択した	0台				
	高周波点灯専用形(Hf)	100%	0台	0台	0台			0台		0台				
	ネオトキスト形又はタネ形		2,150本	2,150本	2,150本	100%		25本	基準の高い物品を優先的に選択した	0本				
電球形のランプ	電球形LEDランプ	100%	144個	144個	144個	100%		20本	基準の高い物品を優先的に選択した	0本				
	上記以外の電球形ランプ		329個	329個	329個			26個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個				
	購入		2台	2台	2台	100%		42個	基準の高い物品を優先的に選択した	2個	灯器用300W110V 簡易梱包	機能・性能上の必要性		対応品なし
自動車等(5)	一般公用車 合計	100%	8台	8台	8台	100%		0台		0台				
	電気自動車		0台	0台	0台									
	天然ガス自動車		0台	0台	0台									
	ハイブリッド自動車		1台	1台	1台	100%								
	リース・レンタル(新規)		4台	4台	4台									
	リース・レンタル(継続)		9台	9台	9台									
	購入		0台	0台	0台									
	リース・レンタル(新規)		0台	0台	0台									
	リース・レンタル(継続)		0台	0台	0台									
	購入		0台	0台	0台									
	リース・レンタル(新規)		0台	0台	0台									

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(9/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合		⑫備考		
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例		⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由
							③の内数	③の内容					
自動車等(5)	燃料電池自動車	購入	0台	0台	%								
		リース・レンタル(新規)	0台	0台									
	水素自動車	リース・レンタル(継続)	0台	0台									
		購入	0台	0台	%								
	クローゼット自動車 (乗車定員10人以下の乗用車)	リース・レンタル(新規)	0台	0台									
		リース・レンタル(継続)	0台	0台	100%								
	乗用車 (上記を除くクローゼット自動車)	購入	0台	0台	0台	100%							
		リース・レンタル(新規)	4台	4台	4台	100%							
	一般公用車以外合計	リース・レンタル(継続)	28台	28台	28台								
		購入	0台	0台	0台	100%							
	電気自動車	リース・レンタル(新規)	7台	7台	7台	100%							
		リース・レンタル(継続)	14台	14台	14台								
	天然ガス自動車	購入	0台	0台	0台	%							
		リース・レンタル(新規)	0台	0台	0台								
	ハイブリッド自動車	リース・レンタル(継続)	0台	0台	0台								
		購入	0台	0台	0台	100%							
	プラグインハイブリッド自動車	リース・レンタル(新規)	3台	3台	3台								
		リース・レンタル(継続)	0台	0台	0台								
	一般公用車以外	購入	0台	0台	0台	%							
		リース・レンタル(新規)	0台	0台	0台								
	リース・レンタル(継続)	0台	0台	0台									
	購入	0台	0台	0台									

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(10/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考	
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容		⑪主な理由
自動車等(5)	燃料電池自動車		0台	0台	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台									
	リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	購入		0台	0台	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台									
	リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	購入		0台	0台	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台									
	リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	購入		0台	0台	%								
	リース・レンタル(新規)		0台	0台									
	リース・レンタル(継続)		0台	0台									
	購入		0台	0台	100%								
	リース・レンタル(新規)		100%	3台	3台								
	リース・レンタル(継続)			6台	6台								
	購入		100%	0台	0台	%							
	リース・レンタル(新規)			0台	0台								
	リース・レンタル(継続)			0台	0台								
	購入		100%	0台	0台	100%							
	リース・レンタル(新規)			1台	1台								
リース・レンタル(継続)			3台	3台									
購入		100%	0台	0台	%								
リース・レンタル(新規)			0台	0台									
リース・レンタル(継続)			0台	0台									
購入		100%	0台	0台	%								
リース・レンタル(新規)			0台	0台									
リース・レンタル(継続)			0台	0台									
購入		100%	0台	0台	%								
リース・レンタル(新規)			0台	0台									
リース・レンタル(継続)			1台	1台									
購入		0個	0個	0個	%								
リース・レンタル(新規)			0台	0台									
リース・レンタル(継続)			1台	1台									
ETC対応車載器		0個	0個	0個	%								
カーナビゲーションシステム		0個	0個	0個	%								
乗用車用タイヤ		100%	14本	14本	100%			4本	基準の高い物品を優先的に選択した	0本			
2サイクルエンジン油		100%	0%	0%	%			0%		0%			

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(11/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満足しない物品等を調達した場合			⑫備考
							⑥調達量 ③の内数	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	
消火器(1)	消火器	100%	556本	556本	100%	100%	420本	基準の高い物品を優先的に選択した	0本			
	制服	100%	27着	27着	100%	100%	0着		0着			
制服・作業服(3)	作業服	100%	673着	673着	100%	100%	266着	基準の高い物品を優先的に選択した	0着			
	帽子	100%	0点	0点	%	%	0点		0点			
	カーテン	100%	15枚	15枚	100%	100%	0枚		0枚			
	布製ブラインド	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚			
	金属製ブラインド	100%	0点	0点	%	%	0点		0点			
	タフテッドカーペット	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡		0㎡			
	タイルカーペット	100%	431.12㎡	431.12㎡	100%	100%	376.5㎡	基準の高い物品を優先的に選択した	0㎡			
	織じゅうたん	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡		0㎡			
	ニードルパンチカーペット	100%	0㎡	0㎡	%	%	0㎡		0㎡			
	購入	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚			
インテリア・環境設備(11)	毛布 (洗濯備用品を含む)	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚			
	リース・レンタル(新規)		0枚	0枚			0枚		0枚			
	リース・レンタル(継続)		0枚	0枚			0枚		0枚			
	購入	100%	3枚	3枚	100%	100%	0枚		0枚			
	リース・レンタル(新規)		0枚	0枚			0枚		0枚			
	リース・レンタル(継続)		0枚	0枚			0枚		0枚			
	購入	100%	0台	0台	%	%	0台		0台			
	リース・レンタル(新規)		0台	0台			0台		0台			
	リース・レンタル(継続)		0台	0台			0台		0台			
	購入	100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
	リース・レンタル(新規)		0個	0個			0個		0個			
	リース・レンタル(継続)		0個	0個			0個		0個			
作業手袋(1)	作業手袋(洗濯備用品を含む)	100%	74,949組	74,924組	100%	100%	25組	基準の高い物品を優先的に選択した	25組	No.100 環境基準に近いものを選択 廉価な物を選択		
	購入	100%	3台	3台	100%	100%	0台		0台			
その他機織製品(7)	集金用ネット	100%	0台	0台			0台		0台			
	リース・レンタル(新規)		0台	0台			0台		0台			
	リース・レンタル(継続)		0台	0台			0台		0台			

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(12/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達物品等の調達量	④特定調達物品等の調達率 =③/②	⑤目標達成率 =④/① (一部=③/①)	判断の基準より高い水準を満足する物品等を調達した場合		判断の基準を満たさない物品等を調達した場合			⑫備考
							⑥調達量	⑦具体的仕様 環境への配慮の内容	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	
その他機電製品 (7)	ブルーシート (設置備用を含む)	購入	12枚	11枚	92%	92%	0枚		1枚	B30-3836	環境基準に近いものを選択	
		リース・レンタル(新規)	0枚	0枚			0枚		0枚			
		リース・レンタル(継続)	0枚	0枚	0枚				0枚			
	防球ネット	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚			
	旗	100%	0枚	0枚	%	%	0枚		0枚			
	のぼり	100%	10枚	10枚	100%	100%	10枚	基準の高い物品を優先的に選択した	0枚			
	幕	100%	1枚	1枚	100%	100%	1枚	基準の高い物品を優先的に選択した	0枚			
	モップ	100%	5点	5点	100%	100%	5点	基準の高い物品を優先的に選択した	0点			
			0点	0点			0点		0点			
			0点	0点			0点		0点			
設備(6)	太陽光発電システム	0kw	0kw	0kw	%	%	0kw		0kw			
		0m	0m	0m	%	%	0m		0m			
		0kw	0kw	0kw	%	%	0kw		0kw			
	生ゴミ処理機	0台	0台	0台			0台		0台			
		0台	1台	1台	100%				0台			
		0台	0台	0台					0台			
	節水機器	100%	0個	0個			0個		0個			
		0%	17,163 m	17,163 m	100%		17,163 m	基準の高い物品を優先的に選択した	0 m			
		100%	138本	138本	100%		0本		0本			
	災害備蓄用品 (15) (既存品目以外の10品目)	アルファ化米	100%	100個	100個	100%	100%	100個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個		
100%			264個	264個	100%	100%	0個		0個			
100%			0個	0個	%	%	0個		0個			
乾パン		100%	0個	0個			0個		0個			
		100%	0個	0個	%	%	0個		0個			
		100%	213個	213個	100%	100%	0個		0個			
米菓調整食品		100%	60個	60個	100%	100%	0個		0個			
		100%	411個	411個	100%	100%	11個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
		100%	0個	0個	%	%	0個	基準の高い物品を優先的に選択した	0個			
携帯充電機		100%	0台	0台	%	%	0台		0台			

表B-22 特定調達品目(物品・役務)調達実績集計表(2015年度)(13/13)

分野	品目	①目標値	②総調達量	③特定調達品等の調達量	④特定調達品等の調達率	⑤目標達成率	⑥調達量	⑦具体的仕様	⑧調達量	⑨具体的仕様の主な例	⑩環境への配慮の内容	⑪主な理由	⑫備考	
		%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	
														④/①
公共工事(67)	別産													
	省エネルギー診断	0件	0件	0件	100%	100%	233件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件					
	印刷	100%	252件	252件	100%	100%	233件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件					
	食堂	生ゴミ処理機設置	0件	0件	0件	100%	100%							
		処理委託	0件	2件	2件	100%	100%							
	自動車専用タイヤ更生	更生タイヤ(リトレッド)	0件	0件	0件	100%	100%							
		リグループ	0件	0件	0件	100%	100%							
	自動車整備	部品交換を伴う整備(リユース・リビルド部品)	100%	1件	1件	100%	100%			0件				
		判断基準を要件として求めて発注したもの		0件	0件									
		判断基準を要件として求めて発注したもの		0件	0件									
		エンジン洗浄		0件	0件									
	役務(18)	庁舎管理	100%	22件	22件	100%	100%	22件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件				
		掃雪管理	100%	23件	23件	100%	100%	21件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件				
		清掃	100%	16件	16件	100%	100%	5件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件				
		機密文書処理	100%	1件	1件	100%	100%	0件		0件				
害虫防除		100%	5件	5件	100%	100%	3件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件					
輸配送		100%	58件	58件	100%	100%	1件	基準の高い物品を優先的に選択した	0件					
旅客輸送		100%	0件	0件	100%	100%	0件		0件					
警光灯機能提供業務		0件	0件	0件	100%	100%	0件		0件					
庁舎において業務を行う小売業務		0件	0件	0件	100%	100%	0件		0件					
クリーニング		506件	100%	506件	82件	16%	16%	11件	基準の高い物品を優先的に選択した	424件	ウェアクリーニング	ドライの回収	機能・性能上の必要性	汗等の汚れ除去のため
		缶・ボトル飲料自動販売機		0台	0台			0台		0台				
		飲料自動販売機設置	100%	0台	0台	100%	100%	0台		0台				
		缶・ボトル飲料自動販売機		0台	0台			0台		0台				
引越輸送		9件	100%	9件	9件	100%	100%	0件		0件				
		0件	100%	0件	0件	100%	100%	0件		0件				
会議運営														

表B-23 特定調達品目(公共工事)調達実績集計表(2015年度)

No.	品目名		単位	数量			数量割合(%)	備考
	品目分類	品目名		特定調達物品等	類似品等	合計		
1		建設汚泥から発生した処理土	m3	0				
2		土工用水砕スラグ	m3	0				
3	盛土材等	鋼スラグを用いたケーソン中詰め材	m3	0	0	0	-	
4		フェロニッケルスラグを用いたケーソン中詰め材	m3	0				
5	地盤改良材	地盤改良用製鋼スラグ	m3	0	0	0	-	
6		再生加熱アスファルト混合物	t	1,899				
7	アスファルト混合物	鉄鋼スラグ混入アスファルト混合物	t	0	0	1,899	100	
8		中温化アスファルト混合物	t	0				
9		高炉スラグ骨材	m3	0				
10	コンクリート用スラグ骨材	フェロニッケルスラグ骨材	m3	0	0	0	-	
11		鋼スラグ骨材	m3	0				
12		電気炉酸化スラグ骨材	m3	0				
13	路盤材	鉄鋼スラグ混入路盤材	m3	0	0	2,394	100	
14		再生骨材等	m3	2,394				
15	小径丸太	間伐材	m3	0				
16		高炉セメント	t	0	0	0	-	
17	混合セメント	フライアッシュセメント	t	0	0	0	-	
16-1		生コンクリート(高炉)	m3	0	0	0	-	
17-1		生コンクリート(フライアッシュ)	m3	0	0	0	-	
18	セメント	エコセメント	個	0				集計対象は、コンクリート2次製品
19	コンクリート及びコンクリート製品	透水性コンクリート	m3	0				
19-1		透水性コンクリート2次製品	個	0				
20	鉄鋼スラグ水和固化体	鉄鋼スラグブロック	kg	0	0	0	-	
21	吹付けコンクリート	フライアッシュを用いた吹付けコンクリート	m3	0	0	0	-	
22		下塗用塗料(重防食)	kg	0	0	0	-	
23	塗料	低揮発性有機溶剤型の路面表示用水性塗料	m2	0	0	0	-	
24		高日射反射率塗料	m2	0	0	0	-	
25	防水	高日射反射率防水	m2	0	0	0	-	
26	舗装材	再生材料を用いた舗装用ブロック(焼成)	m2	0	0	0	-	
27		再生材料を用いた舗装用ブロック類(プレキャスト無筋コンクリート製品)	m2	0	0	0	-	
28		パークたい肥	kg	0	0	0	-	
29	園芸資材	下水道汚泥を用いた汚泥発酵肥料(下水道泥コンポスト)	kg	0	0	0	-	
30	道路照明	環境配慮型道路照明	台	38	0	38	100	
31	中央分離帯ブロック	再生プラスチック製中央分離帯ブロック	個	0	0	0	-	
32	タイル	陶磁器質タイル	m2	92	0	92	100	
33	建具	断熱サッシ・ドア	工事数	5				
34		製材	m3	0				
35	製材等	集成材	m3	1				
36		合板	m2	13,428				
37		単板積層材	m3	161				
38	フローリング	フローリング	m2	13	0	13	100	
39		パーティクルボード	m2	0	0	0	-	
40	再生木質ボード	繊維板	m2	0	0	0	-	
41		木質系セメント板	m2	0	0	0	-	
42	ビニル系床材	ビニル系床材	m2	4,756	0	4,756	100	
43	断熱材	断熱材	工事数	6				
44	照明機器	照明制御システム	工事数	31	0	31	100	
45	変圧器	変圧器	台	22	0	22	100	
46		吸収冷温水機	台	0	0	0	-	
47	空調用機器	水蓄熱式空調機器	台	0	0	0	-	
48		ガスエンジンヒートポンプ式空調和機	台	0	0	0	-	
49		送風機	台	1	0	1	100	
50		ポンプ	台	17	0	17	100	
51	配管材	排水・通気用再生硬質ポリ塩化ビニル管	m	98	0	98	100	
52		自動水栓	工事数	3	0	3	100	
53	衛生器具	自動洗浄装置及びその組み込み小機器	工事数	3	0	3	100	
54		洋風便器	工事数	7	0	7	100	
55	コンクリート用型枠	再生材料を使用した型枠	工事数	1				
56		合板型枠	工事数	10				
57	建設機械	排出ガス対策型建設機械	工事数	61	1	62	98	
58		低騒音型建設機械	工事数	63	1	64	98	
59	建設発生土有効利用工法	低品質土有効利用工法	工事数	0	0	0	-	
60	建設汚泥再生処理工法	建設汚泥再生処理工法	工事数	1	0	1	100	
61	コンクリート塊再生処理工法	コンクリート塊再生処理工法	工事数	0	0	0	-	
62	舗装(表層)	路上表層再生工法	工事数	0				
63	舗装(路盤)	路上再生路盤工法	m2	0				
64	法面緑化工法	伐採材及び建設発生土を活用した法面緑化工法	工事数	0	0	0	-	
65	山留め工法	泥土低減型ソイルセメント柱列壁工法	m2	0	0	0	-	
66	高機能舗装	排水性舗装	m2	0				
67		透水性舗装	m2	123				
68	屋上緑化	屋上緑化	m2	0				

表B-24 大気汚染物質の測定結果(2015年度)(1/2)

拠点名 (台数)	設備名	NOx濃度(ppm)		SOx濃度(Nm ³ /h)		ばいじん濃度(g/Nm ³)		測定日その他	規制値の根拠			
		規制値	実測値	実測比率(%)	規制値	実測値	実測比率(%)			規制値	実測値	実測比率(%)
幌延 (1台)	ゆめ地創館ボイラ	180	64~71	39.44	2.4	<0.01	0.3	<0.01	—	2015/11/24 2016/02/25		
		180	77	42.78	6.67	0.02	0.3	0.0026	0.87	2016/02/04		
むつ (2台)	真空ボイラ1 (むつ・動力棟)	180	92	51.11	1.85	0	0.3	0.0179	5.97	2016/02/04		
		—	62~69	—	—	0	—	0.3	0.0018~ 0.0025	0.83		
六ヶ所 (3台)	管理研究棟 機械室 真空式昭和SVEー ター SV-4004K-H型 原型FR&D棟 コー ルト機械室 TAS 吸収式温水器 TAS —AUV-1001KL型 IFMIF/EVEDA副委託 試験 コールト機械室 吸収式温水器 TAS —AUV-130F1KL型	—	72	—	—	0	—	0.3	0.0034	1.13		
		—	75	—	—	0	—	0.3	0.0022	0.73		
		150	42	28.0	5.14 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.01	—	2015/11/08 再開検査 2016/01/25	大気汚染防止法 *1:茨城県指導値 (k=13.0)
		130	62	53.85	3.60 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.006	—	2015/09/14	
		130	70	53.08	5.79 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.004	—	2016/02/18	
原料研(J- PARCを含む) (6台)	構内第2ボイラ1 構内第2ボイラ2 構内第2ボイラ3 構内第2ボイラ4 構内第2ボイラ5	130	58	53.08	3.20 *1	<0.01	0.1	<0.005	—	2015/09/14		
		130	69	49.23	4.85 *1	<0.01	<0.01	<0.004	—	2016/02/18		
		130	55	49.23	3.13 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.005	—	2015/09/14	
		130	64	53.08	4.63 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.004	—	2016/02/18	
		130	55	49.23	3.74 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.006	—	2015/09/15	
サイクル研 (3台)	ボイラ(B-1) ボイラ(B-2) ボイラ(B-3)	130	69	49.23	5.12 *1	<0.01	0.1	<0.004	—	2016/02/19		
		130	39	49.23	3.80 *1	<0.01	<0.01	0.1	<0.006	—	2015/09/15	
		130	64	40.0	4.87 *1	<0.01	<0.01	0.25	<0.005	10.0	2016/02/19	大気汚染防止法 *1:茨城県指導値
		150	46~60	40.0	56.99 *1	0.09~0.35	0.61	0.25	<0.004~0.025	—		
		150	56~68	45.33	56.99 *1	0.03~0.37	0.65	0.25	<0.005~ <0.006	—		
大洗 (11台)	JMTR No. 1ボイ ラ JMTR No. 2ボイ ラ 「常陽」 No. 1ボイ ラ 「常陽」 No. 2ボイ ラ 「常陽」 No. 3ボイ ラ	150	48~72	48.0	56.99 *1	0.07~0.44	0.77	<0.005~0.006	2.4	2015/12/24 2016/02/24	大気汚染防止法によ りk値=17.5	
		180	60	36.67	5.8	0.14	2.41	0.3	0.004	1.33	2015/12/24	
		180	66	37.78	5.8	0.15	2.59	0.3	0.003	1.0	2015/12/24	
		180	68	37.78	5.8	0.15	2.59	0.3	0.003	1.0	2015/12/24	
		250	11	12.4	10.7	0.032	0.31	0.3	0.007	2.33	2016/02/24	
		250	31	17.2	10.7	0.033	0.39	0.3	0.001	2.33	2015/06/22	
		250	20	17.2	10.7	0.019	0.42	0.3	0.007	2.33	2015/12/14	
		250	43	17.2	10.7	0.042	0.41	0.3	<0.001	1.0	2015/06/22	
		250	26	17.2	10.7	0.044	0.41	0.3	0.003	1.0	2015/12/14	
		250	43	17.2	10.7	0.025	0.41	0.3	<0.001	1.0	2015/12/14	

表B-24 大気汚染物質の測定結果(2015年度)(2/2)

拠点名 (台数)	設備名	NOx濃度(ppm)		SOx濃度(Nm ³ /h)		ばいじん濃度(g/Nm ³)		測定日その他	規制値の根拠		
		規制値	実測値	実測比率(%)	実測値	実測比率(%)	規制値			実測値	実測比率(%)
大洗 (11台)	構内 No. 1ボイラー	180	65	36.11	6.5	0.033	0.51	0.3	0.003	1.0	大気汚染防止法により k値=17.5
	構内 No. 2ボイラー	180	61	33.89	6.5	0.059	0.91	0.3	0.006	2.0	
	構内 No. 3ボイラー	180	68	37.78	6.5	0.058	0.89	0.3	0.001	0.33	
	処理棟 No. 1ボイラー	180	37	20.56	5.8	0.015	0.26	0.3	0.002	0.67	
	処理棟 No. 2ボイラー	180	57	31.67	5.8	0.015	0.26	0.3	0.002	0.67	
	燃研棟 ボイラー	180	0	0.0	0.9	0	0.0	0.3	0	0.0	
	ボイラー-1号	180	65	55.56	13	0.006	0.14	0.3	0.005	2.33	
	ボイラー-2号	180	71	61.11	13	0.026	0.29	0.3	0.005	3.67	
	ボイラー-3号	180	110	55.56	18	0.053	0.25	0.3	0.011	1.67	
高崎 (3台)	構内ボイラー-1号缶	180	100	55.56	18	0.033	0.99	0.3	0.005	3.33	群馬県生活環境を保全する条例
	構内ボイラー-2号缶	180			3.84			0.3			
	構内ボイラー-3号缶	250	77	30.8	3.98	0.7	17.59	0.3	0.02	6.67	
もんじゅ (2台)	補助ボイラー-A号機	150	59~63	42.0	18.4~21.1	<0.049~ <0.065	-	0.25	<0.001	-	2015/07/14 2016/03/09
	補助ボイラー-B号機	150	58~61	40.67	18.5~19.2	<0.051~ <0.061	-	0.25	<0.001	-	2015/07/14 2016/03/11
人形 (3台)	2号ボイラー	180	160	88.89	4.2	0.42	11.82	0.3	0.03	10.0	2015/05/18
	3号ボイラー	180	120	66.67	4.4	0.52	12.79	0.3	0.03	10.0	2015/11/18
	4号ボイラー	180	97	53.89	4.3	0.55	13.57	0.3	0.02	6.67	2015/05/18
	5号ボイラー	180	140	77.78	4.2	0.57	13.57	0.3	0.02	6.67	2015/05/18
		180	110	61.11	4.2	0.49	11.82	0.3	0.02	10.0	2015/11/18
											休止中

表B-25 ダイオキシン類の測定結果(2015年度)

拠点名	設備名等	主な焼却物	焼却量等 (t)	大気(ng-TEQ/Nm ³)		水域(pg-TEQ/l)		焼却能力	測定頻度
				規制値	実測値	規制値	実測値		
サイクル研	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙くず、雑芥	0	5	-	-	-	焼却能力:500kg/h 火床面積:21m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
	一般廃棄物処理施設(溶融炉)	焼却灰	0	5	-	-	-	焼却能力:500kg/h 火床面積:15m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
	産業廃棄物処理施設(焼却炉)	紙・布・木材・ゴム・廃プラ等	0	10	-	10	-	焼却能力:62.5kg/h 火床面積:3.3m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
大洗	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙・布・木材・プラスチック等	0.542	10	0.19	-	-	焼却能力:30kg/h 火床面積:1.68m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
もんじゅ	一般廃棄物処理施設(焼却炉)	紙くず、雑芥	46.5	10	0.17	-	-	焼却能力:70kg/h 火床面積:4.7m ² 火格子:なし	測定(1回/年)
合計			47.042						

表B-26 水資源投入量及び排水量(2015年度)

拠点名/項目	2015年度 投入量						2015年度 排水量					
	上水道(m ³)	工業用水(m ³)	地下水・井戸水(m ³)	河川水・湖沼(m ³)	投入量(m ³)	各拠点の割合(%)	下水道(m ³)	公共用水域			各拠点の割合(%)	
								非管理区域排水(m ³)	管理区域排水(m ³)	管理区域排水(m ³)		
楯延	1,982.0	0.0	0.0	0.0	1,982.0	0.09	0.0	63,889.0	0.0	63,889.0	1.46	
青森	6,556.0	897.0	7,923.0	0.0	15,376.0	0.66	0.0	13,982.0	0.0	13,982.0	0.32	
むつ	1,359.0	0.0	7,923.0	0.0	9,282.0	0.41	0.0	9,282.0	0.0	9,282.0	0.22	
六ヶ所	5,197.0	897.0	0.0	0.0	6,094.0	0.27	0.0	4,700.0	0.0	4,700.0	0.11	
福島拠点	898.8	670.9	0.0	0.0	1,569.7	0.07	1,555.7	0.0	0.0	1,555.7	0.04	
楢葉	563.8	670.9	0.0	0.0	1,234.7	0.05	1,234.7	0.0	0.0	1,234.7	0.03	
福島	333.0	0.0	0.0	0.0	333.0	0.01	321.0	0.0	0.0	321.0	0.01	
本部	3,747.0	0.0	0.0	0.0	3,747.0	0.17	3,747.0	0.0	0.0	3,747.0	0.09	
原科研(J-PARCを含む)	72,884.0	1,302,364.0	0.0	0.0	1,375,248.0	61.00	59,600.4	2,382,133.1	13,343.4	2,455,076.9	57.03	
サイクル研	37,482.0	241,671.0	0.0	0.0	279,153.0	12.38	0.0	168,953.0	803.0	169,756.0	3.94	
大洗	0.0	0.0	223,154.0	51,840.0	274,994.0	12.20	0.0	533,481.3	1,142.0	534,623.3	12.42	
那珂	6,922.0	43,415.0	0.0	0.0	50,337.0	2.23	48,498.0	0.0	0.0	48,498.0	1.13	
NEAT	942.0	0.0	1,095.6	0.0	2,037.6	0.09	2,037.6	0.0	0.0	2,037.6	0.06	
NEAT茨城	942.0	0.0	0.0	0.0	942.0	0.04	942.0	0.0	0.0	942.0	0.02	
NEAT福井	0.0	0.0	1,095.6	0.0	1,095.6	0.05	1,095.6	0.0	0.0	1,095.6	0.03	
高崎	0.0	0.0	67,028.0	0.0	67,028.0	2.97	0.0	312,133.0	0.0	312,133.0	7.25	
東濃	3,833.0	0.0	0.0	0.0	3,833.0	0.17	3,223.0	310,256.2	0.0	313,479.2	7.28	
敦賀	4,732.0	0.0	0.0	0.0	4,732.0	0.21	4,732.0	0.0	0.0	4,732.0	0.11	
もんじゅ	0.0	0.0	0.0	52,984.5	52,984.5	2.35	0.0	49,331.9	1,792.6	51,124.5	1.19	
ふげん	0.0	0.0	0.0	76,882.0	76,882.0	3.41	0.0	75,004.6	1,877.4	76,882.0	1.79	
も連研	0.0	0.0	0.0	2,826.0	2,826.0	0.13	2,826.0	0.0	0.0	2,826.0	0.07	
関西研	10,100.0	0.0	0.0	0.0	10,100.0	0.45	5,758.0	0.0	0.0	5,758.0	0.13	
関西木津	9,354.0	0.0	0.0	0.0	9,354.0	0.41	5,465.0	0.0	0.0	5,465.0	0.13	
関西播磨	746.0	0.0	0.0	0.0	746.0	0.03	293.0	0.0	0.0	293.0	0.01	
人形	0.0	0.0	31,799.0	0.0	31,799.0	1.41	9,936.4	234,635.6	211.1	244,783.1	5.69	
合計	150,076.8	1,589,017.9	330,999.6	184,532.5	2,254,626.8	100.00	141,914.1	4,143,799.7	19,169.5	4,304,883.3	100.00	
総量に対する種別の割合(%)	6.66	70.48	14.68	8.18			3.30	96.26	0.45			
個々の種別の合計		1,739,094.7		515,532.1			141,914.1		4,285,713.8			
個々の種別の割合(%)		77.13		22.87			3.30		99.55			

表B-27 水質測定結果(カドミウム等)(2015年度)(1/5)

拠点名	採取箇所	カドミウム及びその化合物		シアン化合物		有機燐化合物		鉛及びその化合物		六価クロム化合物		砒素及びその化合物	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排水管	0.03	<0.01	1	<0.1	1	<0.1	0.1	<0.01~0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.01
	第1排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
	第2排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
サイクル研	第3排水溝	0.03	<0.001	0.5	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
	第1排水溝(工務技術室)	0.03 * 1	<0.001	0.5 * 2	<0.01	1 * 1	<0.1	0.1 * 1	<0.01	0.5 * 1	<0.01	0.1 * 1	<0.01
	第2排水溝(Puセンター)	0.03 * 1	<0.01	0.5 * 2	<0.01	—	—	0.1 * 1	<0.07	—	—	0.1 * 1	<0.001
大洗	再処理施設海中放出管	0.03 * 1	<0.01	0.5 * 2	<0.01	—	—	0.1 * 1	<0.07	—	—	0.1 * 1	<0.001
	一般排水溝	0.03	<0.003	0.5 * 1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.005
那珂	専用排水管	0.03	0.003未満	0.5	0.1未満	1	0.1未満	0.1	0.01未満	0.5	0.04未満	0.1	0.005未満
	排水合流水槽	0.03	<0.001	1	0.02	1	0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.01	0.1	<0.01
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	0.003	0.001未満	検出され ないこと	ND	検出され ないこと	ND	0.01	0.005未満	0.05	0.04未満	0.01	0.005未満
	センター総合排水のマンホール	0.03	0.01未満	1	0.01未満	—	—	0.1	0.01未満	0.5	0.01未満	0.1	0.005未満
	東濃鉦山沈殿池の排水口	—	0.003未満	—	0.1未満	—	0.1未満	—	0.01未満	—	0.05未満	—	0.01未満
ふげん	浦底湾側(取水口側)												
	若狭湾側(放水口側)												
関西木津	会所枅A	0.03	<0.003	0.5	<0.05	0.5	<0.1	0.1	<0.05	0.25	<0.05	0.1	<0.01
	放流水槽	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005
人形	車庫排水	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005
	生活排水	0.03	<0.003	1	<0.01	1	<0.1	0.1	<0.01	0.5	<0.02	0.1	<0.005

表B-27 水質測定結果(カドミウム等)(2015年度)(2/5)

拠点名	採取箇所	フッ素及びその化合物		水銀及びアルキル水銀 その他の水銀化合物		ポリ塩化ビフェニル		トリクロロエチレン		テトラクロロエチレン		ジクロロメタン	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排水管	8	<0.8~1.6		不検出		<0.0005		<0.003		<0.001		<0.02
原科研(J- PARCを含む)	第1排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第2排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第3排水溝	8	<0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
サイカル研	第1排水溝(工務技術室)	8 * 1	0.1	0.005	<0.0005	0.003	<0.0005	0.3	<0.0005	0.1	<0.0005	0.2	<0.001
	第2排水溝(Puセンター)	8 * 1	<0.1~2.0	0.005	<0.0005~ 0.00053								
大洗	再処理施設海中放水管	8 * 1	<0.1	0.005	<0.0005								
那珂	一般排水溝	8 * 1	<0.15		<0.0005		<0.0005		<0.0002		<0.0002		<0.0002
高崎	専用排水管	8	0.1未満	0.005	0.0005未満	0.003	0.0005未満						
東濃	排水合流水槽	8	0.14		不検出		<0.0005		<0.0005		<0.0005		<0.001
	瑞浪超深地層研究所の排水口	0.8	0.6		ND		ND		0.002未満		0.0005未満		0.002未満
ふげん	センター総合排水のマンホール	8	0.005未満 ~1.7		0.0002未満								
	東濃鉱山沈殿池の排水口	8	0.1		0.0005未満		0.0005未満		0.01未満		0.01未満		0.02未満
関西木津	浦底湾側(取水口側)												
	若狭湾側(放水口側)									0.1	<0.0005		
人形	会所枋A	8	0.2		<0.0005		<0.0005		<0.01		<0.01		<0.01
	放流水槽	0.5	<0.05~0.08		<0.0005		<0.0005		<0.001		<0.0005		<0.002
	車庫排水	0.5	<0.05		<0.0005		<0.0005		<0.001		<0.0005		<0.002
	生活排水	0.5	<0.05		<0.0005		<0.0005		<0.001		<0.0005		<0.002

表B-27 水質測定結果(カドミウム等)(2015年度)(3/5)

拠点名	採取箇所	四塩化炭素		1.2-ジクロロエタン		1.1-ジクロロエチレン		1.2-ジクロロエチレン		1.1.1-トリクロロエタン		1.1.2-トリクロロエタン	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排水管		<0.002		<0.004		<0.02		<0.04		<0.001		<0.006
原科研(J- PARCを含む)	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第2排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第3排水溝	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
サイクル研	第1排水溝(工務技術室)	0.02	<0.0002	0.04	<0.0004	1	<0.001	0.4	<0.001	3	<0.0005	0.06	<0.0006
	第2排水溝(Puセンター) 再処理施設海中放出管												
大洗	一般排水溝		<0.0002		<0.0002	1	<0.0002		<0.0002		<0.0002		<0.0002
那珂	専用排水管												
高崎	排水合流水槽		<0.0002		<0.0004		<0.001		<0.001		<0.0005		<0.0006
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口		0.0002未満		0.0004未満		0.002未満		0.004未満		0.0005未満		0.0006未満
	センター総合排水のマンホール						0.02未満		0.04未満		0.3未満		0.006未満
ふげん	東濃鉦山沈殿池の排水口		0.002未満		0.004								
	浦底湾側(取水口側)												
関西木津	若狭湾側(放水口側)												
	会所前A		<0.01		<0.01		<0.01		<0.01		<0.01		<0.01
人形	放流水槽		<0.0002		<0.0004		<0.002		<0.004		<0.0005		<0.0006
	車庫排水		<0.0002		<0.0004		<0.002		<0.004		<0.0005		<0.0006
	生活排水		<0.0002		<0.0004		<0.002		<0.004		<0.0005		<0.0006

表B-27 水質測定結果(カドミウム等)(2015年度)(4/5)

拠点名	採取箇所	1,3-ジクロロプロペン		テトラメチルチウラムジスルフィド(別名チウラム)		2-クロロ-4,6-ビス(エチルアミノ)-s-トリアジン(別名シマジン)		S-4-クロロペンジル NN-ジエチルチオカルバマート(別名チオペンカルブ)		ベンゼン		セレン及びその化合物	
		規制値(mg/L)	実測値(mg/L)	規制値(mg/L)	実測値(mg/L)	規制値(mg/L)	実測値(mg/L)	規制値(mg/L)	実測値(mg/L)	規制値(mg/L)	実測値(mg/L)	規制値(mg/L)	実測値(mg/L)
幌延	排水処理施設の排水管		<0.002		<0.006		<0.003		<0.02		<0.01		<0.01
原科研(JPARCを含む)	第1排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第2排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第3排水溝	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
サイカル研	第1排水溝(工務技術室)	0.02	<0.0002	0.06	<0.001	0.03	<0.001	0.2	<0.001	0.1	<0.001	0.1	<0.01
	第2排水溝(Puセンター)												
大洗	再処理施設海中放出管												
	一般排水溝		<0.0002		<0.001		<0.001		<0.002		<0.0002		<0.005
那珂	専用排水管												
	排水合流水槽		<0.0002		<0.001		<0.001		<0.001		<0.001		<0.01
高崎	排水合流水槽		<0.0002		<0.001		<0.001		<0.001		<0.001		<0.01
	瑞浪超深地層研究所の排水口		0.0002未満		0.0006未満		0.0003未満		0.002未満		0.001未満		0.002未満
東濃	センター総合排水のマンホール												
	東濃鉦山沈殿池の排水口		0.002未満		0.006未満		0.003未満		0.02未満		0.01未満		0.01未満
ふげん	浦底湾側(取水口側)												
	若狭湾側(放水口側)												
関西木津	会所前A		<0.01		<0.001		<0.0003		<0.002		<0.01		<0.01
	放流水槽		<0.0002		<0.0006		<0.0003		<0.002		<0.001		<0.005
人形	車庫排水		<0.0002		<0.0006		<0.0003		<0.002		<0.001		<0.005
	生活排水		<0.0002		<0.0006		<0.0003		<0.002		<0.001		<0.005

表B-27 水質測定結果(カドミウム等)(2015年度)(5/5)

拠点名	採取箇所	ほう素及びその化合物		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物		塩化ビニルモノマー		1,4-ジオキサン		規制値の根拠等
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	
幌延	排水処理施設の排水管		0.1~2.1		8.2~25		—		<0.05	・水質汚濁防止法
原科研(J-PARCを含む)	第1排水溝	—	<0.05	100	1.64~6.82		なし		<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
	第2排水溝	—	<0.05	100	1.40~7.74		なし		<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
	第3排水溝	—	<0.05	100	1.14~14.54		なし		<0.05	・茨城県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条及び水質汚濁防止法第3条第1項
サイクル研	第1排水溝(工務技術室)	10	<0.05~0.28	100	3.3~9.1				<0.05	*1 水質汚濁防止法 *2 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県)
	第2排水溝(Puセンター)			100	0.61~1.0					*1 水質汚濁防止法 *2 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県)
大洗	再処理施設海中放出管	230	<0.02~0.026	100						*1 水質汚濁防止法 *2 水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県)
	一般排水溝		<0.02~0.12		<1~18		—		<0.05	*1:水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例その他は、水質汚濁防止法(排水基準を定める省令)
那珂	専用排水管									(1)那珂研の排水水において、地下埋設排水管を通して原科研まで送り、原科研から海域に放流している。(2)排水水の測定結果については、自主的により厳しい茨城県水質汚濁防止法に基づき排水基準を報告している。
高崎	排水合流水槽		<0.05		2.17				<0.05	
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口		0.54		0.27					
	センター総合排水のマンホール		0.1未満		1.3~3.9					
ふげん	東濃鉱山沈殿池の排水口		0.1未満		1未満		0.0002未満		0.05未満	
	浦底湾側(取水口側)									
関西木津	若狭湾側(放水口側)									水質汚濁防止法及び福井県公害防止条例に基づき排水基準
	会所研A		0.4		57		—		<0.05	下水道法京都府環境を守り育てる条例
人形	放流水槽		<0.1		<1.0		<0.002		<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づき排水基準値
	車庫排水		<0.1		<1.0		<0.002		<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づき排水基準値
	生活排水		<0.1		3.0~3.8		<0.002		<0.05	フッ素は岡山県との環境保全協定値、その他は水質汚濁防止法に基づき排水基準値

表B-28 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2015年度)(1/6)

地点名	採取箇所	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		化学的酸素要求量 (COD)				浮遊物質 (SS)				窒素			
		規制値	実測値	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (kg/日)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)
幌延	排水処理施設の排出口	5.8~8.6	6.9~8.1	100(120)	1.3~3.9	規制対象外水域	6.1~8.9	/	200(150)	<1~4	-	規制対象外水域	11~29	/			
	管理棟浄化槽排水	5.8~8.6	6.0~7.3	20	1.8~7.2	規制対象外水域	8.7~16	/	20	2~7	-	規制対象外水域	14~36	/			
むつ	研究棟管理区域排水(大洗)	5.8~8.6	7.3														
	研究棟非管理区域排水(大洗)	5.8~8.6	8														
	管理区域排水(樹根)	5.8~8.6															
	非管理区域排水(樹根)	5.8~8.6	7.7														
六ヶ所	排水処理建屋排水槽	5.8~8.6	6.9~7.6	160	8.3~46	160	5.7~11	0.07~0.14	200	4~7		120	6.4~18			0.08~0.23	
	第1排水溝	5.0~9.0 (海域)	7.2~7.8	10(15)*1	<0.5~1.1	10(15)*1	0.6~4.2	-	20(25)*1	<0.5~3.5	-	120(日間平均60)	-	-	-	-	-
原科研(JA-PRARCを含む)	第2排水溝	5.0~9.0 (海域)	6.9~8.0	10(15)*1	0.5~9.3	10(15)*1	1.0~4.2	-	20(25)*1	0.7~7.3	-	120(日間平均60)	-	-	-	-	-
	第3排水溝	5.0~9.0 (海域)	6.1~7.8	10(15)*1	<0.5~1.9	10(15)*1	2.8~6.4	-	20(25)*1	0.5~1.5	-	120(日間平均60)	-	-	-	-	-
サイクル研	第1排水溝	5.8~8.6 *1	7.2~7.9	25(20)*2	0.5~1.5	20		/	40(30)*2	1.2~4.0	/		/	/	/	/	/
	第2排水溝	海域 5.0~9.0 *1	7.3~8.5	20	<1.0	20 *2	0.97~4.3	/	30 *2	<1.0~3.8	/	100 *1	0.61~10.0	/	/	/	/
	再処理施設海中放出口	海域 5.0~9.0 *1	6.7~7.6	20	<1.0~2.3	20 *2	<0.2~1.2	/	30 *2	<1.0~2.7	/		0.6~3.9	/			
大洗	一般排水溝	5.0~9.0 (海域)	7.5~8.0	25(20)*1	1.2~11	25(20)*1	4.0~10	-	40(30)*1	<1~7	-	規制対象外水域	0.8~25	-	-	-	-
那珂	専用排水管	5.0~9.0	7.4~7.5	25	6.7~6.9	25	5.8~6.1		40	1.0未満							
高崎	排水合流槽	5.8~8.6	7.76	25 *1	2.64	/	3.7	-	50 *1	2.94		120	2.91				

表B-28 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2015年度)(2/6)

地点名	採取箇所	水素イオン濃度 (pH)		生物化学的酸素要求量 (BOD)		化学的酸素要求量 (COD)				浮遊物質 (SS)				窒素			
		規制値	実測値	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (kg/日)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 (kg/日)
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	6.5~8.5	6.9~7.2	/	/	/	/	/	/	25以下	3	/	/	/	/	/	/
	センター総合排水のマンホール	5.8~8.6	5.8~7.6	/	/	20	6.5~27	/	/	90(日間平均70)	0.7~8.0	/	/	/	/	/	/
	東濃鉱山沈殿池の排水口	5.8~8.6	6.8~7.9	/	0.5	20	2	/	0.15	200(日間平均150)	3.4	/	0.21	/	1.99	/	0.13
もんじゅ	排水口	5.0~9.0(海域)	7.5~7.6	/	/	≤50	3.2~5.1	2887	0.16~0.27*1	≤70	<1~1	3621	<0.10*1	/	/	/	/
	排水処理設備出口	5.0~9.0(海域)	6.9~7.1	/	/	≤50	1.5~3.9	160	0.22~0.41*1*2	≤70	2~5	224	0.24~0.56*1*2	/	/	/	/
	廃液モニタタンク	/	/	/	/	≤50	<0.5	160	/	≤70	<0.1~0.2	224	/	/	/	/	/
	洗濯廃液モニタタンク	/	/	/	/	≤50	37.9~42.6	160	/	≤70	31.2~40.8	224	/	/	/	/	/
	白木区設用地浄化槽	5.0~9.0(海域)	/	/	≤160	/	/	/	/	≤200	/	/	/	/	/	/	/
ふげん	浦底湾側(取水口側)	5.0~9.0	7.3	-	-	40	7.3	13.8	0.2	90	21	15.4	0.18	120	3.4	-	-
	若狭湾側(放水口側)	5.0~9.0	8.3	-	-	40	1.9	13.8	1.89	90	5	15.4	0.37	-	0.2	-	-
関西木津	会所A	5~9	8.6	600以下	360	-	-	-	-	600以下	140	-	-	240未満	59	/	-
	会所B	5~9	7.7	600以下	45	-	-	-	-	600以下	120	-	-	240未満	41	/	-
	会所C	5~9	8.6	600以下	11	-	-	-	-	600以下	8	-	-	240未満	11	/	-
人形	放流水槽	5.8~8.6	6.8~8.0	10*1	0.29~2.0	15*1	0.8~8.9	81.98	0.78~13.87	10*1	<0.1	-	<0.15	20*1	<0.5~1.2	48.56	<0.30~2.49
	車庫排水	5.8~8.6	6.9~7.7	3.0*1	0.38~1.2	4.6*1	1.0~3.4	0.12	0.0007~0.0028	15*1	0.2~5.8	-	0.0001~0.007	1.0*1	<0.5	0.24	<0.0001~<0.0009
	生活排水	5.8~8.6	6.4~7.4	15*1	0.33~3.1	20*1	4.4~10.1	4.5	0.08~0.29	15*1	1.4~6.2	-	0.02~0.19	60*1	4.9~13.5	4.5	0.08~0.29

表B-28 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2015年度)(3/6)

拠点名	採取箇所	リン				大腸菌群数		ノルマルヘキササン抽出物 質含有量 (鉱油類)		ノルマルヘキササン抽出物 質含有量 (動物油脂類)		フェノール類含有量		銅含有量		亜鉛含有量	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (個)	実測値 (個)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
幌延	排水処理施設の排出管	規制対象外 水域	0.21~0.32	/	/	3000	0	<0.5	<0.5	<0.5	<0.01	<0.01	<0.01	<0.01	<0.03~0.06		
	管理棟浄化槽排水	規制対象外 水域	2.4~4.5	/	3000	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
むつ	研究棟管理区域排水(大溝)																
	研究棟非管理区域排水(大溝)																
	管理区域排水(園根)																
	非管理区域排水(園根)																
六ヶ所	排水処理建屋排水槽	16	0.37~2.3	0.004~0.02	3000	2~12				0.6~3.8							
原料研(J- PARCを含む)	第1排水溝	-	<0.1	-	3000	0	3(鉱油類) *2	<1	<1	-	0.5	<0.05	3	<0.05~0.09	5	<0.05~0.07	
	第2排水溝	-	<0.1	-	3000	0~7	3(鉱油類) *2	<1	<1	-	0.5	<0.05	3	<0.05	5	<0.05~0.06	
	第3排水溝	-	<0.1	-	3000	0	3(鉱油類) *2	<1	<1	-	0.5	<0.05	3	<0.05~0.19	5	0.09~0.53	
サイクル研	第1排水溝	/	/	/	3000 *1	0	5 *2	<0.1	<0.1	10 *2	<0.1	<0.05	3	<0.05	2	0.14~0.42	
	第2排水溝	/	/	/	/	/	5	<0.5	<0.5				3	<0.007~ 0.0076	2	<0.04~0.072	
	再処理施設海中放出管	/	/	/	/	/	5	<0.5~0.84	<0.5~0.84				3	<0.007	2	<0.04~0.048	
大洗	一般排水溝	規制対象外 水域	0.19~6.6	-	3000	<50~300	5	<1	10 *1	<1	<0.05	<0.01~0.18				0.11~0.68	
那珂	専用排水管				3000	0~65	5	1.0未満	10	1.0未満	1	0.01未満	3	0.01未満	2	0.01	
高崎	排水合流槽	16	0.41	-	3000	404.71		1	1					0.05		0.05	

表B-28 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2015年度)(4/6)

拠点名	採取箇所	リン				大腸菌群数		ノルマルヘキササン抽出物 質含有量 (鉱油類)		ノルマルヘキササン抽出物 質含有量 (動植物油脂類)		フェノール類含有量		銅含有量		亜鉛含有量	
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	総量 規制値 (kg/日)	総量 (kg/日)	規制値 (個)	実測値 (個)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	センター総合排水のマンホール	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	東濃鉱山沈殿池の排水口	/	0.1	/	0.006	/	6	/	0.5未満	/	0.5未満	/	0.1未満	/	0.01	/	0.01
もんじゅ	排水口	/	/	/	/	/	/	5	<1	/	<1	/	/	/	/	/	/
	排水処理設備出口	/	/	/	/	/	/	5	<1	/	<1	/	/	/	/	/	/
	廃液モニタタンク	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	洗濯廃液モニタタンク	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
	白木仮設用地浄化槽	/	/	/	/	3000	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ふげん	浦底湾側(取水口側)	16	0.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	若狭湾側(放水口側)	-	<0.1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
関西木津	会所祈A	32未満	13	/	-	/	-	-	<1	-	<1	5	0.02	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	会所祈B	32未満	4.2	-	-	-	-	-	<1	-	27	0.04	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
	会所祈C	32未満	1.6	/	-	/	-	-	<1	-	1	0.02	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05
人形	放流水槽	3 * 1	<0.1~0.17	4.89	<0.06~0.40	3000	<300	1.0 * 1	<1.0	-	<1.0	<0.025	<0.05	<0.05~0.10	<0.05~0.10	<0.05~0.10	<0.05~0.10
	車庫排水	1.0 * 1	<0.1	0.012	<0.0002	3000	<300	1.0 * 1	<1.0	-	<1.0	<0.025	<0.05	<0.05~0.09	<0.05~0.09	<0.05~0.09	<0.05~0.09
	生活排水	6 * 1	0.12~1.95	0.45	0.01~0.05	3000	<300	1.0 * 1	<1.0	-	<1.0	<0.025	<0.05	<0.05~0.08	<0.05~0.08	<0.05~0.08	<0.05~0.08

表B-28 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2015年度)(5/6)

拠点名	採取箇所	溶解性鉄含有量		溶解性マンガン含有量		クロム含有量		規制値の概数等
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	
梶延	排水処理施設の排出口	<0.2	<0.1	<0.1	<0.02	・水質汚濁防止法・BOD及びSSの規制値の記述法:最大(日間平均)		
	管理棟浄化槽排水	-	-	-	-	・北のもい漁業協同組合との確認書に記載の基準値		
むつ	研究棟管理区域排水(大浜)					・自主測定		
	研究棟非管理区域排水(大浜)					・自主測定		
	管理区域排水(副堰)					・自主測定		
	非管理区域排水(副堰)					・自主測定		
六ヶ所	排水処理調整槽排水槽					・水質汚濁防止法 & 青森県条例		
	第1排水溝	10	<0.05~0.08	1	<0.05	1	<0.05	・水質汚濁防止法 * 1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・COD及びSSの規制値の記述法:最大(日間平均) * 2県条例の規制値には、鉱油類(5)、動植物油脂類(3)があり、規制値のきびしい鉱油類で管理している。
原科研(J-PARCを含む)	第2排水溝	10	<0.05~0.06	1	<0.05~0.07	1	<0.05	注1(1)海洋への排水の場合にはCODのみ適用。BODは自主測定。県条例第3条(3)に定められています。(2)県央地先水域への排水の場合、窒素、燐は除くとなります。特別の排水基準が適用される排水基準(上乗せ基準)が定められています。
	第3排水溝	10	<0.05~0.11	1	<0.05	1	<0.05	注1(1)海洋への排水の場合にはCODのみ適用。BODは自主測定。県条例第3条(3)に定められています。(2)県央地先水域への排水の場合、窒素、燐は除くとなります。特別の排水基準が適用される排水基準(上乗せ基準)が定められています。
	第1排水溝	10	0.06~0.13	1	<0.05	1	<0.05	* 1水質汚濁防止法 * 2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法:最大(日間平均)
サイカル研	第2排水溝	10	<0.01~0.021	1	0.0011~0.16	1	<0.007~0.015	* 1水質汚濁防止法 * 2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法:最大(日間平均)
	再処理施設海中放出口	10	<0.1~0.012	1	<0.001~0.0019	1	<0.007	* 1水質汚濁防止法 * 2水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法:最大(日間平均)
大洗	一般排水溝		0.04~0.17		<0.01~0.02		<0.01	・水質汚濁防止法(排水基準を定める省令) * 1水質汚濁防止法に基づき排水基準を定める条例(茨城県条例第11号)・BOD、COD及びSSの規制値の記述法:最大(日間平均)
那珂	専用排水管	10	0.01	1	0.07~0.08	1	0.01未満	(1)那珂研の排水水においては、地下埋設排水を通して原科研まで送り、原科研から海域に放流している。(2)排水水の測定結果については、自主的により厳しい久慈川水域の基準でその結果を東海村に報告している。
高崎	排水合流槽		0.07		0.1		<0.01	・水質汚濁防止法 * 1群馬県条例(上乗せ基準)

表B-28 水質測定結果(水素イオン濃度等)(2015年度)(6/6)

地点名	採取箇所	溶解性鉄含有量 (mg/L)		溶解性マンガン含有量 (mg/L)		クロム含有量 (mg/L)		規制値の根拠等
		規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	規制値 (mg/L)	実測値 (mg/L)	
東濃	瑞浪超深地層研究所の排水口							・瑞浪超深地層研究所に関わる環境保全協定・水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める岐阜県条例(SS)・SSの規制値の記述法・最大(日間平均)
	センター総合排水のマンホール							・水質汚濁防止法・化学的酸素要求量に係る総量規制基準(岐阜県告示)(COD)・水質汚濁防止法に基づく排水基準を定める岐阜県条例(SS)・SSの規制値の記述法・最大(日間平均)・センター総合排水マンホールは排水水量が50立方メートル/日以下のため排水基準が適用されないが、同基準を自主的に管理している。
	東濃鉱山沈殿池の排水口		0.56		0.04		0.02未測	・鉱山保安法・化学的酸素要求量に係る総量規制基準(岐阜県告示)(COD)・SSの規制値の記述法・最大(日間平均)
もんじゅ	排水口							・Ph及びびノルマルヘキサン抽出物質含有量:水質汚濁防止法・上記以外の項目:福井県公害防止条例(排水基準) * 1:日間平均値
	排水処理設備出口							・Ph及びびノルマルヘキサン抽出物質含有量:水質汚濁防止法・上記以外の項目:福井県公害防止条例(排水基準) * 1:日間平均値
	廃液モニタタンク							・福井県公害防止条例(排水基準)
	洗濯廃液モニタタンク							・福井県公害防止条例(排水基準)
	白木仮設用地浄化槽							・福井県条例(排水基準) * 1環境基準
ふげん	浦底湾側(取水口側)							水質汚濁防止法及び福井県公害防止条例に基づく排水基準
	若狭湾側(放水口側)							水質汚濁防止法及び福井県公害防止条例に基づく排水基準
関西木津	会所枿A		0.13		<0.05		<0.05	・下水道法・京都府環境を育てる条例
	会所枿B		0.09		<0.05		<0.05	・下水道法・京都府環境を育てる条例
	会所枿C		0.06		<0.05		<0.05	・下水道法・京都府環境を育てる条例
人形	放流水槽		<0.1		<0.1		<0.1	・水質汚濁防止法 * 1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)
	車庫排水		<0.1~0.9		<0.1		<0.1	・水質汚濁防止法 * 1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)
	生活排水		0.1~0.2		<0.1		<0.1	・水質汚濁防止法 * 1瀬戸内海環境保全特別措置法(届出値の最大値)

表B-29 PRTR法対象化学物質の排出・移動量(2015年度)

拠点	物質名 (注1)	特定第1種	取引量 [t]	排出量 (注2)			移動量 (注2)		主な使用、発生用途
				大気	公共用水域	土壌	埋立処分	下水道	
原料研 (J-PARCを含む) サイクル研	トリクロロフルオロメタン		1.1	249Kg	-	-	-	-	冷凍機用冷媒ガス
	メチルナフタレン		71.2	360kg	-	-	-	-	ボイラーの燃料(A重油)として使用。
大洗	ダイオキシン類 ■	○	-	0.0024 mg-TEQ	-	-	-	-	専用焼却炉の運転
	メチルナフタレン		15.6	78 kg	-	-	-	-	A重油(非常発電用、暖房用)の成分、燃焼排ガス中の残留物
那珂	メチルナフタレン		6.09	30.5kg	-	-	-	-	重油を中央機械室ボイラー及び非常発電機の燃料として使用
高崎	メチルナフタレン		2.3	12kg	-	-	-	-	
	亜鉛の水溶性化合物 ▲		-	-	0.07kg	-	-	-	
東濃	銅水溶性塩(錯塩を除く。)		-	-	0.004kg	-	-	-	
	ふっ化水素及びその水溶性塩 ▲		-	-	1.0kg	-	-	-	
	マンガン及びその化合物 ▲		-	-	0.7kg	-	-	-	
もんじゅ	ダイオキシン類 ■	○	-	0.087mg-TEQ	-	-	0.067mg-TEQ	-	一般廃棄物の焼却
ふげん	キシレン		2.3	-	-	-	-	-	構内給油所・ボイラー燃料
	1, 2, 4-トリメチルベンゼン		2.4	-	-	-	-	-	構内給油所・ボイラー燃料
人形	亜鉛の水溶性化合物 ▲		-	-	0.2kg	-	-	-	
	ふっ化水素及びその水溶性塩 ▲		-	-	4.7kg	-	-	-	
	マンガン及びその化合物 ▲		-	-	48kg	-	-	-	
	メチルナフタレン		9.471	47kg	-	-	-	-	A重油

注1) ▲：鉱山保安法の対象施設の場合
 ■：ダイオキシン類対策特別措置法上の特定施設の場合
 それ以外は、第1種指定化学物質の年間取引量1t以上の場合。ただし特定第1種指定化学物質の場合は、年間取引量0.5t以上の場合
 注2) 単位: kg(ダイオキシンはmg-TEQ)
 注3) 人形峰鉱山では、上記以外にも届出を行っているが、排出量、移動量は全て検出していないことを確認している。

表B-30 PCB廃棄物保管量増減の理由及び取組内容(2015年度)

拠点名	増加の理由	減少の理由	備考
原科研(J-PARCを含む)	<p>コンデンサ(高濃度)はメーカー問い合わせの結果17台が(高濃度)であった。 コンデンサ(低濃度)は使用中コンデンサについてPCBが含有していると判明したため222台増加したが、確認の結果2台がPCB不含有、17台が(高濃度)の為、647台(444+222-2-17=647)。 その他(濃度不明)は分析作業によりPCB付着物が6本増加したが、メーカー問い合わせの結果、X線発生装置(1台)がPCB不含有の為、24台(19+6-1=24)。</p>	<p>トランス(低濃度)は使用中トランスについてPCBが含有していると判明したため1台増加したが、確認の結果6台がPCB不含有の為、39台(44+1-6=39)。 安定器(高濃度)は使用中安定器についてPCBが含有していると判明したため18台増加したが、確認の結果121台がPCB不含有の為、2,192台(2295+18-121=2192)。</p>	
サイクル研			<ul style="list-style-type: none"> ・その他(総数18)の内訳：トレー(1個)、照明器具(8台)、ボルト・ナット(1袋)、ダンボール(2個)、ウエス・ゴム手袋(2袋)、ウエス等(4袋) ・使用中の高圧トランス(低濃度)4台は、上記データに含まない。
大洗	<ul style="list-style-type: none"> ・安定器は新たに56台発生したため増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「トランス」、「コンデンサ」区分の低濃度分の減少は、平成27年度に低濃度PCB廃棄物をトランス111台、コンデンサ2台を処分したことによる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・安定器は全て「高濃度」に分類した。 ・「その他」区分における高濃度の単位を「リットル」、低濃度の単位を「グラム」本数とした。その結果、高濃度の一一般会計では数量「0.5」リットルが「1」と丸めて表示され、同様に高濃度の特別会計では「0.16」リットルが「0」と表示されている。
人形	<ul style="list-style-type: none"> ・濃縮工学施設のコンデンサ1台を処分し、7台更新したため(計6台増加)増加、また、リアクトル1台を更新したため増加 	<ul style="list-style-type: none"> ・高圧トランス4台を処分 	なし

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（幌延）(2015年度)(1/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物			焼却処分していないため、すべて不燃物に分類	
		不燃物	4,851			
	外部委託	可燃物				0
		不燃物				0
	自治体及び外部委託の総量		4,851			0
	再生 利用	古紙				0
		金属類				0
		プラスチック類				0
		その他				0
	再生利用総量		0			0
一般廃棄物総量		4,851		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		4,851		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		3,140	336	1,054	
	廃油				0	
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず		460	333	153	
	銚さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		3,600		1,208	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
		その他				0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		3,600		1,208		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0	
	有害産業廃棄物				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		3,600		1,208		
全ての廃棄物 排出総量		8,451		1,208		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（青森）（2015年度）（2/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	14,086	30	211
		不燃物	2,589	20	26
	自治体及び外部委託の総量		16,675		237
	再生 利用	古紙	827	35	29
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	827		29
一般廃棄物総量		17,502		266	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		17,502		266	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	11	1,940	21	
	廃油	48	1,940	92	
	廃酸	85	1,940	165	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,609	31	25	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	178	15	3	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	246	10	2	
	ガラス及び陶磁器くず	0	0	0	
	銚さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	1,927	45	53	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		4,104		361
	再生利用	金属類	0	0	0
		プラスチック	0	0	0
		その他	0	0	0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		4,104		361	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0	0	0	
	有害産業廃棄物	0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		4,104		361	
全ての廃棄物 排出総量		21,606		627	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（むつ）（2015年度）（3/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	9,130	15	137
		不燃物	700	10	7
	自治体及び外部委託の総量		9,830		144
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		9,830		144	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		9,830		144	
産業廃棄物	燃えがら	0		0	
	汚泥	11	1,940	21	
	廃油	48	1,940	92	
	廃酸	85	1,940	165	
	廃アルカリ	0		0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	769	15	12	
	紙くず	0		0	
	木くず	178	15	3	
	繊維くず	0		0	
	動植物性残さ	0		0	
	動物系固形不要物	0		0	
	ゴムくず	0		0	
	金属くず	246	10	2	
	ガラス及び陶磁器くず	0		0	
	銲さい	0		0	
	がれき類	0		0	
	ばいじん	0		0	
	その他	357	15	5	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,694		301
	再生利用	金属類	0		0
		プラスチック	0		0
		その他	0		0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		1,694		301	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0		0	
	pH2.0以下の廃酸	0		0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0		0	
	感染性産業廃棄物	0		0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0		0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0		0	
	有害産業廃棄物	0		0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		1,694		301	
全ての廃棄物 排出総量		11,524		445	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（六ヶ所）(2015年度) (4/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	4,956	15	74
		不燃物	1,889	10	19
	自治体及び外部委託の総量		6,845		93
	再生 利用	古紙	827	35	29
		金属類		0	0
		プラスチック類		0	0
		その他		0	0
		再生利用総量	827		29
一般廃棄物総量		7,672		122	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0	
	感染性一般(8号廃棄物)			0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		7,672		122	
産業廃棄物	燃えがら			0	
	汚泥			0	
	廃油			0	
	廃酸			0	
	廃アルカリ			0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		840	16	13
	紙くず			0	
	木くず			0	
	繊維くず			0	
	動植物性残さ			0	
	動物系固形不要物			0	
	ゴムくず			0	
	金属くず			0	
	ガラス及び陶磁器くず			0	
	鋸さい			0	
	がれき類			0	
	ばいじん			0	
	その他		1,570	30	47
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		2,410		60
	再生利用	金属類			0
		プラスチック			0
		その他			0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		2,410		60	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0	
	pH2.0以下の廃酸			0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0	
	感染性産業廃棄物			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0	
	有害産業廃棄物			0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		2,410		60	
全ての廃棄物 排出総量		10,082		182	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（福島拠点）（2015年度）（5/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	1,580	8	13
		不燃物	170	0	0
	自治体及び外部委託の総量		1,750		13
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		1,750		13	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,750		13	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	0	16	0	伝票記載がm ³ での表記
	廃油	20	1,263	25	
	廃酸	90	1,263	114	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	670	109	73	一部の記載がm ³ 及び個数になっている。
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	40	109	4	一部の伝票記載がm ³ での表記
	ガラス及び陶磁器くず	0	0	0	
	鋸さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		820		216
	再生利用	金属類	0	0	0
		プラスチック	0	0	0
その他		0	0	0	
産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		820		216	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	29	1,263	37	
	pH2.0以下の廃酸	91	1,263	115	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0	0	0	
	有害産業廃棄物	0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	120		152	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		940		368	
全ての廃棄物 排出総量		2,690		381	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（檜葉）(2015年度)(6/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物			
		不燃物			
	外部委託	可燃物	1,580	8	13
		不燃物	170		0
	自治体及び外部委託の総量		1,750		13
	再生 利用	古紙			0
		金属類			0
		プラスチック類			0
		その他			0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		1,750		13	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0	
	感染性一般(8号廃棄物)			0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,750		13	
産業廃棄物	燃えがら			0	
	汚泥			0	
	廃油			0	
	廃酸			0	
	廃アルカリ			0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)			0	
	紙くず			0	
	木くず			0	
	繊維くず			0	
	動植物性残さ			0	
	動物系固形不要物			0	
	ゴムくず			0	
	金属くず			0	
	ガラス及び陶磁器くず			0	
	鋸さい			0	
	がれき類			0	
	ばいじん			0	
	その他			0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		0		0
	再生利用	金属類			0
		プラスチック			0
		その他			0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		0		0	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0	
	pH2.0以下の廃酸			0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0	
	感染性産業廃棄物			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0	
	有害産業廃棄物			0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
全ての廃棄物 排出総量		1,750		13	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（福島）（2015年度）（7/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		0	16	0	伝票記載がm ³ での表記
	廃油		20	1,263	25	
	廃酸		90	1,263	114	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		670	109	73	一部の記載がm ³ 及び個数になっている。
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		40	109	4	一部の伝票記載がm ³ での表記
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋳さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		820		216	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
		その他				0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		820		216		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		29	1,263	37	
	pH2.0以下の廃酸		91	1,263	115	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0	
	有害産業廃棄物				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		120		152	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		940		368		
全ての廃棄物 排出総量		940		368		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（本部）（2015年度）（8/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物			
		不燃物			
	外部委託	可燃物	6,034		0
		不燃物			0
	自治体及び外部委託の総量		6,034		0
	再生 利用	古紙			0
		金属類			0
		プラスチック類			0
		その他			0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		6,034		0	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0
	感染性一般(8号廃棄物)				0
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		6,034		0	
産業廃棄物	燃えがら				0
	汚泥				0
	廃油				0
	廃酸				0
	廃アルカリ				0
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0
		紙くず	6,060	80	485
		木くず			0
		繊維くず			0
		動植物性残さ			0
		動物系固形不要物			0
		ゴムくず			0
		金属くず	1,900	40	76
		ガラス及び陶磁器くず			0
		銚さい			0
		がれき類	23,000	80	1,840
		ばいじん			0
		その他			0
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		30,960		2,401
	再生利用	金属類			0
		プラスチック			0
		その他			0
産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		30,960		2,401	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0
	pH2.0以下の廃酸				0
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0
	感染性産業廃棄物				0
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0
	有害産業廃棄物				0
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		30,960		2,401	
全ての廃棄物 排出総量		36,994		2,401	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（原科研(J-PARCを含む)）(2015年度) (9/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	4,941	4	20	グリーストラップ汚泥
		不燃物	8,574	2	17	浄化槽汚泥
	自治体及び外部委託の総量		13,515		37	
	再生 利用	古紙	0	0	0	有価物に投入
		金属類	0	0	0	有価物に投入
		プラスチック類	9,500	7	69	廃プラスチック
		その他	56,005	5	252	伐採草木(47900kg)、残飯(8105kg)
		再生利用総量	65,505		321	
一般廃棄物総量		79,020		358		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		79,020		358		
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0		
	汚泥	7,873	208	1,638	汚泥	
	廃油	714	101	72	廃油	
	廃酸	352	101	36	廃薬品	
	廃アルカリ	240	60	14	廃薬品	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	20,451	31	634	OA機器	
	紙くず	710	7	5		
	木くず	12,460	7	87	木くず	
	繊維くず	0	0	0		
	動植物性残さ	0	0	0		
	動物系固形不要物	0	0	0		
	ゴムくず	0	0	0		
	金属くず	112,107	60	6,726		
	ガラス及び陶磁器くず	28,590	79	2,259	蛍光灯、水銀灯、窓ガラス	
	銚さい	0	0	0		
	がれき類	0	0	0		
	ばいじん	0	0	0		
	その他	42,280	複数あり	446	混合物、混合物(廃プラスチック、金属くず)	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		225,777		11,917	
	再生利用	金属類	0	0	0	
		プラスチック	0	0	0	
		その他	0	0	0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		225,777		11,917		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	19	165	3	廃油	
	pH2.0以下の廃酸	1,102	206	227	廃薬品	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	41	227	9		
	感染性産業廃棄物	0	0	0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0	0	0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0	0	0		
	有害産業廃棄物	170	218	37	有害汚泥	
特別管理産業廃棄物排出総量		1,332		277		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		227,109		12,194		
全ての廃棄物 排出総量		306,129		12,552		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (サイクル研)(2015年度)(10/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考		
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物					
		不燃物					
	外部委託	可燃物	23,850	7	167		
		不燃物			0		
	自治体及び外部委託の総量		23,850		167		
	再生 利用	古紙			0		
		金属類			0		
		プラスチック類			0		
		その他	70	5	0	家電リサイクル法対象テレビ	
		再生利用総量	70		0		
一般廃棄物総量		23,920		167			
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0			
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0			
	感染性一般(8号廃棄物)			0			
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		23,920		167			
産業廃棄物	燃えがら				0		
	汚泥		344	1,154	397		
	廃油		2,027	1,154	2,339		
	廃酸		106	1,154	122		
	廃アルカリ		2	1,154	2		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		13,534	1,106	14,969		
	紙くず				0		
	木くず		2,430	6	15		
	繊維くず				0		
	動植物性残さ				0		
	動物系固形不要物				0		
	ゴムくず				0		
	金属くず		190	1,106	210		
	ガラス及び陶磁器くず		1,910	1,106	2,112		
	鋳さい				0		
	がれき類		790	1,106	874		
	ばいじん				0		
	その他		17,492	複数あり	2,666		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		38,825		23,706		
	再生利用	金属類			0		
		プラスチック			0		
		その他				0	
		産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		38,825		23,706			
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		316	1,154	365		
	pH2.0以下の廃酸		3,679	1,154	4,246		
	pHが12.5以上の廃アルカリ		43	1,154	50		
	感染性産業廃棄物				0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0		
	有害産業廃棄物		1,178	1,106	1,303	鉛蓄電池	
	特別管理産業廃棄物排出総量		5,216		5,963		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		44,041		29,669			
全ての廃棄物 排出総量		67,961		29,836			

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（大洗）(2015年度) (11/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	37,777	3	113	対前年度比-6.9%の減少
		不燃物	0	0	0	
	自治体及び外部委託の総量		37,777		113	
	再生 利用	古紙	0	0	0	約46トンを有価物の項目で登録。
		金属類	0	0	0	約106トンを有価物の項目で登録。
		プラスチック類	1,195	10	12	対前年度比-9.9%の減少
		その他	889	10	9	対前年度比54.1%の増大
		再生利用総量	2,084		21	
一般廃棄物総量		39,861		134		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0		
	ばいじん、燃え殻等(2号~7号廃棄物)	0	0	0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		39,861		134		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥	94,006	複数あり	3,948		
	廃油	5,331	複数あり	340		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,270	73	93		
	紙くず			0		
	木くず	2,460	複数あり	144		
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不要物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず	320	複数あり	410		
	ガラス及び陶磁器くず	1,310	1,281	1,678		
	鋳さい			0		
	がれき類	48,870	複数あり	3,095		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		153,567		9,708	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		153,567		9,708		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	4	88	0		
	pH2.0以下の廃酸	341	100	34		
	pHが12.5以上の廃アルカリ	838	88	74		
	感染性産業廃棄物	87	88	8		
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	10,853	159	1,726		
	有害産業廃棄物			0		
	特別管理産業廃棄物排出総量	12,123		1,841		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		165,690		11,549		
全ての廃棄物 排出総量		205,551		11,683		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（那珂）(2015年度)(12/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	12,800	14	179
		不燃物	0	0	0
	自治体及び外部委託の総量		12,800		179
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	1,320	14	18
		プラスチック類	460	14	6
		その他	1,250	14	18
		再生利用総量	3,030		42
一般廃棄物総量		15,830		222	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		15,830		222	
産業廃棄物	燃えがら			0	
	汚泥	17,795	複数あり	1,443	
	廃油	608	158	96	
	廃酸			0	
	廃アルカリ			0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	32,650	複数あり	423	
	紙くず	7,550	6	45	
	木くず	1,590	10	16	
	繊維くず			0	
	動植物性残さ			0	
	動物系固形不要物			0	
	ゴムくず			0	
	金属くず	26,495	複数あり	724	
	ガラス及び陶磁器くず			0	
	銚さい			0	
	がれき類	96,780	22	2,129	
	ばいじん			0	
	その他	26,810	133	3,566	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		210,278		8,441
	再生利用	金属類			0
		プラスチック			0
		その他			0
		産業廃棄物再生利用総量	0		0
産業廃棄物排出総量		210,278		8,441	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	7	158	1	
	pH2.0以下の廃酸			0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0	
	感染性産業廃棄物			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	300	168	50	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0	
	有害産業廃棄物	2	258	1	
特別管理産業廃棄物排出総量	309		52		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		210,587		8,493	
全ての廃棄物 排出総量		226,417		8,715	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (NEAT) (2015年度) (13/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	6,771	0	0
		不燃物	0	0	0
	自治体及び外部委託の総量		6,771		0
	再生 利用	古紙	937	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	937		0
一般廃棄物総量		7,708		0	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		7,708		0	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	0	0	0	
	廃油	0	0	0	
	廃酸	0	0	0	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,190	0	0	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	970	0	0	
	ガラス及び陶磁器くず	0	0	0	
	銚さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		2,160		0
	再生利用	金属類	0	0	0
		プラスチック	0	0	0
		その他	0	0	0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		2,160		0	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0	0	0	
	有害産業廃棄物	0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		2,160		0	
全ての廃棄物 排出総量		9,868		0	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (NEAT茨城)(2015年度)(14/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	6,771	0		
		不燃物		0		
	自治体及び外部委託の総量		6,771		0	
	再生 利用	古紙	937		0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	937		0	
一般廃棄物総量		7,708		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0		
	感染性一般(8号廃棄物)			0		
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		7,708		0		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥			0		
	廃油			0		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,190		0	
	紙くず			0		
	木くず			0		
	繊維くず			0		
	動植物性残さ			0		
	動物系固形不要物			0		
	ゴムくず			0		
	金属くず		970		0	
	ガラス及び陶磁器くず			0		
	銚さい			0		
	がれき類			0		
	ばいじん			0		
	その他			0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		2,160		0	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
その他			0			
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		2,160		0		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0		
	pH2.0以下の廃酸			0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0		
	感染性産業廃棄物			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0		
	有害産業廃棄物			0		
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		2,160		0		
全ての廃棄物 排出総量		9,868		0		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（高崎）(2015年度)(15/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物	4,120		0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		4,120		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		4,120		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		4,120		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥	12,588	複数あり	249		
	廃油	193	複数あり	48		
	廃酸	1	1,012	1		
	廃アルカリ	2,180	複数あり	236		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		37,420	13	486	
	紙くず				0	
	木くず		4,400	36	158	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		9,832	複数あり	169	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	銚さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		66,614		1,347	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
		その他				0
		産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		66,614		1,347		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		2,367	1,012	2,395	
	pH2.0以下の廃酸		638	1,012	646	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		33	1,012	33	
	感染性産業廃棄物		48	3	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0	
	有害産業廃棄物		199	1,012	201	
	特別管理産業廃棄物排出総量		3,285		3,276	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		69,899		4,623		
全ての廃棄物 排出総量		74,019		4,623		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（東京地区）（2015年度）（16/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	1,085	0	0
		不燃物	0	0	0
	自治体及び外部委託の総量		1,085		0
	再生 利用	古紙	0	0	0
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		1,085		0	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,085		0	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	0	0	0	
	廃油	0	0	0	
	廃酸	0	0	0	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	1,100	24	26	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	875	136	119	
	ガラス及び陶磁器くず	0	0	0	
	銚さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	820	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		2,795		145
	再生利用	金属類	0	0	0
プラスチック		0	0	0	
その他		0	0	0	
産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		2,795		145	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	0	0	0	
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	0	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0	0	0	
	有害産業廃棄物	0	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		2,795		145	
全ての廃棄物 排出総量		3,880		145	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（東京）(2015年度)(17/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物		0		
		不燃物		0		
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0		
	感染性一般(8号廃棄物)			0		
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥			0		
	廃油			0		
	廃酸			0		
	廃アルカリ			0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		1,100	24	26	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		875	136	119	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋸さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,975		145	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
その他			0			
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		1,975		145		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0		
	pH2.0以下の廃酸			0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0		
	感染性産業廃棄物			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0		
	有害産業廃棄物			0		
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		1,975		145		
全ての廃棄物 排出総量		1,975		145		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（柏）(2015年度) (18/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物			
		不燃物			
	外部委託	可燃物	1,085	0	
		不燃物		0	
	自治体及び外部委託の総量		1,085		0
	再生 利用	古紙			0
		金属類			0
		プラスチック類			0
		その他			0
		再生利用総量	0		0
一般廃棄物総量		1,085		0	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0	
	感染性一般(8号廃棄物)			0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		1,085		0	
産業廃棄物	燃えがら			0	
	汚泥			0	
	廃油			0	
	廃酸			0	
	廃アルカリ			0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)			0	
	紙くず			0	
	木くず			0	
	繊維くず			0	
	動植物性残さ			0	
	動物系固形不要物			0	
	ゴムくず			0	
	金属くず			0	
	ガラス及び陶磁器くず			0	
	鋸さい			0	
	がれき類			0	
	ばいじん			0	
	その他		820		0
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		820		0
	再生利用	金属類			0
		プラスチック			0
		その他			0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		820		0	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0	
	pH2.0以下の廃酸			0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0	
	感染性産業廃棄物			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0	
	有害産業廃棄物			0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		820		0	
全ての廃棄物 排出総量		1,905		0	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（東濃）(2015年度)(19/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体(市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	7,230	2	14	
		不燃物	430	11	5	
	自治体及び外部委託の総量		7,660		19	
	再生利用	古紙	4,700	30	141	
		金属類			0	該当無
		プラスチック類			0	該当無
		その他			0	該当無
		再生利用総量	4,700		141	
一般廃棄物総量		12,360		160		
特別管理一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0	該当無	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0	該当無	
	感染性一般(8号廃棄物)			0	該当無	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		12,360		160		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		25,482	複数あり	0	
	廃油		58	複数あり	0	
	廃酸		51	複数あり	0	
	廃アルカリ		36	735	26	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		7,070	複数あり	0	うち2,780kgは混載物として処分したため廃プラスチック類、木くず、ガラス及び陶磁器くずを含む。
	紙くず				0	
	木くず		4,410	複数あり	0	うち2,780kgは混載物として処分したため廃プラスチック類、木くず、ガラス及び陶磁器くずを含む。
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		2,780	20	56	うち2,780kgは混載物として処分したため廃プラスチック類、木くず、ガラス及び陶磁器くずを含む。
	ガラス及び陶磁器くず		2,780	20	56	うち2,780kgは混載物として処分したため廃プラスチック類、木くず、ガラス及び陶磁器くずを含む。
	鋳さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		42,666		138	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
その他				0		
産業廃棄物再生利用総量		0		0		
産業廃棄物排出総量		42,666		138		
特別管理産業廃棄物	燃えやすい廃油		23	750	17	
	pH2.0以下の廃酸		185	750	139	
	pHが12.5以上の廃アルカリ		66	750	50	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)		60	750	45	
	有害産業廃棄物				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		334		250	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		43,000		388		
全ての廃棄物 排出総量		55,360		548		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（敦賀）(2015年度) (20/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考		
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	11,694				
		不燃物	953				
	外部委託	可燃物			0	該当なし	
		不燃物			0	該当なし	
	自治体及び外部委託の総量		12,647		0		
	再生 利用	古紙			0	該当なし	
		金属類			0	該当なし	
		プラスチック類			0	該当なし	
		その他			0	該当なし	
		再生利用総量	0		0		
一般廃棄物総量		12,647		0			
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	該当なし	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	該当なし	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	該当なし	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		12,647		0			
産業廃棄物	燃えがら				0	該当なし	
	汚泥				0	該当なし	
	廃油				0	該当なし	
	廃酸				0	該当なし	
	廃アルカリ		27	0	0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		240	0	0	安定型混合廃棄物	
	紙くず				0	該当なし	
	木くず				0	該当なし	
	繊維くず				0	該当なし	
	動植物性残さ				0	該当なし	
	動物系固形不要物				0	該当なし	
	ゴムくず				0	該当なし	
	金属くず		880	0	0		
	ガラス及び陶磁器くず				0	該当なし	
	鋳さい				0	該当なし	
	がれき類				0	該当なし	
	ばいじん				0	該当なし	
	その他				0	該当なし	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		1,147		0		
	再生利用	金属類				0	該当なし
		プラスチック				0	該当なし
		その他				0	該当なし
		産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		1,147		0			
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	該当なし	
	pH2.0以下の廃酸				0	該当なし	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	該当なし	
	感染性産業廃棄物				0	該当なし	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	該当なし	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0	該当なし	
	有害産業廃棄物				0	該当なし	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		1,147		0			
全ての廃棄物 排出総量		13,794		0			

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (もんじゅ)(2015年度)(21/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙	33,980	210	7,136	コピー用紙
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	33,980		7,136	
一般廃棄物総量		33,980		7,136		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		33,980		7,136		
産業廃棄物	燃えがら		7,070	99	700	埋立処分
	汚泥		9,330	99	924	埋立処分
	廃油		760	55	42	産廃業者で混合調製又は油水分離後、スラグ化し再利用。
	廃酸				0	
	廃アルカリ				0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		3,800	複数あり	0	産廃業者で焼却後、スラグ化し再利用。
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず		1,120	55	62	産廃業者で焼却後、埋立処分
	鋳さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		22,080		1,727	
	再生利用	金属類		20,890	55	1,149
プラスチック				0		
その他		660	200	132	産廃業者で選別、破碎後再生利用(蛍光灯)	
産業廃棄物再生利用総量		21,550		1,281		
産業廃棄物排出総量		43,630		3,008		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0	
	pH2.0以下の廃酸				0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0	
	有害産業廃棄物				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		43,630		3,008		
全ての廃棄物 排出総量		77,610		10,144		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（ふげん）（2015年度）（22/26）

廃棄物の分類	品名等		排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	22,919				
		不燃物	3,239				
	外部委託	可燃物	0	0	0		
		不燃物	0	0	0		
	自治体及び外部委託の総量		26,158		0		
	再生 利用	古紙	4,607		0		
		金属類			0		
		プラスチック類			0		
		その他			0		
		再生利用総量	4,607		0		
一般廃棄物総量		30,765		0			
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0		
	感染性一般(8号廃棄物)				0		
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量			30,765		0		
産業廃棄物	燃えがら				0		
	汚泥				0		
	廃油				0		
	廃酸				0		
	廃アルカリ				0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		2,580	52	134		
	紙くず				0		
	木くず		730	52	38		
	繊維くず				0		
	動植物性残さ				0		
	動物系固形不要物				0		
	ゴムくず				0		
	金属くず		9,930	70	695		
	ガラス及び陶磁器くず		270	70	19		
	鋳さい				0		
	がれき類				0		
	ばいじん				0		
	その他				0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		13,510		886		
	再生利用	金属類				0	
		プラスチック				0	
その他				0			
産業廃棄物再生利用総量		0		0			
産業廃棄物排出総量			13,510		886		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油				0		
	pH2.0以下の廃酸				0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ		150	52	8	補助ボイラ用薬品を廃棄した	
	感染性産業廃棄物				0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)				0		
	有害産業廃棄物				0		
特別管理産業廃棄物排出総量		150		8			
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量			13,660		894		
全ての廃棄物 排出総量			44,425		894		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ (も運研) (2015年度) (23/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物				
		不燃物				
	外部委託	可燃物		0		
		不燃物		0		
	自治体及び外部委託の総量		0		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		0		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)			0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)			0		
	感染性一般(8号廃棄物)			0		
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		0		0		
産業廃棄物	燃えがら			0		
	汚泥			0		
	廃油			0		
	廃酸			0		
	廃アルカリ		7,390	51	377	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)				0	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず		3,160	77	243	
	ガラス及び陶磁器くず				0	
	鋸さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		10,550		620	
	再生利用	金属類			0	
		プラスチック			0	
		その他			0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		10,550		620		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油			0		
	pH2.0以下の廃酸			0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ			0		
	感染性産業廃棄物			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)			0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)			0		
	有害産業廃棄物			0		
	特別管理産業廃棄物排出総量		0		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		10,550		620		
全ての廃棄物 排出総量		10,550		620		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（関西研）（2015年度）（24/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0		
		不燃物	0		
	外部委託	可燃物	8,817	20	176
		不燃物	0	0	0
	自治体及び外部委託の総量		8,817		176
	再生 利用	古紙	5,610	3	17
		金属類	0	0	0
		プラスチック類	0	0	0
		その他	0	0	0
		再生利用総量	5,610		17
一般廃棄物総量		14,427		193	
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0	0	0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0	0	0	
	感染性一般(8号廃棄物)	0	0	0	
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		14,427		193	
産業廃棄物	燃えがら	0	0	0	
	汚泥	3	0	0	
	廃油	14	0	0	
	廃酸	300	0	0	
	廃アルカリ	0	0	0	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	14,554	20	291	
	紙くず	0	0	0	
	木くず	0	0	0	
	繊維くず	0	0	0	
	動植物性残さ	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	
	金属くず	36,918	20	738	
	ガラス及び陶磁器くず	790	20	16	
	鋳さい	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	
	ばいじん	0	0	0	
	その他	0	0	0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		52,579		1,045
	再生利用	金属類	0	0	0
		プラスチック	0	0	0
		その他	0	0	0
	産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		52,579		1,045	
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	42	0	0	
	pH2.0以下の廃酸	0	0	0	
	pHが12.5以上の廃アルカリ	40	0	0	
	感染性産業廃棄物	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0	0	0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0	0	0	
	有害産業廃棄物	2	0	0	
	特別管理産業廃棄物排出総量	84		0	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		52,663		1,045	
全ての廃棄物 排出総量		67,090		1,238	

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（関西木津）（2015年度）（25/26）

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	0			
		不燃物	0			
	外部委託	可燃物	8,817	20	176	
		不燃物	0		0	
	自治体及び外部委託の総量		8,817		176	
	再生 利用	古紙	5,610	3	17	
		金属類	0		0	
		プラスチック類	0		0	
		その他	0		0	
		再生利用総量	5,610		17	
一般廃棄物総量		14,427		193		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)	0		0		
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)	0		0		
	感染性一般(8号廃棄物)	0		0		
	特別管理一般廃棄物排出総量	0		0		
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		14,427		193		
産業廃棄物	燃えがら	0		0		
	汚泥	3		0	クロロミンT、スチレン(ポリマー)ポリビニルアルコール	
	廃油	14		0	ロータリーポンプオイル	
	廃酸	300		0	トリス(ヒドロキシメチル)アミノメタン塩 酸塩、ホウ酸、エチレンジアミン四酢酸 二ナトリウム	
	廃アルカリ	0		0		
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	14,554	20	291	チップ、チューブ、手袋、クリアフォル ダ、ラップ、注射器(針なし)、ポリアクリ ルアミドゲル	
	紙くず	0		0		
	木くず	0	0	0		
	繊維くず	0		0		
	動植物性残さ	0		0		
	動物系固形不要物	0		0		
	ゴムくず	0		0		
	金属くず	36,918	20	738	フィルターケース	
	ガラス及び陶磁器くず	790	20	16	ガラス・プラスチック製の瓶、ガラスア ンプル	
	鋳さい	0		0		
	がれき類	0		0		
	ばいじん	0		0		
	その他	0		0		
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		52,579		1,045	
	再生利用	金属類	0		0	
		プラスチック	0		0	
		その他	0		0	
	産業廃棄物再生利用総量		0		0	
産業廃棄物排出総量		52,579		1,045		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油	42		0	メタノール、グリシン、和光純薬クイ ック・CBB(主成分クマシーブルー)、漂 白剤、ホウ酸、	
	pH2.0以下の廃酸	0		0		
	pHが12.5以上の廃アルカリ	40		0	KOH	
	感染性産業廃棄物	0		0		
	特定有害廃棄物(廃石綿)	0		0		
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	0		0		
	有害産業廃棄物	2		0	1, 2ジクロロエタン、デカリン、ベンゼン	
	特別管理産業廃棄物排出総量	84		0		
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		52,663		1,045		
全ての廃棄物 排出総量		67,090		1,238		

表B-31 一般・産業廃棄物拠点別集計データ（人形）(2015年度) (26/26)

廃棄物の分類	品名等	排出量 [kg]	処理業者 までの距離 (km)	トンキロ	備考	
一般廃棄物	自治体 (市町村)	可燃物	7,424			
		不燃物				
	外部委託	可燃物			0	
		不燃物			0	
	自治体及び外部委託の総量		7,424		0	
	再生 利用	古紙			0	
		金属類			0	
		プラスチック類			0	
		その他			0	
		再生利用総量	0		0	
一般廃棄物総量		7,424		0		
特別管理 一般廃棄物	廃エアコン等を含むPCB使用製品(1号廃棄物)				0	
	ばいじん、燃え殻等(2号～7号廃棄物)				0	
	感染性一般(8号廃棄物)				0	
	特別管理一般廃棄物排出総量		0		0	
一般廃棄物、特別管理一般廃棄物排出総量		7,424		0		
産業廃棄物	燃えがら				0	
	汚泥		28	175	5	
	廃油		28,307	複数あり	0	
	廃酸		10	175	2	
	廃アルカリ		20	175	4	
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)		20,640	100	2,064	
	紙くず				0	
	木くず				0	
	繊維くず				0	
	動植物性残さ				0	
	動物系固形不要物				0	
	ゴムくず				0	
	金属くず				0	
	ガラス及び陶磁器くず		1,040	175	182	
	鉋さい				0	
	がれき類				0	
	ばいじん				0	
	その他				0	
	産業廃棄物排出量(再生化しないもの)		50,045		2,256	
	再生利用	金属類				0
		プラスチック				0
		その他				0
		産業廃棄物再生利用総量		0		0
産業廃棄物排出総量		50,045		2,256		
特別管理 産業廃棄物	燃えやすい廃油		4	100	0	
	pH2.0以下の廃酸		60	100	6	
	pHが12.5以上の廃アルカリ				0	
	感染性産業廃棄物		15	175	3	
	特定有害廃棄物(廃石綿)				0	
	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)		752	93	70	
	有害産業廃棄物				0	
	特別管理産業廃棄物排出総量		831		79	
産業廃棄物、特別管理産業廃棄物排出総量		50,876		2,335		
全ての廃棄物 排出総量		58,300		2,335		

表B-32 拠点別廃棄物分類別集計表(2015年度)

(単位:kg)

種別	拠点	札幌	青森	むつ		六ヶ所	福島拠点	千葉		福島	本部	原科研(上PARCを含む)	サイクル研	大洗	那珂	NEAT	NEAT茨城	
				むつ	六ヶ所			千葉	福島								NEAT	NEAT茨城
一般	一般廃棄物	4,851	17,502				1,750			0	6,034	79,020	23,920	39,861	15,830	7,708		
	特別管理一般廃棄物	0	0	9,830	7,672		0	1,750		0	0	0	0	0	0	0		7,708
	小計	4,851	17,502	9,830	7,672		1,750			0	6,034	79,020	23,920	39,861	15,830	7,708		
産廃	産業廃棄物	3,600	4,104				820			820	30,960	225,777	38,825	153,367	210,278	2,160		
	特別管理産業廃棄物	0	0	1,694	2,410		120			0	0	1,332	5,216	12,123	309	0		
	小計	3,600	4,104	1,694	2,410		940			820	30,960	227,109	44,041	165,690	210,587	2,160		
合計	8,451	21,606	11,524	10,082		2,690		1,750	940	36,994	306,129	67,961	205,551	226,417	9,868			9,868
割合(%)	0.65	1.67	0.89	0.78		0.21		0.14	0.07	2.87	23.72	5.27	15.93	17.54	0.76			0.76

(単位:kg)

種別	拠点	高崎	東京地区	東京		柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も連研	関西研	関西木津		人形	合計	割合(%)
				東京	柏								関西木津	人形			
一般	一般廃棄物	4,120	1,085				12,360	12,647	33,980	30,765	0	14,427			7,424	313,284	24.27
	特別管理一般廃棄物	0	0	0	1,085		0	0	0	0	0	0	14,427		0	0	0.00
	小計	4,120	1,085	0	1,085		12,360	12,647	33,980	30,765	0	14,427	14,427		7,424	313,284	
産廃	産業廃棄物	66,614	2,795				42,666	1,147	43,630	13,510	10,550	52,579			50,045	953,627	73.88
	特別管理産業廃棄物	3,285	0	1,975	820		334	0	0	150	0	84	52,579		831	23,784	1.84
	小計	69,899	2,795	1,975	820		43,000	1,147	43,630	13,660	10,550	52,663	52,663	84	50,876	977,411	
合計	74,019	3,880	1,975	1,905		55,360	13,794	77,610	44,425	10,550	67,090	67,090	67,090	58,300	1,290,694	100.00	
割合(%)	5.73	0.30	0.15	0.15		4.29	1.07	6.01	3.44	0.82	5.20	5.20	5.20	4.52	100.00		

表B-33 拠点別一般廃棄物集計表(2015年度)

(単位: kg)

種別	拠点	幌延	むつ	六ヶ所	稚葉	福島	本部	原科研(J- PARCを含む)	サイクル研	大洗	那珂	NEAT茨城
市町村	可燃物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	不燃物	4,851	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	4,851	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外部委託	可燃物	0	9,130	4,956	1,580	0	6,034	4,941	23,850	37,777	12,800	6,771
	不燃物	0	700	1,889	170	0	0	8,574	0	0	0	0
	小計	0	9,830	6,845	1,750	0	6,034	13,515	23,850	37,777	12,800	6,771
再生利用	古紙	0	0	827	0	0	0	0	0	0	0	937
	金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320	0
	プラスチック類	0	0	0	0	0	0	9,500	0	1,195	480	0
	その他	0	0	0	0	0	0	56,005	70	889	1,250	0
	小計	0	0	827	0	0	0	65,505	70	2,084	3,030	937
合計	4,851	9,830	7,672	1,750	0	6,034	79,020	23,920	39,861	15,830	7,708	

(単位: kg)

種別	拠点	高崎	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	関西本津	人形	合計
市町村	可燃物	0	0	0	0	11,694	0	22,919	0	0	7,424	42,037
	不燃物	0	0	0	0	953	0	3,239	0	0	0	9,043
	小計	0	0	0	0	12,647	0	26,158	0	0	7,424	51,080
外部委託	可燃物	4,120	0	1,085	7,230	0	0	0	0	8,817	0	129,091
	不燃物	0	0	0	430	0	0	0	0	0	0	11,763
	小計	4,120	0	1,085	7,660	0	0	0	0	8,817	0	140,854
再生利用	古紙	0	0	0	4,700	0	33,980	4,607	0	5,610	0	50,661
	金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,320
	プラスチック類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11,155
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58,214
	小計	0	0	0	4,700	0	0	33,980	4,607	0	5,610	0
合計	4,120	0	1,085	12,380	12,647	12,647	33,980	30,765	0	14,427	7,424	313,284

表B-34 拠点別特別管理一般廃棄物集計表(2015年度)

(単位:kg)

種別	拠点	幌延	むつ	六ヶ所	楢葉	福島	本部	原研研(J- PARCを含む)	サイクル研	大洗	那珂	NEAT茨城
PCB 使用部品 (1号)	PCB 使用部品 (1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ばいじん、 ダイオキシン類含 有物(燃え殻等) (2号~7号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染性一般 廃棄物 (8号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

(単位:kg)

種別	拠点	高崎	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	関西木津	人形	合計
PCB 使用部品 (1号)	PCB 使用部品 (1号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	ばいじん、 ダイオキシン類含 有物(燃え殻等) (2号~7号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	感染性一般 廃棄物 (8号)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

表B-35 拠点別産業廃棄物集計表(2015年度)

種別	拠点	(単位:kg)																合計					
		幌延	むつ	六ヶ所	樽葉	福島	本部	原料研 (J-PARC を含む)	サイクル 研	大洗	那珂	NEAT茨 城	高崎	東京	柏	東濃	敦賀		もんじゅ	ふげん	も運研	関西本津	人形
	燃え殻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,070	0	0	0	0	7,070
	汚泥	3,140	11	0	0	0	7,873	344	94,006	17,795	0	12,588	0	0	0	25,482	0	9,330	0	0	3	28	170,599
	廃油	0	48	0	0	20	714	2,027	5,331	608	0	193	0	0	58	0	760	0	0	14	28,307	38,080	
	廃酸	0	85	0	0	90	352	106	0	0	0	1	0	0	51	0	0	0	0	300	10	995	
	廃アルカリ	0	0	0	0	0	240	2	0	0	0	2,180	0	0	36	27	0	0	7,390	0	20	9,895	
	廃プラスチック	0	769	840	0	670	20,451	13,534	1,270	32,650	1,190	37,420	1,100	0	7,070	240	3,800	2,580	0	14,554	20,640	158,778	
	紙くず	0	0	0	0	0	6,060	710	0	7,550	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14,320	
	木くず	0	178	0	0	0	12,460	2,430	2,460	1,590	0	4,400	0	0	4,410	0	0	730	0	0	0	28,658	
	繊維くず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	動物性残渣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	動物系固形不要物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	ゴムくず	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	金属くず	0	246	0	0	40	1,900	112,107	320	26,495	970	9,832	875	0	2,780	880	0	9,930	3,160	36,918	0	206,643	
	ガラス及び 陶磁器くず	460	0	0	0	0	28,590	1,910	1,310	0	0	0	0	0	2,780	0	1,120	270	0	790	1,040	38,270	
	鉱さい	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	がれき類	0	0	0	0	0	23,000	790	48,870	96,780	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	169,440	
	ばいじん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	357	1,570	0	0	42,280	17,492	26,810	0	0	0	0	820	0	0	0	0	0	0	0	89,329	
	小計	3,600	1,694	2,410	0	820	30,960	38,825	153,567	210,278	2,160	66,614	1,975	820	42,666	1,147	22,080	13,510	10,550	52,579	50,045	932,077	
再生 利 用	金属類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,890	0	0	0	0	20,890	
	プラスチック	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	660	0	0	0	0	660	
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	21,550	0	0	0	0	21,550	
	合計	3,600	1,694	2,410	0	820	30,960	38,825	153,567	210,278	2,160	66,614	1,975	820	42,666	1,147	43,630	13,510	10,550	52,579	50,045	953,827	

表B-36 拠点別特別管理産業廃棄物集計表(2015年度)

種別	拠点	(単位:kg)										
		幌延	むつ	六ヶ所	梅葉	福島	本部	原科研(J- PARCを含む)	サイクル研	大洗	那珂	NEAT茨城
特定有害産業廃棄物	廃油	0	0	0	0	29	0	19	316	4	7	0
	廃酸	0	0	0	0	91	0	1,102	3,679	341	0	0
	廃アルカリ	0	0	0	0	0	0	41	43	838	0	0
	感染性	0	0	0	0	0	0	0	0	87	0	0
	廃PCB等	0	0	0	0	0	0	0	0	10,853	0	0
有害産業廃棄物	廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300	0
	有害産業廃棄物	0	0	0	0	0	0	170	1,178	0	2	0
	合計	0	0	0	0	120	0	1,332	5,216	12,123	309	0

種別	拠点	(単位:kg)										
		高崎	東京	柏	東濃	敦賀	もんじゅ	ふげん	も運研	関西木津	人形	合計
特定有害産業廃棄物	廃油	2,367	0	0	23	0	0	0	0	42	4	2,811
	廃酸	638	0	0	185	0	0	0	0	0	60	6,096
	廃アルカリ	33	0	0	66	0	0	150	0	40	0	1,211
	感染性	48	0	0	0	0	0	0	0	0	15	150
	廃PCB等	0	0	0	60	0	0	0	0	0	752	11,665
有害産業廃棄物	廃石綿等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	300
	有害産業廃棄物	199	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1,551
	合計	3,285	0	0	334	0	0	150	0	84	831	23,784

表B-37 産業廃棄物区分別割合(2015年度) (単位:kg)

	項目	排出量
特別管理 産業廃棄物	特定有害廃棄物(廃石綿以外に廃PCB等)	11,665.00
	pH2.0以下の廃酸	6,096.00
	燃えやすい廃油	2,810.50
	有害産業廃棄物	1,551.00
	pHが12.5以上の廃アルカリ	1,211.00
	特定有害廃棄物(廃石綿)	300.00
	感染性産業廃棄物	150.00
	合計	23,783.50
産業廃棄物 (再生利用を除く)	項目	排出量
	金属くず	206,643.18
	汚泥	170,599.33
	がれき類	169,440.00
	廃プラスチック類(ゴムくずを含む)	158,778.00
	ガラス及び陶磁器くず	38,270.00
	廃油	38,079.55
	木くず	28,658.00
	紙くず	14,320.00
	廃アルカリ	9,895.00
	燃えがら	7,070.00
	廃酸	995.05
	その他	89,329.00
合計	932,077.11	
再生利用	項目	排出量
	金属類	20,890.00
	その他	660.00
合計	21,550.00	

表B-38 産業廃棄物管理票(マニフェスト)の状況(2015年度)

(単位:件数)

拠点名	マニフェスト 交付の有無*1	産業廃棄物			特別管理産業廃棄物			合計*2
		年度内に 回収した 枚数	年度内に 未回収	小計	年度内に 回収した 枚数	年度内に 未回収	小計	
幌延	○	3	0	3	0	0	0	3 (0)
むつ	○	26	1	27	5	0	5	32 (0)
六ヶ所	○	3	0	3	0	0	0	3 (0)
櫛葉	×	0	0	0	0	0	0	0 (0)
福島	○	16	0	16	4	0	4	20 (0)
本部	○	12	0	12	0	0	0	12 (0)
原科研(J-PARCを 含む)	○	169	0	169	27	0	27	196 (0)
サイクル研	○	59	0	59	37	0	37	96 (0)
大洗	○	52	0	52	20	0	20	72 (2)
那珂	○	71	0	71	3	0	3	74 (0)
NEAT茨城	○	3	0	3	0	0	0	3 (0)
高崎	○	35	0	35	20	0	20	55 (0)
東京	○	6	0	6	0	0	0	6 (0)
柏	○	1	0	1	0	0	0	1 (0)
東濃	○	19	0	19	8	0	8	27 (0)
敦賀	○	4	0	4	0	0	0	4 (0)
もんじゅ	○	28	0	28	0	0	0	28 (0)
ふげん	○	8	0	8	1	0	1	9 (0)
も運研	○	7	0	7	0	0	0	7 (0)
関西木津	○	38	0	38	3	0	3	41 (0)
人形	○	20	0	20	5	0	5	25 (0)
総計		580	1	581	133	0	133	714 (2)

*1 有:○、無:×

*2 ()内の数値は、同時に記入している枚数

表B-39 廃棄物増減の理由及び取組内容(2015年度)(1/2)

拠点名	一般廃棄物の増減理由、低減対策	産業廃棄物の増減理由、低減対策	各調査項目の調査できない項目とその理由	備考
幌延	資料の整理・処分に伴うシュレッダ―ゴミの増加。	実験に伴う洗浄水の節水など、廃水の抑制に努めた。	-	-
むつ	居室の移動により書類等の整理をしたため	物品等の処分の減少と有効利用を行なったため	-	-
福島	-	-	一般廃棄物は、入居している施設及びビルで一括して収集・処理を行っているため、福島環境安全センターのみの排出量を把握することは困難である。産業廃棄物の一部は、重量ではなく個数及びm ³ での払い出しを行っているため重量に換算することとは困難である。	-
本部	平成27年4月より新本部建屋として総合管理棟が運用開始し、旧本部事務所は平成27年6月からB/E部門が運用(入居)している。このため、2つの建屋の使用により、廃棄物の排出が増加したものである。	平成27年4月の新本部建屋へ引越しの際、各部における備品等の整理により排出された産業廃棄物により、前年度と比べ増加している。	-	-
原科研(U-PARCを含む)	個別項目としては、微増微減となっているが年並みの発生量と考えられる。 低減対策：古紙回収、再生利用の徹底	(1)平成27年度産業廃棄物の発生量は、各建屋の整理により不要機器類及びOA機器類が大量に発生し、平成26年度に比べて約5割増加した。 (2)特別管理産業廃棄物は、廃油・廃薬品処理・処分が約6割増加した。 低減対策 金属・パソコン等の回収の徹底により金属等を再資源化していき、廃プラスチック、金属くずの混合物の分別徹底を今後も継続していく。	-	-
サイクル研	一般廃棄物の排出量が低減した理由、研究所内での廃棄物分別の徹底、業者への廃棄物持ち帰りの徹底、所内従業員の減少による影響、などが考えられる。	-	-	-
大洗	-	保管していた産業廃棄物を一括処分したため排出量が増加した。	-	-
NEAT茨城	-	平成27年度は不用品の処分をまとめて行ったため、産業廃棄物が増加した。	-	-
東京	-	減理由：平成26年度は、レイアウト変更に伴う不要品と経年劣化PCの処分を大規模に実施。平成27年度の総量と比較した結果、減少。 低減対策：処分に当たっては、マネフェストによる適正な処分を引き続き実施。	項目：一般廃棄物排出総量 理由：東京事務所が入居する富国生命ビルは、一括して一般廃棄物の収集・管理を行っているため、東京事務所分のみの廃棄物量を算出することは不可能。	-

表B-39 廃棄物増減の理由及び取組内容(2015年度)(2/2)

拠点名	一般廃棄物の増減理由、低減対策	産業廃棄物の増減理由、低減対策	各調査項目の調査できない項目とその理由	備考
柏	平成26年10月に東京大学柏キャンパスから柏の葉駅前サテライトに転居した。平成26年度は、移転時に書類を大量に処分した。	平成26年10月に東京大学柏キャンパスから柏の葉駅前サテライトに転居した。平成26年度は、移転時にOA機器等を大量に処分した。	—	—
東濃	平成27年度に、書類の要不要の見直しの結果、古紙の排出量が増えたため、一般廃棄物全体の処理量が増えた。	昨年度は、機器分析棟や東濃鉱山をはじめ、所内において産業廃棄物を排出するような作業が行われたが、これらの作業が終了した今年度は排出量が減少した。 今後引き続き、スポット的な作業が無い限りは、リサイクルに努め、排出量を削減する。 鉄屑、ケーブール類を分別し有価物としたため発生量を減少させた。	—	廃プラスチック類、木くず、金属くず、ガラスくずを4回に分けて一括処理した。
敦賀	前年度と比較し、可燃物、不燃物ともに減少している。低減対策として、新聞・雑誌類・ダンボール等の分別回収を継続する。 前年度と比較し、古紙排出量が減少している。前年度は、不要書類整理のため、古紙持ち込み処理が発生したため。	前年度は、神楽事務所の不要物整理により多くの産業廃棄物を排出した。 平成27年度は、不要物整理が終了しノーザーク共同研究所からの排出のみであったため、単純に排出量が減少したものと分析する。	—	—
もんじゅ	所管消防署の立入対応及び2S活動を実施し、不要な書類等を処分したために、増加した。	設備点検に伴う金属類の排出数量が多かったために増加した。	—	—
ふげん	—	K地区事務所の事務用品等を廃棄したため廃棄物量が増加した。	—	—
関西木津	—	現場整理及び不用物品の撤去に伴う廃棄物の発生	—	—
人形	・当年度は、不要物の分別処理が少なかったため、減少した。 今後も廃棄物の低減化に努める。	・産業廃棄物の当年度は、不要機器類の処分を行ったため、増加した。 ・特別管理産業廃棄物の当年度は、重油タンクの内部点検がなく、PCB処分量が少なかったため減少した。 今後は、産業廃棄物の低減化に努める。	—	—

表B-40 有価物の払い出し量(2015年度)

(単位:t)

拠点名	金属類	古紙	ペットボトル	プラスチック	その他	拠点合計
幌延	0	0	0	0	0	0
青森	0	0	0	0	0	0
むつ	0	0	0	0	0	0
六ヶ所	0	0	0	0	0	0
福島拠点	0	0	0	0	0	0
楢葉	0	0	0	0	0	0
本部	0	17.5	0	0	0	17.5
原科研(J-PARCを含む)	619.99	129.7	0	0	0.08	749.77
サイクル研	187.26	82.46	0.34	0.054	0	270.114
大洗	105.89	45.979	0	0	0	151.869
那珂	0	10.43	0	0	0	10.43
NEAT	0	0	0	0	0	0
NEAT茨城	0	0	0	0	0	0
NEAT福井	0	0	0	0	0	0
高崎	604.85	0	0	0	0	604.85
東濃	0	0	0	0	0	0
もんじゅ	0	0	0	0	0	0
ふげん	19.72	0	0	0	0	19.72
関西研	0	5.61	0	0	0	5.61
関西木津	0	5.61	0	0	0	5.61
人形	62.315	10.45	0	0	0	72.765
機構合計	1600.025	302.129	0.34	0.054	0.08	1902.628

表B-41 建設リサイクル集計表(2015年度)

拠点名	発生量 (kg)	処理依頼量 (現場外搬出量) (kg)	マニフエースト 処理件数 (件)	建設リサイクル品目と再生資源利用促進量(単位:kg)						主な件名	
				コンクリート塊 %	アスファルト・ コンクリート塊 %	建設発生木材 %	その他 %	合計			
むつ	3,216	3,216	20	0	0	0	1,502	1,502	6.12	0	下北索照明器具更新他工事
檜葉	364,641	364,641	225	0	0	0	0	0	0.00	0	26福島 モックアップ試験施設試験棟他新築工事
本部	60	60	2	0	0	0	0	0	0.00	0	27本部 旧本部建家上水給水ライン改修工事、27本部 総合管理棟車庫給湯取り出し口取付工事
原科研(J-PARCを含む)	722,804	722,804	169	900	0	0	0	900	0.00	0	WASTEFコールド実験室建築解体工事、第2ボイラ重油タンク撤去工事他
サイクル研	37,790	37,790	16	9,440	22,480	0	0	31,920	0.00	0	「TVF開発機 屋上防水補修工事」、 「第2排水処理施設用 水管橋更新工事」
大洗	159,018	159,018	59	5,500	16,900	9,075	8,955	40,430	36.47	0	F安第3試験室耐震改修工事
NEAT	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	該当なし
高崎	29,950	29,950	11	11,590	0	0	0	11,590	0.00	0	駐車場整備工事 他
東京	13,054	13,054	7	0	0	0	0	0	0.00	0	27本部 浦和住宅受水槽解体撤去他工事、27本部 浦和住宅給水設備改修工事
東濃	2,556,850	2,556,850	307	1,212,540	52,840	1,080	6,280	1,272,540	25.57	0	瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事(A工区その7) 瑞浪超深地層研究所研究坑道掘削工事(B工区その7) ・東濃鉱山 管理棟他解体撤去工事
敦賀	4,560	4,560	16	0	110	280	2,760	3,150	11.24	0	27 敦賀 ひばり体育館設備補修工事
もんじゅ	47,830	43,980	19	32,380	2,040	0	5,060	39,480	20.61	0	・移物質防護設備メンテナンス通路整備他工事
ふげん	4,000	4,000	1	0	0	0	0	0	0.00	0	0 ふげん車庫屋上防水補修工事
人形	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	0	建設リサイクル品目等の発生する工事なし
合計	3,943,573	3,939,923	852	1,272,350	94,170	10,435	24,557	1,401,512			

表B-42 放射性固体廃棄物(2015年度) (1/2)

拠点	年間発生量(合計)	発生量の拠点別割合(%)	年間減少量(合計)	年度末保管量(合計)	再処理施設			原子炉施設			使用施設					
					年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	政令第41条該当施設		政令第41条非該当施設			
											年間発生量	年間減少量	年間発生量	年間減少量		
青森	2	0	0	1,079				2	0	1,079			0	0	0	
原科研	2,612	43	1,597	128,559			2,612 注1)	1,597 注3)	128,559 注2)							
サイクル研	2,353	39	1,929	低レベル	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	/								
				303	208	76,395										
				高レベル	年間発生量	年間減少量	年度末保管量									
				52	0	6,715										
小計				355	208	83,110										
大洗北	286	5	0	31,857			0 注7)	0 注7)	1,478 注7)							
大洗南							185 注9)	185 注9)	0 注9)							
大洗(小計)	286	5	0	31,857									64 注10)	64 注10)	0 注10)	
那珂	19	0	0	864												
高崎	17	0	0	547												
もんじゅ	308	5	0	6,224			308	0	6,224							
ふげん	227	4	193	19,048			227 注11)	193 注11)	19,048 注11)							
人形	245	4	115	16,734									235	115	15,183	
合計	6,069	100	3,834	352,328	355	208	3,149	1,790	156,388	2,220	1,833	0	0	0	0	

注1) 原子炉施設以外からの年間発生量を含む。
 注2) 原子炉施設以外から発生した廃棄物の保管量を含む。
 注3) 原子炉施設の年間発生量に含まれる。
 注4) 原子炉施設の年度末保管量に含まれる。
 注5) 政令第41条に該当しない核燃料物質使用施設から発生した廃棄物を含む。
 注6) 政令第41条該当施設の量に含まれる。
 注7) イオン交換樹脂の廃棄物の量。イオン交換樹脂以外は廃棄物管理施設へ全て引き渡している。
 注8) 廃棄物管理施設へ全て引き渡している。
 注9) 一時保管・北地区の廃棄物管理施設にて処理管理。
 注10) 北地区の廃棄物管理施設にて処理保管。
 注11) R施設から発生した廃棄物を含む。
 注12) 原子炉施設の量に含まれる。
 注13) 原子炉施設以外からの年間減少量を含む。
 注14) 原子炉施設の年間減少量に含まれる。

表B-42 放射性固体廃棄物(2015年度) (2/2)

単位:本(2000ドラム缶換算値)

拠点	廃棄物管理施設			加工施設			RI施設			核原料施設		
	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量	年間発生量	年間減少量	年度末保管量
青森							0	0	0			
原科研							注3)	注14)	注4)			
サイクル研							13	3	303			
大洗北	286	0	30,379					注8)	注8)			
大洗南								注10)	注10)			
大洗(小計)												
那珂							19	0	864			
高崎							17	0	547			
もんじゅ												
ふげん							28	注12)	1,664	注12)		
人形				10	0	622				0	0	929
合計	286	0	30,379	10	0	622	49	3	1,714	0	0	929

表B-43 放射性気体廃棄物の放出量(再処理施設以外)(2015年度) (1/2)

拠点名	施設名(国への報告の施設分類名)	トリチウム (³ H)		放射性セシウム		ヨウ素 (¹³¹ I)		全粒子状物質		管理目標値に對する違反比率(%)	備考
		年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)		
青森	原子力第1号原子炉施設(炉施設)	3.8E+03	-	-	-	-	-	-	-	-	全粒子状物質は濃度管理。
	JRR-2 (炉施設)		2.4E+02	-	-	-	-	-	-	-	
	JRR-3		7.4E+03	-	6.2E+04	-	-	-	-	-	
	(炉施設)	*	*	-	9.6E+02	-	-	-	-	-	
	JRR-4		-	-	-	-	-	-	-	-	
	(炉施設)	*	*	-	4.4E+04	-	4.8E+00	-	-	-	
	(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	NSRR		-	-	-	-	-	-	-	-	
	(炉施設)	*	*	-	-	-	-	-	-	-	
	(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	TOA (炉施設)		-	-	-	-	-	-	-	-	
	(炉施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	FCA		*	-	-	-	-	-	-	-	
	(炉施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	(使用施設)	-	-	-	8.1E+04	-	1.5E+01	-	-	-	
	STACY TRACY (炉施設)		-	-	-	-	-	-	-	-	
	プルニウム研究1機 (使用施設)		-	-	-	-	-	-	-	-	
	再処理特別研究棟 (使用施設)		-	-	-	-	-	-	-	-	
	ホットラボ (使用施設)		-	-	-	-	-	-	-	-	
	燃料試験施設 (使用施設)		-	-	2.8E+01	0.1	1.3E-01	-	-	0.1	
	廃棄物安全試験施設 (使用施設)		-	-	8.8E+02	-	-	-	-	-	
	バックエンド研究施設 (使用施設)		-	-	-	-	-	-	-	-	
	放射性廃棄物処理場(炉施設-使用施設)		5.4E+00	-	-	-	-	-	-	-	
	第4研究棟		ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	
	RI施設棟		ND	-	ND	-	ND	-	ND	-	
	トリチウムプロセス研究棟		3.2E+01	-	ND	-	ND	-	ND	-	
	FNS		8.8E+00	-	ND	-	ND	-	ND	-	
	J-PARC リニアック施設		ND	-	1.2E+02	-	ND	-	ND	-	放射性セシウム系核種(Ar-41)
	J-PARC 3GeVシンクロトロン施設		ND	-	4.7E+01	-	ND	-	1.6E+04	-	放射性セシウム系核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	J-PARC 50GeVシンクロトロン施設		ND	-	8.0E+00	-	ND	-	2.6E+03	-	放射性セシウム系核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	J-PARC 物質生命科学実験施設		2.9E+02	-	2.8E+02	-	ND	-	6.4E+03	-	放射性セシウム系核種(I-125, Hg-197)
	J-PARC ハドロン実験施設		ND	-	2.4E+01	-	ND	-	ND	-	放射性セシウム系核種(Ar-41)
	J-PARC ニュートリノ実験施設		4.4E+01	-	1.9E+01	-	ND	-	6.7E+03	-	放射性セシウム系核種(Ar-41) 全粒子状物質核種(Hg-197)
	拠点小計		3.4E+02	-	5.1E+02	-	ND	-	1.7E+02	0.1	

表B-43 放射性気体廃棄物の放出量(再処理施設以外)(2015年度) (2/2)

拠点名	施設名(国への報告の施設分類名)	トリチウム(³ H)		放射性希ガス		ヨウ素(¹³¹ I)		全粒子状物質			備考	
		年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)	年間放出量 (G Bq/年)	管理目標値 (G Bq/年)	比率(%)		
サ ク ケ ル 研	高レベル放射性物質研究施設(使用施設)	-	1.6E+03	-	4.2E+00	2.7E+03	0.1556	-	1.3E+00	-	0.1556	全粒子状物質、放射性希ガス以外は濃度管理。
	フルトニウム取扱施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理。
	ウラン取扱施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理。
	拠点小計	-	-	-	4.2E+00	-	-	-	-	-	0.1556	
大 洗	廃棄物管理施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	JMTR排気筒(炉施設)	-	-	-	-	1.3E+05	-	-	-	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	HTTR排気筒(使用施設)	*	-	-	*	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	HTTR排気筒(炉施設)	-	1.1E+04	-	-	3.7E+04	-	-	3.2E+00	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	HTTR排気筒(使用施設)	*	-	-	*	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。原子炉分は原子炉以外の施設を、使用施設は使用以外の施設の放出量を含む。
	ホットラボ(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。
	燃料研究棟(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	濃度管理である。
	重水銀昇実験装置(DCA)(炉施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	高濃実験排気筒(炉施設)	-	-	-	-	3.4E+04	-	-	-	-	-	
	AGF(使用施設)	-	-	-	-	3.1E+03	-	-	-	5.2E-02	-	
	MMF(使用施設)	-	-	-	-	3.0E+01	-	-	-	5.8E-03	-	
	MMF-2(使用施設)	-	-	-	-	3.0E+03	-	-	-	5.8E-02	-	
	FMF排気筒(使用施設)	-	-	-	-	2.0E+04	-	-	-	6.9E-02	-	
	固体廃棄物前処理施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
廃棄物処理庫(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
照射装置組立検査施設(使用施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
拠点小計	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
も ん じ ゆ	原子炉施設合計(炉施設)	2.4E+01	-	-	ND	8.2E+04	~0	~0	1.5E+01	-	-	放出放射能は濃度に準じて求めている。
	主排気筒	2.7E+01	1.4E+04	0.1929	ND	-	-	-	-	-	-	
	原子炉	1.0E+01	3.7E+02	0.027	ND	-	-	-	-	-	-	
	廃棄物処理庫排気筒	2.7E+01	1.4E+04	0.1929	ND	-	-	-	-	-	-	
	原子炉施設合計(炉施設)	ND	5.4E+02	~0	-	-	-	-	-	-	-	
ふ け ん	重水精製建屋排気筒(炉施設)	2.7E+01	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	
	拠点小計	-	-	-	ND	-	-	-	-	-	-	
人 形	ウラン濃縮原形プラント(加工施設)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	規制委員あての報告書はUのみ記載。トリチウムや希ガスのデータなし。濃度管理である。
	製錬炉施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
	ウラン濃縮原形プラント(DOP-2)(使用施設) 濃縮工学施設 廃棄物係卸施設	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	規制委員あての報告書はUのみ記載。トリチウムや希ガスのデータなし。濃度管理である。

*: 一つの施設で炉施設と使用施設の両方の許可を取得している場合の使用施設の値(国への報告値)は炉施設の値(国への報告値)と同じ。
ND: 対象核種は検出されなかった。

表B-44 放射性気体廃棄物の放出量(再処理施設)(2015年度)

放射性物質の種類	年間放出管理目標値 (GBq/年)	放出量 (GBq/年)	管理目標値に対する 放出量の比率(%)
クリプトン-85 (⁸⁵ Kr)	8.9E+07	ND	~0
トリチウム (³ H)	5.6E+05	2.0E+02	0.0357
炭素-14 (¹⁴ C)	5.1E+03	7.5E+00	0.1471
ヨウ素-131 (¹³¹ I)	1.6E+01	ND	~0
ヨウ素-129 (¹²⁹ I)	1.7E+00	ND	~0
全粒子状物質	全α	ND	
	全βγ	ND	

ND：放出放射能濃度が検出限界未満

※再処理施設の全粒子物質の放出管理目標値は濃度管理目標値であり、総量ではない。

表B-45 放射性液体廃棄物の放出量(再処理施設以外) (2015年度)

拠点名	施設名	トリウム (G Bq/年)	年間放出管理 基準または目標値 (G Bq/年)	年間放出管理基準または 目標値に対する比率 (%)	トリウム以外の 核種総量 (G Bq/年)	年間放出管理 基準または目標値 (G Bq/年)	年間放出管理基準または 目標値に対する比率 (%)	備考
青森	原子炉施設	-	-	-	-	-	-	放出実績なし。
原科研	原子炉施設	6.3E+01	/	/	6.5E-03	-	-	原子炉施設以外の施設の放出量を含む。 東電第1原発事故の影響を含む。
	核燃料使用施設	2.0E+02	2.5E+04	0.8	2.0E-01	1.8E+01	1.1111	使用施設以外の施設の放出量を含む。 東電第1原発事故の影響を含む。
サイクル研	核燃料使用施設		1.9E+00	-	1.3E-04	2.1E+00	0.0062	トリウムは濃度管理。 41条非該当施設分も含む。
大洗(北地区)	廃棄物管理施設	5.7E+00	3.7E+03	0.1541		-	-	トリウム以外は濃度管理。
	原子炉施設 (HTTRのみ、他は廃棄物管理施設へ)	2.1E-03	-	-		-	-	トリウム以外は濃度管理。
大洗(南地区)	核燃料使用施設	5.7E+00	3.7E+03	0.1541		2.2E+00	-	トリウム以外は濃度管理。
	原子炉施設、核燃料使用施設。 [常備]は、北地区へ移送。 その他はなし。	/	/	/		3.7E-01	-	一般排水として北地区へ移送した。濃度管理。
那珂	専用排水管	ND	7.4E-02	~0				不検出分53E-04GBq
もんじゅ	原子炉施設	2.5E-02	9.2E+03	0.0003	ND	5.5E+00	~0	濃度に排水量を乗じて求めている。
ふげん	原子炉施設	6.1E+02	8.5E+03	7.1765	ND	2.8E-01	~0	濃度に排水量を乗じて求めている。
	重水精製施設	1.3E+00	1.3E+03	0.1				
	合計	6.1E+02	/	7.1765	#VALUE!	/	-	

ND : 検出限界未満

表B-46 放射性液体廃棄物の放出量(再処理施設) (2015年度)

放射性物質の種類	年間放出管理目標値 (GBq/年)	年間放出量 (GBq/年)	年間放出管理目標値に対する比率 (%)
全α放射能	4.1E+00	ND	~0
全β放射能 (³Hを除く)	9.6E+02	ND	~0
ストロンチウム-89 (⁸⁹ Sr)	1.6E+01	ND	~0
ストロンチウム-90 (⁹⁰ Sr)	3.2E+01	ND	~0
ジルコニウム-95-ニオブ-95 (⁹⁵ Zr- ⁹⁵ NB)	4.1E+01	ND	~0
ルテニウム-103 (¹⁰³ Ru)	6.4E+01	ND	~0
ルテニウム-106-ロジウム-106 (¹⁰⁶ Ru- ¹⁰⁶ Rh)	5.1E+02	ND	~0
セシウム-134 (¹³⁴ Cs)	6.0E+01	ND	~0
セシウム-137 (¹³⁷ Cs)	5.5E+01	ND	~0
セリウム-141 (¹⁴¹ Ce)	5.9E+00	ND	~0
セリウム-144-プラセオジウム-144 (¹⁴⁴ Ce- ¹⁴⁴ Pr)	1.2E+02	ND	~0
トリチウム (³H)	1.9E+06	2.5E+02	0.0132
ヨウ素-129 (¹²⁹ I)	2.7E+01	ND	~0
ヨウ素-131 (¹³¹ I)	1.2E+02	ND	~0
プルトニウム (Pu(α))	2.3E+00	ND	~0

ND：放出放射能濃度が検出限界未満

表B-47 騒音規制法に基づく測定(2015年度)(1/2)

拠点名	測定場所 (複数あれば箇所ごとに記載)	特定施設※1	測定時間帯※2	規制基準 (dB)	実測値 (敷地境界線の 最大値) (dB)	規制区域	法令根拠等
那珂	敷地境界南側	空気圧縮機 及び送風機	10:04 ~ 10:45	75	43	第5種区域	茨城県生活環境の 保全に関する条例
	敷地境界南側(高速道路路側)		10:04 ~ 10:46	75	53		
	敷地境界西側		10:04 ~ 10:47	75	47		
NEAT茨城	騒音発生源から居住までの 直線状の敷地境界線を測定	空気圧縮機 及び送風機	2/18朝～夜間 (8:00～18:00)	65	41.6	第3種区域	茨城県生活環境の 保全に関する条例
			3/30朝～夜間 (8:00～18:00)	65	43.7		
東濃	瑞浪超深地層研究所敷地境界(南)	コンクリートプラント (特定建設作業)	(8:00～翌8:00)	85	64	第2種区域	—
もんじゅ	敷地境界	空気圧縮機 及び送風機	朝	55	53	その他の区域	福井県公害防止条例
			昼(8:00～19:00)	60	51		
			夕	55	51		
			夜間	55	52		
ふげん	敷地境界	空気圧縮機 及び送風機	朝(6:00～8:00)	55	51	その他の区域	福井県公害防止条例
			昼(8:00～19:00)	60	59		
			夕(19:00～22:00)	55	46		
			夜間(22:00～6:00)	55	46		

表B-47 騒音規制法に基づく測定(2015年度)(2/2)

拠点名	測定場所 (複数あれば箇所ごとに記載)	特定施設※1	測定時間帯※2	規制基準 (dB)	実測値 (敷地境界線の 最大値) (dB)	規制区域	法令根拠等	
関西研	敷地境界No.1	空気圧縮機 及び送風機	昼間(8-18)	65	42.6	第3種区域	京都府環境を守り育てる条例	
			朝(6-8)	55	43.9			
			夕(18-22)	55	44.7			
			夜間(22-6)	50	41.3			
			昼間(8-18)	65	42.9			
			朝(6-8)	55	43			
	夕(18-22)		55	50.9				
	夜間(22-6)		50	43				
	敷地境界No.2		敷地境界No.3	昼間(8-18)	65			46.8
				朝(6-8)	55			47
				夕(18-22)	55			47.3
				夜間(22-6)	50			47.8
				昼間(8-18)	65			44.9
				朝(6-8)	55			44.6
	敷地境界No.4		敷地境界No.5	夕(18-22)	55			49.5
				夜間(22-6)	50			46.1
				昼間(8-18)	65			47.3
				朝(6-8)	55			43.7
				夕(18-22)	55			53.9
				夜間(22-6)	50			43.9
	敷地境界No.6		敷地境界No.6	昼間(8-18)	65			49.6
				朝(6-8)	55			50.1
				夕(18-22)	55			52.4
				夜間(22-6)	50			47.6

※1 騒音規制法施行令第1条(特設施設)により、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが該当する。

※2 朝・昼・夕方・夜間によって規制基準がそれぞれ異なる。

表B-48 振動規制法に基づく測定(2015年度)

拠点名	測定場所 (複数あれば箇所ごとに記載)	特定施設の種類 ※1	測定時間帯	規制基準 (dB)	実測値 (敷地境界線の 最大値) (dB)	規制区域 ※2	法令根拠等
東濃	瑞浪超深地層研究所敷地境界(南)	該当なし	昼間	75	28	※4	振動規制法岐阜県公害防止条例
			夜間	45	42		
もんじゅ	港岸壁南端	空気圧縮機 及び送風機	昼間	65	<25	※3	福井県公害防止条例
			夜間	60	<25		
関西研	①計算・先端情報センター棟駐車場の東端	空気圧縮機 及び送風機	昼間	65	<30	第2種区域	京都府環境を守り育てる条例
			夜間	60	33.4		
			昼間	65	34.2		
			夜間	60	38.7		
			昼間	65	47.8		
			夜間	60	<30		
	②研究棟東側駐車場南東端	空気圧縮機 及び送風機	昼間	65	<30	第2種区域	京都府環境を守り育てる条例
			夜間	60	<30		
			昼間	65	<30		
	③研究棟東端の北側道路の北端	空気圧縮機 及び送風機	昼間	65	<30	第2種区域	京都府環境を守り育てる条例
			夜間	60	<30		
			昼間	65	31.1		
④研究棟西端の北側道路の北端	空気圧縮機 及び送風機	昼間	65	40.9	第2種区域	京都府環境を守り育てる条例	
		夜間	60	38.8			
		昼間	65	35.0			
⑤多目的ホール取り付け道路中央部北側	多目的ホール西端の北側	該当なし	昼間	65	38.8	第2種区域	京都府環境を守り育てる条例
			夜間	60	35.0		

※1 振動規制法施行令第1条(特定施設)により、原動機の定格出力が7.5kW以上のものが該当する。
 ※2 第1種区域:特に静謐の保持を必要とされる区域及び住居の用に供されているため静謐の保持を必要とする区域
 第2種区域:住居、商業・工業の用に供されている区域
 ※3 指定区域に該当せず規制対象外。(「第2種区域」の値を自主管理基準としている)
 ※4 指定区域に該当せず規制対象外。(「第1種区域」の値を自主管理基準としている)
 注1) 振動規制法に係る特定施設については、政令で定める施設としては、1.金属加工機械、2.空気圧縮機及び送風機、3.土石用又は鉱物用の破砕機・磨砕機ふるい及び分級機、4.織機、5.コンクリートブロックマシン・コンクリート管製造機械・コンクリート柱製造機械、6.木材加工機械、7.印刷機械、8.ゴム精練用または合成樹脂用のローラー機、9.合成樹脂用射出成型機、10.鋳造型機

表B-49 悪臭防止法に基づく測定(2015年度)

拠点名	測定種類	計量・分析項目	基準値	測定値	法令根拠等
関西木津	特定悪臭物質 (ppm)	トルエン	10ppm	<1	京都府環境を守り育てる条例施行規則
		キシレン	1ppm	<0.1	
	嗅覚 (-)	臭気濃度*	10	<10	
		臭気指数*	10	<10	

* 臭気指数とは、人間の嗅覚を用いて悪臭の程度を数値化したものです。具体的には、試料を臭気が感じられなくなるまで無臭空気で希釈したときの希釈倍率(臭気濃度)の対数値に10を乗じた値です。

表B-50 環境データ拠点別比較 (1/5)

2015 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	70	190	260	320	2,160	2,000	1,190	440	50
延床面積概数(m ²)	6,400	30,500	15,000	15,000	319,400	398,400	214,300	100,900	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.2	230	5.8	11	2,700	1,400	680	390	6.8
水資源投入量(万m ³)	0.2	1.5	0.16	0.37	140	28	27	5	0.2
コピー用紙投入量(t)	1.3	6.3	7.7	17	45	39	30	8.8	0.95
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	430	14,000	330	470	160,000	80,000	35,000	21,000	380
総廃棄物発生量(t)	8.5	22	2.7	37	310	68	210	230	9.9

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯も運研	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	220	190	140	120	550	180	140	200	280	8,740
延床面積概数(m ²)	48,800	-	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	26,600	71,000	1,429,800
総エネルギー投入量(TJ)	150	3.8	14	6.6	810	240	15	80	160	6,900
水資源投入量(万m ³)	6.7	- ^{*2}	0.38	0.47	5.3	7.7	0.28	1	3.2	230
コピー用紙投入量(t)	3.1	7.6	2.3	5.5	34	5.2	4.1	3.5	7.1	230
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	9,100	190	720	430	55,000	16,000	940	4,500	11,000	410,000
総廃棄物発生量(t)	74	3.9	55	14	78	44	11	67	58	1,300

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: 東京はビルオーナー側で管理、柏は駅前サテライトに移転後は水道データは共益費に含まれるためデータなし

表B-50 環境データ拠点別比較 (2/5)

(参考) 2014 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	70	200	110	240	2,260	1,980	1,180	480	50
延床面積概数(m ²)	6,400	27,600	1,700	5,600	316,400	401,400	214,300	100,900	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	5.7	220	2	7.8	2,600	1,500	690	300	6.6
水資源投入量(万m ³)	0.19	1.7	0.027 ^{*2}	0.28	140	29	37	4.2	0.28
コピー用紙投入量(t)	1.6	6.5	2.2	12	53	47	32	12	1.3
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	390	13,000	120	430	160,000	85,000	38,000	17,000	380
総廃棄物発生量(t)	9.5	17	1.1	18	230	120	170	120	10

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯も運研 (旧国際七)	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	240	250	140	120	600	200	110	200	280	8,690
延床面積概数(m ²)	48,800	-	7,300	3,600	104,700	52,500	9,600	26,600	71,000	1,404,500
総エネルギー投入量(TJ)	140	4.1	15	7.4	810	250	14	85	150	6,800
水資源投入量(万m ³)	7.7	0.011 ^{*3}	0.44	0.31	5.4	8.5	0.31	1	2.7	240
コピー用紙投入量(t)	3.6	11	2.5	6.1	35	6	4.6	3.5	7.5	250
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	15,000	220	780	460	53,000	16,000	870	4,600	11,000	420,000
総廃棄物発生量(t)	99	7.9	96	22	75	40	10	49	15	1,100

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: 笹木野分析所のみの水資源投入量。

*3: 柏のみの数値であり、東京はピルオナーナ側で管理している。

表B-50 環境データ拠点別比較 (3/5)

(参考) 2013 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	80	190	120	260	2,210	2,010	1,220	470	40
延床面積概数(m ²)	6,400	27,600	1,300	5,600	315,900	404,300	214,300	98,200	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	6.4	210	2.1	9.2	2,100	1,500	710	320	7.2
水資源投入量(万m ³)	0.2	1.9	0.016 ^{*2}	0.33	130	29	39	4.4	0.33
コピー用紙投入量(t)	1.5	4.6	3.8	13	54	44	30	12	0.83
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	450	13,000	120	490	130,000	85,000	39,000	18,000	410
総廃棄物発生量(t)	10	19	0 ^{*3}	33	320	130	270	110	14

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東濃	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯国際セ	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	230	180	150	140	580	200	90	200	270	8,630
延床面積概数(m ²)	43,200	-	7,300	3,600	104,700	52,700	8,400	26,600	71,000	1,397,200
総エネルギー投入量(TJ)	150	4.2	16	8.2	810	270	14	90	140	6,300
水資源投入量(万m ³)	7.9	0.021 ^{*4}	0.71	0.24	6.7	9.1	0.22	1.3	2.5	230
コピー用紙投入量(t)	3.7	11	2.7	8.6	33	6.2	2.3	3.7	7.5	240
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	9,100	220	1,700	530	56,000	19,000	910	4,800	11,000	390,000
総廃棄物発生量(t)	120	6.5	89	26	82	53	8.8	59	12	1,400

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: 笹木野分析所のみ水資源投入量。

*3: ビルオーナー側で管理している。

*4: 柏のみの数値であり、東京はビルオーナー側で管理している。

表B-50 環境データ拠点別比較 (4/5)

(参考) 2012 年度データ

拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原科研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	90	190	110	260	2,230	2,120	1,230	460	50
延床面積概数(m ²)	6,400	27,600	1,300	5,600	315,500	404,300	203,700	98,900	5,200
総エネルギー投入量(TJ)	7	200	1.3	9	2,600	1,500	700	290	7.4
水資源投入量(万m ³)	0.22	1.3	0.0049 ^{*2}	0.37	130	31	32	11	0.35
コピー用紙投入量(t)	1.7	6.8	2.2	13	52	45	21	13	1.1
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	370	11,000	70	420	140,000	79,000	35,000	15,000	390
総廃棄物発生量(t)	12	23	0 ^{*3}	35	210	60	65	63	12

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東農	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯国際七	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	230	190	160	140	520	200	100	220	270	8,760
延床面積概数(m ²)	43,200	-	7,300	3,600	104,700	52,700	8,400	26,600	71,000	1,386,900
総エネルギー投入量(TJ)	160	4.2	17	9.4	840	290	13	97	140	6,800
水資源投入量(万m ³)	8	0.017 ^{*4}	0.79	0.26	6.4	10	0.18	1.2	2.7	240
コピー用紙投入量(t)	3.5	8.4	2	7.4	23	5.9	1.6	4.6	7.5	220
総温室効果ガス排出量(t-CO ₂)	10,000	200	2,000	610	56,000	19,000	880	4,600	9,700	380,000
総廃棄物発生量(t)	96	6.1	47	18	81	63	9.9	31	22	850

*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: 笹木野分析所のみでの水資源投入量。

*3: ビルオーナー側で管理している。

*4: 柏のみの数値であり、東京はビルオーナー側で管理している。

表B-50 環境データ拠点別比較 (5/5)

(参考) 2011 年度データ

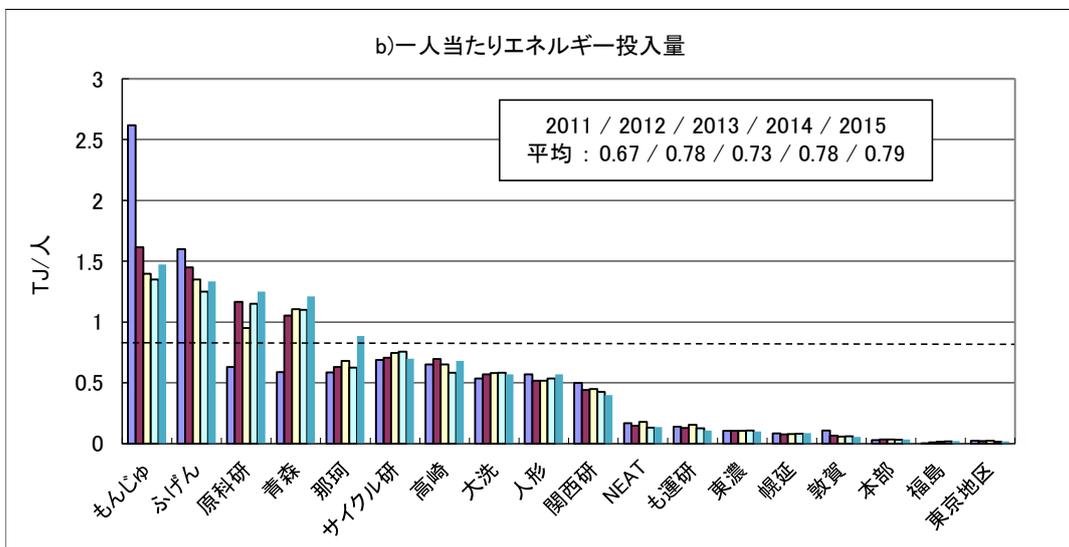
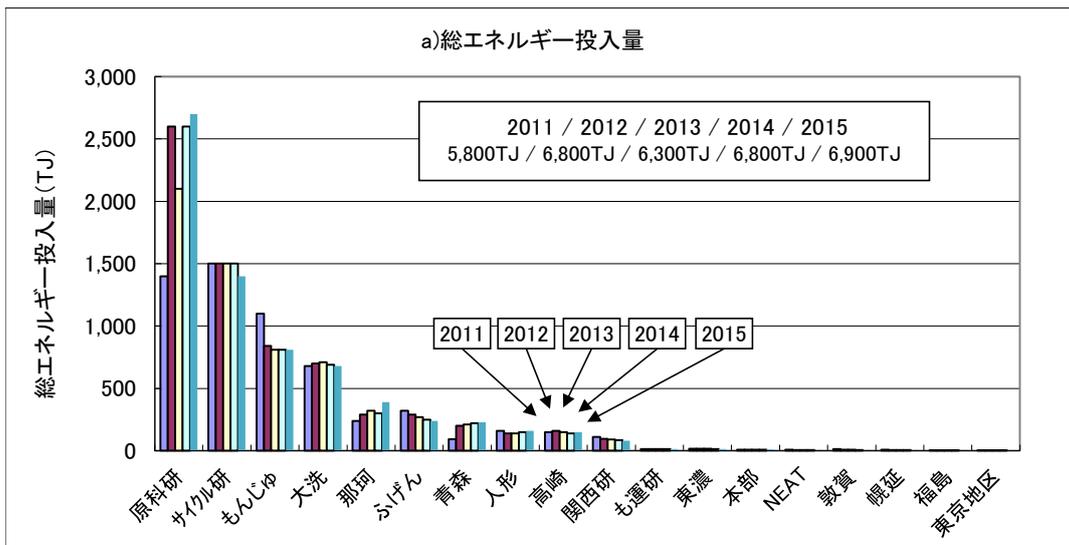
拠点等	①幌延	②青森	③福島	④本部	⑤原料研	⑥サイクル研	⑦大洗	⑧那珂	⑨NEAT
従業員等概数 ^{*1} (人)	90	160	80	260	2,220	2,180	1,270	410	50
延床面積概数 (m ²)	6,400	27,500	600	5,600	322,600	404,300	203,700	103,200	5,200
総エネルギー投入量 (TJ)	7.7	94	0.35	7.7	1,400	1,500	680	240	8.4
水資源投入量 (万m ³)	0.22	1.3	0 ^{*2}	0.36	100	33	42	9.1	0.40
コピー用紙投入量 (t)	1.8	5.5	2.5	14	53	46	25	11	4.1
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	330	4,100	15	300	86,000	66,000	29,000	10,000	360
総廃棄物発生量 (t)	12	25	0 ^{*1}	18	340	160	120	110	13

拠点等	⑩高崎	⑪東京地区	⑫東農	⑬敦賀	⑭もんじゅ	⑮ふげん	⑯国際七	⑰関西研	⑱人形	計
従業員等概数 ^{*1} (人)	230	170	160	130	420	200	100	220	280	8,620
延床面積概数 (m ²)	43,000	-	6,700	3,600	104,700	52,700	8,400	26,600	72,800	1,397,600
総エネルギー投入量 (TJ)	150	4.3	17	14	1,100	320	14	110	160	5,800
水資源投入量 (万m ³)	8.4	0.019 ^{*3}	0.91	0.29	8.9	10	0.25	1.3	2.7	220
コピー用紙投入量 (t)	3.9	11	2.2	8.9	22	6.8	1.9	3.2	7.1	230
総温室効果ガス排出量 (t-CO ₂)	9,400	160	1,400	590	52,000	14,000	620	3,700	12,000	290,000
総廃棄物発生量 (t)	74	31	17	19	96	37	9.8	52	20	1,200

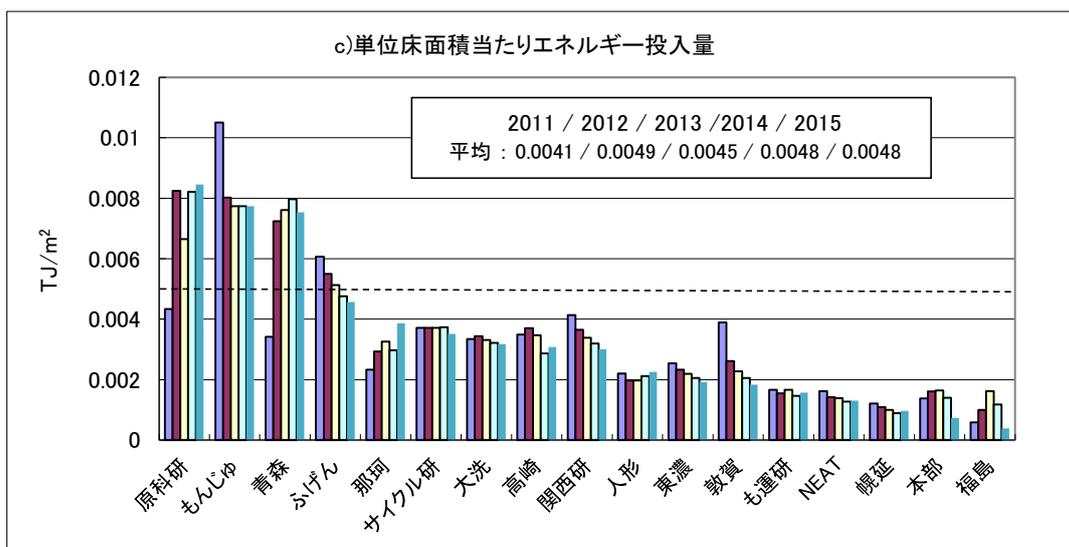
*1: 従業員等概数は、職員、常駐年間請負業者等の合計を表す。

*2: ビルオーナー側で管理している。

*3: 柏のみの数値であり、東京はビルオーナー側で管理している。

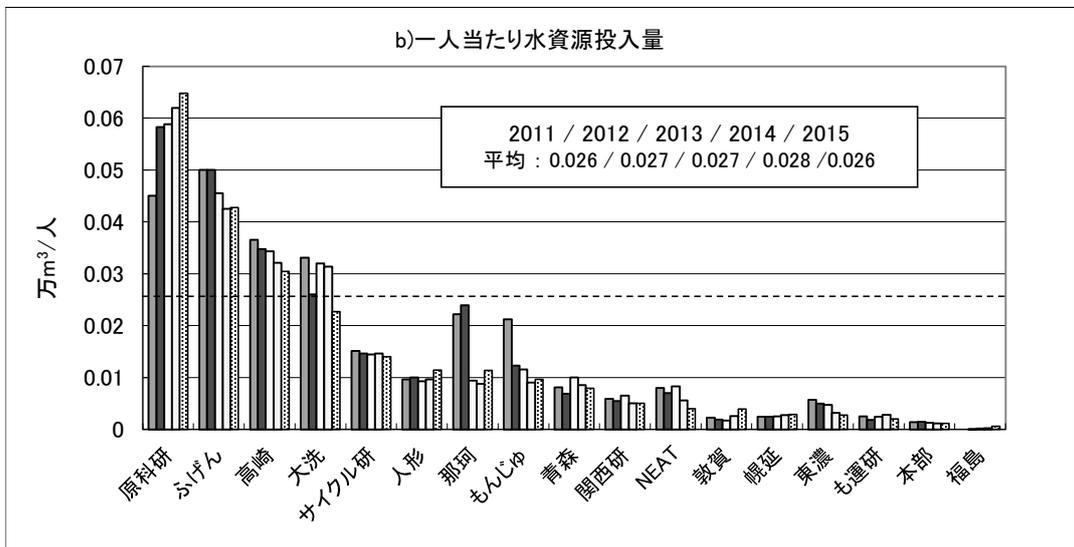
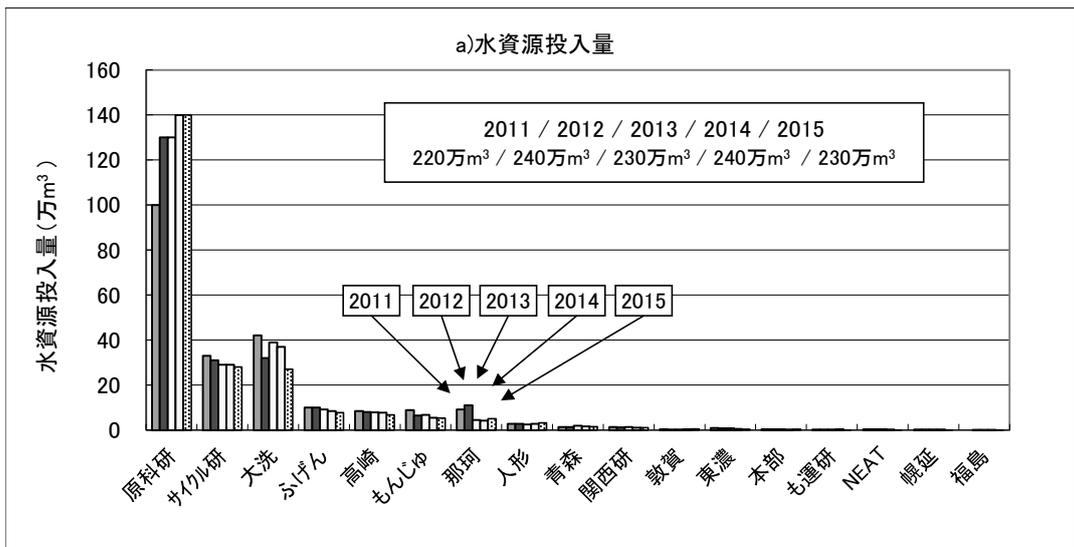


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の総エネルギー投入量) / (2015年度の原子力機構の総従業員数)

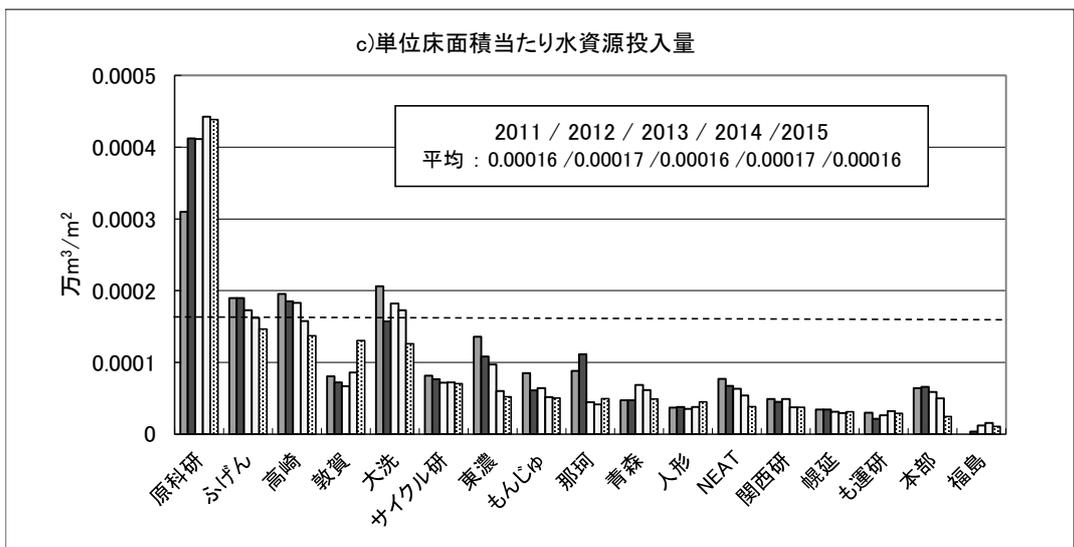


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の総エネルギー投入量) / (2015年度の原子力機構の総床面積)

図B-1 総エネルギー投入量の拠点別比較(2015年度)

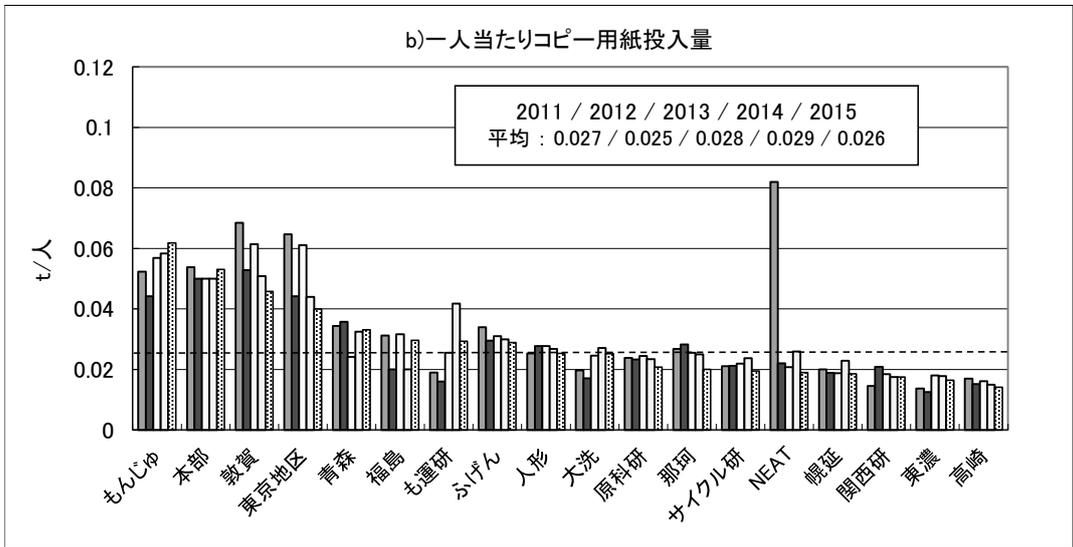
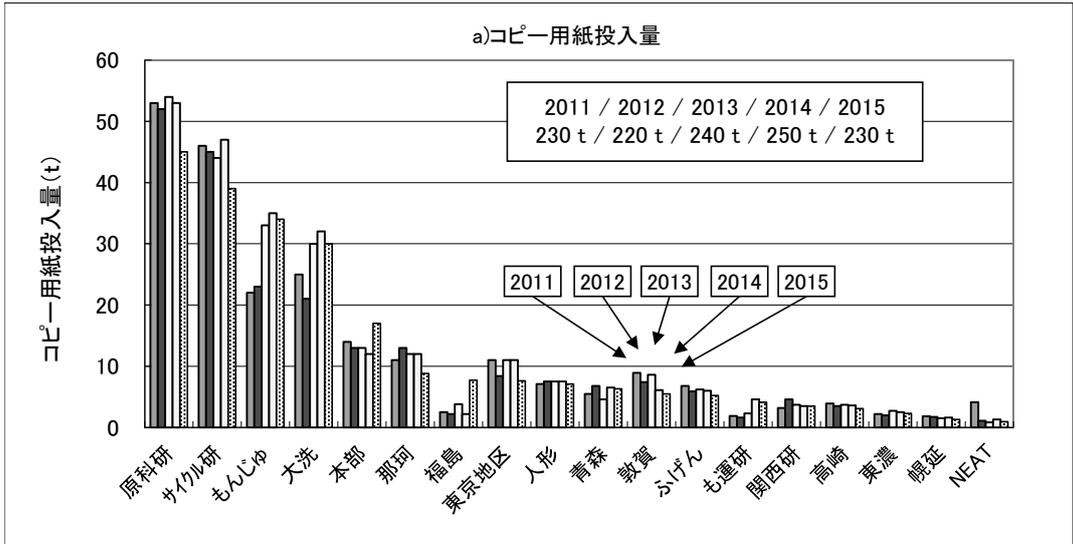


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の水資源投入量) / (2015年度の原子力機構の総従業員数)

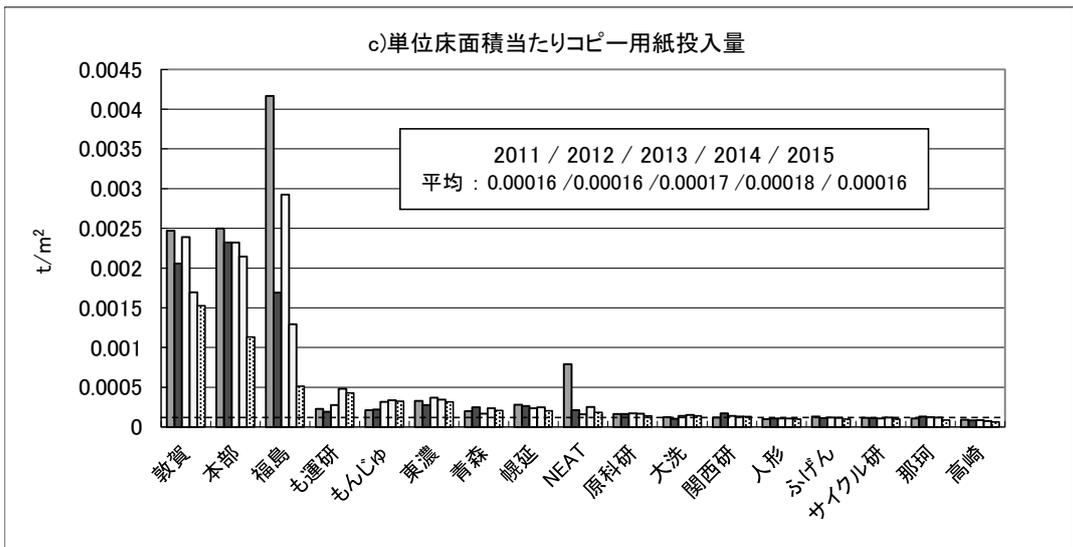


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の水資源投入量) / (2015年度の原子力機構の総床面積)

図B-2 水資源投入量の拠点別比較(2015年度)

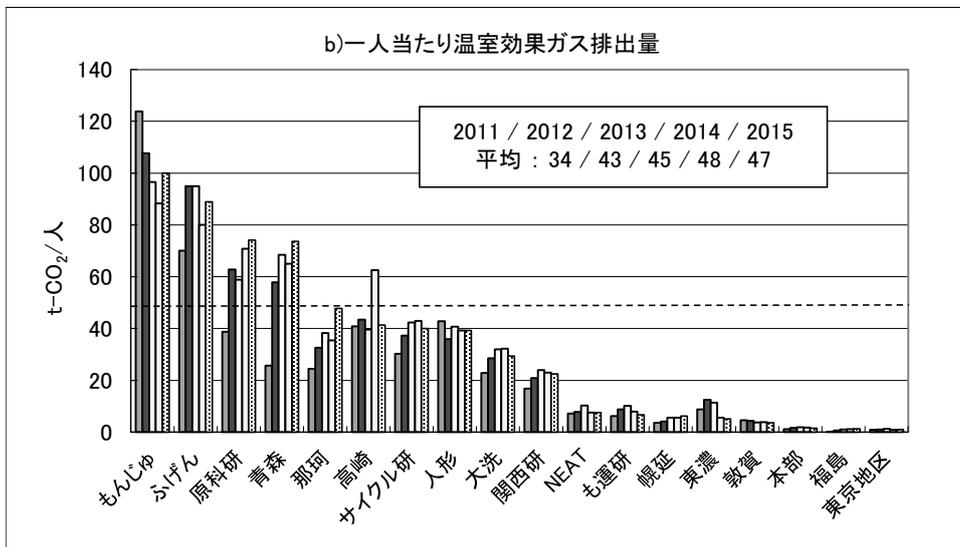
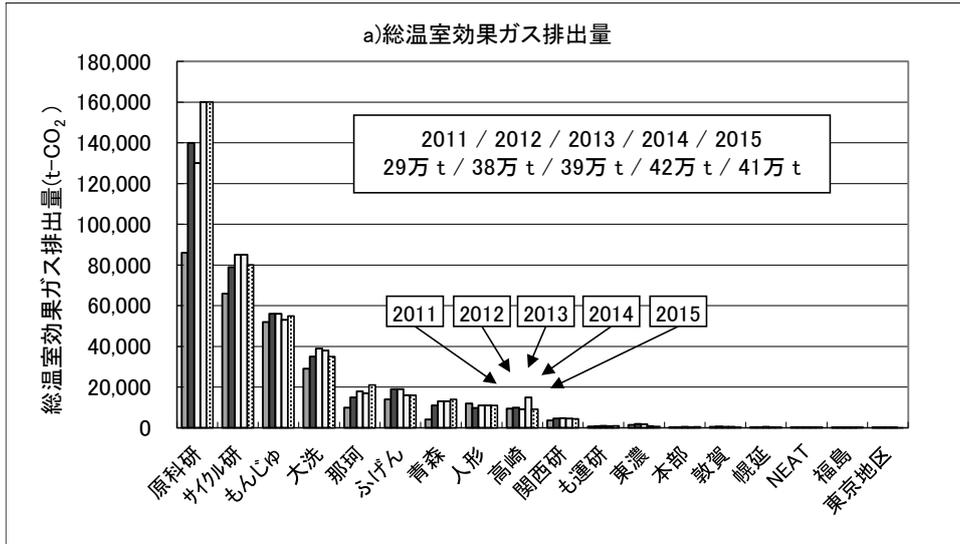


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構のコピー用紙投入量) / (2015年度の原子力機構の総従業員数)

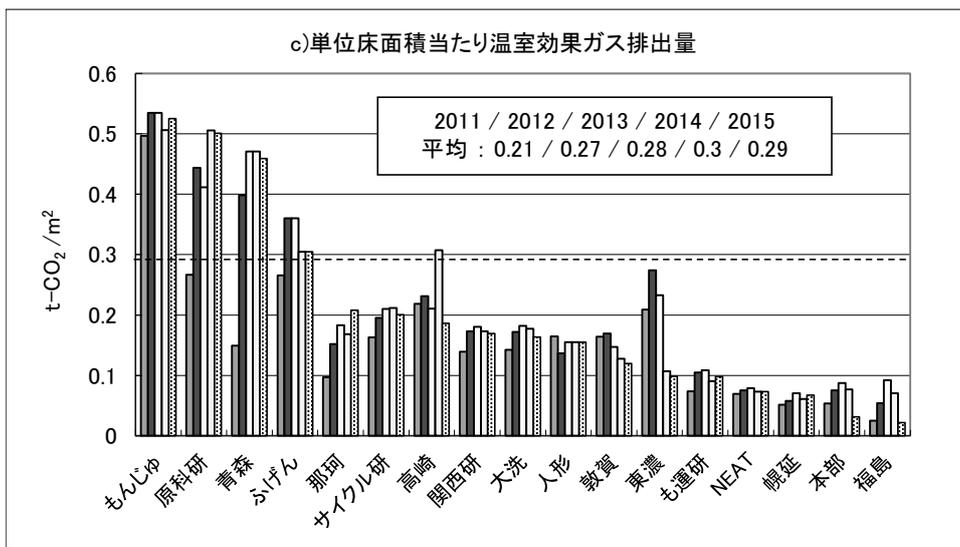


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構のコピー用紙投入量) / (2015年度の原子力機構の総床面積)

図B-3 コピー用紙投入量の拠点別比較(2015年度)

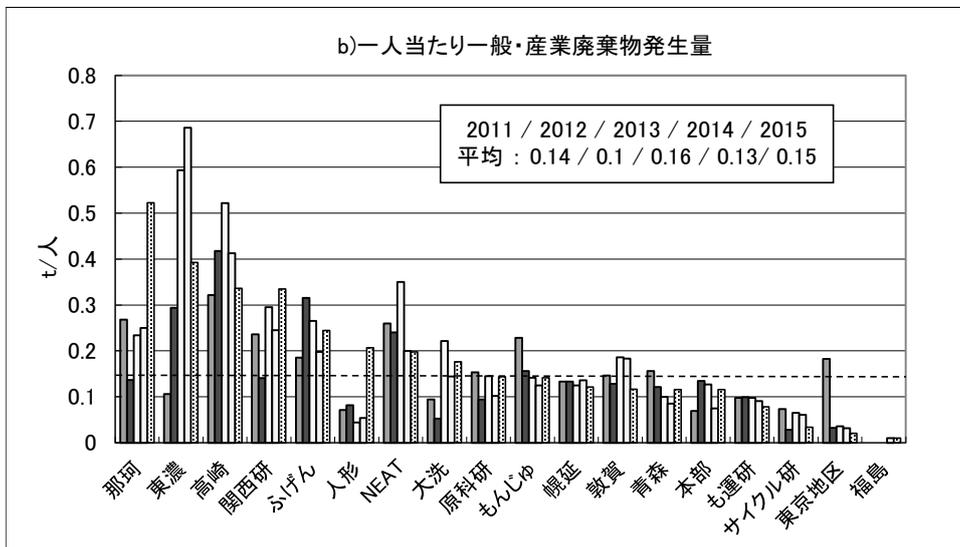
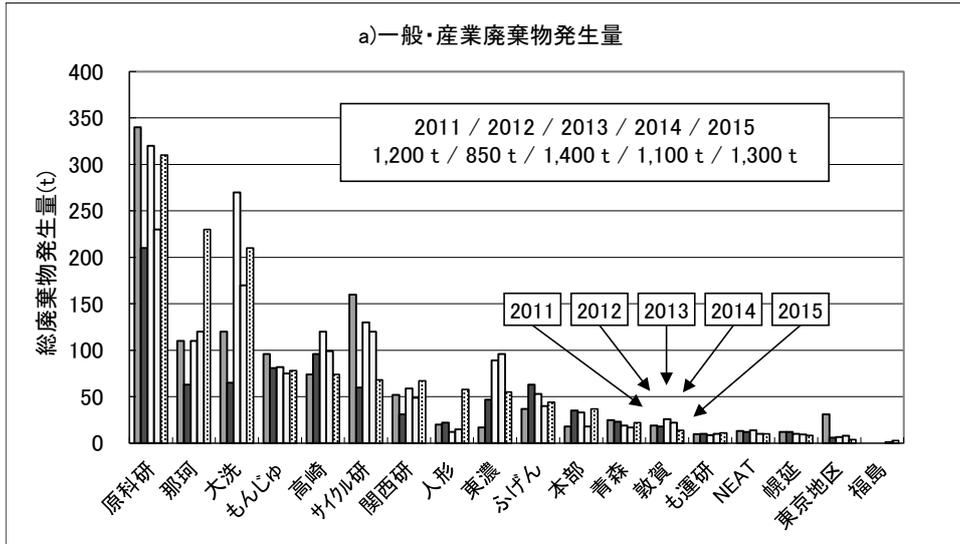


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の総温室効果ガス排出量) / (2015年度の原子力機構の総従業員数)

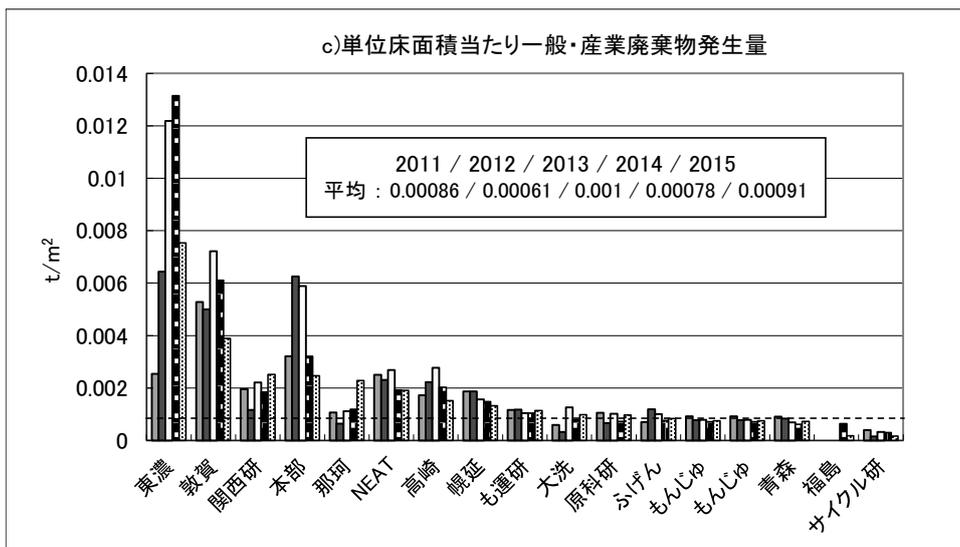


注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の総温室効果ガス排出量) / (2015年度の原子力機構の総床面積)

図B-4 総温室効果ガス排出量の拠点別比較(2015年度)



注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の一般・産業廃棄物発生量) / (2015年度の原子力機構の総従業員数)



注) 図中の点線 = (2015年度の原子力機構の一般・産業廃棄物発生量) / (2015年度の原子力機構の総床面積)

図B-5 一般・産業廃棄物発生量の拠点別比較(2015年度)

付録C. 報告対象拠点等の名称とその略称

() 内は本報告書中での略称を示す。

- ◎幌延深地層研究センター (幌延)
- ◎青森研究開発センター (青森)
 - むつ地区：(むつ)、六ヶ所地区：(六ヶ所)^{注1)}
- ◎福島県内にある地区を総称した呼び名 (福島拠点)
 - 福島環境安全センター：(福島)
 - 檜葉遠隔技術開発センター：(檜葉)
 - いわき事務所：(いわき)
- ◎主たる事務所 (本部)
- ◎原子力科学研究所及び J-PARC センター (原科研(J-PARC を含む))
 - 原子力科学研究所：(原科研)、J-PARC センター：(J-PARC)
- ◎核燃料サイクル工学研究所 (サイクル研)
- ◎大洗研究開発センター (大洗)
- ◎那珂核融合研究所 (那珂)^{注1)}
- ◎原子力緊急時支援・研修センター (NEAT)
 - 茨城地区：(NEAT 茨城)、福井地区：(NEAT 福井)
- ◎高崎量子応用研究所 (高崎)^{注1)}
- ◎東京事務所 (東京) 及びシステム計算科学センター(柏) (東京地区)
- ◎東濃地科学センター (東濃)
- ◎敦賀事業本部 (敦賀)
- ◎高速増殖原型炉もんじゅ (もんじゅ)
- ◎原子炉廃止措置研究開発センター (ふげん)
- ◎もんじゅ運営計画・研究開発センター (も運研)
- ◎関西光科学研究所 (関西研)
 - 木津地区：(関西木津)^{注1)}、播磨地区：(関西播磨)^{注2)}
- ◎人形峠環境技術センター (人形)

注 1) 2016 年 4 月より国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構へ移管された。

注 2) 2016 年 4 月より国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構へ一部移管された。原子力機構組織は、播磨事務所と改称した。

付録D. 電気事業者別のCO₂排出係数(2014年度実績)(平成27年11月30日環境省公表)(1/2)

※平成28年7月12日一部修正

電気事業者名	実排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	電気事業者名	実排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)
北海道電力(株)	0.000683	0.000688	(株)グローバルエンジニアリング	0.000472	0.000568
東北電力(株)	0.000571	0.000573	(株)光陽電機	0.000536	0.000545
東京電力(株)	0.000505	0.000496	(株)コンシェルジュ	0.000240	0.000299
中部電力(株)	0.000497	0.000494	(株)サイサン	0.000383	0.000364
北陸電力(株)	0.000647	0.000640	(株)サニックス	0.000009	0.000000
関西電力(株)	0.000531	0.000523	(株)CNOパワーソリューションズ	0.000537	0.000524
中国電力(株)	0.000706	0.000709	(株)G-Power	0.000170	0.000000
四国電力(株)	0.000676	0.000688	(株)JNCパワー	0.000000	0.000000
九州電力(株)	0.000584	0.000598	(株)新出光	0.000513	0.000646
沖縄電力(株)	0.000816	0.000816	(株)生活クラブエナジー	0.000336	0.000408
アーバンエナジー(株)	0.000410	0.000337	(株)タクマエナジー	0.000443	0.000510
愛知電力(株)	0.000512	0.000483	(株)地球クラブ	0.000478	0.000154
アストモスエネルギー(株)	0.000452	0.000433	(株)津軽あつぷるパワー	0.000018	0.000581
アンフィニ(株)	0.000296	0.000575	(株)東芝	0.000098	0.000502
イーレックス(株)	0.000662	0.000469	(株)トヨタタービンアンドシステム	0.000492	0.000477
池見石油(株)	0.000683	0.000655	(株)とんでん	0.000453	0.000540
いこま電力(株)	0.000569	0.000540	(株)中之条パワー(旧:(一財)中之条電力)	0.000316	0.000550
(一財)泉佐野電力	0.000536	0.000490	(株)ナノワエナジー	0.000602	0.000601
出光グリーンパワー(株)	0.000253	0.000739	(株)日本セレモニー	0.000610	0.000696
伊藤忠エネクス(株)	0.000568	0.000294	(株)ネオインターナショナル	0.000549	0.000521
伊藤忠商事(株)	0.000560	0.000531	(株)バランスハーツ	0.000554	0.000525
HTBエナジー(株)	0.000615	0.000586	(株)パルシステム電力(旧:(株)うなかみの大地)	0.000106	0.000744
エコエンジニアリング(株)	0.000520	0.000491	(株)V-Power	0.000254	0.000561
SBパワー(株)	0.000221	0.000467	(株)フォレストパワー	0.000190	0.000699
エネサーブ(株)	0.000634	0.000206	(株)ベイサイドエナジー	0.000581	0.000562
エネックス(株)	0.000522	0.000493	(株)みらい電力(旧:(株)エヌパワー)	0.000415	0.000553
荏原環境プラント(株)	0.000266	0.000624	(株)森の電力(旧:(株)ケーキュービック)	0.000153	0.000598
MBエナジー(株)	0.000953	0.000924	(株)リミックスポイント	0.000535	0.000506
王子・伊藤忠エネクス電力販売(株)	0.000568	0.000552	(株)リレボ	0.000569	0.000541
王子製紙(株)	0.000438	0.000419	(株)Looop	0.000429	0.000349
大阪ガス(株)	0.000413	0.000378	川重商事(株)	0.000431	0.000403
オリックス(株)	0.000498	0.000393	近畿電力(株)	0.000542	0.000514
(株)アイ・グリッド・ソリューションズ	0.000519	0.000490	京葉瓦斯(株)	0.000492	0.000546
(株)アシストワンエナジー	0.000643	0.000320	合同会社北上新電力	0.000402	0.000529
(株)アップルツリー	0.000101	0.000893	御所野縄文電力(株)	0.000048	0.000623
(株)アドバンテック	0.000571	0.001491	サミットエナジー(株)	0.000413	0.000503
(株)イーエムアイ	0.000508	0.000480	JXエネルギー(株)(旧:JX日鉱日石エネルギー(株))	0.000325	0.000306
(株)イーセル	0.000511	0.000494	志賀高原リゾート開発(株)	0.000036	0.000576
(株)いちたかガスワン	0.000365	0.000561	滋賀電力(株)	0.000502	0.000474
(株)岩手ウッドパワー	0.000186	0.000167	シナノン(株)	0.000416	0.000563
(株)ウエスト電力	0.000296	0.000453	芝浦電力(株)	0.000776	0.000747
(株)SEウイングズ	0.000462	0.000444	湘南電力(株)	0.000357	0.000564
(株)S-CORE	0.000048	0.000000	昭和シェル石油(株)	0.000372	0.000353
(株)エックスパワー(旧:JLエナジー(株))	0.000544	0.000525	新電力おおいた(株)	0.000449	0.000565
(株)エナジードリーム	0.000545	0.000573	新日鉄住金エンジニアリング(株)	0.000560	0.000570
(株)エナリスパワーマーケティング(旧:(一社)電力託送代行機構)	0.000316	0.000561	須賀川瓦斯(株)	0.000421	0.000452
(株)エネット	0.000454	0.000462	鈴与商事(株)	0.000490	0.000402
(株)F-Power	0.000454	0.000398	生活協同組合コープこうべ	0.000339	0.000526
(株)関電エネルギーソリューション	0.000541	0.000527	西部瓦斯(株)	0.000481	0.000555
(株)クールトラスト	0.000492	0.000475	泉北天然ガス発電(株)	0.000329	0.000310

網掛け部は追加又は修正箇所

※平成27年度の温室効果ガス排出量を算定する際に用いる係数です(報告は平成28年度)。
 ※実排出係数は実排出量の算定に、調整後排出係数は調整後排出量の算定に用います。

付録D. 電気事業者別のCO₂排出係数(2014年度実績)(平成27年11月30日環境省公表)(2/2)

※平成28年7月12日一部修正

電気事業者名	実排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	電気事業者名	実排出係数 (t-CO ₂ /kWh)	調整後排出係数 (t-CO ₂ /kWh)
総合エネルギー(株)	0.000615	0.000596	パシフィックパワー(株)	0.000440	0.000643
大一ガス(株)	0.000793	0.000776	パナソニック(株)	0.000622	0.000611
大東エナジー(株)	0.000560	0.000541	はりま電力(株)	0.000553	0.000527
ダイヤモンドパワー(株)	0.000339	0.000323	日立造船(株)	0.000277	0.000670
太陽ガス(株)	0.000407	0.000580	プレミアムグリーンパワー(株)	0.000011	0.000265
大和エネルギー(株)	0.000664	0.000078	北海道瓦斯(株)	0.000358	0.000611
大和ハウス工業(株)	0.000491	0.000450	本田技研工業(株)	0.000490	0.000540
中央電力エナジー(株)	0.000560	0.000541	丸紅(株)	0.000482	0.000487
テス・エンジニアリング(株)	0.000599	0.000925	ミサワホーム(株)	0.000591	0.000572
テブコカスターサービス(株)	0.000487	0.000327	三井物産(株)	0.000029	0.000572
東京エコサービス(株)	0.000071	0.000149	ミツウロコグリーンエネルギー(株)	0.000466	0.000498
東京急行電鉄(株)	0.000558	0.000530	水戸電力(株)	0.000297	0.000525
東燃ゼネラル石油(株)	0.000508	0.000479	宮崎パワーライン(株)	0.000082	0.000543
凸版印刷(株)	0.000538	0.000510	みやまスマートエネルギー(株)	0.000525	0.000574
長崎地域電力(株)	0.000341	0.000370	みんな電力(株)	0.000490	0.000634
にちほクラウド電力(株)	0.000562	0.000543	リエスパワー(株)	0.000582	0.000000
日産トレーディング(株)	0.000365	0.000410	リコージャパン(株)	0.000600	0.000353
日本アルファ電力(株)	0.000000	0.001479	緑新電力(株)	0.000476	0.000448
日本テクノ(株)	0.000532	0.000588	和歌山電力(株)	0.000503	0.000474
日本ロジテック協同組合	0.000386	0.000552	ワタミファーム&エナジー(株)	0.000517	0.000498
ネクスト・エナジー・アンド・リソース(株)	0.000535	0.000000			

代替値	0.000579 (t-CO ₂ /kWh)
-----	-----------------------------------

網掛け部は追加又は修正箇所

※平成27年度の温室効果ガス排出量を算定する際に用いる係数です(報告は平成28年度)。
 ※実排出係数は実排出量の算定に、調整後排出係数は調整後排出量の算定に用います。

参考：電気事業者別CO₂排出係数年度推移 (t-CO₂/kWh)

使用年度 電気事業者	2011年度版 実排出	2011年度版 調整後排出	2012年度版 実排出	2012年度版 調整後排出	2013年度版 実排出	2013年度版 調整後排出	2014年度版 実排出	2014年度版 調整後排出	2015年度版 実排出	2015年度版 調整後排出	2015/2014 実排出	2015/2014 調整後排出
北海道電力(株)	0.000353	0.000344	0.000485	0.000485	0.000688	0.000680	0.000678	0.000681	0.000683	0.000688	101%	101%
東北電力(株)	0.000429	0.000326	0.000547	0.000546	0.000600	0.000560	0.000591	0.000589	0.000571	0.000573	97%	97%
東京電力(株)	0.000375	0.000374	0.000464	0.000463	0.000525	0.000406	0.000531	0.000522	0.000505	0.000496	95%	95%
中部電力(株)	0.000473	0.000341	0.000518	0.000469	0.000516	0.000373	0.000513	0.000509	0.000497	0.000494	97%	97%
北陸電力(株)	0.000423	0.000224	0.000641	0.000546	0.000663	0.000494	0.000630	0.000628	0.000647	0.000640	103%	102%
関西電力(株)	0.000311	0.000281	0.000450	0.000414	0.000514	0.000475	0.000522	0.000516	0.000531	0.000523	102%	101%
中国電力(株)	0.000728	0.000491	0.000657	0.000502	0.000738	0.000672	0.000719	0.000717	0.000706	0.000709	98%	99%
(株)エネット	0.000409	0.000409	0.000409	0.000408	0.000429	0.000427	0.000423	0.000443	0.000454	0.000462	107%	104%
丸紅(株)	0.000456	0.000417	0.000343	0.000315	0.000378	0.000324	0.000389	0.000418	0.000482	0.000487	124%	117%
(株)F-Power	0.000490	0.000490	0.000448	0.000448	0.000525	0.000445	0.000491	0.000401	0.000454	0.000398	92%	99%
日本ロジテック協同組合	0.000540	0.000540	0.000463	0.000247	0.000486	0.000256	0.000405	0.000290	0.000386	0.000552	95%	190%
平均(合計/当該電気事業者数)	0.000623	0.000530	0.000678	0.000605	0.000606	0.000511	0.000655	0.000635	0.000538	0.000547	82%	86%

※網掛けの部分は、その年度に使用されていない電気事業者である。

国際単位系 (SI)

表1. SI 基本単位

基本量	SI 基本単位	
	名称	記号
長さ	メートル	m
質量	キログラム	kg
時間	秒	s
電流	アンペア	A
熱力学温度	ケルビン	K
物質량	モル	mol
光度	カンデラ	cd

表2. 基本単位を用いて表されるSI組立単位の例

組立量	SI 組立単位	
	名称	記号
面積	平方メートル	m ²
体積	立方メートル	m ³
速度	メートル毎秒	m/s
加速度	メートル毎秒毎秒	m/s ²
波数	毎メートル	m ⁻¹
密度, 質量密度	キログラム毎立方メートル	kg/m ³
面積密度	キログラム毎平方メートル	kg/m ²
比体積	立方メートル毎キログラム	m ³ /kg
電流密度	アンペア毎平方メートル	A/m ²
磁界の強さ	アンペア毎メートル	A/m
量濃度 ^(a) , 濃度	モル毎立方メートル	mol/m ³
質量濃度	キログラム毎立方メートル	kg/m ³
輝度	カンデラ毎平方メートル	cd/m ²
屈折率 ^(b)	(数字の)	1
比透磁率 ^(b)	(数字の)	1

(a) 量濃度 (amount concentration) は臨床化学の分野では物質濃度 (substance concentration) ともよばれる。
 (b) これらは無次元量あるいは次元1をもつ量であるが、そのことを表す単位記号である数字の1は通常は表記しない。

表3. 固有の名称と記号で表されるSI組立単位

組立量	SI 組立単位			
	名称	記号	他のSI単位による表し方	SI基本単位による表し方
平面角	ラジアン ^(b)	rad	1 ^(b)	m/m
立体角	ステラジアン ^(b)	sr ^(e)	1 ^(b)	m ² /m ²
周波数	ヘルツ ^(d)	Hz		s ⁻¹
力	ニュートン	N		m kg s ⁻²
圧力, 応力	パスカル	Pa	N/m ²	m ⁻¹ kg s ⁻²
エネルギー, 仕事, 熱量	ジュール	J	N m	m ² kg s ⁻²
仕事率, 工率, 放射束	ワット	W	J/s	m ² kg s ⁻³
電荷, 電気量	クーロン	C		s A
電位差 (電圧), 起電力	ボルト	V	W/A	m ² kg s ⁻³ A ⁻¹
静電容量	ファラド	F	C/V	m ² kg ⁻¹ s ⁴ A ²
電気抵抗	オーム	Ω	V/A	m ² kg s ⁻³ A ⁻²
コンダクタンス	ジーメン	S	A/V	m ² kg ⁻¹ s ³ A ²
磁束	ウェーバ	Wb	Vs	m ² kg s ⁻² A ⁻¹
磁束密度	テスラ	T	Wb/m ²	kg s ⁻² A ⁻¹
インダクタンス	ヘンリー	H	Wb/A	m ² kg s ⁻² A ⁻²
セルシウス温度	セルシウス度 ^(e)	°C		K
光照射量	ルーメン	lm	cd sr ^(e)	cd
放射線量	グレイ	Gy	J/kg	m ² s ⁻²
放射性核種の放射能 ^(f)	ベクレル ^(d)	Bq		s ⁻¹
吸収線量, 比エネルギー分与, カーマ	グレイ	Gy	J/kg	m ² s ⁻²
線量当量, 周辺線量当量, 方向性線量当量, 個人線量当量	シーベルト ^(g)	Sv	J/kg	m ² s ⁻²
酸素活性	カタール	kat		s ⁻¹ mol

(a) SI接頭語は固有の名称と記号を持つ組立単位と組み合わせても使用できる。しかし接頭語を付した単位はもはやコヒーレントではない。
 (b) ラジアンとステラジアンは数字の1に対する単位の特別な名称で、量についての情報をつたえるために使われる。実際には、使用する時には記号rad及びsrが用いられるが、習慣として組立単位としての記号である数字の1は明示されない。
 (c) 測光学ではステラジアンという名称と記号srを単位の表し方の中に、そのまま維持している。
 (d) ヘルツは周期現象についてのみ、ベクレルは放射性核種の統計的過程についてのみ使用される。
 (e) セルシウス度はケルビンの特別な名称で、セルシウス温度を表すために使用される。セルシウス度とケルビンの単位の間は同一である。したがって、温度差や温度間隔を表す数値はどちらの単位で表しても同じである。
 (f) 放射性核種の放射能 (activity referred to a radionuclide) は、しばしば誤った用語で"radioactivity"と記される。
 (g) 単位シーベルト (PV, 2002, 70, 205) についてはCIPM勧告2 (CI-2002) を参照。

表4. 単位の中に固有の名称と記号を含むSI組立単位の例

組立量	SI 組立単位		
	名称	記号	SI基本単位による表し方
粘力のモーメント	パスカル秒	Pa s	m ⁻¹ kg s ⁻¹
表面張力	ニュートンメートル	N m	m ² kg s ⁻²
角加速度	ラジアン毎秒	rad/s	m m ⁻¹ s ⁻¹ = s ⁻¹
角加減速	ラジアン毎秒毎秒	rad/s ²	m m ⁻¹ s ⁻² = s ⁻²
熱流密度, 放射照度	ワット毎平方メートル	W/m ²	kg s ⁻³
熱容量, エントロピー	ジュール毎ケルビン	J/K	m ² kg s ⁻² K ⁻¹
比熱容量, 比エントロピー	ジュール毎キログラム毎ケルビン	J/(kg K)	m ² s ⁻² K ⁻¹
比エネルギー	ジュール毎キログラム	J/kg	m ² s ⁻²
熱伝導率	ワット毎メートル毎ケルビン	W/(m K)	m kg s ⁻³ K ⁻¹
体積エネルギー	ジュール毎立方メートル	J/m ³	m ⁻¹ kg s ⁻²
電界の強さ	ボルト毎メートル	V/m	m kg s ⁻³ A ⁻¹
電荷密度	クーロン毎立方メートル	C/m ³	m ⁻³ s A
電表面電荷	クーロン毎平方メートル	C/m ²	m ⁻² s A
電束密度, 電気変位	クーロン毎平方メートル	C/m ²	m ⁻² s A
誘電率	ファラド毎メートル	F/m	m ³ kg ⁻¹ s ⁴ A ²
透磁率	ヘンリー毎メートル	H/m	m kg s ⁻² A ⁻²
モルエネルギー	ジュール毎モル	J/mol	m ² kg s ⁻² mol ⁻¹
モルエントロピー, モル熱容量	ジュール毎モル毎ケルビン	J/(mol K)	m ² kg s ⁻² K ⁻¹ mol ⁻¹
照射線量 (X線及びγ線)	クーロン毎キログラム	C/kg	kg ⁻¹ s A
吸収線量率	グレイ毎秒	Gy/s	m ² s ⁻³
放射線強度	ワット毎ステラジアン	W/sr	m ⁴ m ⁻² kg s ⁻³ = m ² kg s ⁻³
放射輝度	ワット毎平方メートル毎ステラジアン	W/(m ² sr)	m ² m ⁻² kg s ⁻³ = kg s ⁻³
酵素活性濃度	カタール毎立方メートル	kat/m ³	m ⁻³ s ⁻¹ mol

表5. SI 接頭語

乗数	名称	記号	乗数	名称	記号
10 ²⁴	ヨタ	Y	10 ¹	デシ	d
10 ²¹	ゼタ	Z	10 ²	センチ	c
10 ¹⁸	エクサ	E	10 ³	ミリ	m
10 ¹⁵	ペタ	P	10 ⁶	マイクロ	μ
10 ¹²	テラ	T	10 ⁹	ナノ	n
10 ⁹	ギガ	G	10 ¹²	ピコ	p
10 ⁶	メガ	M	10 ⁻¹⁵	フェムト	f
10 ³	キロ	k	10 ⁻¹⁸	アト	a
10 ²	ヘクト	h	10 ⁻²¹	ゼプト	z
10 ¹	デカ	da	10 ⁻²⁴	ヨクト	y

表6. SIに属さないが、SIと併用される単位

名称	記号	SI単位による値
分	min	1 min=60 s
時	h	1 h =60 min=3600 s
日	d	1 d=24 h=86 400 s
度	°	1°=(π/180) rad
分	'	1'=(1/60)°=(π/10 800) rad
秒	"	1"=(1/60)'=(π/648 000) rad
ヘクタール	ha	1 ha=1 hm ² =10 ⁴ m ²
リットル	L, l	1 L=1 l=1 dm ³ =10 ³ cm ³ =10 ⁻³ m ³
トン	t	1 t=10 ³ kg

表7. SIに属さないが、SIと併用される単位で、SI単位で表される数値が実験的に得られるもの

名称	記号	SI単位で表される数値
電子ボルト	eV	1 eV=1.602 176 53(14)×10 ⁻¹⁹ J
ダルトン	Da	1 Da=1.660 538 86(28)×10 ⁻²⁷ kg
統一原子質量単位	u	1 u=1 Da
天文単位	ua	1 ua=1.495 978 706 91(6)×10 ¹¹ m

表8. SIに属さないが、SIと併用されるその他の単位

名称	記号	SI単位で表される数値
バール	bar	1 bar=0.1MPa=100 kPa=10 ⁵ Pa
水銀柱ミリメートル	mmHg	1 mmHg=133.322Pa
オングストローム	Å	1 Å=0.1nm=100pm=10 ⁻¹⁰ m
海里	M	1 M=1852m
バイン	b	1 b=100fm ² =(10 ¹² cm) ² =10 ⁻²⁸ m ²
ノット	kn	1 kn=(1852/3600)m/s
ネーパ	Np	SI単位との数値的関係は、 対数量の定義に依存。
ベレル	B	
デシベル	dB	

表9. 固有の名称をもつCGS組立単位

名称	記号	SI単位で表される数値
エルグ	erg	1 erg=10 ⁻⁷ J
ダイン	dyn	1 dyn=10 ⁻⁵ N
ポアズ	P	1 P=1 dyn s cm ⁻² =0.1Pa s
ストークス	St	1 St=1cm ² s ⁻¹ =10 ⁻⁴ m ² s ⁻¹
スチルブ	sb	1 sb=1cd cm ⁻² =10 ⁴ cd m ⁻²
フォト	ph	1 ph=1cd sr cm ⁻² =10 ⁴ lx
ガリ	Gal	1 Gal=1cm s ⁻² =10 ⁻² ms ⁻²
マクスウェル	Mx	1 Mx=1 G cm ² =10 ⁻⁸ Wb
ガウス	G	1 G=1Mx cm ⁻² =10 ⁻⁴ T
エルステッド ^(a)	Oe	1 Oe _e =(10 ³ /4π)A m ⁻¹

(a) 3元系のCGS単位系とSIでは直接比較できないため、等号「△」は対応関係を示すものである。

表10. SIに属さないその他の単位の例

名称	記号	SI単位で表される数値
キュリー	Ci	1 Ci=3.7×10 ¹⁰ Bq
レントゲン	R	1 R=2.58×10 ⁻⁴ C/kg
ラド	rad	1 rad=1cGy=10 ⁻² Gy
レム	rem	1 rem=1 cSv=10 ⁻² Sv
ガンマ	γ	1 γ=1 nT=10 ⁻⁹ T
フェルミ	f	1 フェルミ=1 fm=10 ⁻¹⁵ m
メートル系カラット		1 メートル系カラット=0.2 g=2×10 ⁻⁴ kg
トル	Torr	1 Torr=(101 325/760) Pa
標準大気圧	atm	1 atm=101 325 Pa
カロリ	cal	1 cal=4.1858J (「15°C」カロリ), 4.1868J (「IT」カロリ), 4.184J (「熱化学」カロリ)
マイクロ	μ	1 μ=1μm=10 ⁻⁶ m

